

本書の見かた

本書ではお車の各装置や装備の正しい取り扱いかたと、快適ドライブ情報やお手入れのしかた、万一のときの応急処置などを記載しています。

- お車を安全・快適にお使いいただきため、ご使用前に必ずお読みください。
- 「警告」「注意」は安全のために特に重要です。
よく読んでお守りください。
- 本書の中で使用しているマークと意味は次のようになっています。

安全のために守っていただきたいこと。

 警告	守らないと生命の危険または重大な傷害につながるおそれがあります。
 注意	守らないと傷害または事故につながるおそれがあります。

お車のために守っていただきたいこと。

 アドバイス	守らないと車両破損につながるおそれや正規性能を確保できないことがあります。
---	---------------------------------------

お車を使ううえで知っておいていただきたいこと。

 知識	知っておくとお車やいろいろな装備を上手に使うことができ便利です。
--	----------------------------------

- 参照して読んでいただきたいページなどを、❬マークで表示しています。
- 本書では、標準装備またはメーカーオプションのナビゲーションシステムを装着した車両のことを「ナビゲーションシステム付車」と示しています。
- 日産販売会社で取り付けられた装備（ディーラーオプション）については、その装備に付属の取扱説明書をお読みください。
- 点検・整備、保証については別冊のメンテナンスノートをお読みください。
- ナビゲーションシステム付車は、別冊の取扱説明書をお読みください。
- その他、ご不明な点はカーライフアドバイザー（営業部員）にお申しつけください。

● 交通ルールやマナーを守って運転しましょう。

- 自然環境保護に配慮してください。
- 本書と別冊のメンテナンスノートはお車の中に保管してください。
- お車をゆずられるときは次に所有される方のために、本書をお車に付けておいてください。
- 車両の仕様変更により、本書の内容が実車と一致しない場合がありますのであらかじめご了承ください。

■ 外観フロント .2
■ 運転席まわり .5

■ 外観リヤ .3
■ インストルメントパネル .6

■ 車室内 .4

イラスト目次

P.2

■ SRSエアバッグについて .9
■ 始動する .58

■ お子さまの安全のために .22
■ 走行する .64

■ 運転する前に .34

運転をするときは

P.7

■ メーターの見かた .158

■ 警告灯・表示灯 .162

■ アドバンスドドライブアシストディスプレイの見かた .172

メーター

P.157

■ ドアの施錠と解錠 .208

■ エアコンの使いかた .255

■ 各部の開閉 .247

■ スイッチの操作 .267

■ ウィンドーの開閉 .249

■ 室内装備 .281

各部の操作

P.207

■ タイヤのパンク .310

■ バッテリーがあがったとき .326

■ オーバーヒートしたとき .337

■ ドアが開かない .323

■ 各種警告機能について .329

■ 動かないとき .339

■ 始動しないとき .325

■ くもりが取れない .335

■ 故障したとき .345

トラブルがおきたときは

P.309

■ 点検・整備 .348

■ 清掃・お手入れ .387

■ サービスデータ .395

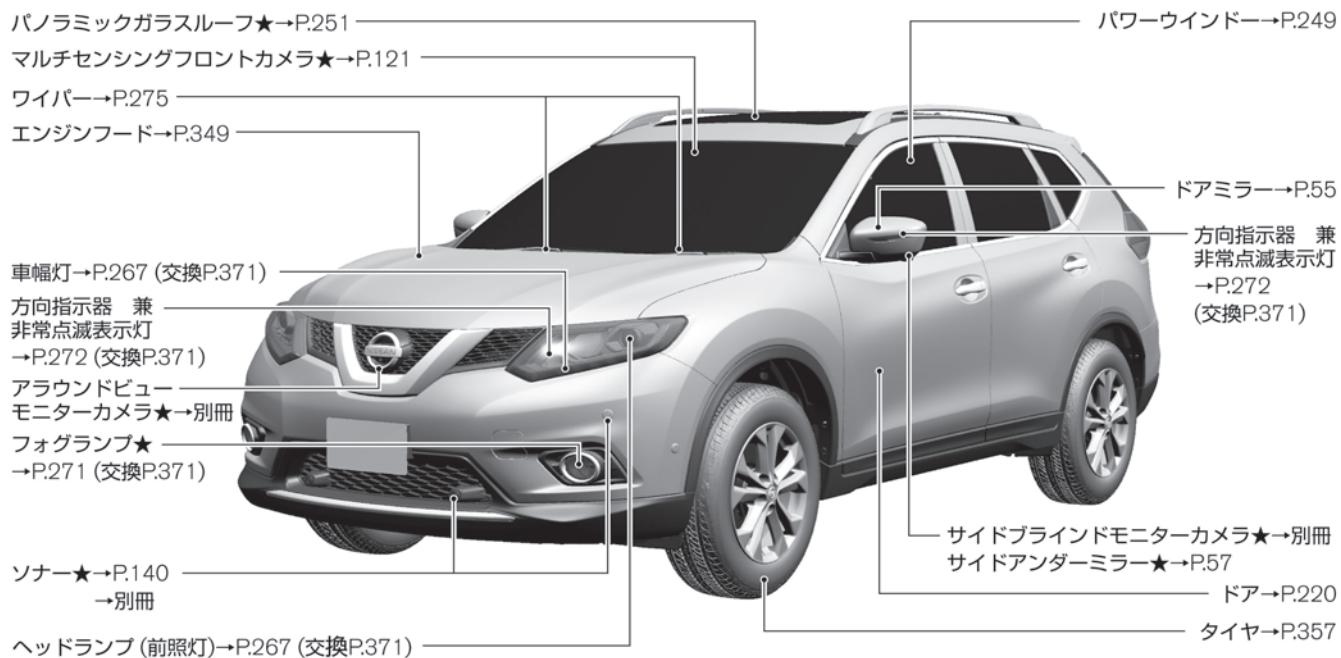
メンテナンス

P.347

索引 P.401

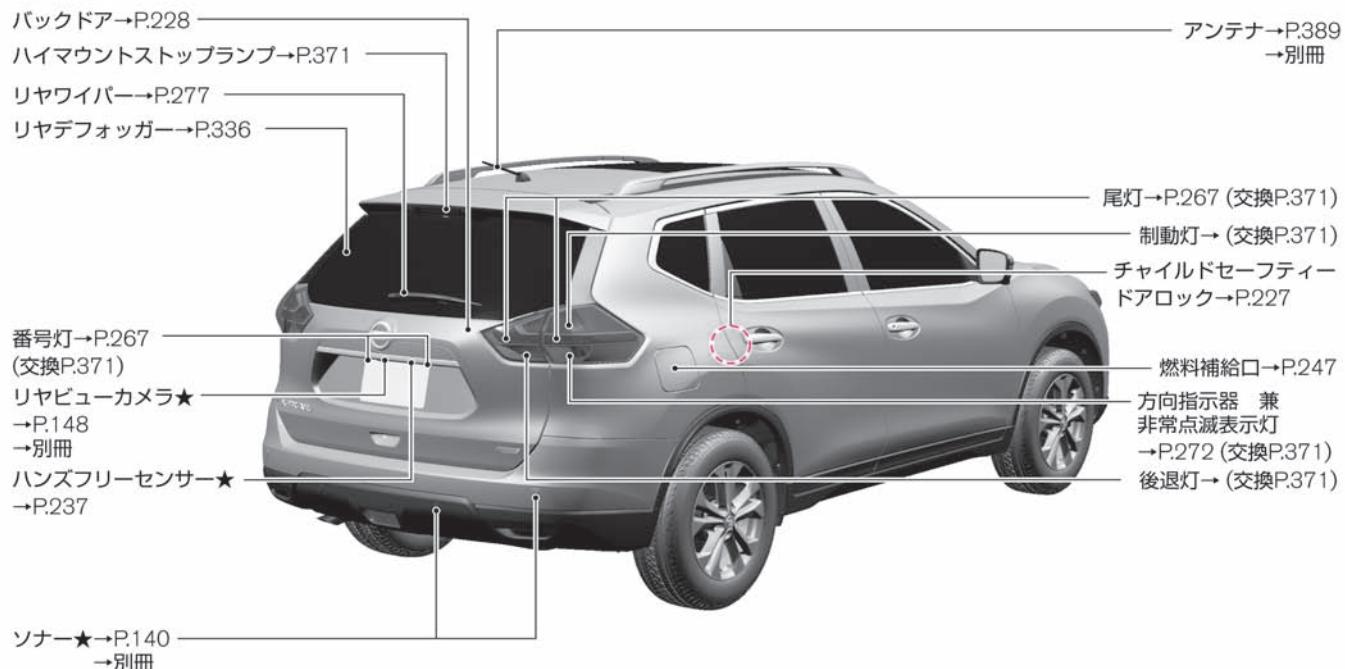
外観フロント

車両前方から見た外観の名称と配置図です。



外観リヤ

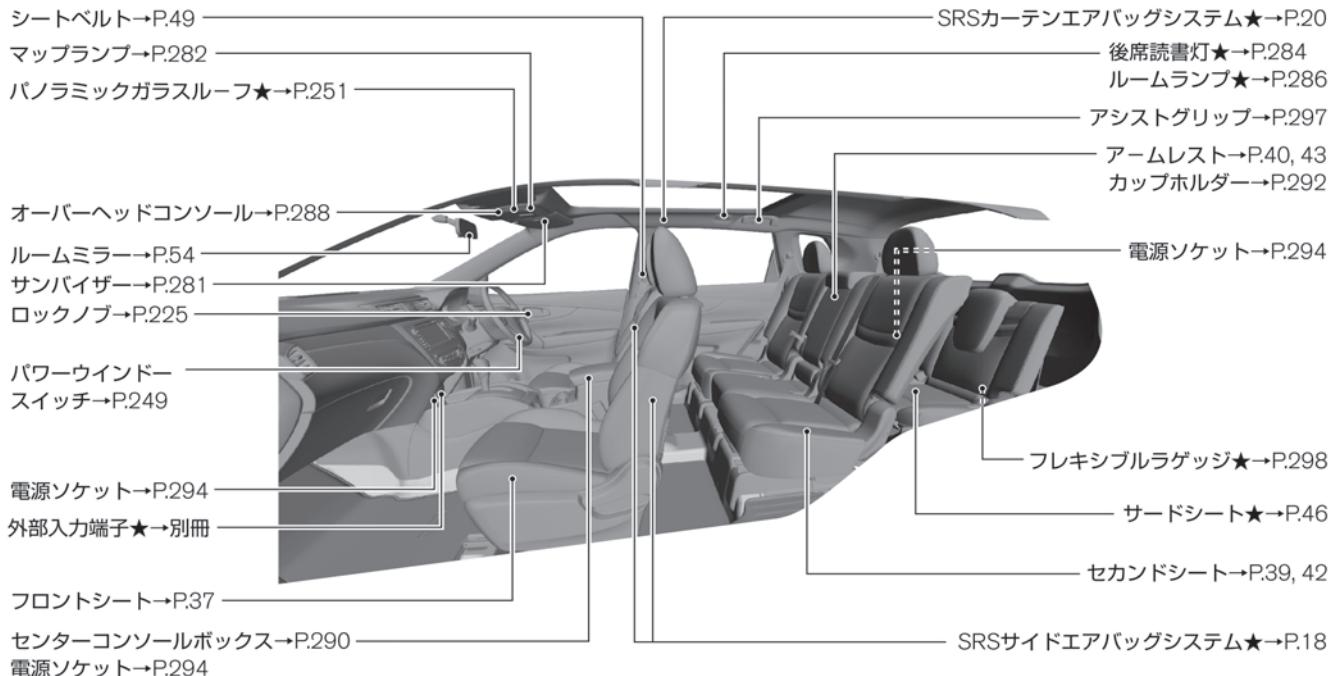
車両後方から見た外観の名称と配置図です。



★：車両型式、オプションなどで異なる装備

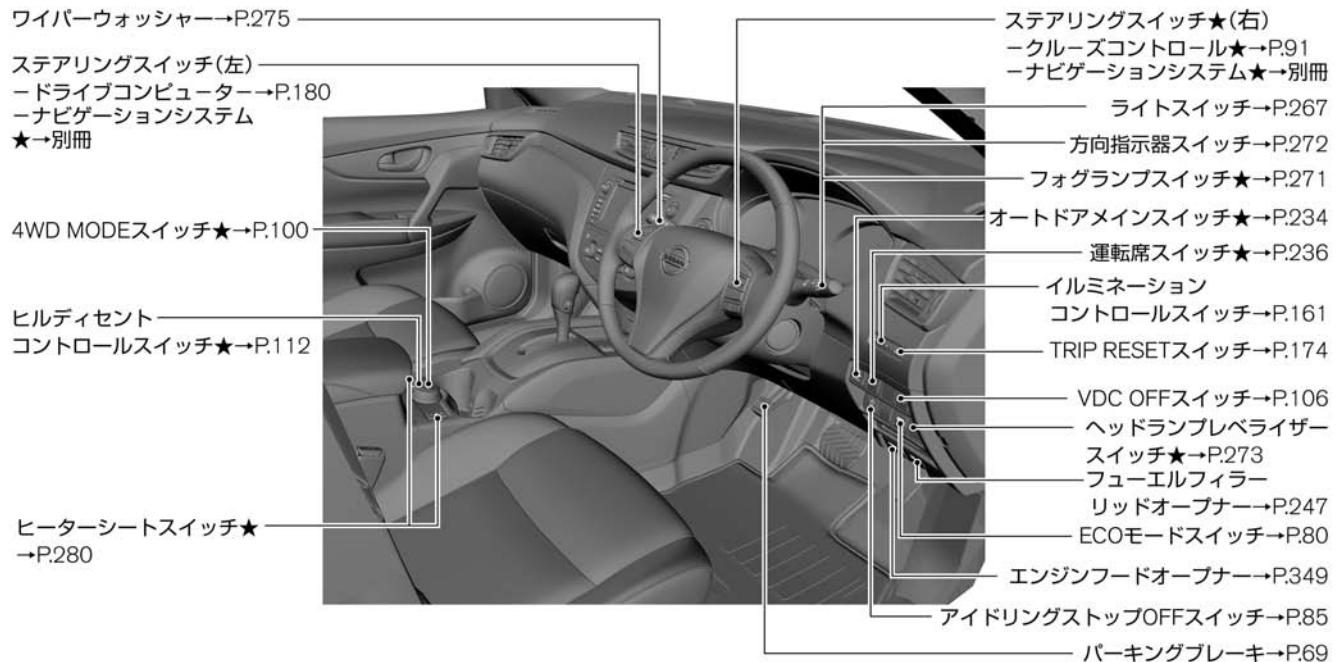
車室内

車室内の名称と配置図です。



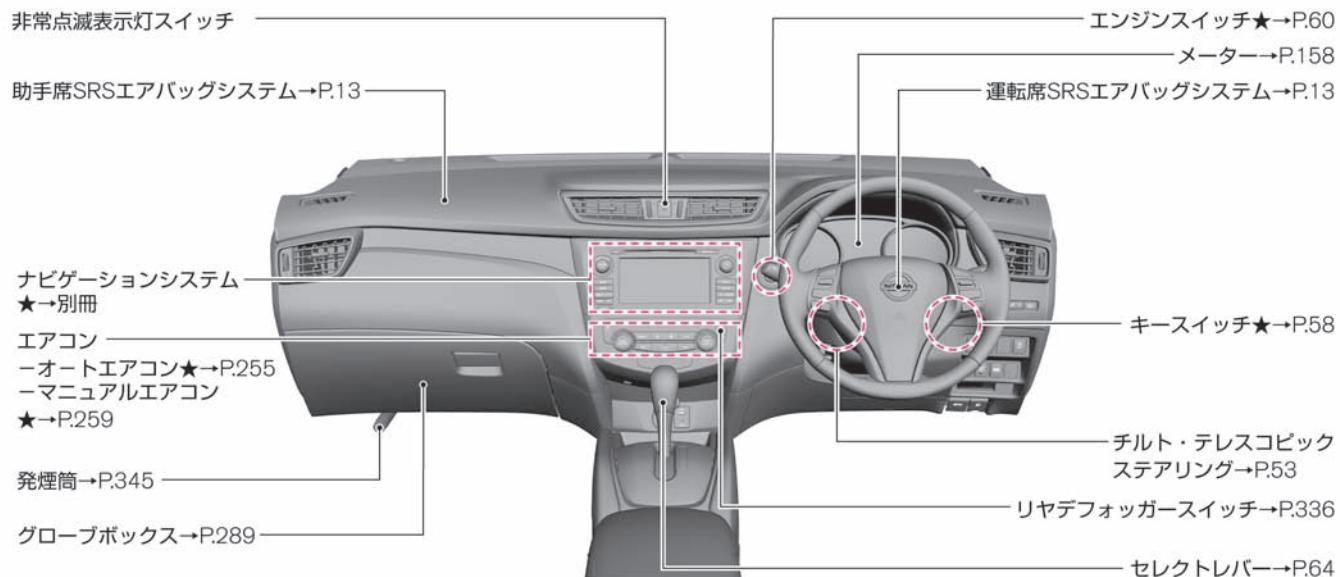
運転席まわり

運転席まわりの名称と配置図です。



インストルメントパネル

インストルメントパネルまわりの名称と配置図です。



運転をするときは

SRSエアバッグについて

SRSエアバッグ	P.9
運転席・助手席SRSエアバッグシステム	P.13
運転席・助手席SRSサイドエアバッグシステム★	P.18
SRSカーテンエアバッグシステム★	P.20

お子さまの安全のために

お子さまを乗せるときは	P.22
チャイルドシート	P.25
チャイルドシート適合表	P.30

運転する前に

運転するときに注意すること	P.34
正しい運転姿勢について	P.36
フロントシート	P.37
セカンドシート（2列車）	P.39
セカンドシート（3列車）	P.42
サードシート★	P.46
ELR（緊急固定）付3点式シートベルト	P.49
ハンドル	P.53
ルームミラー	P.54
ドアミラースイッチ	P.55

サイドアンダーミラー★

P.57

始動する

キースイッチ（リモートコントロールエントリー システム付車）	P.58
エンジンスイッチ（インテリジェントキー付車）	P.60
イモビライザー（盗難防止装置）	P.62
オートACC機能	P.63

走行する

セレクトレバー	P.64
パーキングブレーキ	P.69
発進（リモートコントロールエントリーシステム付車）	P.70
発進（インテリジェントキー付車）	P.73
走行	P.76
停車・駐車	P.78
ECOモード	P.80
アイドリングストップ	P.84
クルーズコントロール★	P.91
4WD（4輪駆動）車の扱いかた★	P.97
ALL MODE4×4★	P.100
ABS（アンチロックブレーキシステム）	P.103
VDC（ビーグルダイナミクスコントロール）	P.104

運転をするときは

シャシー制御	P.107
ヒルディセントコントロール★	P.112
ヒルスタートアシスト	P.114
エマージェンシーブレーキ★	P.116
踏み間違い衝突防止アシスト★	P.122
BSW（後側方車両検知警報）★	P.141
LDW（車線逸脱警報）★	P.149
ふらつき警報★	P.153
進入禁止標識検知★	P.155

SRSエアバッグ

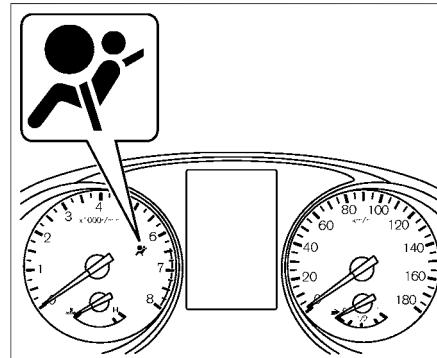
SRSエアバッグは、シートベルトと併用することで安全性を高めます。
シートベルトは必ず着用してください。

SRSエアバッグの作動

SRSエアバッグは、キースイッチ（電源ポジション）がONのときに作動可能です。

キースイッチ（電源ポジション）をONにしたあと、約7秒間はメーター内のSRSエアバッグ警告灯が点灯し、システムチェックを行うため、SRSエアバッグは作動しません。警告灯が消灯してから走行してください。

SRSエアバッグは、正面衝突時や側面衝突時において、乗員がシートベルトを正しく着用していても重大な傷害を受けるおそれのあるような衝撃を受けた場合に作動します。しかし衝撃が車体で吸収または分散され、車両の損傷は大きくても乗員への衝撃が強くならない場合には、必ずしも作動するとはかぎりません。



警告

- キースイッチ（電源ポジション）をONにしてもSRSエアバッグ警告灯が点灯しないときや、点灯または点滅を続けるときは、放置したまま走行しないでください。SRSエアバッグが正常に作動せず、重大な事故につながるおそれがあります。日産販売会社にご相談ください。

アドバイス

- 廃車にするときやSRSエアバッグを廃棄するときは必ず日産販売会社にご相談ください。
- SRSエアバッグは、一度膨らむと再使用できません。日産販売会社で交換してください。

知識

- SRSとは、「Supplemental Restraint System」の略でシートベルトの補助拘束装置の意味です。

SRSエアバッグについて

SRSエアバッグ

SRSエアバッグの注意事項



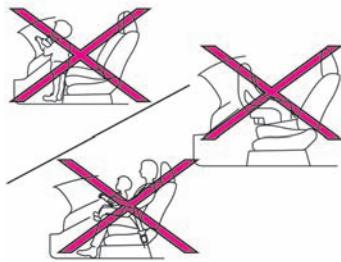
警告

- SRSエアバッグはシートベルトを補助する装置です。SRSエアバッグだけでは、身体の飛び出しなどを防止することはできません。SRSエアバッグの効果を発揮させるため、必ずシートベルトを正しい姿勢で正しく着用してください。
- 乗車するときは必ず次のことをお守りください。守らないと、SRSエアバッグが誤って作動したり正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。
 - ハンドルまわり、車両前部、インストルメントパネルまわり、フロントシートまわり、センターピラー（ロックピラー）まわり、センターコンソールまわり、ルーフサイド部などのSRSエアバッグ格納部を修理するときは、日産販売会社にご相談ください。また、SRSエアバッグ格納部に傷がついていたりひび割れがあるときは、そのまま使用せず日産販売会社で交換してください。
 - SRSエアバッグ格納部に過度の衝撃を与えないでください。
 - 電気テスターを使ってSRSエアバッグの回路診断をしたり、回路を変更しないでください。
 - エアロパーツなどを取り付けたりサスペンションを改造するときは、日産販売会社にご相談ください。不適正な改造をすると衝撃を正しく検知できません。
- 助手席には、チャイルドシートを後ろ向きに取り付けることはできません。SRSエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。やむをえず助手席に取り付けるときは、シートができるだけ後ろに下げ、必ず前向きに取り付けてください。

☞ チャイルドシート (P.25)

⚠ 警告

- チャイルドシートは走行する前に確実に固定されていることを確認してください。固定方法および取り扱いかたは、チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってください。



SRSエアバッグについて SRSエアバッグ

⚠ 注意

- SRSエアバッグは膨らんだあと高温になるため、30分以内はさわらないでください。やけどをするおそれがあります。
- SRSエアバッグは高温のガスにより高速で膨らむため、事故の状態によっては、擦過傷、打撲、やけどなどを負うことがあります。
- SRSエアバッグが膨らむとき、作動音や白煙が出ますが火災ではありません。また、発生するガスによりむせることができますが毒性はありません。ただし、SRSエアバッグ作動時の残留物（カス）などが目や皮膚に付着したときは、できるだけ早く水で洗い流してください。皮膚の弱い方などは、まれに皮膚に刺激を感じことがあります。

SRSエアバッグについて

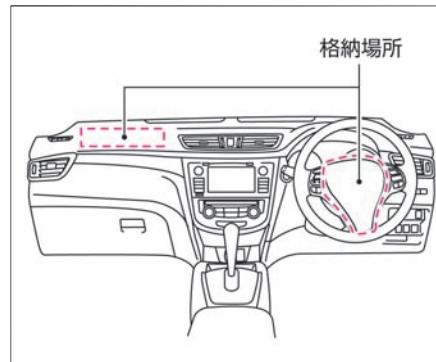
運転席・助手席SRSエアバッグシステム

車両前方から強い衝撃を受けたときSRSエアバッグが瞬時に膨らみ、乗員の頭部にかかる衝撃を緩和します。

■ 格納場所

運転席SRSエアバッグは、ハンドル部に格納されています。

助手席SRSエアバッグは、助手席側インストルメントパネル部に格納されています。
乗員がいなくても運転席と同時に作動します。



■ SRSエアバッグが作動するとき

次のような衝撃が強いときに作動します。

- 25km/h以上の速度で厚いコンクリートのような壁に正面衝突したとき
- 車両前方左右、約30°以内の方向から強い衝撃（上記と同等）を受けたとき
- 次のような車両下部に強い衝撃を受けたときも作動することがあります。
(車両の損傷は少なくとも乗員への衝撃は強いとき)
- 高速で縁石などに衝突したとき
- 深い穴や溝に落ち込んだとき
- ジャンプして地面にぶつけたとき

▲ 注意

- 助手席SRSエアバッグが作動した衝撃で前面ガラスが割れることがあります。

□ 知識

- 運転席、助手席SRSエアバッグは膨らんだあとすぐにしほむので、視界の妨げになることはありません。

エアバッグ展開運動ハザードランプ

- エアバッグが作動したときは、自動で非常点滅表示灯が点滅します。

SRSエアバッグについて 運転席・助手席SRSエアバッグシステム

SRSエアバッグが作動しにくいとき

次のような衝撃が弱いときは作動しないことがあります。

衝突したものが変形したり移動したときや、衝突した物の形状や衝突の状態によって衝突時の衝撃が緩められたときは、作動しにくくなります。

- 停車している同クラスの車に約50km/h以下速度で衝突したとき
- 衝突時に折れない電柱などに約30km/h以下速度で正面衝突したとき
- トラックなどの荷台の下にもぐり込んだようなとき
- 斜め前方からガードレールなどに衝突したとき

SRSエアバッグが作動しないとき

一度、SRSエアバッグが作動したあとに衝突しても作動しません。また、次のようなときは作動しません。

- 横方向や後ろから衝突されたとき
- 横転、転覆したとき

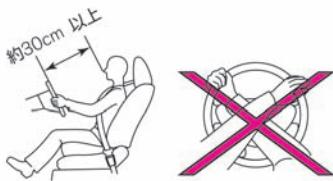
■ 運転席・助手席SRSエアバッグシステムの注意事項



警告

運転席SRSエアバッグシステム

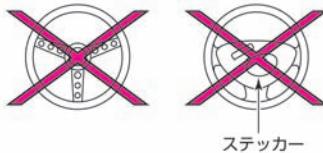
- ハンドルから顔をできるだけ（約30cm以上）離し、ハンドルにもたれかかるなどSRSエアバッグ格納部に手や顔、胸などを不必要に近づけないでください。また、内掛けでのハンドル操作はしないでください。



- 不適正なハンドルに交換したり、センターパッド部（SRSエアバッグ格納部）にステッカーなどを貼らないでください。

SRSエアバッグについて 運転席・助手席SRSエアバッグシステム

⚠ 警告

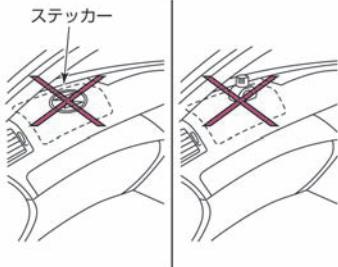


- 前面ガラスにアクセサリーなどを付けないでください。

助手席SRSエアバッグシステム

- インストルメントパネル（SRSエアバッグ格納部）に手や足を置いたり、顔や胸などを近づけないでください。また、お子さまをSRSエアバッグ格納部の前に立たせたりひざの上に抱いたりせず、後席に乗せてください。
- インストルメントパネル上面および前面にステッカーなどを貼ったり、アクセサリーや芳香剤などを置かないでください。

⚠ 警告



SRSエアバッグについて

運転席・助手席SRSサイドエアバッグシステム★

車両側面から強い衝撃を受けたとき、衝撃を受けた側のSRSサイドエアバッグが瞬時に膨らみ、乗員の主に胸部にかかる衝撃を緩和します。

格納場所

SRSサイドエアバッグは、シート背もたれ側面（外側）に格納されています。助手席は乗員がいなくても作動します。



⚠️ 警告

- ドアにもたれるなど、フロントシート背もたれ側面（外側）のSRSサイドエアバッグ格納部に近づかないでください。特にお子さまが窓から腕を出したり、フロントシートの背もたれを抱えたりしないように注意してください。
- ドアをガラスが割れるほど強く閉めないでください。SRSサイドエアバッグが誤作動するおそれがあります。
- フロントシートのSRSサイドエアバッグ格納部付近に傘やカバンなどを置かないでください。
- シートカバーは、前席シート背もたれ側面を覆わないものをお使いください。

SRSサイドエアバッグが作動するとき

次のような衝撃が強いときに作動します。

- 一般的な乗用車に25km/h以上の速度で側面に真横から衝突されたとき

📖 知識

エアバッグ展開連動ハザードランプ

- エアバッグが作動したときは、自動で非常点滅表示灯が点滅します。

SRSエアバッグについて

運転席・助手席SRSサイドエアバッグシステム★

■ SRSサイドエアバッグが作動しにくいとき

次のような衝撃が弱いときは作動しないことがあります。

衝突したものが変形したり移動したときや、衝突した物の形状や衝突の状態によって衝突時の衝撃が緩められたときは、作動しにくくなります。

- 側面に斜め方向から衝突されたとき
- 側面にバイクが真横から衝突したとき
- エンジンルーム（ラゲッジルーム）に衝突されたとき
- 横転、転覆したとき
- 斜め前方から衝突したとき
- 電柱などに衝突したとき

■ SRSサイドエアバッグが作動しないとき

一度、SRSエアバッグが作動したあとに衝突しても作動しません。また、次のようなときは作動しません。

- 停車中や走行中の車に正面衝突したとき
- 後ろから衝突されたとき

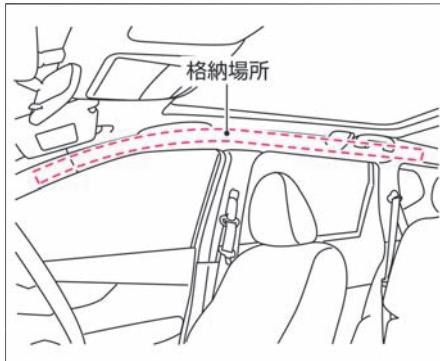
SRSエアバッグについて SRSカーテンエアバッグシステム★

車両側面から強い衝撃を受けたとき、衝撃を受けた側のSRSカーテンエアバッグが瞬時に膨らみ、乗員の主に頭部にかかる衝撃を緩和します。

運転をするときは

格納場所

SRSカーテンエアバッグは左右のルーフサイドに格納されています。助手席側は乗員がいなくても作動します。



警告

- ドアにもたれるなど、フロントシート背もたれ側面（外側）のSRSカーテンエアバッグ格納部に近づかないでください。特にお子さまが窓から腕を出したり、フロントシートの背もたれを抱えたりしないように注意してください。
- ドアをガラスが割れるほど強く閉めないでください。SRSカーテンエアバッグが誤作動するおそれがあります。
- センターピラー（ロックピラー）まわり、ルーフサイド部などのSRSカーテンエアバッグ格納部付近に、アクセサリーやハンガーなどを取り付けないでください。

SRSカーテンエアバッグが作動するとき

次のような衝撃が強いときに作動します。

- 一般的な乗用車に25km/h以上の速度で側面に真横から衝突されたとき

知識

エアバッグ展開連動ハザードランプ

- エアバッグが作動したときは、自動で非常点滅表示灯が点滅します。

SRSエアバッグについて

SRSカーテンエアバッグシステム★

SRSカーテンエアバッグが作動しにくいとき

次のような衝撃が弱いときは作動しないことがあります。

衝突したものが変形したり移動したときや、衝突した物の形状や衝突の状態によって衝突時の衝撃が緩められたときは、作動しにくくなります。

- 側面に斜め方向から衝突されたとき
- 側面にバイクが真横から衝突したとき
- エンジンルーム（ラゲッジルーム）に衝突されたとき
- 横転、転覆したとき
- 斜め前方から衝突したとき
- 電柱などに衝突したとき

SRSカーテンエアバッグが作動しないとき

一度、SRSエアバッグが作動したあとに衝突しても作動しません。また、次のようなときは作動しません。

- 停車中や走行中の車に正面衝突したとき
- 後ろから衝突されたとき

お子さまの安全のために お子さまを乗せるときは

お子さまを乗せるときは、次のことに注意してください。

■ お子さまは後席に

- 助手席に乗せるのは避けてください。お子さまの動作が気になったり、スイッチ、レバー類のいたずらなど安全運転の妨げになるおそれがあります。また、助手席SRSエアバッグの格納部に近づいていると、万一の事故などでSRSエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。

■ お子さまにもシートベルトを着用

- お子さまにも必ずシートベルトを着用させてください。お子さまを抱いていると、衝突時などに支えることができず重大な傷害を受けるおそれがあります。
☞ シートベルトのつけかた (P.49)
- シートベルトが首や顔に当たったり、腰骨に掛からないような小さなお子さまには、チャイルドシートをお使いください。
☞ チャイルドシート (P.25)

お子さまの安全のために お子さまを乗せるときは

■ チャイルドシートは後席に

- チャイルドシートは後席に取り付け、走行する前に確実に固定されていることを確認してください。固定方法および取り扱いかたは、チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってください。
- 助手席には、チャイルドシートを後ろ向きに取り付けることはできません。SRSエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。やむをえず助手席に取り付けるときは、シートができるだけ後ろに下げ、必ず前向きに取り付けてください。
- チャイルドシートは使用していないときでもシートにしっかりと固定するか、荷室などに収納してください。車室内に放置したままにすると、急ブレーキ時などに思わぬ事故につながるおそれがあります。



お子さまの安全のために お子さまを乗せるときは

■ ドア、ウインドーなどは大人が操作

- ドア、ウインドー、パノラミックガラスルーフなどの開閉は、お子さまには操作させないでください。開閉時に手、首、足などを挟んだりして、重大な傷害につながるおそれがあります。
- チャイルドセーフティードアロック（❷P.227）やパワーウィンドーロックスイッチ（❷P.249）を使用し、お子さまが操作できないようにしてください。

■ 窓から手や顔を出さない

- お子さまが手や顔を出さないように注意してください。急ブレーキ時に窓枠などにぶつかったり、車外の障害物に当たったりして、重大な傷害につながるおそれがあります。

■ 車室内にお子さまだけを残さない

- 車から離れるときは、必ずお子さまと一緒に降ろしてください。炎天下では車室内が高温になり、生命にかかるおそれがあり危険です。
- お子さまのいたずらで車の発進、火災など、思わぬ事故につながるおそれがあります。

お子さまの安全のために チャイルドシート

チャイルドシートの固定機構を使ってチャイルドシートを固定することができます。

チャイルドシートの種類

乳児用チャイルドシート：ECE R44基準のグループ0、0⁺に相当します。

チャイルドシート：ECE R44基準のグループ0⁺、Iに相当します。

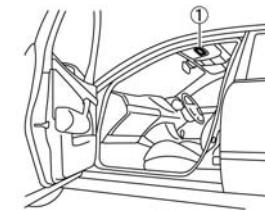
ジュニアチャイルドシート：ECE R44基準のグループII、IIIに相当します。

- 乳児用チャイルドシート、チャイルドシート、ジュニアチャイルドシートの総称として「チャイルドシート」と呼んでいます。
- この車はECE R44の基準に適合したISO FIX対応チャイルドシート固定専用アンカーを標準装備しています。

運転をするときは

警告

- 助手席には、チャイルドシートを後ろ向きに取り付けることはできません。SRSエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。やむをえず助手席に取り付けるときは、シートができるだけ後ろに下げ、必ず前向きに取り付けてください。



① エアーバッグ警告ラベル



お子さまの安全のために チャイルドシート

運転をするときは

⚠ 注意

- お子さまの年齢や体格にあった、適切なチャイルドシートをお選びください。
- 固定方法および取り扱いかたは、チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってください。

□ 知識

- ECE R44はチャイルドシートに関する国際法です。ECE R44の基準に適合した汎用（ユニバーサル）チャイルドシートには、認可マークが貼られています。



お子さまの安全のために チャイルドシート

運転をするときは

■ チャイルドシートの質量グループ

ECE R44の基準に適合するチャイルドシートはお子さまの体重により次のように分類されます。

質量グループ	お子さまの体重
グループ0	10kgまで
グループ0 ⁺	13kgまで
グループI	9~18kgまで
グループII	15~25kgまで
グループIII	22~36kgまで

お子さまの安全のために チャイルドシート

運転をするときは

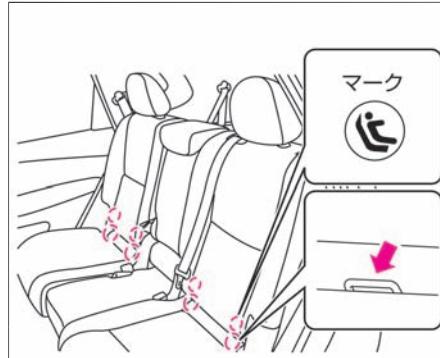
■ アンカーの位置

セカンドシートの左右にはISO FIX対応チャイルドシートを取り付けるためのアンカー（固定装置）が装備されています。

取り付けたおよび取り外しかたは、チャイルドシートに付属の取扱説明書をお読みください。

■ ロアアンカー

- ISO FIX対応チャイルドシート用ロアアンカーは、マークの下側にあります。



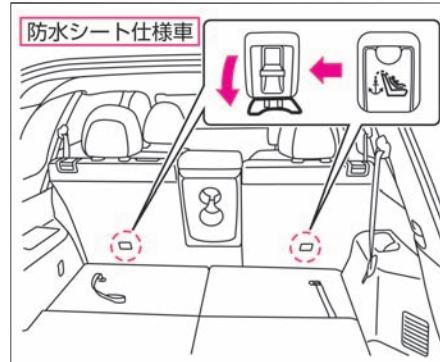
お子さまの安全のために チャイルドシート

■ テザーアンカー

テザーアンカーは、セカンドシート背もたれの後ろ側にあります。

- クロスシート仕様車は、マークの下側にあります。
- 防水シート仕様車は、ふたを開けて使います。

※：イラストは3列車です



お子さまの安全のために チャイルドシート適合表

チャイルドシートの固定方法には、シートベルトで取り付ける方法と、ISO FIX対応チャイルドシート固定専用アンカーで取り付ける方法があります。次の表から各着席位置でどのチャイルドシートが使用できるかを確認してください。
詳しくは、チャイルドシートに付属の取扱説明書をお読みください。

■ シートベルトで取り付けるチャイルドシートについて

■ 選択の目安

質量グループ	着席位置			サードシート
	フロントシート (助手席)	セカンドシート 左右	セカンドシート 中央	
0 (10kgまで)	X	U	X	X
0 ⁺ (13kgまで)	X	U	L	X
I (9~18kg)	L	U	UF	L
II (15~25kg)	L	U	UF	L
III (22~36kg)	L	U	UF	L

U : この質量グループでの使用を認可された汎用（ユニバーサル）区分のチャイルドシートに適合しています。

UF : この質量グループでの使用を認可された汎用（ユニバーサル）区分の前向きチャイルドシートに適合しています。

L : 次の表に記載されている日産純正チャイルドシートの取り付けが可能です。

X : チャイルドシートを取り付けることはできません。

! 注意

- 表に記載されていないチャイルドシートを使用するときは、チャイルドシート製造業者または販売業者にご相談ください。

お子さまの安全のために
チャイルドシート適合表

■ 日産純正チャイルドシート

質量グループ	取り付け 向き	商品名		
0 (10kgまで)	—	—		
0 ⁺ (13kgまで)	後向き	ISO FIX対応 チャイルド セーフティシート (E4 04443716)	チャイルド セーフティシート*	ISO FIX対応 ベビーシート (E4 04443717)
I (9~18kgまで)	前向き		(E4 04443812)	—
II (15~25kgまで)	前向き	ジュニアセーフティシート (E4 04443515)		
III (22~36kgまで)	前向き			

※ : サードシートには取り付けることができません。

お子さまの安全のために チャイルドシート適合表

運転をするときは

ISO FIX専用アンカーで取り付けるチャイルドシートについて

質量グループ	サイズ等級	固定具	ISO FIX位置(車両側)	
			セカンドシート	
			(左右)	(中央)
キャリコット	F	ISO/L1	X	-
	G	ISO/L2	X	-
0 (10kgまで)	E	ISO/R1	X	-
0 ⁺ (13kgまで)	E	ISO/R1	IL	-
	D	ISO/R2	X	-
	C	ISO/R3	X	-
	D	ISO/R2	X	-
I (9~18kg)	C	ISO/R3	X	-
	B	ISO/F2	IUF	-
	B1	ISO/F2X	IUF	-
	A	ISO/F3	IUF	-
	-	(1)	X	-
II (15~25kg)	-	(1)	X	-
III (22~36kg)	-	(1)	X	-

IUF : この質量グループでの使用を認可された汎用（ユニバーサル）カテゴリーの前向きチャイルドシートに適合しています。

IL : この質量グループでの使用を認可された、次の表に記載されている「日産純正 ISO FIX対応ベビーシート」に適合しています。

X : チャイルドシートを取り付けることはできません。

(1) : サイズ等級表示の無いチャイルドシートの各シート位置でのISO FIX対応チャイルドシート固定機構の取り扱いについては販売業者にご相談ください。

⚠ 警告

- チャイルドシートを取り付けるときは、アンカー部周辺に異物が無いことや、シートベルトなどのかみ込みがないことを確認してください。異物やシートベルトなどをかみ込むとチャイルドシートが固定されず、衝突時や急ブレーキ時にお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。
- チャイルドシートは確実に固定してください。確実に固定されていないと、衝突時や急ブレーキ時にお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠ 注意

- ISO FIX対応チャイルドシートを取り付けるときは、ヘッドレストをロックする位置まで上げてください。
- ISO FIX対応のチャイルドシートをすでにお持ちの場合、ご使用前にECE R44の基準に適合していることを確認してください。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

お子さまの安全のために チャイルドシート適合表

■ 日産純正ISO FIX対応チャイルドシートについて

質量 グループ	サイズ 等級	固定具	商品名	取り付け 向き	カテゴリー
0+ (13kgまで)	E	ISO/R1	日産純正 ISO FIX対応 ベビーシート (H8000-79923)	後向き	準汎用

⚠ 注意

- 日産純正ISO FIX対応ベビーシートの取り付けには別売りのベースキットが必要です。

運転する前に 運転するときに注意すること

各種注意事項について

！ 注意

- ガソリンや可燃性ガスの入ったスプレー缶などは積まないでください。引火や爆発するおそれがあり危険です。
- ウィンドーにアクセサリーを取り付けると、視界の妨げになったり、吸盤がレンズの働きをして火災を起こしたり、SRSエアバッグが作動したときアクセサリーが飛んでケガをするなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- エンジン本体、駆動系などこの車両の持っている性能を十分に引き出すためには、ならし運転が必要です。
走行距離約1,600kmまでは適度な車速、エンジン回転数で運転してください。
- 車の性能や機能に適さない部品を装着したり、自己流のエンジン調整や配線、市販の不適合品のマフラー取り付けなどを行わないでください。故障や火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 日産が国土交通省に届け出をした部品以外の物を装着すると、違法改造になることがあります。
- 次のような場合には日産販売会社にご相談ください。
 - 適切でない電装品や無線機などを取り付けないでください。電子機器部品に悪影響を及ぼしたり、誤った配線は故障や火災など、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、バッテリー端子に電装品やアース線などを直接つながないでください。バッテリーが上がる可能性があります。
 - ハンドルの取り外しや交換を不適切に行うと、SRSエアバッグが正常に作動しなかったり、不意に作動したりして、思わぬ傷害を受けるおそれがあります。
 - 排気音が大きくなったときは、排気管が腐食したり路面干渉などで損傷しているおそれがあるため、日産販売会社で点検を受けてください。排気管に穴が開いたまま走行を続けると、高温の排気ガスが漏れ、排気ガスが車内に侵入したり、火災につながるおそれがあります。

運転する前に

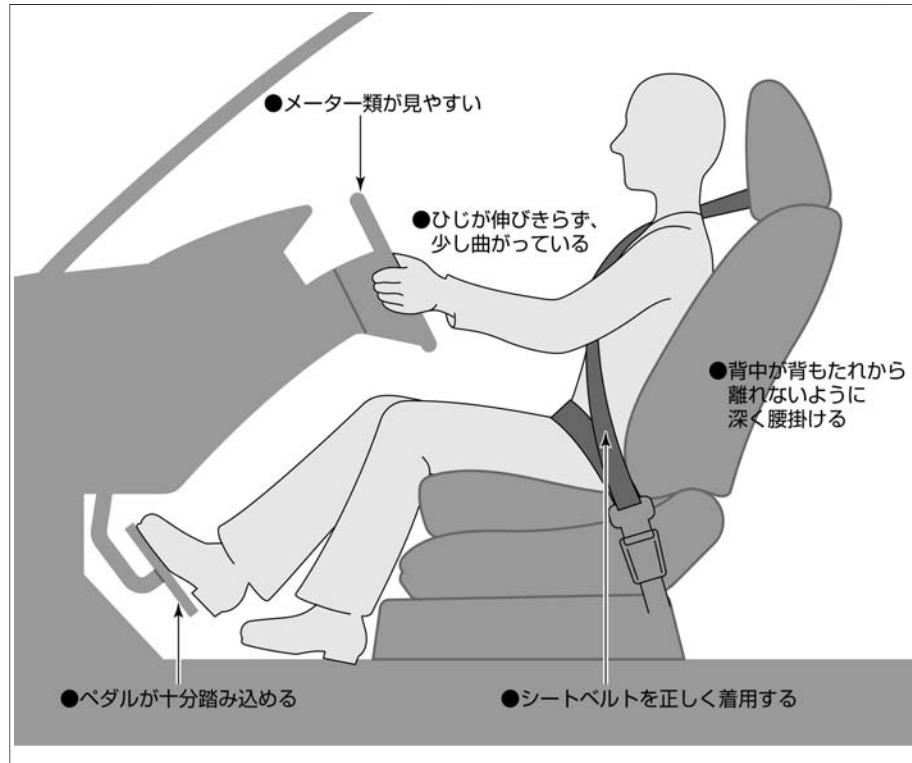
運転するときに注意すること

⚠ 注意

- 事故などでランプが破損したまま走行しないでください。内部に水などが入ると、発煙し火災につながるおそれがあります。
- 無用な空ぶかしをしたり、エンジンをかけたまま仮眠をしないでください。万一、セレクトレバーが P 以外に入っていると、急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、無意識にセレクトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして思わぬ事故やエンジン過熱による火災などにつながるおそれがあり危険です。
- 操作部が露出しているガスライターをグローブボックスなどの小物入れに入れておいたり、床やシートのすき間に落としたままにしないでください。荷物を押し込んだときやシートを動かしたときに、ライターの着火ボタンが押されてガスが噴出し、火災につながるおそれがあります。また、ライターを使用したあと、すぐに収納すると火災を起こすおそれがあります。

運転する前に 正しい運転姿勢について

正しい運転姿勢をとれるよう、ハンドル、シート、ミラーを調節してください。



⚠ 警告

- シート、ハンドル、ミラーの調節は、安全のため必ず走行前に行ってください。走行中に調節すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 調節したあとは、確実に固定されていることを確認してください。シートやハンドルが固定されていないと運転姿勢が突然変わり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- 背もたれと背中の間にクッションなどを入れないでください。運転姿勢が不安定になり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

運転する前に フロントシート

運転をするときは

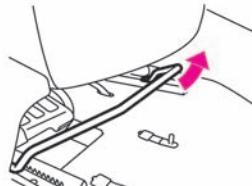
調節のしかた



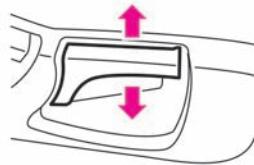
- 背もたれの角度調節
- レバーを引いたまま、調節したい方向に背もたれを動かします。



- 前後位置の調節
- レバーを引いたまま調節したい方向にシートを動かします。



- 上下位置の調節（運転席）
- 引き上げると高くなります。
- 押し下げると低くなります。



警告

- 背もたれを倒したまま走行しないでください。シートベルトが効果を十分発揮せず、衝突時などに重大な傷害を受けるおそれがあります。

注意

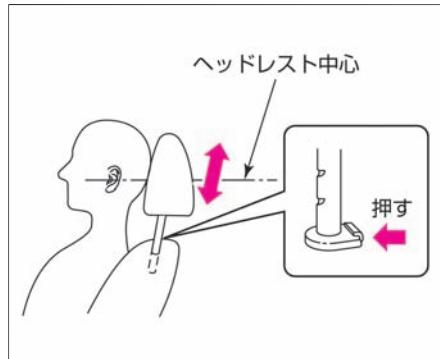
- 調節するときは、動いている部分に手や足などを近づけないでください。挟まれてケガをするおそれがあります。
- 背もたれを調節するときは、背もたれを支えながら調節してください。顔や身体にあたり思わぬケガをするおそれがあります。
- 車室内を清掃するときやシートの下に落としたものを拾うときなど、シートの下に手を入れるときは十分に注意してください。シートレールやシートフレームに当たりケガをするおそれがあります。

運転する前に フロントシート

■ ヘッドラストの使いかた

ヘッドラストの中心が、耳の高さになるように調節します。

- 上げるときは、そのままヘッドラストを引き上げ、下げるときは、ボタンを押しながらヘッドラストを下げます。



⚠ 警告

- ヘッドラストは外したまま走行しないでください。万一のとき、頭部への衝撃を防ぐことができなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- 取り付けるときは、前後の向きを間違えないでください。
- 取り付けたあとは、ヘッドラストを持ち上げ、抜け出さないことを確認してください。万一のとき、ヘッドラストが効果を十分発揮せず、思わずケガをするおそれがあります。

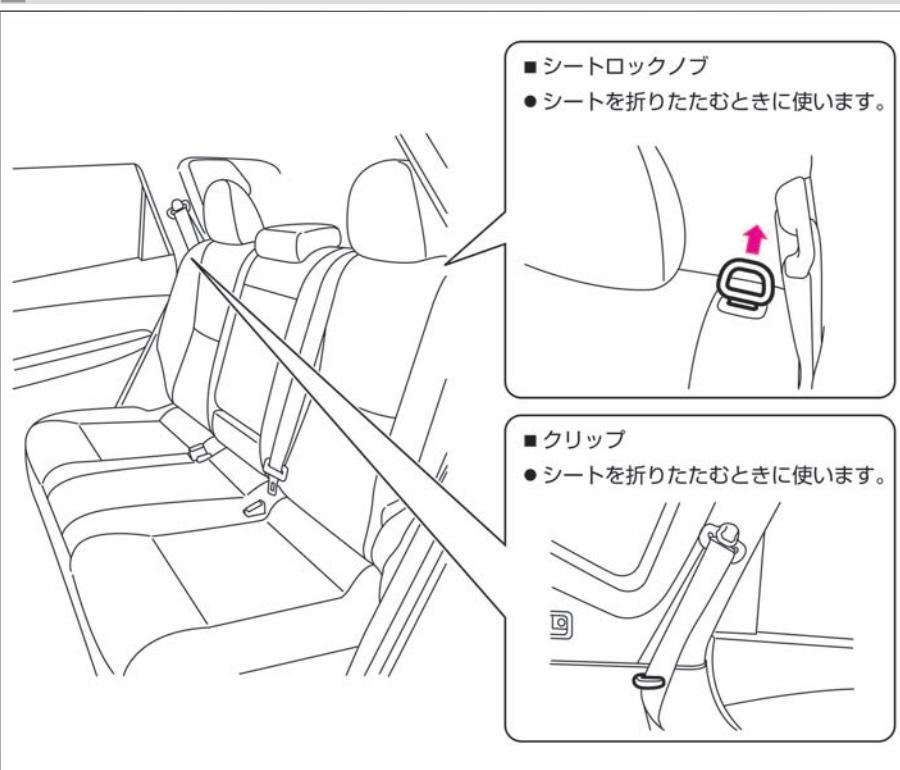
■ ヘッドラストの脱着

- 取り外すときは、ボタンを押しながらヘッドラストを引き上げます。
- 取り付けるときは、ボタンを押しながらヘッドラストを差し込みます。

運転する前に セカンドシート（2列車）

運転をするときは

調節のしかた



運転する前に

セカンドシート（2列車）

■ ヘッドレストの使いかた

セカンドシート左右席

- ヘッドレストの中心が耳の高さになるように調節します。耳の高さにならない場合は、1段上のロックする位置まで上げて使います。
 - 上げるときは、ボタンを押しながら引き上げます。
 - 下げるときは、ボタンを押しながら下げます。

セカンドシート中央席

- ヘッドレストは、格納位置からロックする位置まで上げた状態で使います。

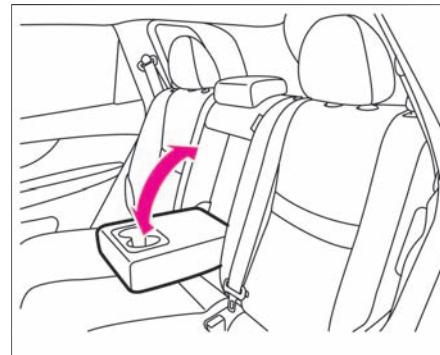
■ ヘッドレストの脱着

- 脱着のしかたは、フロントシートと同じです。
☞ ヘッドレストの脱着 (P.38)

■ アームレストの使いかた

セカンドシート中央にあります。

- アームレストを前に倒します。
- 元に戻すときは、アームレストを起こします。



⚠ 注意

- セカンドシート中央席のヘッドレストは、ロックする位置まで上げ、確実に固定されていることを確認してから使用してください。格納状態では機能が十分に発揮できません。

運転する前に セカンドシート（2列車）

■ セカンドシートの折りたたみかた

セカンドシートを折りたたむことができます。

1	シートベルトをクリップで留めます。	
2	シートロックノブを引きながら、背もたれを前に倒します。	
3	元に戻すときは、背もたれを起こし、手で後方に押し付けてロックします。	

警告

- シートを折りたたんだとき、折りたたんだ背もたれの上に乗らないでください。シートを損傷したり、転んだりして思わぬケガをするおそれがあります。
- 背もたれを起こすときは、背もたれを手で押さえ、ゆっくり戻してください。急に戻すと顔や身体などに当たり、思わぬケガをするおそれがあります。
- シートは必ず固定する位置で使用してください。

注意

- 物や飲物などを置いたままシートを折りたたまないでください。物を壊したり室内を汚すおそれがあります。

アドバイス

- フロントシートに当たりシートが折りたためないときは、ヘッドレストを格納するか、フロントシートの前後位置を調節してください。

調節のしかた



- 前後位置の調節
- レバーを引いたまま、調節したい方向にシートを動かします。

- 背もたれの角度調節
- レバーを引いたまま調節したい方向に背もたれを動かします。



- ストラップ
- シートを折りたたむときに使います。



運転する前に セカンドシート（3列車）

■ ヘッドレストの使いかた

セカンドシート左右席

- ヘッドレストの中心が耳の高さになるように調節します。耳の高さにならない場合は、1段上のロックする位置まで上げて使えます。
 - 上げるときは、ボタンを押しながら引き上げます。
 - 下げるときは、ボタンを押しながら下げます。

セカンドシート中央席

- ヘッドレストは、格納位置からロックする位置まで上げた状態で使えます。

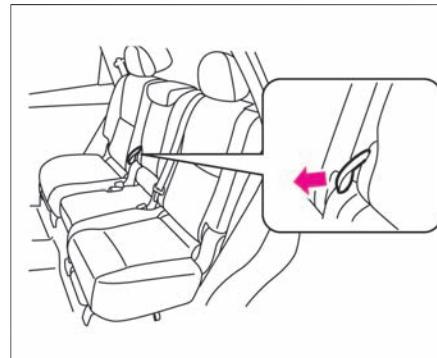
■ ヘッドレストの脱着

- 脱着のしかたは、フロントシートと同じです。
 [ヘッドレストの脱着 \(P.38\)](#)

■ アームレストの使いかた

セカンドシート中央にあります。

- セカンドシート中央席にあるストラップを引いて、アームレストを前に倒します
- 格納するときは引き上げます。



注意

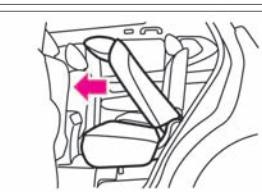
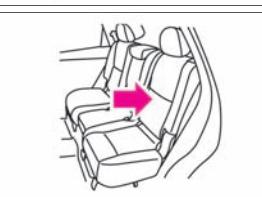
- セカンドシート中央席のヘッドレストは、ロックする位置まで上げ、確実に固定されていることを確認してから使用してください。格納状態では機能が十分に発揮できません。

運転する前に

セカンドシート（3列車）

■ サードシートへの乗り降り（ウォークイン機構）

サードシートへ乗り降りするとき、セカンドシートを前方にスライドさせ、乗り降りを楽しむことができます。

1	リクライニングレバーを引いて、背もたれが止まるところまで傾けます。	 リクライニングレバー
2	シートを前方にスライドさせます。	
3	戻すときは、シートを後方にスライドさせたあと、背もたれを起こして固定します。	

！警告

- ウォークイン機構を作動させるとときは背もたれを手で押さえ、ゆっくり作動させてください。急に背もたれが倒れたりシートがスライドすると、顔や身体などに当たったり、手や足を挟んだりして思わぬケガをおそれがあります。
- 背もたれを倒したまま走行しないでください。シートベルトが効果を十分発揮せず、衝突時などに身体がシートベルトの下に入り込み、ベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。
- シートは必ず固定する位置で使用してください。

！注意

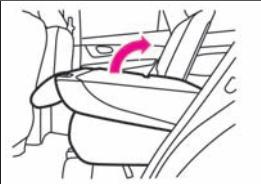
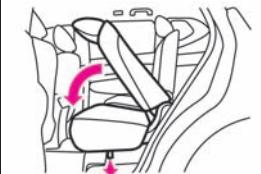
- 物や飲物などを置いたままウォークイン機構を作動させないでください。物を壊したり室内を汚すおそれがあります。

運転する前に セカンドシート（3列車）

■ セカンドシートの折りたたみかた

セカンドシートを折りたたむことができます。

- 1** リクライニングレバーを引いて、背もたれが止まるところまで傾けます。
- 2** ストラップを横に引いて、さらに背もたれを倒します。
- 3** 元に戻すときは、背もたれを起こします。



警告

- シートを折りたたんだとき、折りたたんだ背もたれの上に乗らないでください。シートを損傷したり、転んだりして思わぬケガをするおそれがあります。
- シートは必ず固定する位置で使用してください。

注意

- 物や飲物などを置いたままシートを折りたたまないでください。物を壊したり室内を汚すおそれがあります。

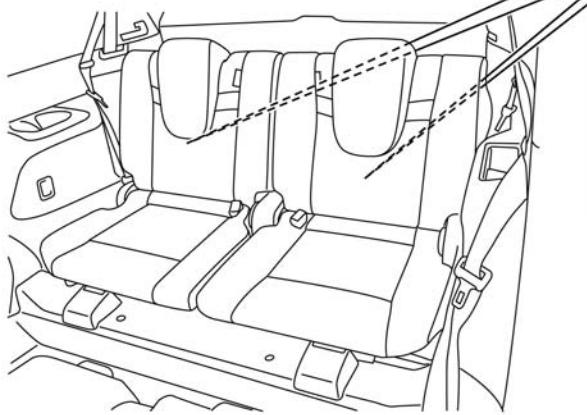
アドバイス

- フロントシートに当たりシートが折りたためないときは、ヘッドレストを格納するか、シートの前後位置を調節してください。

運転する前に
サードシート★

運転をするときは

調節のしかた



- 背もたれの角度調節
- ストラップを引いたまま背もたれを傾げると調節できます。

注意

- サードシートに乗車するときは、セカンドシートのスライド位置を一番後ろから1段以上前の位置にしてください。

運転する前に サードシート★

■ ヘッドラストの使いかた

- ヘッドラストは、格納位置からロックする位置まで上げた状態で使います。

■ ヘッドラストの脱着

- ヘッドラストの脱着のしかたは、フロントシートと同じです。
 [ヘッドラストの脱着 \(P.38\)](#)

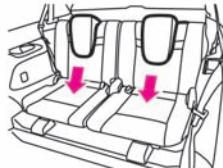
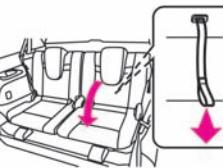
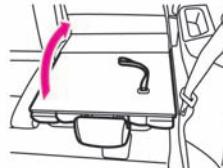
⚠ 注意

- ヘッドラストはロックする位置まで上げ、確実に固定されていることを確認してから使用してください。格納状態では機能が十分に発揮できません。

運転する前に サードシート★

■ サードシートの折りたたみかた

シートを倒してラゲッジスペースを広げることができます。

1	ヘッドレストを一番下に下げます。	
2	ストラップを引いたまま背もたれを前に倒します。	
3	元に戻すときは、背もたれをロックする位置まで戻してから、ストラップを引いて背もたれの角度を調節します。	

! 警告

- シートに人が乗っていたり、物や飲物などを置いたまま操作を行うと、ケガをしたり、物を壊したり、室内を汚すことがあります。特にストラップで背もたれを倒すときは、シートで前方が見えにくいので注意してください。
- シートを元の位置に戻したときは、ロックが確実に固定されたことを確認してください。

! 知識

- ラゲッジルームから背もたれを元に戻すときは、ストラップを引いて起こすこともできます。

運転する前に

ELR（緊急固定）付3点式シートベルト

通常は身体の動きに合わせて伸縮しますが、衝突時など強い衝撃を受けると、ベルトが自動的にロックし身体を固定します。

シートベルトのつけかた

1	<p>タングを持ってベルトをゆっくり引き出します。ベルトを腰骨のできるだけ低い位置に掛け、たるみがないように密着させます。</p>	
2	<p>ベルトがねじれないようにして、タングをバックルに“カチッ”と音がするまで確実に差し込みます。</p>	
3	<p>肩ベルトのアンカー位置の高さを調節します。 (前席のみ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ノブを引きながらアンカー部を上下させ、ベルトが肩に確実に掛かる位置に調節し手を離します。 手を離したあと、“カチッ”と音がするまで動かし固定させます。 	
4	<p>外すときは、バックルのボタンを押し、タングを持ってゆっくり戻します。</p>	

警告

- 肩ベルトのアンカー位置は確実に肩に掛かるように調節してください。また、アンカーは確実に固定されていることを確認してください。ベルトが肩から外れたり、万一のときシートベルトが十分効果を発揮せず、重大な傷害につながるおそれがあります。

アドバイス

- ベルトがロックして引き出せないときは、一度ベルトを強く引いてからゆるめ、再度ゆっくり引き出してください。

運転する前に

ELR（緊急固定）付3点式シートベルト

■ 前席ロードリミッター付プリテンショナーシートベルト

- 正面衝突など車両前方から強い衝撃を受けたとき、装着したシートベルトを瞬時に巻き取るプリテンショナーと乗員に加わるシートベルトの拘束力を一定レベルに保つロードリミッターが付いています。
- 衝撃の強さなどによっては、運転席・助手席SRSエアバッグシステムと同時に作動する場合と、プリテンショナーのみ作動する場合があります。
 SRSエアバッグ (P.9)
- 運転席にはダブルプリテンショナー機構が付いています。ラップアウタープリテンショナーが腰部シートベルトの緩みを引き込み、肩部のロードリミッター付プリテンショナーと合わせて乗員の拘束性能を高めます。

⚠ 警告

- プリテンショナーシートベルトの部品や配線を修理したり、電気スターを使ってプリテンショナーのシステムの回路診断をしないでください。誤って作動したり、正常に作動しなくなるおそれがあります。

⚠ 注意

- キースイッチ（電源ポジション）をON後約7秒間はシステムチェックを行うため、プリテンショナーは作動しません。SRSエアバッグ警告灯が消灯してから走行してください。

☁ アドバイス

- 廃車にするときやプリテンショナーシートベルトを廃棄するときは、必ず日産販売会社にご相談ください。
- プリテンショナーが作動したとき作動音や白煙が出ますが、火災ではありません。
- プリテンショナーは、一度作動すると再使用できません。衝突を起こしたときは必ず日産販売会社で点検を受け、作動済みの場合は交換してください。

運転する前に

ELR（緊急固定）付3点式シートベルト

■ シートベルトの注意事項

走行する前に全員が必ずシートベルトを着用してください。シートベルトは正しい姿勢で正しく着用しないと、シートベルトの効果が十分発揮できなかつたり、ベルトによりケガなどをするおそれがあります。

使用方法、警告に従って正しく着用してください。



警告

- 走行する前に全員がシートベルトを着用してください。着用しないと、万一の事故時や急ブレーキ時に、生命にかかわる重大な傷害につながるおそれがあります。
- シートベルトを正しく着用しないと、万一のとき重大な傷害につながるおそれがあります。着用するときは以下のことを必ずお守りください。
 - 運転者は正しい運転姿勢で、同乗者は正しい着座姿勢で着用してください。
 - ベルトは1人用です。2人以上で1本のベルトを使わないでください。
 - ベルトはねじれた状態で着用しないでください。ねじれがあるとベルトの幅が狭くなり、万一のとき衝撃力が分散できず、局部的に強い力を受けることがあります。
 - 腰部ベルトは腰骨のできるだけ低い位置にぴったりと着用してください。ベルトが腰骨からずれていると、腹部に強い圧迫を受けることがあります。
 - 肩ベルトは脇の下を通さず、確実に肩に掛けてください。肩に十分掛かっていないと、上半身を拘束しないことがあります。
 - シートベルトをクリップなどで故意にたるみをつけ、身体から浮いた状態に調節しないでください。ベルトにたるみがあると、十分な効果を発揮しないことがあります。
- シートの背もたれを倒したまま走行しないでください。シートベルトが効果を十分発揮せず、衝突時などに身体がシートベルトの下に入り込み、ベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。
- バックルや巻き取り装置の中に異物を入れないでください。シートベルトが正常に機能を発揮せず、万一のとき重大な傷害につながるおそれがあります。

運転する前に

ELR（緊急固定）付3点式シートベルト



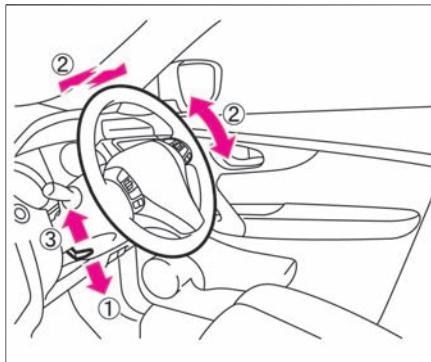
警告

- 妊娠中や疾患のある方も、万一のときのためにシートベルトを着用してください。ただし、局部的に強い圧迫を受けるおそれがあるため医師に相談し、注意事項を確認してください。妊娠中の方は、腰ベルトを腹部から避けて腰部のできるだけ低い位置にぴったりと着用してください。肩ベルトは、確実に肩を通し、腹部を避けて胸部に掛かるように着用してください。
- お子さまにも必ずシートベルトを着用させてください。お子さまをひざの上に抱いていると、衝突時などにお子さまを支えることができず、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。
- シートベルトが首や顔に当たるなど、適正な着用ができない小さなお子さまには、チャイルドシートをお使いください。
 チャイルドシート (P.25)
- 一度強い衝撃を受けたシートベルトやベルト部分に傷がついたり破れたりしているシートベルトは、機能を十分発揮しないことがあります。事故などにより衝撃を受けたり傷がついた場合は、日産販売会社に点検を依頼してください。
- シートベルトの清掃は中性洗剤かぬるま湯で行い、乾かしてからお使いください。ベンジンやガソリンなどの有機溶剤は絶対に使わないでください。ベルトの性能が落ち、シートベルトが機能を十分発揮しないことがあります。

運転する前に ハンドル

ハンドル位置の調節

- ① レバーを押し下げます。
- ② ハンドルを前後・上下に動かし、適切な位置で止めます。
- ③ レバーを引き上げ固定します。

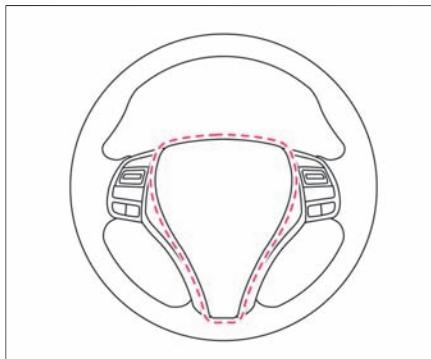


警告

- ハンドルの調節は、安全のため必ず走行前に行ってください。走行中に調節をすると、前方不注意となり危険です。
- 調節したあとは、確実に固定されたことを確認してください。ハンドルが固定されていないと突然運転姿勢が変わり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ホーンの使いかた

ホーンを鳴らすには、ハンドル中央のパッド面を押します。



運転する前に ルームミラー

手動防眩式ルームミラー

ミラー本体を持ち、角度を調節して適切な位置に合わせます。

- 夜間など後続車のヘッドライトがまぶしいときは、防眩切り替えレバーを手前に引くと反射が弱くなります。
- 昼間など通常走行時は防眩切り替えレバーを元の位置に戻してお使いください。



⚠️ 警告

- ミラーの調節は安全のため必ず走行前に行ってください。また、防眩への切り替えは必要なときのみ行ってください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

🚗 アドバイス

- ルームミラーのまわりに無線機やアクセサリーなどを取り付けたり、配線から電源をとったりしないでください。リモコンまたはインテリジェントキーの電波受信機が内蔵されているため、ドアの施錠・解錠が正常に作動しなくなるおそれがあります。また、インテリジェントキー付車は、インテリジェントキー機能によるエンジンの始動などができるなくなるおそれがあります。

運転する前に

ドアミラースイッチ

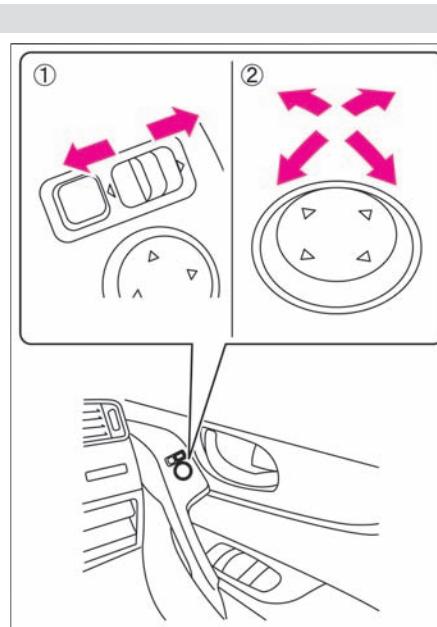
ドアミラースイッチは運転席のアームレスト付近にあります。

キースイッチ（電源ポジション）がONまたはOFFでACC状態のときに操作できます。

ACC状態については、オートACC機能（ P.63）をお読みください。

角度の調節

- ① 左右切り替えスイッチを調整する側に動かします。
- ② 角度調整スイッチを前後・左右に押して、後方が十分確認できる位置に調節します。



警告

- ドアミラーの調節は走行前に行ってください。走行中の調節は前方不注意となり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- ミラーの映像は実際より遠くに見えるので注意してください。

知識

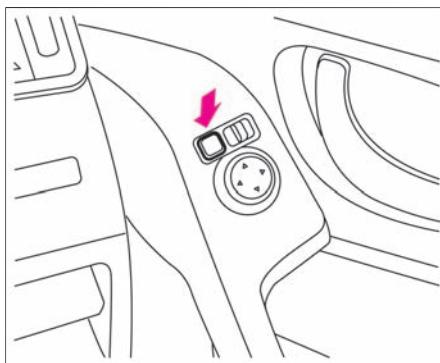
ヒーター付ドアミラー

- キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、リヤデフォッガースイッチ（ P.336）を押すと、ドアミラーに内蔵されたヒーターが作動し霜やくもりを取ります。

運転する前に ドアミラースイッチ

■ 格納のしかた

- スイッチを押すと自動的に格納されます。
- 元に戻すときは、スイッチをもう一度押します。



⚠ 注意

- ミラーが動いているときは手を触れないでください。手を挟んだり、ミラーが故障するおそれがあります。
- ミラーを格納したまま走行しないでください。後方確認ができないため危険です。
- 手動で開閉すると走行中ミラーが前方または後方に倒れるおそれがあります。手動で開閉したあとは、走行前に開閉スイッチで開閉操作を行ってください。

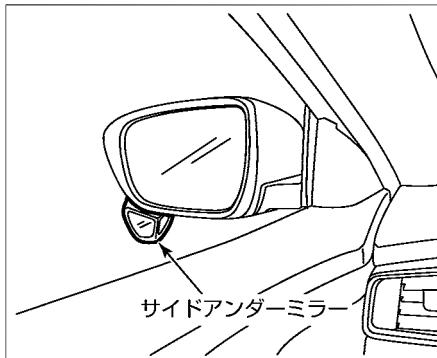
知識

- 開閉スイッチ操作を連続して行うと、途中で停止することがあります。故障ではありません。しばらくしてから作動させてください。
- 次の条件のとき、手動で開閉すると開閉スイッチの位置によりミラーが動き出すことがあります。
 - キースイッチ（電源ポジション）をONにしたとき
 - リモコン（インテリジェントキー）機能で解錠したとき
 - 運転席ドアを開けたとき

運転する前に サイドアンダーミラー★

■ サイドアンダーミラーを使う

- 発進時、車両の左側すぐ下の状況を確認するために使います。
※サイドブレインドモニター付車には付ません。



注意

- 発進時には安全のためサイドアンダーミラーによる周囲の確認と合わせて直接目視確認してください。
- サイドアンダーミラーは車の近くを確認するため、角度が下向きにセットされています。進行中後方を見るときはドアミラーで確認してください。

アドバイス

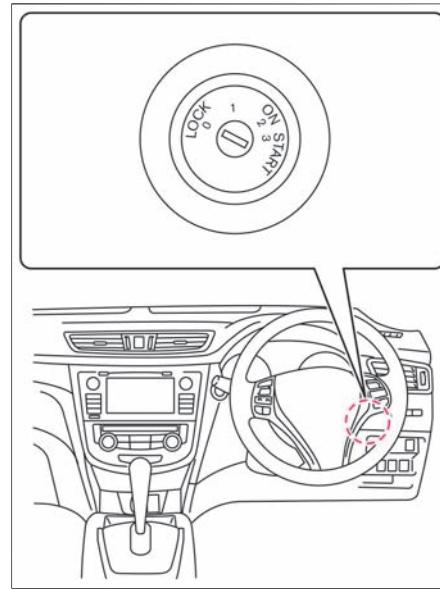
- サイドアンダーミラーは固定式です。破損するおそれがあるため無理に動かさないでください。

始動する

キースイッチ（リモートコントロールエントリーシステム付車）

各キースイッチ位置の働き

キー スイッチ 位置	動き
LOCK (OFF) (0)	<ul style="list-style-type: none"> オーディオ、ドアミラーなどが使える位置 (ACC状態のとき) キーを抜き差しできる位置 (ハンドルがロックされる位置)
(OFF) (1)	<ul style="list-style-type: none"> オーディオ、ドアミラーなどが使える位置 (ACC状態のとき) エンジンを停止する位置
ON (2)	<ul style="list-style-type: none"> すべての電装品が使える位置
START (3)	<ul style="list-style-type: none"> エンジンを始動する位置 (手を離せば自動的にON位置に戻ります)



⚠ 注意

- キーを変形させた状態で使用したり、純正品以外を使用したりしないでください。始動時にキーがSTART位置から戻らなくなり、車両故障やモーターの過熱による火災につながるおそれがあります。

🚗 アドバイス

- バッテリーあがりを防止するため、電装品はエンジンをかけて使ってください。やむをえず使用するときは、長時間使ったり、同時に複数の電装品を使用しないでください。

📖 知識

- キースイッチがOFFのときでも、ACC状態のときにオーディオ、ドアミラーなどの電装品を使うことができます。ACC状態については、オートACC機能（☞P.63）をお読みください。

■ キースイッチの使いかた

- キーをキースイッチに差し込み回します。
- キーを抜くときは、セレクトレバーを **P** にしてからLOCKまで回します。



アドバイス

- セレクトレバーを **P** に入れないでキーを回すと（1）の位置で止まります。その場合は、セレクトレバーを **P** にしたあと、キーをON方向に少し回し、再度LOCKまで回してください。



知識

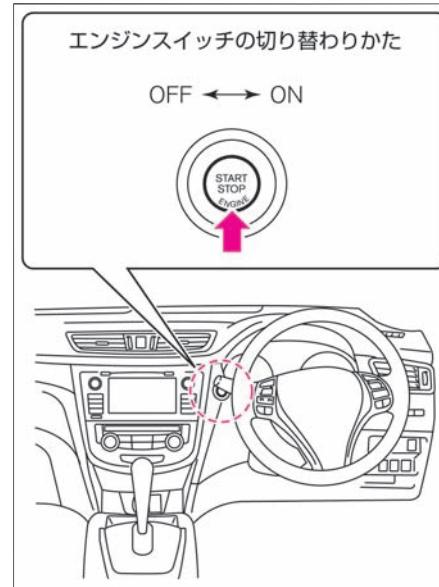
- キーが回りにくいときは、ハンドルを左右に軽く回しながらキーを回してください。
- エンジンを止め、キーを差したまま運転席ドアを開けるとキー抜き忘れ警報が鳴ります。（キースイッチがONのときは鳴りません。）

始動する エンジンスイッチ（インテリジェントキー付車）

各電源ポジションの働き

電源ポジション位置	働き
OFF	<ul style="list-style-type: none"> ● オーディオ、ドアミラーなどが使える位置（ACC状態のとき） ● エンジンを停止する位置
ON	<ul style="list-style-type: none"> ● すべての電装品が使える位置

- インテリジェントキーを携帯しているときに、次の作動をします。
 - ブレーキペダルを踏まずにエンジンスイッチを押すと、電源ポジションが切り替わります。
 - ブレーキペダルを踏みながらエンジンスイッチを押すと、エンジンが始動します。
 - エンジン始動後は、エンジンスイッチを押すとエンジンが停止します。



アドバイス

- バッテリーあがりを防止するため、電装品はエンジンをかけて使ってください。やむをえず使用するときは、長時間使ったり、同時に複数の電装品を使用しないでください。

知識

- 電源ポジションがOFFのとき、ステアリングロックがかからっていない場合は、いずれかのドアを開けるか、または閉めるとステアリングロックが作動します。
- 電源ポジションがOFFの位置でも、ACC状態のときにオーディオ、ドアミラーなどの電装品を使うことができます。
ACC状態については、オートACC機能（P.63）をお読みください。

■ エンジンの非常停止のしかた

緊急時など、走行中にエンジンを強制的に停止させるときは、次のいずれかの操作を行ってください。

- エンジンスイッチをすばやく3回押す
- エンジンスイッチを2秒以上押し続ける



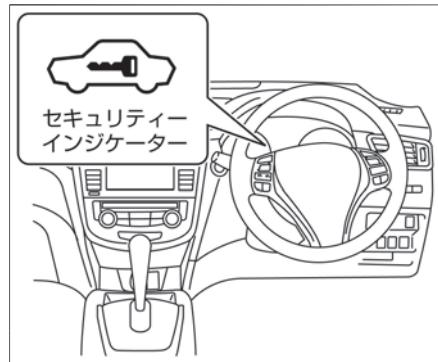
警告

- 非常停止を行うときは、可能な限り減速してから行ってください。エンジンを停止するとブレーキの効きが悪くなり、ハンドルも重くなるため、車両のコントロールが難しくなります。

■ イモビライザー（盗難防止装置）について

車両の盗難に対する防御性能を高めるために、キーに送信機を内蔵し、あらかじめ登録されているキー以外での始動を禁止するシステムです。

- イモビライザーが働いているときは、セキュリティーアンジケーター（☞P.169）が点滅します。



アドバイス

- キースイッチ（電源ポジション）をONにしたときにセキュリティーアンジケーターが点灯し続ける場合は、システムの異常が考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。

知識

- キーに登録された信号は、キーごとに異なります。

始動する

オートACC機能

キースイッチ（電源ポジション）がOFFのときに、特定の条件で、ナビゲーションシステム、ドアミラーなどの電装品が使える状態（ACC状態）に自動で切り替わる機能です。

エンジン停止後や、キースイッチ（電源ポジション）を操作する前でも、ナビゲーションシステム、ドアミラーなどが使用できます。

オートACC機能について

■ ACC状態にするには

- 次の場合、自動でACC状態に切り替わります。
 - リモコン（インテリジェントキー）機能でドアを解錠したとき
 - エンジンを停止したとき

■ ACC状態を停止するには

- 次の場合、ACC状態が完全に停止します。
 - ナビゲーションシステム無車は、ACC状態のまま約13分間経過したとき
 - ナビゲーションシステム付車は、ACC状態のままオーディオおよびナビゲーションの操作を行わずに13分間経過したとき
 - エンジン停止後、リモコン（インテリジェントキー）機能で施錠してから3分間経過したとき

ナビゲーションシステム付車

- オーディオおよびナビゲーションシステムは、エンジン停止後も作動し続けます。エンジン停止後の作動をさせたくないときは、日産販売会社にご相談ください。
- キースイッチ（電源ポジション）OFF後、オーディオおよびナビゲーションの操作をしないと10分間で画面が消灯しますが、その間にオーディオおよびナビゲーションの操作を行った場合は、操作から10分間延長されます。また、運転席ドアを開くと画面が消灯し作動が停止します。このような場合に、画面が消灯しても2分以内に  を押すと画面を表示することができます。オートACCは最大で30分まで延長することができます。
(オーディオおよびナビゲーションシステム以外の電装品は延長することができません。)

アドバイス

- バッテリー上がりを防止するため、電装品はエンジンをかけて使ってください。やむをえず使用するときは、長時間使ったり、同時に複数の電装品を使用しないでください。

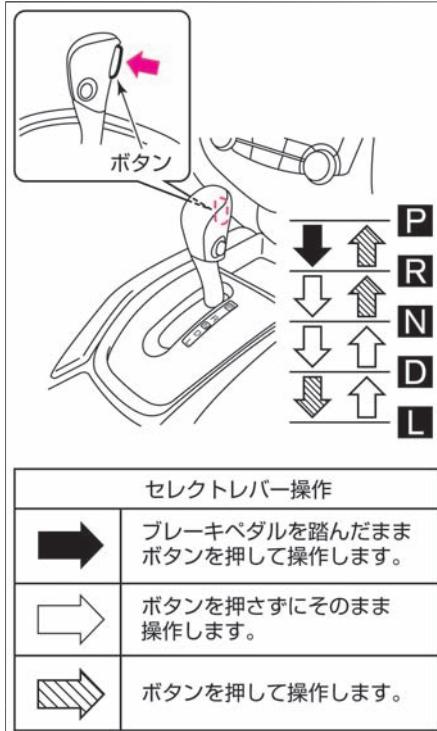
知識

- ディーラーオプションのナビゲーションシステムを取り付けた場合は、キースイッチ(電源ポジション)をOFFになるとオーディオおよびナビゲーションシステムもOFFになります。

走行する セレクトレバー

セレクトレバーの操作

キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、すべてのシフトポジションに切り替えることができます。



警告

- 次のような操作は、トランスマッシュョンを破損し、思わぬ事故につながるおそれがあるため、絶対にしないでください。
 - 車が完全に停止する前に **P**に入れると
 - 車を前進させているときに **R**に入れると
 - 車を後退させているときに **D**、**L**に入れると

アドバイス

- の操作は、ボタンを押さないで操作する習慣をつけてください。ボタンを押して操作すると、意に反して **P**、**R**、**L**に入れてしまうおそれがあります。
- **P**から操作するとき、ボタンを押したままブレーキペダルを踏むと、セレクトレバーを動かせないことがあります。ボタンは、ブレーキペダルを踏んでから押してください。

走行する セレクトレバー

運転をするときは



知識

- セレクトレバーを **R** に切り替えるとブザーが鳴ります。
- 万ーバッテリー上がりなどでセレクトレバーを **P** から動かせないときは、セレクトレバーが動かない(→P.339)をお読みください。

各シフトポジションの働き

シフトポジション	役割
P	駐車およびエンジンを始動するときの位置 <ul style="list-style-type: none">● インテリジェントキー付車は、電源ポジションをOFFにすることができます。● リモートコントロールエントリーシステム付車は、キースイッチをOFFまたはLOCKにすることができます。 (P以外ではキースイッチをLOCKにできません。)
R	後退するときの位置 車内でブザーが鳴り運転者に知らせます。 (車外の人に注意するものではありません)
N	動力が伝わらない状態の位置 (N でもエンジンの始動ができますが、安全のため P で始動してください。)
D	通常走行するときの位置 速度に応じて無段階に自動変速します。また走行状況によってアダプティブシフトコントロール(☞P.67)が働き、より適切に変速します。
L	急な下り坂を走行するときの位置 強いエンジンブレーキが必要なときに使います。 (急な下り坂以外ではなるべく使わないでください。)

走行する セレクトレバー

■ アダプティブシフトコントロール

急な上り下りや、カーブが連続するような道路状況でも快適で安全な走りを実現できるよう自動的に適切なギヤチェンジを行います。

上り坂やカーブでの制御

変速回数の少ないなめらかな走行ができるように、坂の勾配やカーブに応じて低速ギヤを保持します。

下り坂での制御

エンジンブレーキを併用させることで、フットブレーキを使う回数を低減させるように坂の勾配に応じて低速ギヤに切り替えます。

スポーティな走行での制御

アクセルペダルを踏み込んだときにもたつきのないスムーズな加速が得られるように、加減速を繰り返すような連続するカーブでは低速ギヤを保持します。

⚠ 注意

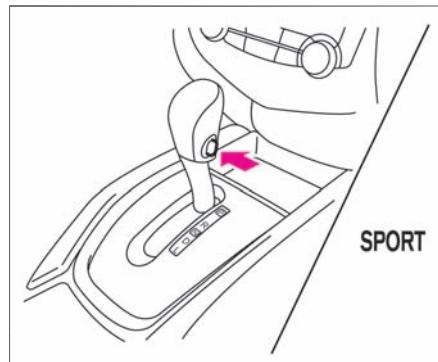
- トランスミッションが、走行開始直後で暖まっていないときや、低速で高負荷な走行を繰り返し過熱しているときは制御が作動しない場合があります。その場合は必要に応じてスポーツモードをONまたはセレクトレバーを■に入れ、シフトダウンしてください。

走行する セレクトレバー

■ スポーツモードスイッチの使いかた

- セレクトレバーが **D** のとき使えます。
- 通常走行するときはスイッチを押してメーター内の表示灯を消灯させます。
(スポーツモードOFF状態)
- スポーティな走行をするときや、下り坂で軽いエンジンブレーキをかけたいときはスイッチを押してメーター内の表示灯を点灯させます。
(スポーツモードON状態)

スポーツモード (メーター内表 示灯)	動き
ON (点灯)	登坂路走行、パワフル走行など走りを重視した走行や、下り坂で軽いエンジンブレーキをかけることができます。
OFF (消灯)	燃費性能など、経済性を重視した走行ができます。



知識

- セレクトレバーを **D** 以外にすると自動的にスポーツモードがOFFになります。
- スポーツモードではエンジンが高出力を発生する回転域を使用したギヤ比が自動的に選択されます。

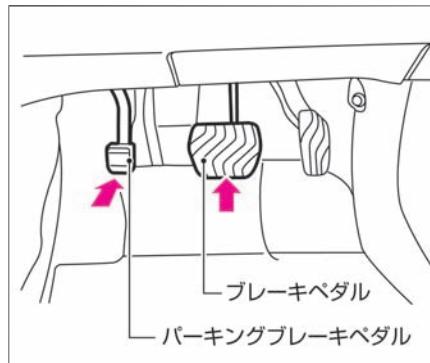
走行する

パーキングブレーキ

パーキングブレーキをかけると後輪が固定されます。

パーキングブレーキのかけかた

パーキングブレーキをかけるときは、右足でブレーキペダルを踏みながら、左足でパーキングブレーキペダルをいっぱいに踏み込みます。



パーキングブレーキの解除

解除するときは、右足でブレーキペダルを踏みながら、左足でパーキングブレーキペダルを“カチッ”と音がするまで踏み、ゆっくりと離します。

警告

- パーキングブレーキをかけたまま走行しないでください。ブレーキが過熱しブレーキの効きが悪くなり、思わず事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 駐車するときは、必ずパーキングブレーキをかけてください。
- パーキングブレーキをかけたあとにパーキングブレーキをかけ直したいときは、一度解除してから踏み込み直してください。

知識

- パーキングブレーキを解除し忘れたまま走行すると（約7km/h以上）、メーター内のディスプレイに警告が表示され、ブザーが鳴ります。

③ 警告灯 (P.163)

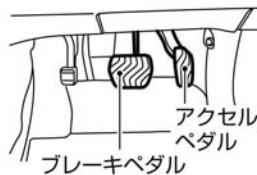
③ ドライブインジケーター (P.195)

走行する 発進（リモートコントロールエントリーシステム付車）

始動のしかた

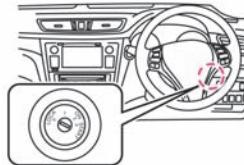
1

アクセルペダルとブレーキペダルの位置を確認し、正しい運転姿勢（P.36）がとれるようにハンドル、シート位置を調節します。



2

ブレーキペダルをしっかりと踏みながら、キースイッチをSTARTまで回します。



⚠️ 警告

- ペダルの踏み間違いは思わぬ事故につながります。右足でアクセルペダルとブレーキペダルを交互に踏み、その位置を確実に覚えてください。

⚠️ 注意

- 始動するときは、必ず運転席に座って行ってください。車外から行うと、思わぬ事故につながるおそれがあります。

📖 知識

- ブレーキペダルを踏んだり離したりしたとき、“カチッ”と音が聞こることがありますが異常ではありません。

エンジンがかかりにくいときは

- ブレーキペダルを踏みながら、アクセルペダルをいっぱいに踏み込んでキースイッチをSTARTの位置まで約5秒間回し続けてください。その後、手順1、2の操作をしてください。

エンジンが暖まっているときの始動

- 高速走行後や登坂走行後などエンジンがかかりにくいときは、アクセルペダルを少し（踏み込み量の約1/5）

 知識

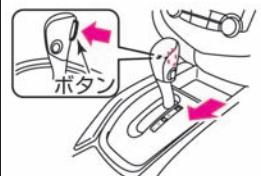
踏み込んだ状態でエンジンを始動し、エンジンがかかったら、アクセルペダルをエンジン回転数の上昇に合わせて徐々に戻して始動します。

走行する 発進（リモートコントロールエントリーシステム付車）

発進のしかた

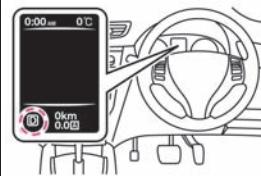
1

ブレーキペダルを右足でしっかりと踏んだまま、ボタンを押してセレクトレバーを動かします。
前進するときは**D**に入れます。
後退するときは**R**に入れます。



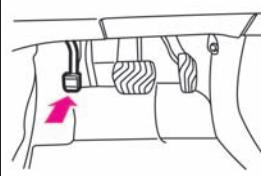
2

シフトポジションが切り替わったことを目で確認します。



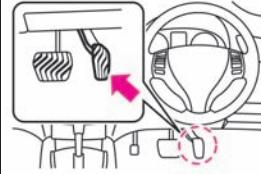
3

パーキングブレーキペダルを踏み、パーキングブレーキを解除します。



4

ブレーキペダルを徐々にゆるめ、アクセルペダルをゆっくり踏み発進します。



警告

- 発進時は、絶対にアクセルペダルを踏んだままセレクトレバーを操作しないでください。急発進し、重大な事故につながるおそれがあります。

注意

- セレクトレバーが**P**、**N**以外にあると、クリープ現象で車が動き出すで、ブレーキペダルをしっかりと踏んでください。

知識

- 急な上り坂で発進するときは、ヒルスタートアシスト（P.114）が作動します。

走行する

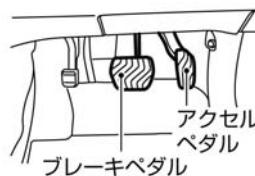
発進（インテリジェントキー付車）

インテリジェントキーが作動範囲内にあるときは、キーを取り出すことなく始動できます。
インテリジェントキーは、必ず運転者が携帯してください。

始動のしかた

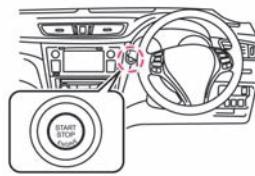
1

アクセルペダルとブレーキペダルの位置を確認し、正しい運転姿勢（ P.36）がとれるようにハンドル、シート位置を調節します。



2

ブレーキペダルをしっかりと踏みながら、エンジンスイッチを1回押します。



警告

- ペダルの踏み間違いは思わぬ事故につながります。右足でアクセルペダルとブレーキペダルを交互に踏み、その位置を確実に覚えてください。

注意

- 始動するときは、必ず運転席に座って行ってください。車外から行うと、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- インテリジェントキーの電池が消耗しているときや、強い電波、ノイズのある場所では、作動範囲が狭くなったり、作動しないことがあります。

 インテリジェントキー★で始動できない（P.325）

走行する 発進（インテリジェントキー付車）

知識

- エンジンの始動を連続して行うと保護機能が作動し、エンジンがかからなくなることがあります。その場合は、3分以上待ってから再度エンジンスイッチを押して始動してください。
- ブレーキペダルを踏んだり離したりしたとき、“カチッ”と音が聞こえることがあります（異常ではありません）。

エンジンがかかりにくいときは

- ブレーキペダルを踏みながら、アクセルペダルをいっぱいに踏み込んでエンジンスイッチを一度押してください。

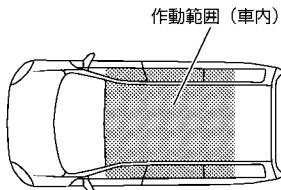
ブレーキペダル、アクセルペダルは離さず、約5秒後にもう一度エンジンスイッチを押してください。その後、手順1、2の操作をしてください。

エンジンが暖まっているときの始動

- 高速走行後や登坂走行後などエンジンがかかりにくいときは、アクセルペダルを少し（踏み込み量の約1/5）踏み込んだ状態でエンジンを始動し、エンジンがかかったら、アクセルペダルをエンジン回転数の上昇に

知識

- 合わせて徐々に戻して始動します。
- インテリジェントキーによるエンジン始動の作動範囲は車両室内です。（ラゲッジルーム内は除きます。）



走行する 発進（インテリジェントキー付車）

運転をするときは

発進のしかた

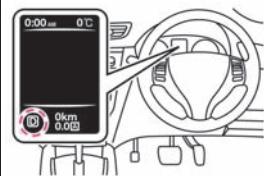
1

ブレーキペダルを右足でしっかりと踏んだまま、ボタンを押してセレクトレバーを動かします。
前進するときは**D**に入れます。
後退するときは**R**に入れます。



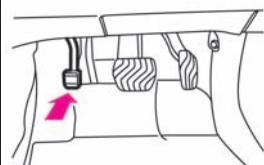
2

シフトポジションが切り替わったことを目で確認します。



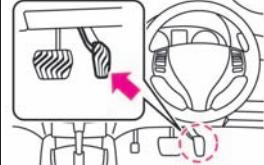
3

パーキングブレーキペダルを踏み、パーキングブレーキを解除します。



4

ブレーキペダルを徐々にゆるめ、アクセルペダルをゆっくり踏み発進します。



警告

- 発進時は、絶対にアクセルペダルを踏んだままセレクトレバーを操作しないでください。急発進し、重大な事故につながるおそれがあります。

注意

- セレクトレバーが**P**、**N**以外にあると、クリープ現象で車が動き出すので、ブレーキペダルをしっかりと踏んでください。

知識

- 急な上り坂で発進するときは、ヒルスタートアシスト（P.114）が作動します。

走行する 走行

走行のしかた

- セレクトレバーを**D**にしたまま走行します。
- アクセルペダルとブレーキペダルの操作で、加速、減速を行います。
アクセルペダルの踏みかげんと走行速度や走行状況などにより、適切なギヤに自動変速されます。
- 高速道路の入り口などで急加速したいときは、アクセルペダルをいっぱいに踏み込みます。
キックダウンし急加速します。
- 下り坂では、エンジンブレーキを併用して走行します。セレクトレバーが**D**でも、アクセルペダルを戻すと自動的にエンジンブレーキが得られます。
また、坂の勾配に応じて強いエンジンブレーキが必要な場合は、**L**に入れます。
勾配のゆるい下り坂では、スポーツモードにしても、軽いエンジンブレーキが得られます。

⚠ 警告

- セレクトレバーを**D**にしたまま下り坂を走行すると、エンジンブレーキの効きが弱く、スピードが出すぎることがあります。このようなときは、フットブレーキだけを使い続けると、フットブレーキに負担がかかり、過熱してブレーキの効きが悪くなるおそれがあります。必ずエンジンブレーキを併用してください。
- 滑りやすい路面では、急激なエンジンブレーキは効かせないでください。タイヤがスリップするおそれがあり危険です。

⚠ 注意

- 走行中はセレクトレバーを**N**にしないでください。エンジンブレーキが全く効かなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、トランスミッションが故障する原因となります。
- 上り坂ではクリープ現象を利用した停車や、アクセルペダルを踏みながら停車状態を保つような停車はしないでください。
- 上り坂でセレクトレバーを**D**のまま故意に車両を後退させたり、下り坂

⚠ 注意

で**R**のまま故意に車両を前進させたりしないでください。事故につながるおそれがあります。

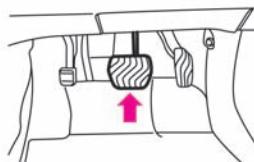
- 冠水路など深い水たまりは無理に走行しないでください。エンジン破損や車両故障につながるおそれがあります。

走行する 停車・駐車

停車・駐車のしかた

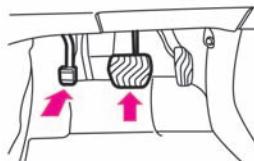
1

停車するときは、セレクトレバーは**D**のままで、ブレーキペダルをしっかりと踏みます。



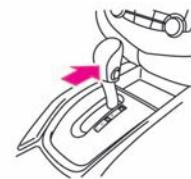
2

そのまま駐車するときは、ブレーキペダルを踏んだままパーキングブレーキをかけます。



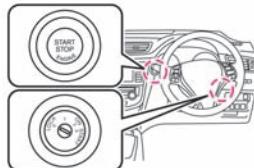
3

セレクトレバーを**P**に入れ、目で確認します。セレクトレバーを**P**に入れると駆動輪が固定されるため、車が動き出す心配がなく安全です。



4

キースイッチを左側に回す、またはエンジンスイッチを1回押すと、エンジンが停止します。



⚠ 警告

- 停車中の空ぶかしはしないでください。万一、セレクトレバーが**P**、**N**以外にあると急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。停車後の再発進は、セレクトレバーの位置を目で確認してください。

⚠ 注意

- 枯れ草、紙、木材、油など燃えやすい物の上や近くには駐・停車しないでください。排気管や排気ガスは高温になるため着火するおそれがあり危険です。
- 車から離れるときは、必ずセレクトレバーを**P**に入れ、エンジンを停止してください。エンジンがかかったままで、セレクトレバーが**P**、**N**以外に入っていると、クリープ現象で車が動き出したり、誤ってアクセルペダルを踏み込むと急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 長期間車両を駐車していると、小動物が巣を作り、思わぬ火災につながる可能性があります。

走行する 停車・駐車

アドバイス

- 上り坂で停車するときは、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。
- 炎天下で駐車するときは、車室内にライターや炭酸飲料の缶、サングラス、カメラなどを置いたままにしないでください。車室内が高温になり、爆発したり変形するおそれがあります。

知識

- 屋根の低い車庫や立体駐車場など、アンテナが当たるような場所ではアンテナを倒してください。

走行する ECOモード

ECOモードは、エンジンとCVTの作動を自動制御して、急加速を抑えることで燃費の向上をサポートするシステムです。

ECOモードの使いかた

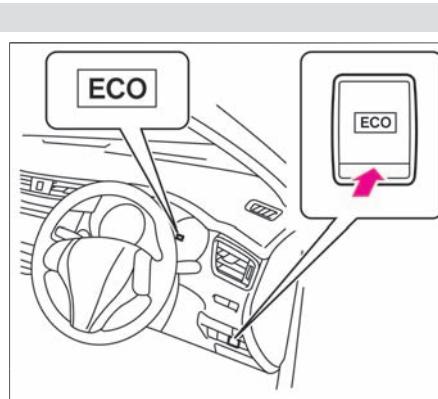
ECOモードを作動させるときは、ECOモードスイッチを押します。

(ECOモードインジケーターが点灯)

ECOモードスイッチをもう一度押すと、ECOモードは解除されます。

(ECOモードインジケーターが消灯)

- アクセルペダルを踏んでいるときにECOモードスイッチを押しても、ECOモードは解除できません。アクセルペダルから足を離し、ECOモードスイッチを押してください。
- システムに異常が発生したときは、自動的にECOモードが解除されます。
- 次のような場合は、ECOモードを解除してください。
 - 乗車人数や荷物量が多いとき
 - 急な上り坂を走行するとき



走行する ECOモード

■ エコドライブナビゲーター

ECOモードがONのとき、メーター内のディスプレイを「燃費情報」に切り替えると表示します。

詳しくは、ドライブコンピューター（☞P.180）をお読みください。

① アンビエントランプ

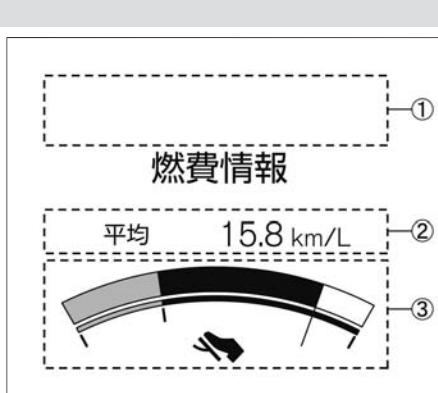
エコレベルが増えるほどランプが大きくなります。

② 平均燃費

リセットしてから次にリセットするまでの平均燃費を表示します。

③ ペダルガイド

走行中に、車速に応じたアクセルペダルの踏み加減を表示します。エコ運転領域内になるように調整することで、エコドライブにつながります。



知識

- メーター内のディスプレイで「設定」⇒「メーターセッティング」⇒「エコモード設定」⇒「エコインジケーター」を選択すると、アンビエントランプの表示・非表示を切り替えることができます。

☞ ドライブコンピューター（P.180）
設定の詳細については、メーターセッティング（☞P.190）をお読みください。

- メーター内のディスプレイで「設定」⇒「メーターセッティング」⇒「エコモード設定」⇒「エコメーター表示」を選択すると、ペダルガイド表示と瞬間燃費表示を切り替えることができます。

☞ ドライブコンピューター（P.180）
設定の詳細については、メーターセッティング（☞P.190）をお読みください。

走行する ECOモード

瞬間燃費計

ECOモードがOFFのとき、メーター内のディスプレイを「燃費情報」に切り替えると表示します。

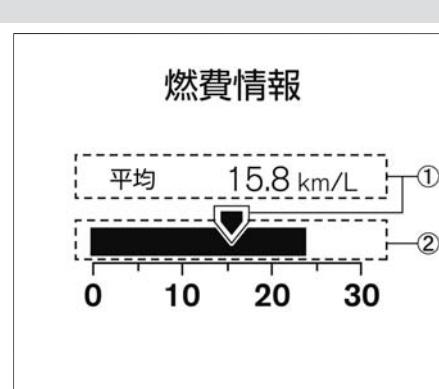
詳しくは、ドライブコンピューター（❷P.180）をお読みください。

① 平均燃費

リセットしてから次にリセットするまでの平均燃費を表示します。

② 瞬間燃費

走行中の瞬間燃費を表示します。



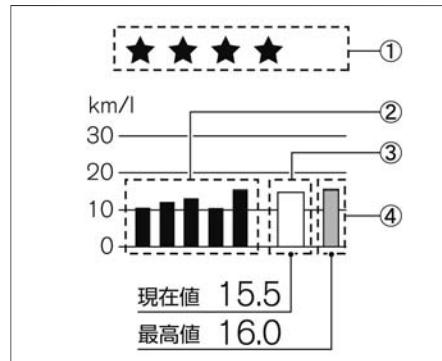
走行する ECOモード

■ エコマネージメント

キースイッチ（電源ポジション）をOFFにするとエコマネージメント画面を表示します。

ECO評価などの結果表示は、ECOモードで約10分以上走行したときに表示します。

- ① ECO評価
ECO ドライブするほど★が増えます。
★は1～5段階で表示されます。
- ② 過去5回（履歴）
過去5回分の平均燃費を表示します。
- ③ 今回の平均燃費
今回の平均燃費を表示します。
- ④ Best燃費
過去のBest燃費を表示します。



知識

メーター内のディスプレイで「設定」⇒「メーターセッティング」⇒「エコドライブレポート」⇒「表示」を選択すると、エコマネージメント表示のON・OFFを切り替えることができます。

② ドライブコンピューター (P.180)
設定の詳細については、メーターセッティング (② P.190) をお読みください。

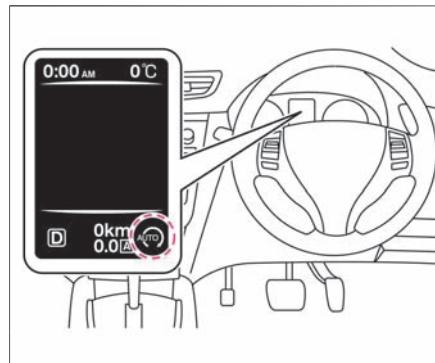
走行する アイドリングストップ

車両を停車させると、自動的にエンジンを停止させ、再び走行するときは自動的にエンジンを始動することで、アイドリングによる排気ガスの発生や騒音を抑制するとともに燃費を向上させます。

アイドリングストップの使いかた

走行中にアイドリングストップする条件を満たすと、メーター内のディスプレイにあるアイドリングストップ表示が点灯します。

- セレクトレバーが **L** または **D** の状態でブレーキペダルを踏み停車すると、自動的にエンジンが停止します。
- ブレーキペダルから足を離すと自動的にエンジンが再始動します。



注意

- アイドリングストップによるエンジン停止中に車両が動き出した場合（約2km/h以上）は、エンジンが自動的に再始動するため、すみやかにブレーキペダルを踏んでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

知識

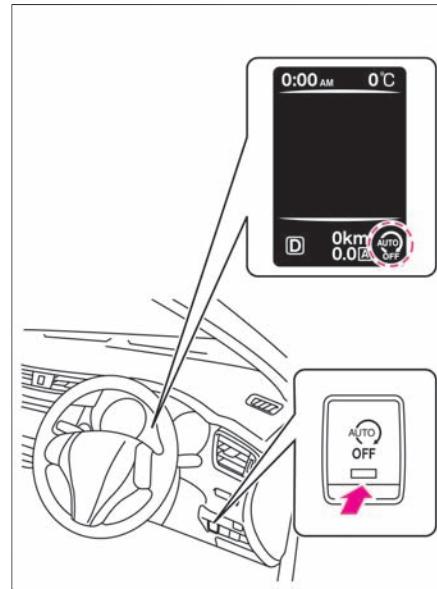
- メーター内のディスプレイにあるアイドリングストップ表示で、アイドリングストップの状態をお知らせします。
☞ アイドリングストップ表示 (P.176)
- メーター内のディスプレイでアイドリングストップの積算時間と節約した燃料の量などを確認できます。
詳しくは、ドライブコンピューター
(☞ P.180) をお読みください。

走行する アイドリングストップ

■ アイドリングストップOFFスイッチ

アイドリングストップの作動をやめたいときには

- アイドリングストップOFFスイッチを押すと、作動を停止します。
(スイッチの表示灯とメーター内のディスプレイにあるアイドリングストップOFF表示が点灯)
- もう一度スイッチを押すか、エンジンを再始動するとアイドリングストップは作動を回復します。
(スイッチの表示灯が消灯)



知識

- アイドリングストップ中にスイッチを押すと、エンジンは再始動します。
- アイドリングストップOFFスイッチを押すと、メーター内のディスプレイでOFFにしたことをお知らせし、アイドリングストップOFF表示が点灯します。再度アイドリングストップOFFスイッチを押すと、アイドリングストップがONになったことをお知らせします。

■ アイドリングストップ警告ブザー

- アイドリングストップ中にエンジンフードが開いたときにブザーが鳴ります。



知識

- エンジンフードが開いていないか確認してください。エンジンフードが開いていると、通常のエンジン停止状態となります。その場合はエンジンをかけ直してください。

走行する アイドリングストップ

■ アイドリングストップについて

⚠ 注意

- アイドリングストップによるエンジン停止中に車両が動き出した場合（約2km/h以上）は、エンジンが自動的に再始動するため、すみやかにブレーキペダルを踏んでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

🚗 アドバイス

- 充放電能力と寿命性能を強化したアイドリングストップ付車専用のバッテリーをご使用ください。専用バッテリー以外を使用すると、バッテリーの早期劣化やアイドリングストップが正常に作動しなくなる原因となります。
- バッテリーはお客様の車に適合した日産純正部品をおすすめします。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

📖 知識

- 次のような場合は、アイドリングストップしません。（室内外の温度やエアコンの作動状況によっては下記の条件以外でも、アイドリングストップしない場合があります。）
 - エンジンを始動して、一度も走行しないでアイドリングを続いているとき
 - エンジン冷却水の温度が低いとき
 - バッテリーの容量が低いとき
 - バッテリーの温度が低い
 - 車両が動いているとき
 - ブレーキ倍力装置の負圧が低下したとき。
 - エンジン回転中にエンジンフードを開けたとき
 - エンジンフードを開けた状態でエンジンを始動させたとき

走行する アイドリングストップ

知識

- 運転席のシートベルトが着用されていないとき
 - 運転席ドアが開いているとき
 - ハンドル操作をしているとき
 - アイドリングストップ表示が点滅しているとき
 - アクセルペダルを踏んでいるとき
 - セレクトレバーがRのとき
 - 室内の温度が約20°C以下のとき(オートエアコン付車)
 - 室内の温度が約30°C以上のとき（エアコンがOFFのときはアイドリングストップします）(オートエアコン付車)
 - エアコンの風量が最大のとき(オートエアコン付車)
 - デフロスタースイッチ（❶P.259または❷P.255）がONのとき（外気温によってはアイドリングストップする場合があります）
 - アイドリングストップOFFスイッチがONのとき
 - パワーステアリング警告灯、VDC警告灯が点灯しているとき
 - ブレーキペダルの踏み込みが弱いとき
 - 急勾配の坂道で停車したとき
 - 消費電力が大きいとき
 - 標高約2000m以上の高地のとき
- 次のような場合は、システムが作動するまでに時間がかかる場合があります。
- バッテリーが放電しているとき
 - 外気温が低いまたは高いとき
 - バッテリー交換したあとや、長期間 バッテリー端子を外したあと
- 次のような場合は、アイドリングストップ中にブレーキから足を離しても、エンジンが再始動をしません。

走行する アイドリングストップ



知識

- セレクトレバーが**P**のとき
- 次のような場合は、アイドリングストップ中にブレーキから足を離さなくても、エンジンが再始動をします。（室内外の温度やエアコンの作動状況によっては下記の条件以外でも、エンジンが再始動する場合があります。）
 - アイドリングストップしてから、3分以上経過したとき
 - アイドリングストップOFFスイッチを押したとき
 - 室内の温度が約20°C以下になったとき（オートエアコン付車）
 - 室内の温度が約30°C以上になったとき（エアコンがOFFのときはアイドリングストップし続けます）（オートエアコン付車）
 - エアコンスイッチ、AUTOスイッチ（⇒P255）を押したとき（オートエアコン付車）
 - デフロスタースイッチ（⇒P.259または⇒P.255）をONにしたとき（外気温によってはエンジンが再始動しない場合があります）
 - アクセルペダルを踏んだとき
 - ハンドル操作をしたとき（ハンドルの操作力が重く感じることがあります、異常ではありません）
 - バッテリーの容量が低くなったとき
 - 消費電力が大きいとき
 - 坂道でブレーキを緩め、車両が動き出したとき
 - セレクトレバーを**R**にしたとき
 - セレクトレバーが**L**、**D**、**N**のときにブレーキペダルを緩めたとき
 - セレクトレバーを**N**または**P**から**L**、**D**にしたとき
 - ブレーキペダルを数回踏みおすなどして、ブレーキ装置の負圧が不足したとき
 - 運転席シートベルトを外したり運転席ドアを開けたとき
- このシステムは、信号待ちなどのときに使用し、長時間の停車などの場合はエンジンを停止してください。

走行する アイドリングストップ



知識

- アイドリングストップ中にエンジンフードを開けると、ブザーが鳴るとともに通常のエンジン停止状態となります。その場合は、エンジンをかけ直してください。
- アイドリングストップ中は、エアコン（冷房・暖房・除湿機能）がOFFになり、送風になります。

車両後退抑制機能

- 坂道でアイドリングストップ中から発進するときに、ブレーキペダルからアクセルペダルへの踏み替えの間に発生する車両の後退を軽減するシステムです。
- この装置はVDC（☞P.104）のブレーキ制御を利用しているため、VDC警告灯（☞P.163）が点灯したときは作動しません。

走行する

クルーズコントロール★

クルーズコントロールをセットするとアクセルペダルを踏まなくても、一定の速度で走行することができます。
約40～100km/hの間で任意の速度にセットできます。

クルーズコントロールについて



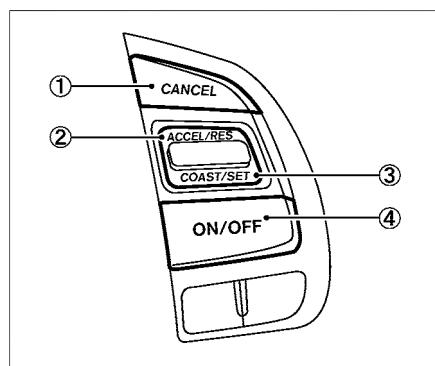
注意

- 車間制御は行わないため、ブレーキ操作制御や警報は行われません。
先行車との車間距離、周囲の状況に応じてブレーキペダルを踏んで減速するなどして車間距離を確保し、安全運転に心がけてください。
- 次のような状況では、思わぬ事故につながるおそれがあるため使わないでください。
 - 交通量の多い道や急カーブのある道
(交通状況にあった速度で走行できないため、事故につながるおそれがあります。)
 - 凍結路や積雪路など滑りやすい路面
(タイヤが空転し、車のコントロールを失うおそれがあります。)
 - 急な下り坂
(急な下り坂ではエンジンブレーキが十分効かないため、セットした速度を超えてしまい、思わぬ事故につながるおそれがあります。)

走行する クルーズコントロール★

■ ステアリングスイッチ

- ① キャンセルスイッチ
クルーズコントロールの解除ができます。
- ② リジューム/アクセラレートスイッチ
(上押し)
クルーズコントロールを解除後、解除前の設定車速に再びセットすることができます。
設定車速を上げることができます。
- ③ セット/コーストスイッチ (下押し)
クルーズコントロールのセットができます。
設定車速を下げることができます。
- ④ メインスイッチ
クルーズコントロールのON・OFFができます。

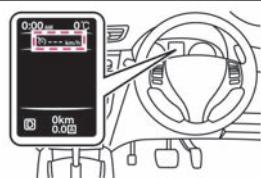


走行する クルーズコントロール★

■ セットのしかた

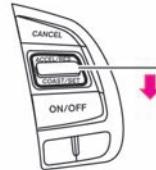
1

メインスイッチを押し、メーター内のディスプレイにあるクルーズコントロール表示が点灯したことを目で確認します。
※クルーズコントロール表示の位置は車種により異なります。



2

設定したい車速まで加速または減速し、セット/コストスイッチを押します。
● スイッチを押したときの車速が設定車速になります。



注意

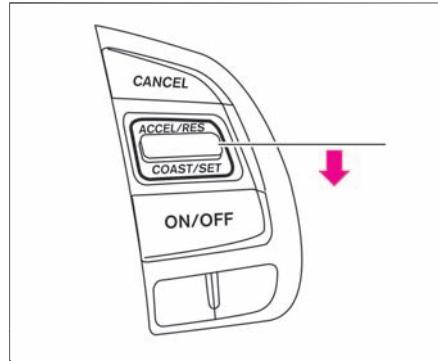
- クルーズコントロールを使わないときは、メインスイッチをOFFにしてください。間違ってステアリングスイッチを押すと、クルーズコントロールがセットされ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■ 設定車速の変えかた

定速走行中、次の操作で設定車速を変更します。

■ ペダルで変えるとき

- ① アクセルペダルまたはブレーキペダルを踏み、速度を変えます。
- ② 希望の速度になったら、セット/コーストスイッチを押します。



走行する クルーズコントロール★

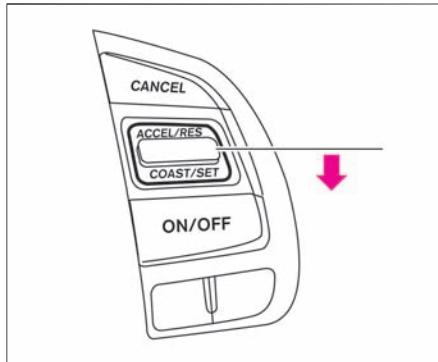
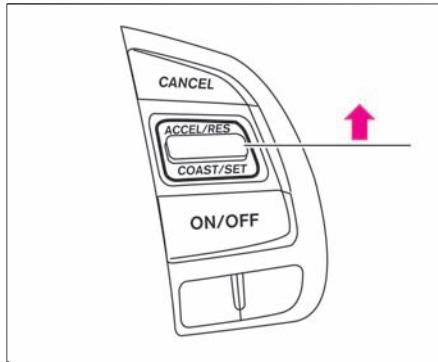
■ステアリングスイッチで変えるとき

設定車速を上げたいとき

- ① リザーブム/アクセラレートスイッチを押し続けると加速します。
- ② 希望の速度になったら、手を離します。

設定車速を下げたいとき

- ① セット/コーストスイッチを押し続けると減速します。
- ② 希望の速度になったら、手を離します。



走行する クルーズコントロール★

■一時的に加速、減速をしたいとき

加速したいとき

- アクセルペダルを踏むと、加速します。

減速したいとき

- ブレーキペダルを踏むと、減速（制御を解除）します。

■もう一度定速走行に戻したいとき

- 解除前の設定車速で再びセットしたいときは、リジューム/アクセラレートスイッチを押します。
(車速が約40km/h～100km/hのとき戻せます。)

■解除のしかた

- 次の操作でクルーズコントロール機能が解除されます。

- キャンセルスイッチを押す
- メインスイッチを押す
- ブレーキペダルを踏む

- 次の場合は、クルーズコントロールが自動的に解除されます。

- 車速が30km/h以下になったとき
- 設定車速より約13km/h以上車速が低下したとき
- VDCが作動したとき
- タイヤが空転したとき
- セレクトレバーをNに入れたとき
- クルーズコントロールシステムに異常があるとき



知識

- キャンセルスイッチで解除したときやブレーキペダルを踏んで解除したときは、セット待機状態になります。

- クルーズコントロールシステムに異常があると、メーター内のディスプレイにあるクルーズコントロール表示が点滅します。

⑤アドバンスドドライブアシストディスプレイの見かた(P.172)

走行する

4WD（4輪駆動）車の扱いかた★

4WD車は、滑りやすい路面などで優れた走行性能を発揮しますが、万能ではありません。

4WD車特有の取り扱いかたを十分理解し、正しい運転をしてください。

走行するとき

- オフロード（不整地）走行やラリー走行用ではありません。走行するときは以下のことを必ずお守りください。
 - － 河川などの水中走行はしない
 - － 砂地、ぬかるみなど、後輪が空転しやすいところでの連続走行はしない
 - － 脱輪などにより車輪が宙に浮いているときは、むやみに空転させない
- 運転操作は一般車と同様です。ハンドル、アクセルおよびブレーキペダルなどの操作は慎重に行い、安全運転に心がけてください。

知識

- 砂地・渡河などのオフロード走行や脱輪時の無理な操作などにより、前後輪間の回転数差が大きい（車輪が空転する）状態が続くと、駆動系部品の油温が上昇します。この場合、駆動系部品の保護のため、メーター内のディスプレイに警告を表示し2WDモードに切り替わりますが、アイドリング状態でしばらく停車し、点滅しなくなるとAUTOモードに復帰します。
☞ [ドライブインジケーター \(P.195\)](#)
- 4WD車は、2WD車に対し、制動距離が短くなるわけではありません。

タイヤについて

- タイヤの交換は4輪とも同時にを行い必ず指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のタイヤを装着してください。
- 摩耗差が大きいものやサイズが異なるタイヤを装着すると車の機構を破損するおそれがあります。
冬用タイヤも必ず4輪同じものを装着してください。
タイヤ交換は日産販売会社にご相談ください。

走行する

4WD（4輪駆動）車の扱いかた★

■ 4WD車の特性

■ タイトコーナーブレーキング現象

乾燥した舗装路をLOCKモードで走行中、ハンドルをいっぱいに切って旋回するとブレーキをかけたような状態になることがあります。この現象をタイトコーナーブレーキング現象といいます。

この現象は旋回するとき前後輪に回転差が生じるために起きる4WD車特有の現象で異常ではありません。この現象が発生したときはハンドルの操作力が重くなります。

■ LOCKモード時の急旋回はしない

乾燥舗装路をLOCKモードで急旋回するとタイトコーナーブレーキング現象が起きてハンドルの操作力が重くなり運転しにくくなります。乾燥舗装路ではLOCKモードで走行しないでください。

■ 走行のしかた

■ 乾燥した舗装路を走行するとき

4WD MODEスイッチ（❷P.100）を2WDモードまたはAUTOモードにして走行します。

アドバイス

- タイトコーナーブレーキング現象が起きるとタイヤのスリップ音や駆動系のきしみ音などが発生することがあります。

注意

- 乾燥した舗装路をLOCKモードで走行しないでください。駆動系に無理がかかり重大な故障の原因となりますので、絶対避けてください。また、タイヤの早期摩耗や燃費低下にもつながります。

走行する

4WD（4輪駆動）車の扱いかた★

■ 雪道など舗装路以外を走行するとき

- 4WD MODEスイッチをAUTOモードまたはLOCKモードに切り替えます。
- 路面の状態に合わせ慎重に走行します。



注意

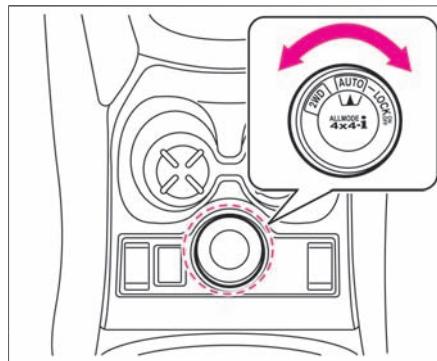
- 急加速や急ハンドル、急ブレーキなどはしないでください。
タイヤがスリップしたり、横滑りや尻振りなどを起こし、思わぬ事故につながるおそれがあります。

走行する ALL MODE4x4★

ALL MODE4x4は3通りのモード（2WD、AUTO、LOCK）を備え、走行状況に応じて任意の駆動モードを選択できる4WDシステムです。AUTOモードでは電子制御の働きにより多板クラッチの押付力をコントロールし、前後輪の駆動トルク配分を、ほぼ100:0（2WD）～50:50（4WD）まで自動的に変化させ、路面状況の変化に合わせた最適なトルク配分が得られます。

4WD MODEスイッチ

- エンジン回転中に、スイッチを2WD、AUTO、LOCK ON/OFF位置に回して切り替えます。
- LOCKモードに切り替えるときは、停車状態あるいは車速が約10km/h以下のときに、スイッチをLOCK ON/OFF位置に回します。（メーター内の駆動モード表示灯（LOCK）が点灯）
スイッチから手を離すと、LOCK ON/OFF位置からAUTO位置に戻ります。
- LOCKモードを解除するときは、もう一度LOCK ON/OFF位置に回します。
(メーター内の駆動モード表示灯（LOCK）が消灯)



アドバイス

- エンジン暖機中はエンジンアイドル回転数が高くなっています。AUTOで滑りやすい路面などを発進または走行するときは十分注意してください。
- 4WD MODEスイッチは、車を直進状態にして操作してください。
- 車速が約40km/h以上になると駆動モード表示灯（LOCK）が自動的に消灯します。

知識

- AUTOモードにしておくと、路面状況に応じ前後輪へのトルク配分を自動的に変更し、雪道や滑りやすい路面での走行性能が高まります。
- 旋回時および加減速時に4WD MODEスイッチを操作したときやAUTOモードまたはLOCKモードでキースイッチ（電源ポジション）をOFFにしたときは、ショックが発生することがありますですが、故障ではありません。

■ 駆動モードの働き

駆動モード	駆動状態	駆動モード表示灯	路面状況
2WD	前輪駆動	消灯	乾いた舗装路を経済的に走行したいとき。
AUTO	前輪駆動から4輪駆動まで自動調節		舗装路や滑りやすい路面を通常に走行するとき。
LOCK	直結4輪駆動 (低車速時) <small>※1、2</small>		ラフロードを走行するとき。

※1：車速が上がった状態で走行を続けた場合は、LOCKモードが自動的に解除され、AUTOモードに切り替わります。（LOCKモード時の表示灯が消灯）

※2：キースイッチ（電源ポジション）をOFFにするとLOCKモードは自動的に解除されます。

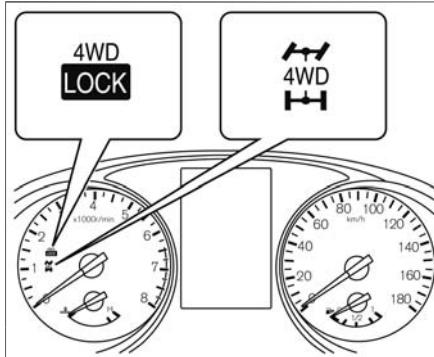
⚠ 注意

- 雪道などで前輪を空転させたまま4WD MODEスイッチを操作しないでください。車両が思わぬ方向へ飛び出しあります。
- 乾燥した舗装路をLOCKモードで走行しないでください。駆動系に無理がかかり、重大な故障の原因になりますので絶対に避けてください。また、タイヤの早期摩耗や燃費低下にもつながります。
- 4WD車は万能ではありません。走行するときは以下のことを必ずお守りください。
 - 渡河などの水中走行はしない
 - 砂地、ぬかるみなど、前輪が空転しやすいところでの連続走行はしない
 - 脱輪などにより車輪が宙に浮いているときは、むやみに空転させない

■ 駆動モード表示灯

メーター内にあります。

- キースイッチ（電源ポジション）をONにすると約1秒間点灯後、消灯します。
- エンジン回転中に4WD MODEスイッチで選択した位置を表示します。

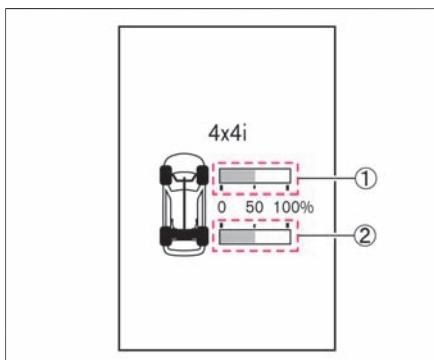


■ 4WDトルク配分表示

メーター内のディスプレイを「4x4-i」に切り替えると、走行中の前後輪への伝達トルク配分比を画面で確認することができます。

詳しくは、ドライブコンピューター（☞P.180）をお読みください。

- ① 前輪トルク配分比
- ② 後輪トルク配分比



知識

- メーター内のディスプレイに、「4WDシステム異常」および「4WDシステム高油温」警告を表示したときは、駆動モード表示灯は消灯します。

☞表示灯 (P.169)

☞ドライブインジケーター (P.195)

警告

- 運転中は画面を注視しないでください。画面に気をとられて思わぬ事故につながるおそれがあります。

知識

- トルク配分の変化が少ない時は表示が変化しない場合がありますが、異常ではありません。

走行する

ABS（アンチロックブレーキシステム）

ABSとは急ブレーキ時や滑りやすい路面でのブレーキ時に、タイヤのロックを防止して、車両の安定性を向上させると共にハンドル操作による障害物回避をしやすくするシステムです。

ABSについて

急ブレーキを踏まなければいけないような状況に陥らないよう、安全運転を心がけることが大切です。万一の危険な状況では次のようにしてください。

- 危険だと感じたら、ためらわず思い切りブレーキペダルを踏み込んでください。
- ABSが作動すると、ブレーキペダルに振動が伝わったり、作動音が聞こえたりします。これはABSの正常な作動によるものです。そのままブレーキペダルを踏み続けてください。
- 障害物回避の際には、ブレーキペダルを踏みながらハンドル操作をしてください。
- キースイッチ（電源ポジション）をONにしたときや、始動後最初の発進時に、エンジンルームから音が聞こえることがあります、これはシステムの作動をチェックしている音で異常ではありません。

なお、車両を確実に停止させるため、ABSは低速では作動しません。路面の状況により異なりますが約10km/h以下では作動しません。



警告

- ABSはあくまで運転者のブレーキ操作を補助するシステムです。ABSの付いていない車と同様に、カーブの手前では十分な減速が必要です。早め早めの操作で安全運転をしてください。
- ABSはブレーキ時の車両の安定性、操舵性を確保しようとするための装置で、制動距離が短くなるとは限りません。でこぼこ道、じゃり道、積雪路などでは、ABSの付いていない車より制動距離が長くなることがあります。このような道を走行するときは、特に速度を控えめにし、車間距離を十分とって運転してください。
- ABSは各車輪の回転速度をセンサーで検出しています。タイヤ交換時は、必ず指定サイズのタイヤを4輪に装着してください。指定サイズ以外ではABSが正常に作動しなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

走行する

VDC（ビークルダイナミクスコントロール）

VDCは横滑りや尻振りを起こしそうになると横滑り状態をセンサーで判別し、走行時の車両安定性を向上させるシステムです。

VDCについて

- VDCの作動と警告灯
 - VDCが実際に作動しているとき、メーター内の警告灯  が点滅します。
 - VDCシステム内のトラクションコントロール機能のみが作動しているときも警告灯  が点滅します。
 - 警告灯  が点滅したときは、車両が滑りやすい状態になっていますので特に慎重に運転してください。
- VDCには「ブレーキLSD」機能があります。これは滑りやすい路面などで駆動輪が空転した場合、空転している駆動輪にブレーキをかけることにより、もう一輪の駆動力を確保するLSD（リミテッドスリップデフ）機能です。
- VDC作動時は、ブレーキの作動により音や振動を発生する場合がありますが異常ではありません。

⚠ 注意

- この装置は車両の走行安定性を向上させるもので事故を防止するものではありません。VDCの作動にも限界があるため、滑りやすい路面やカーブの手前では特にスピードを落とし安全運転に心がけてください。
- 次のときはVDC警告灯が点灯し、VDCが正常に作動しないことがあります。
 - サスペンション、タイヤ、ブレーキなどを純正品以外に交換したり、改造したとき
 - サスペンション、タイヤ、ブレーキなどが著しく摩耗および劣化した状態で走行したとき
- 次のような状況では、VDC警告灯が点灯することがあります。この場合は一度キーをスイッチ（電源ポジション）をOFFにし、再度エンジンを始動すると消灯します。
 - 駐車場の入り口などにあるターンテーブルや動く物の上に車があるとき
 - 極端に傾いた特殊な路面（サーキット路に見られるバンクなど）を走行したとき
- VDC付車でも雪道などでは冬用タイ

走行する

VDC (ビークルダイナミクスコントロール)



注意

ヤやタイヤチェーンを装着してください。

運転をするときは

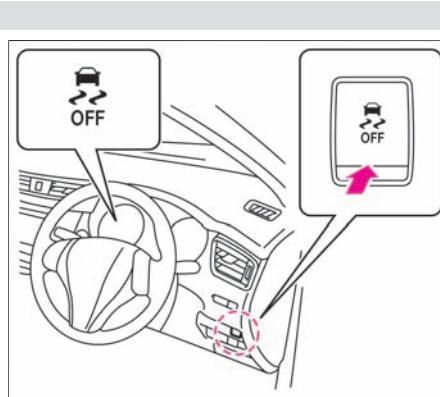
走行する

VDC (ビークルダイナミクスコントロール)

VDC OFFスイッチの使いかた

VDCの作動をやめたいときに使います。

- VDC OFFスイッチを押すと、VDCの働きを停止します。
(メーター内の表示灯  が点灯)
- もう一度スイッチを押すか、エンジンを再始動するとVDCは作動を回復し、メーター内の表示灯が消灯します。



アドバイス

- ぬかるみや雪道から脱出するときは、スリップ状態を感じし、アクセルペダルを踏み込んでも出力が上がらないことがあります。回転数を上げたいときはVDC OFFスイッチを押してシステムをOFFにしてください。
- VDC OFFスイッチを押すと、ABS機能およびブレーキLSD機能を除くVDCのすべての機能が停止します。

知識

- VDCが作動すると発進時や加速時に車体およびペダルにわずかな振動と作動音が発生しますが異常ではありません。
- キースイッチ（電源ポジション）をONにしたときや、始動後最初の発進時に、エンジンルームから音が聞こえることがあります、システムの作動をチェックしている音で異常ではありません。

走行する シャシー制御

シャシー制御には、コーナリングスタビリティアシスト、アクティブブレーキコントロール、アクティブエンジンブレーキがあります。

■ コーナリングスタビリティアシスト

運転者のハンドル、アクセル、ブレーキ操作を検知し、それらの情報から各輪のブレーキを制御して、車両の挙動を滑らかにすると同時に、応答性を高めるなどして安定感のあるコーナリングを実現します。

- メーター内のディスプレイを「シャシー制御」に切り替えると、コーナリングスタビリティアシストの作動を画面で確認することができます。

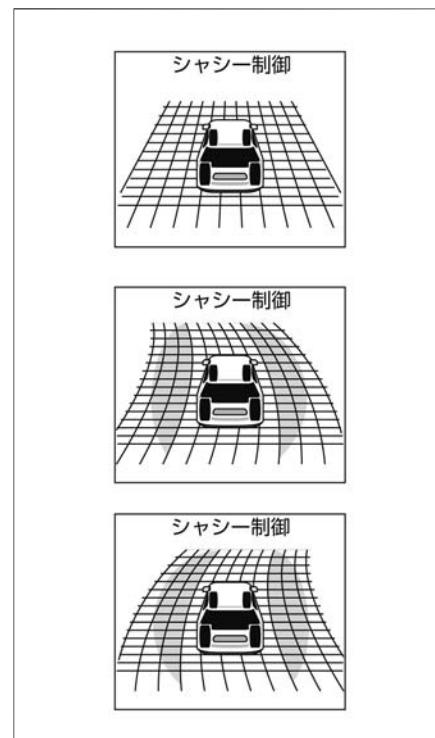
画面はハンドル操作に合わせた表示を行います。

詳しくは、ドライブコンピューター（ P.180）をお読みください。

- メーター内のディスプレイで「設定」⇒「運転支援システム」⇒「シャシー制御」⇒「コーナリングスタビリティアシスト」を選択すると、コーナリングスタビリティアシスト機能のON・OFFを切り替えることができます。

 ドライブコンピューター（P.180）

設定の詳細については、運転支援システム（ P.188）をお読みください。



注意

- コーナリングスタビリティアシストは、全ての走行環境において効果があるわけではないため、機能を過信せず安全運転に心がけてください。

アドバイス

- メーター内のディスプレイに「シャシー制御システム故障」と警告が表示されたときは、故障により機能が正しく作動しないことがあります。警告が表示されたときは、日産販売会社で点検を受けてください。
 ドライブインジケーター（P.195）

知識

- ハンドル操作(方向)に合わせていずれかの画面が表示されます。
- メーター内のディスプレイでコーナリングスタビリティアシストをOFFにしても、急ハンドル時などには作動する場合があります。
- VDC OFFスイッチに連動して機能がON/OFFします。
(VDCをOFFにしたときは、コーナリングスタビリティアシストが完全

 知識

に停止します。)

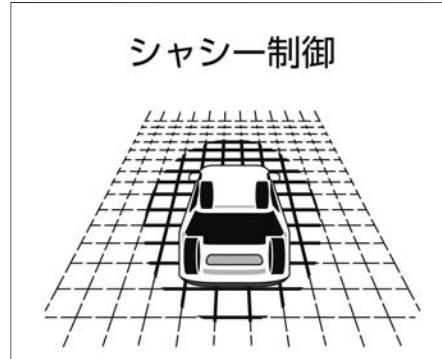
② VDC OFFスイッチの使いかた (P.106)

- システムが作動すると、ブレーキペダルに振動を感じたり、音が聞こえたりする場合はありますが、システムの作動音で異常ではありません。また、減速感を感じることがありますか異常ではありません。

■ アクティブライドコントロール

デコボコ道の走行時などに、小さな振動はエンジントルクの制御により、大きな振動はブレーキ制御を追加することで乗り心地を向上します。

- メーター内のディスプレイを「シャシー制御」に切り替えると、アクティブライドコントロールのブレーキ制御作動を画面で確認することができます。
詳しくは、ドライブコンピューター（ P.180）をお読みください。
- VDC OFFスイッチに連動して機能がON/OFFします。
 VDC OFFスイッチの使いかた (P.106)



アドバイス

- メーター内のディスプレイに「シャシー制御システム故障」と警告が表示されたときは、故障により機能が正しく作動しないことがあります。警告が表示されたときは、日産販売会社で点検を受けてください。
 ドライブインジケーター (P.195)

知識

- システムが作動すると、ブレーキペダルに振動を感じたり、音が聞こえたりする場合はあります、システムの作動音で異常ではありません。また、減速感を感じることがありますが異常ではありません。

走行する シャシー制御

アクティブエンジンブレーキ

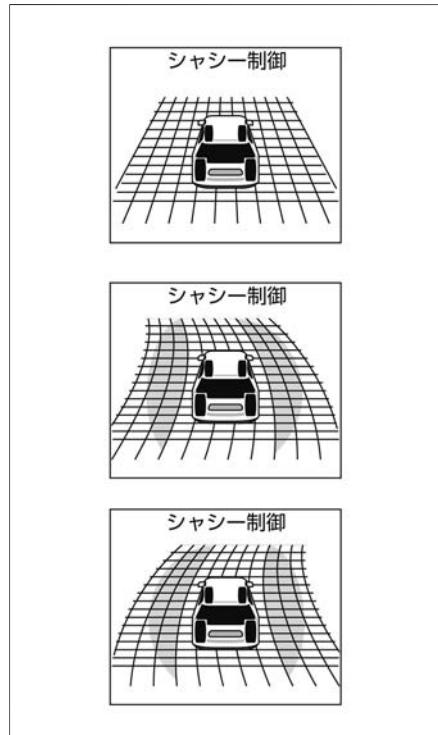
コーナー走行時や減速時に、エンジンブレーキを付加することでブレーキペダルの操作負荷を低減します。

- メーター内のディスプレイを「シャシー制御」に切り替えると、コーナーでのアクティブエンジンブレーキ作動を画面で確認することができます。画面はハンドル操作に合わせた表示を行います。

詳しくは、ドライブコンピューター（☞P.180）をお読みください。

- メーター内のディスプレイで「設定」⇒「運転支援システム」⇒「シャシー制御」⇒「アクティブエンジンブレーキ」を選択すると、アクティブエンジンブレーキ機能のON・OFFを切り替えることができます。

☞ ドライブコンピューター (P.180)
設定の詳細については、運転支援システム（☞P.188）をお読みください。



注意

- アクティブエンジンブレーキは、特定の状況で運転操作を低減させる機能で、事故を防止するための機能ではありません。また、路面の状況などにより作動しないことがあります。

アドバイス

- メーター内のディスプレイに「シャシー制御システム故障」と警告が表示されたときは、故障により機能が正しく作動しないことがあります。警告が表示されたときは、日産販売会社で点検を受けてください。

☞ ドライブインジケーター (P.195)

知識

- ハンドル操作(方向)に合わせていずれかの画面が表示されます。
- システムが作動すると、エンジンブレーキ音が大きく聞こえたり、タコメータの針の動きが変化することがあります。異常ではありません。
- コーナーでのアシスト
 - コーナー走行時などの旋回中に、ブレーキペダルの踏み替え操作を低減

 知識

する目的で、ハンドル操作に応じてエンジンブレーキを付加します。

● ブレーキ操作でのアシスト

- 減速時にブレーキの効き感を上げる目的で、運転者のブレーキ操作に応じてエンジンブレーキを付加します。

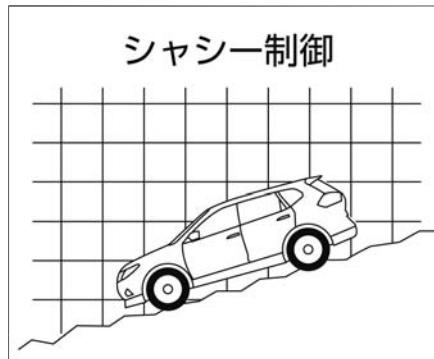
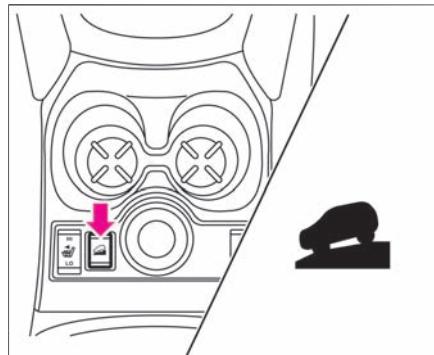
走行する ヒルディセントコントロール★

エンジンブレーキだけでは十分減速できないような急な下り坂やオフロードのような滑りやすい路面を下るとき、一定の低車速を保ち、下り坂での走行を補助するシステムです。前進降坂はアクセルペダルまたはブレーキペダルの操作で車速を変更することができます。

ヒルディセントコントロールの使いかた

- 4WDがLOCKモードのときに使えます。
- スイッチを押します。（ヒルディセントコントロール表示灯が点滅または点灯）
 - システム作動中は制動灯／尾灯が点灯します。
 - ヒルディセントコントロール表示灯が点滅しているときは作動しません。下記の作動条件を確認してください。
- 作動を解除するときは、もう一度スイッチを押します。
- 次の条件が満たされたときのみ作動させることができます。
 - ヒルディセントコントロールスイッチを押してONにしたとき。
 - セレクトレバーがP、N以外にあるとき。
 - 4WD MODEスイッチがLOCKのとき。
 - 車速が25km/h以下のとき。
 - アクセルペダルとブレーキペダルを踏んでいないとき。
- メーター内のディスプレイを「シャシー制御」に切り替えると、ヒルディセントコントロールの作動を画面で確認することができます。

詳しくは、ドライブコンピューター（→P.180）をお読みください。



注意

- この装置は下り坂での走行を補助するのですが、機能を過信しないでください。極端に急な下り坂、凍結路、泥状の下り坂では必要に応じてブレーキペダルを踏んでください。一定の速度を保持できず思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 長時間連続して使用するとVDCのアクチュエーターの温度が上昇し、一時的に作動が停止します。（ヒルディセントコントロール表示灯が点滅）
- 作動時にアクセルペダルまたはブレーキペダルを踏むと作動を停止します。アクセルペダルまたはブレーキペダルから足を離すと、再び作動します。
- ヒルディセントコントロールスイッチをONにしても表示灯が点滅または点灯しないときはシステムの異常が考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。

走行する ヒルディセントコントロール★

運転をするときは



知識

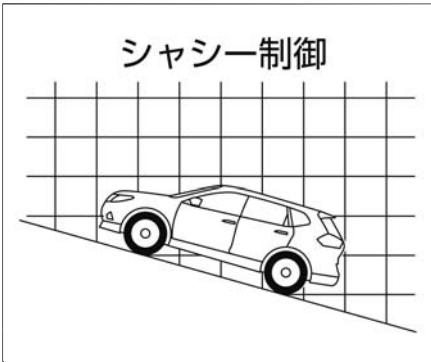
- VDC警告灯が点灯したときは作動しません。
- システムが作動しているとき、エンジンルームから作動音が聞こえることがありますが異常ではありません。

走行する ヒルスタートアシスト

ヒルスタートアシストは、坂道での発進を補助します。

ヒルスタートアシストについて

- 急な上り坂での発進時に、ブレーキペダルからアクセルペダルへの踏み替えの間に発生する車両の後退を一定時間保持し、発進を容易にするシステムです。
- セレクトレバーが **P**、**N**以外のとき、ブレーキペダルから足を離すと、約2秒間ブレーキ力を保持します。
- メーター内のディスプレイを「シャシー制御」に切り替えると、ヒルスタートアシストの作動を画面で確認することができます。
詳しくは、ドライブコンピューター（☞P.180）をお読みください。



注意

- この装置は上り坂での発進を補助するのですが、機能を過信しないでください。凍結した坂や泥状の上り坂での発進は特に安全運転に心がけてください。
- この装置はブレーキペダルから足を離すと約2秒間ブレーキ力を保持しますが、その後ブレーキ力が解除されます。停車するときはブレーキペダルを踏み続けてください。駐車するときは確実にセレクトレバーを **P** に入れ、パーキングブレーキをかけてください。

アドバイス

- セレクトレバーを動かした直後は、ブレーキを踏んだ状態で約1秒待ってから発進してください。
セレクトレバーを **P** から **D** または **N** から **D** に動かした直後は、ヒルスタートアシストが作動しないことがあります。

走行する ヒルスタートアシスト

運転をするときは



知識

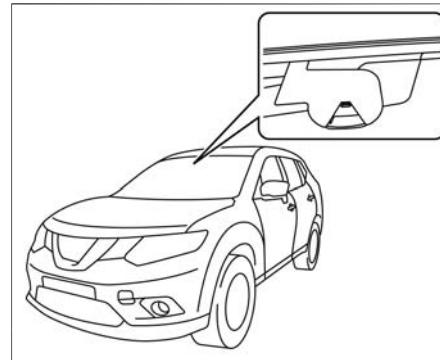
- VDC警告灯が点灯しているときは作動しません。
- ヒルスタートアシストが作動しているとき、ブレーキペダルの踏みごたえが変化したり、音や振動が発生することがありますが、異常ではありません。

走行する エマージェンシーブレーキ★

前方の車両や歩行者と衝突のおそれがあるとき、警報と自動ブレーキにより、運転者の衝突回避操作を支援します。

システムの作動

- エマージェンシーブレーキは車速約10km/h～80km/hの範囲で作動します。
(車速約60km/h以上では、停止している車両や歩行者に対しては作動しません)
- フロントガラス上部のマルチセンシングフロントカメラにより前方の車両や歩行者を検知します。



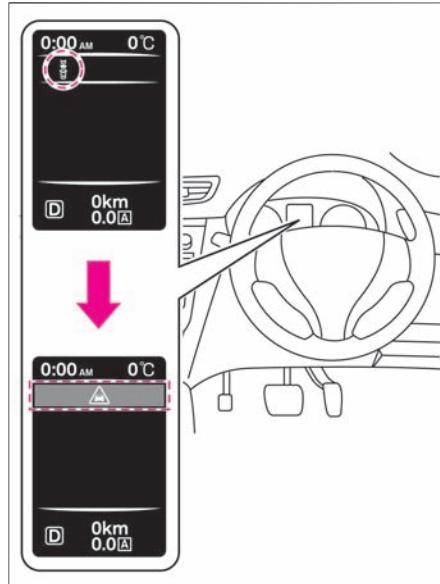
警告

- エマージェンシーブレーキは、前方の車両や歩行者との衝突回避操作を支援、または衝突時の被害や傷害の軽減を目的としています。あらゆる状況で効果があるわけではありませんので機能を過信せず、運転者は周囲の安全確認を行い、前方車両との車間距離を維持し、常に安全運転を心がけて走行してください。

走行する エマージェンシーブレーキ★

■ 作動について

- システムが衝突するおそれがあると判断すると、メーター内のエマージェンシーブレーキ表示がオレンジ色に点滅し、警報音とともに、軽いブレーキで衝突回避操作を促します。
- 運転者の衝突回避操作が不十分で、衝突の危険性が高まったときには、メーター内のエマージェンシーブレーキ表示が赤のバー表示になり、警報音とともに、衝突の直前に自動的にブレーキが作動します。



知識

- 次の場合、システムによるブレーキの作動が解除されます。
 - アクセルペダルを強く踏み込んだとき
 - ハンドルを大きく、または素早く回ったとき
 - 前方の車両や歩行者との衝突の危険がなくなったと判断したとき
- システムによるブレーキで車両が停止したときは、車両が停止してから約2秒後にブレーキが自動的に解除されます。
- 運転者がハンドルやアクセル、ブレーキを操作している場合は、エマージェンシーブレーキの作動が遅れたり、作動しない場合があります。
- システムによるブレーキが作動しているときは、制動灯が点灯します。
- メーター内のディスプレイを「走行支援」に切り替えると、エマージェンシーブレーキの作動状態をドライブコンピューター内で確認することができます。
詳しくは、ドライブコンピューター（☞P.180）をお読みください。

走行する エマージェンシーブレーキ★

■ エマージェンシーブレーキについて



注意

- 次のような障害物は検知しません。
 - － 子供などの背の低い人、動物、自転車
 - － 夜間やトンネル内など暗い場合の歩行者
 - － 対向車両
 - － 前方を横切って通過する車両
 - － 斜めに止まっている車両
- 次のような場合は、前方の車両、歩行者が検知できなことがあります。
 - － 悪天候（雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪等）で視界が悪いとき
 - － 前方の車両や対向車などにより水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
 - － カメラ前方のフロントガラスに汚れ、油膜、水滴、氷、雪などが付着しているとき
 - － カメラ前方のフロントガラスが曇っているとき
 - － 前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けているとき
 - － 夜間やトンネル内などでヘッドライトを点灯していない、あるいはヘッドライトのレンズが極端に汚れているとき
 - － 夜間やトンネル内などで前方の車両の両側のテールランプが点灯していないとき
 - － トンネルの出入り口や日陰など、急に明るさの変化が起こったとき
 - － 急なカーブを走行しているとき
 - － 勾配の変化があるところを走行しているとき
 - － 未舗装路など凹凸のある路面を走行しているとき
 - － 歩行者が大きな荷物を持っている、背景と同じ色の服を着ているなど人特有の輪郭が認識できないとき
- 状況によっては外部の騒音などにより、警報音が聞こえない場合があります。

走行する エマージェンシーブレーキ★

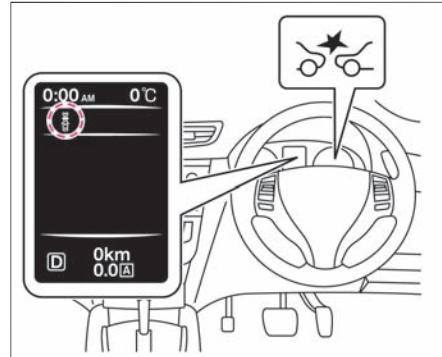
⚠ 注意

- 次のような場合は、システムが機能を十分に発揮できないことがあります。
 - 滑りやすい路面を走行しているとき
 - 勾配のある路面を走行しているとき
 - 後席やラゲッジルームに極端に重い荷物を積んでいるとき

ON・OFFのしかた

- メーター内のディスプレイで「設定」⇒「運転支援システム」⇒「走行支援」⇒「エマージェンシーブレーキ」を選択すると、エマージェンシーブレーキ機能のON・OFFを切り替えることができます。 ドライブコンピューター (P.180) 設定の詳細については、運転支援システム ( P.188) をお読みください。

- 機能をOFFにすると、システムが停止します。
(エマージェンシーブレーキ/踏み間違い衝突防止アシスト警告灯が点灯し、メータ内ディスプレイにあるエマージェンシーブレーキ表示が消灯)



📖 知識

- メーター内の設定で機能をOFFにしても、エンジンを再始動すると自動的にONに切り替わります。
- エマージェンシーブレーキをOFFにすると、踏み間違い衝突防止アシストもOFFになります。

走行する エマージェンシーブレーキ★

■ 警告表示

- 次の場合、メーター内のエマージェンシーブレーキ/踏み間違い衝突防止アシスト警告灯が点灯し、自動的に作動が停止します。
 - エマージェンシーブレーキの設定をOFFにしたとき
 - VDCをOFFにしたとき
- 次の場合、メーター内のエマージェンシーブレーキ/踏み間違い衝突防止アシスト警告灯およびエマージェンシーブレーキ表示が点滅し、システムが一時的に作動しなくなります。
 - フロントガラスの汚れなどにより、カメラが前方を認識できなくなったとき
 - 前方からの強い光により、カメラが前方を認識できなくなったとき
 - 炎天下に駐車したときなど、カメラが高温になったとき
(室内の温度が下がると、自動的に作動を復帰します。)
- システムに異常があると、メーター内のエマージェンシーブレーキ/踏み間違い衝突防止アシスト警告灯が点灯するとともに、ディスプレイ内のエマージェンシーブレーキ表示がオレンジ色に点灯し、メーター内のディスプレイに警告が表示され、システムが自動的に停止します。
 - ⇒ [警告灯 \(P.163\)](#)
 - ⇒ [ドライブインジケーター \(P.195\)](#)

アドバイス

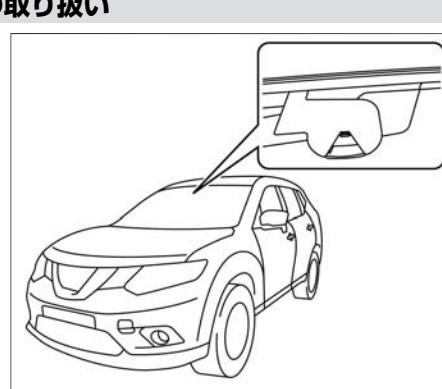
- 警告灯が点灯したときは、安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。
上記の操作をしても、警告灯が点灯し続けるときはシステムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

⇒ [警告灯 \(P.163\)](#)

■ マルチセンシングフロントカメラの取り扱い

システムを正しく作動させるために、次のことをお守りください。

- カメラ前方のフロントガラスはいつもきれいにしておいてください。
- カメラ前方のフロントガラスにステッカー（透明なものを含む）を貼らないでください。
- カメラ前方のフロントガラスに車検の検査標章（ステッカー）を貼らないでください。正しい貼り付け位置は日産販売会社にご確認ください。
- カメラ周辺に強い衝撃を与えないでください。またカメラを取り外さないでください。故障、誤作動の原因になります。事故などでカメラ周辺部が変形した場合は、日産販売会社にご相談ください

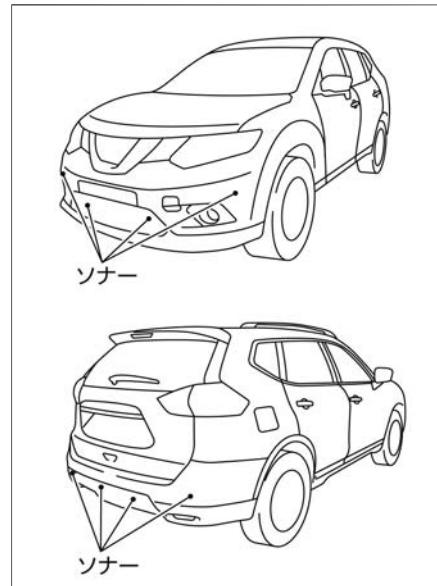


走行する 踏み間違い衝突防止アシスト★

進行方向に壁などの障害物がある場所で、駐車操作時など低速のときにアクセルペダルとブレーキペダルを間違えて踏み込んだり、ブレーキ操作が遅れたときに運転者に音と表示で警告します。さらに自動的にエンジン出力やブレーキを制御することで、過度な加速の防止や障害物への衝突防止を支援します。

踏み間違い衝突防止アシストの機能

- 前後のバンパーに取り付けられたソナーにより、進行方向の障害物を検知します。
- 踏み間違い衝突防止アシストには、次の2つの機能があります。
 - 低速加速抑制機能 (☞P.125)
 - 低速衝突軽減ブレーキ機能 (☞P.128)



⚠️ 警告

- 低速加速抑制機能は、停車中、または前進、後退での低速走行中におけるアクセルペダルとブレーキペダルを踏み間違えることにより引き起こされる暴走や衝突事故の軽減を目的とした補助機能です。あらゆる状況で効果があるわけではありませんので、機能を過信せず常に注意深い運転操作を心がけてください。
- 低速加速抑制機能は、アクセルペダルをゆっくりと深く踏み込んだときには作動しません。故意にアクセルペダルを踏み込まないでください。車両が急に動き出し思わず事故につながるおそれがあります。
- 低速衝突軽減ブレーキ機能は、前進、後退での低速走行中における衝突事故の軽減を目的とした補助機能です。あらゆる状況で効果があるわけではありませんので、機能を過信せず常に安全運転を心がけてください。

走行する

踏み間違い衝突防止アシスト★

踏み間違い衝突防止アシストについて



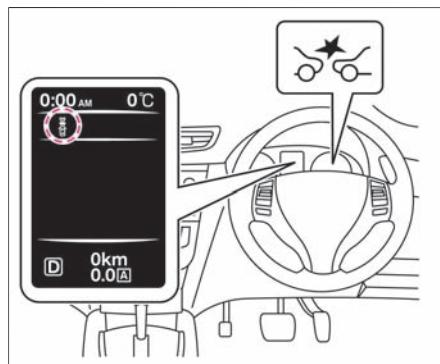
注意

- 次の場合は、システムが正常に作動しなかったり、機能を十分に発揮できないことがあります。
 - 悪天候（雨、霧、雪など）のとき
 - 勾配が急な坂道を走行しているとき
 - 段差などをまたいでいるときなど車両姿勢が変化しているとき
 - 滑りやすい路面を走行しているとき
 - ハンドルを大きくきって旋回しているとき
 - タイヤチェーン、純正品以外のタイヤを使用しているとき
 - 外気温が低いときや走行開始直後などでブレーキが冷えているとき
 - 下り坂などでブレーキが過熱してブレーキの効きが悪くなっているとき
 - 水たまり走行後や洗車後などブレーキが濡れてブレーキの効きが悪くなっているとき
- 動いている物体に対しては踏み間違い衝突防止アシストは作動しません。
- 次の場合は、予期せずシステムが作動し、思わぬ事故につながるおそれがあるため、踏み間違い衝突防止アシストをOFFにしてください。
 - けん引するとき
 - トレーラーなどに積載するとき
 - シャシーダイナモを使用するとき
 - 平坦でない場所を走行しているとき
 - 純正品以外のサスペンション部品を使用しているとき
(車高や車両の傾きが変わると正しく障害物を検知できることがあります)
- 外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。

走行する 踏み間違い衝突防止アシスト★

■ ON・OFFのしかた

- メーター内のディスプレイで「設定」⇒「運転支援システム」⇒「走行支援」⇒「エマージェンシーブレーキ」を選択すると、踏み間違い衝突防止アシストのON・OFFを切り替えることができます。
☞ ドライブコンピューター（P.180）
設定の詳細については、運転支援システム（☞ P.188）をお読みください。
- 機能をOFFにすると、システムが停止します。
(エマージェンシーブレーキ/踏み間違い衝突防止アシスト警告灯が点灯し、メーター内のディスプレイにあるエマージェンシーブレーキ表示が消灯)



知識

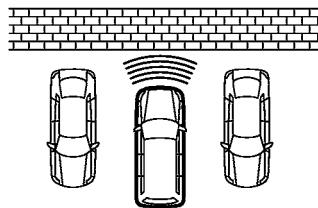
- 踏み間違い衝突防止アシストの設定は、エマージェンシーブレーキの設定と連動しています。
- メーター内の設定で機能をOFFにしても、エンジンを再始動すると自動的にONに切り替わります。

走行する

踏み間違い衝突防止アシスト★

■ 低速加速抑制機能

- 停車中、または前進、後退での低速（約15km/h未満）走行中、バンパーに取り付けられたソナーにより進行方向に壁などの障害物を検知している場合に、アクセルペダルが素早く深く（約1/2以上）踏み込まれたとシステムが判断すると、約6秒間自動でエンジン出力を抑制したり、弱いブレーキをかけることで車速が上がることを抑えます。

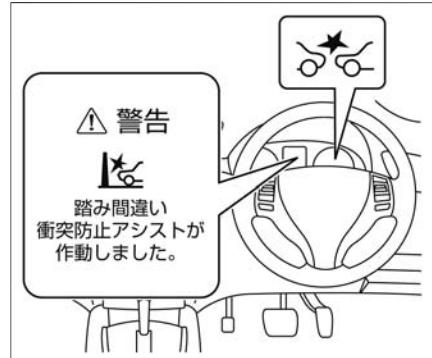


ソナーで進行方向の
障害物を検知

- 低速加速抑制機能が作動しているときは、警報音と警告灯の点滅、およびメーター内のディスプレイの表示によって運転者に警告します。

① 警告灯 (P.163)

② ドライブインジケーター (P.195)



走行する 踏み間違い衝突防止アシスト★

低速加速抑制機能について

！ 注意

- 車両から約2m以内の距離に存在する壁や車両などの大きな障害物に対して作動します。車両の幅以下の障害物に対しては作動しません。
- 低速加速抑制機能は、運転者がアクセルペダルを戻すと解除されます。
- アクセルペダルを踏み続けた場合は、作動を開始してから約6秒後に自動的に解除されます。
- 渋滞中などで前方にいる車両を追い越すときなどに低速加速抑制機能が一時的に作動することがあります。
- 次の場合は作動しません。
 - － 車速が約15km/h以上のとき
 - － ブレーキペダルを踏んでいるとき
 - － セレクトレバーが **D**、**L**、**R** 以外のとき
 - － トラクションコントロールが作動しているとき
 - － タイヤが空転しているとき
- 次のような障害物に対しては作動しません。
 - － 背の低い障害物
 - － 幅の狭い障害物
 - － 針金、金網、ロープなどの細い障害物
 - － バンパーに非常に近い障害物
 - － 急に進行方向に現れた障害物
- 次のような障害物に対しては作動しないことがあります。
 - － 地面から高い位置に存在する障害物



注意

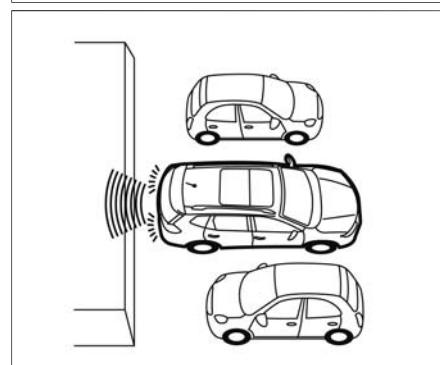
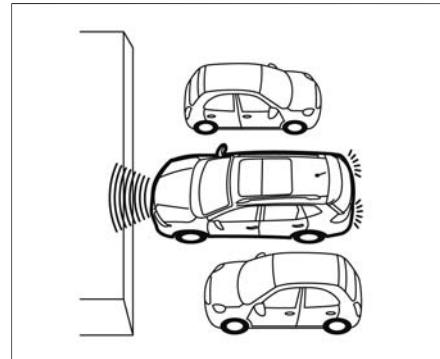
- スポンジ状のものや雪などの表面が柔らかく音波を吸収しやすい障害物
- 次のような場合は作動しないことがあります。
 - 雨、雪、氷、汚れなどがソナーに付着しているとき
 - 周囲で大きな音が鳴っているとき
 - 周囲に超音波を発するものがあるとき
 - 障害物の面が車両の前面または後面に対して斜めのとき

走行する 踏み間違い衝突防止アシスト★

運転をするときは

低速衝突軽減ブレーキ機能

- 前進、後退での低速走行（約2km/h～15km/h未満）中、バンパーに取り付けられたソナーにより進行方向の障害物を検知し、障害物に衝突するおそれがあるとシステムが判断すると、運転者へ音と表示で警報するとともに、自動的にエンジン出力の制御、およびブレーキをかけて衝突を回避、または被害の軽減をします。



知識

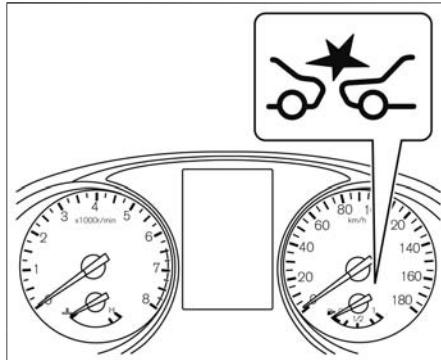
- 低速衝突軽減ブレーキ機能が作動したときは制動灯が点灯します。
- 低速衝突軽減ブレーキ機能が作動しているときは、エンジルームから作動音が聞こえることがあります。異常ではありません。

走行する

踏み間違い衝突防止アシスト★

- 低速衝突軽減ブレーキ機能が作動すると、警報音と警告灯の点滅によって運転者に警告します。

⇒ 警告灯 (P.163)



走行する 踏み間違い衝突防止アシスト★

低速衝突軽減ブレーキ機能について



注意

- 車両の状態、走行状況、交通環境、天候、路面状況などにより作動しない場合や、本来の性能を発揮できないことがあります。必要なときはシステムの作動を待たず、すみやかにブレーキ操作をしてください。
- 自動ブレーキ制御が作動したあと、再び同じ障害物に近づいても作動しません。
- 自動ブレーキ制御は短時間しか作動しません。必ず運転者がブレーキペダルを踏んでください。
- 低速加速抑制機能が作動したあとに低速衝突軽減ブレーキ機能が作動したときは、車両が停止してから約2秒後にブレーキが自動で解除され、車両が動き出します。車両を停止させる場合は、必ず運転者がブレーキペダルを踏んでください。
- 次の場合には作動しません。
 - 車速が約2km/h未満、または約15km/h以上のとき
 - セレクトレバーが **D**、**L**、**R** 以外のとき
- アクセルペダルを踏んだ状態で障害物に接近したときは、作動が遅れることがあります。
- 前進時は車両後方の障害物に対しては作動しません。同様に、後退時は車両前方の障害物に対しては作動しません。
- 次のような障害物に対しては作動しません。
 - 背の低い障害物
 - 幅の狭い障害物
 - 針金、金網、ロープなどの細い障害物
 - バンパーに非常に近い障害物
 - 急に進行方向に現れた障害物

 注意

- 次のような障害物に対しては作動しないことや作動が遅れることがあります。
 - 地面から高い位置に存在する障害物
 - スポンジ状のものや雪など表面が柔らかく音波を吸収しやすい障害物
- 次のような場合は作動しないことがあります
 - 雨、雪、氷、汚れなどがソナーに付着しているとき
 - 周囲で大きな音が鳴っているとき
 - 周囲に超音波を発するものがあるとき
 - 障害物の面が車両の前面、または後面に対して斜めのとき
- 次のような場合は作動することができます。
 - 周囲に草が生い茂っているとき
 - 車両側面の近くに壁があるとき
 - 路面上に段差や突起物があるとき
 - 垂れ下がった旗、ビニールカーテンなどをくぐって走行するとき

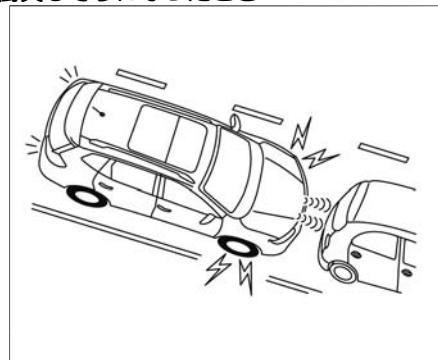
走行する 踏み間違い衝突防止アシスト★

■ 低速衝突軽減ブレーキが作動するとき・しないとき

■ 渋滞時など、前方に停止している車両に衝突しそうになったとき

万一、運転者のブレーキ操作が遅れたときに、前方の停止車両に衝突するおそれがあるとシステムが判断すると、警報音とメーター表示で警告し、自動的にブレーキをかけて衝突回避、または被害を軽減します。

- 前方の車両が動いているときは作動しません。
- 自動ブレーキ制御が作動したあと、再び同じ障害物に近づいたときは作動しません。
- アクセルペダルを踏んで前進しているときは作動が遅れことがあります。
- 前方の車両が自車両の正面から横にずれた位置にあるときは作動しないことがあります。



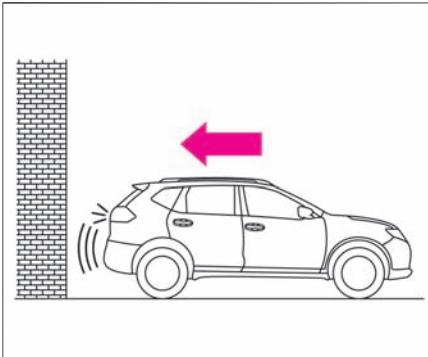
走行する

踏み間違い衝突防止アシスト★

■ クルマ止めのない駐車場などで壁などに衝突しそうになったとき

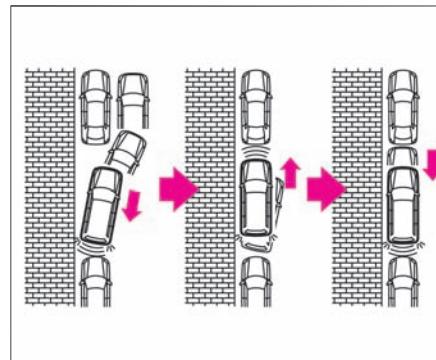
万一誤って壁に接近してしまったとき、衝突するおそれがあるとシステムが判断すると、警報音とメーター表示で警告し、自動的にブレーキをかけて衝突回避、または被害を軽減します。

- 自動ブレーキ制御が作動したあと、再び同じ障害物に近づいたときは作動しません。
- アクセルペダルを踏んで後退しているときは作動が遅れる場合があります。



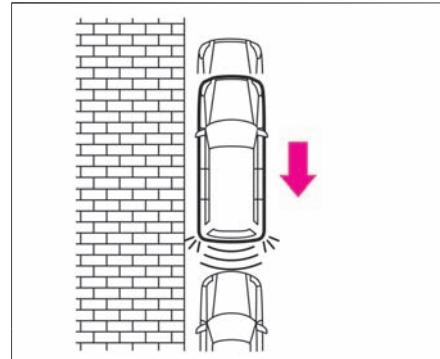
■ 縦列駐車をするとき

セレクトレバーを **D** から **R**、または **R** から **D** に操作して切り替えたときは、セレクトレバーの操作を繰り返すたびに進行方向の障害物を検知して自動ブレーキ制御が作動します。

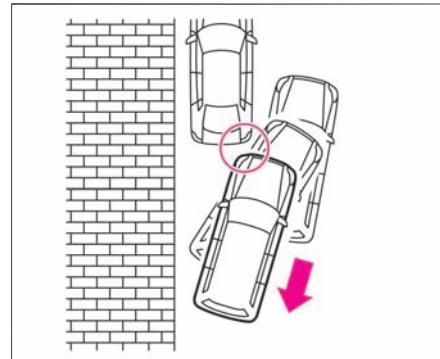


走行する 踏み間違い衝突防止アシスト★

- 自動ブレーキ制御が作動したあと、セレクトレバーを切り替えずにさらに同じ障害物に向かって前進、または後退をしたときは、自動ブレーキ制御は作動しません。
- アクセルペダルを踏んでいるときは作動が遅れことがあります。



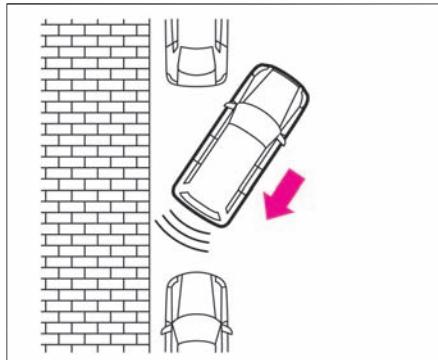
- 後退中は、前方の障害物に対しては作動しません。同様に、前進中は後方の障害物に対しては作動しません。



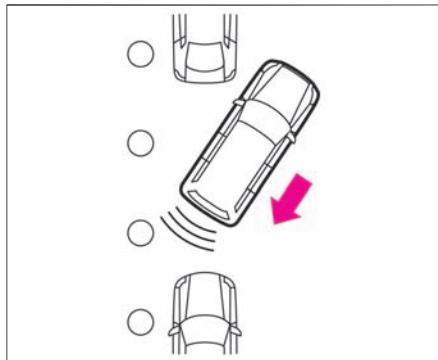
走行する

踏み間違い衝突防止アシスト★

- 障害物に対し斜めに接近すると作動しないことがあります。

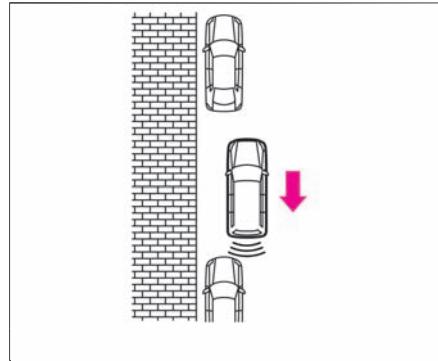


- 幅の狭い障害物に対しては作動しないことがあります。



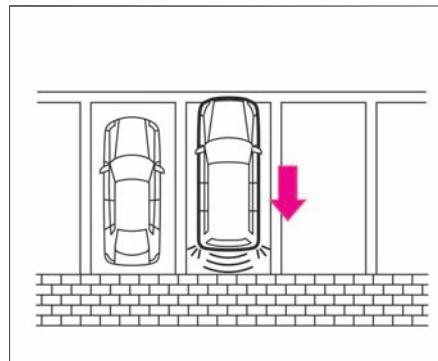
走行する 踏み間違い衝突防止アシスト★

- 他の車両が自車両に対して横にずれた位置にあるときは、作動しないまたは作動が遅れることがあります。



■並列駐車をするとき

- アクセルペダルを踏んでいるときは作動が遅れることがあります。

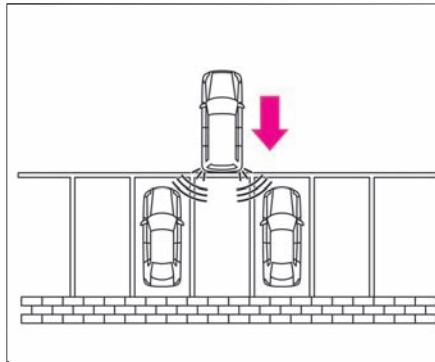


走行する

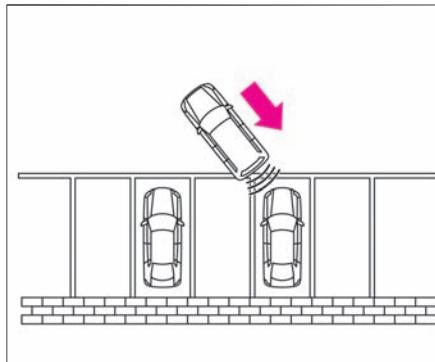
踏み間違い衝突防止アシスト★

運転をするときは

- 狹いスペースに進入するときに作動することがあります。

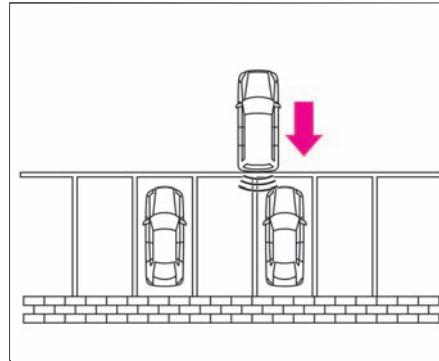


- 他の車両の角部に向かって接近したときは作動しません。

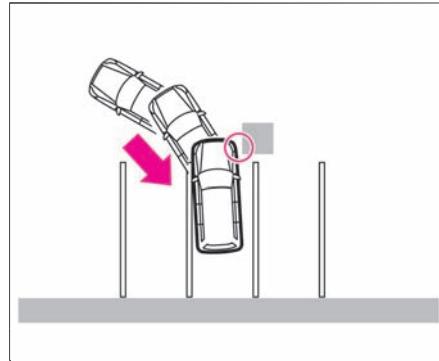


走行する 踏み間違い衝突防止アシスト★

- 他の車両が自車両に対して横にずれた位置にあるときは、作動しないまたは作動が遅れことがあります。



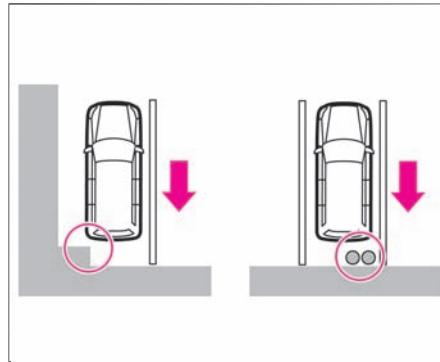
- 後退中は、前方の障害物に対しては作動しません。同様に、前進中は後方の障害物に対しては作動しません。



走行する

踏み間違い衝突防止アシスト★

- 壁から突き出している柱や配管などに対しては作動しません。



警告表示

- 次の場合、メーター内の警告灯が点灯し、自動的に作動が停止します。
 - エマージェンシーブレーキをOFFにしたとき
 - VDCをOFFにしたとき
- エマージェンシーブレーキが一時的に作動できなくなったときは、エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト警告灯が点滅し、踏み間違い衝突防止アシストも一時的に作動しなくなります。
詳しくは、エマージェンシーブレーキの警告表示（☞P.120）をお読みください。
- システムに異常があると、エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト警告灯が点灯し、システムが自動的に停止します。

アドバイス

- 警告灯が点灯したときは、安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。
上記の操作をしても、警告灯が点灯し続けるときはシステムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

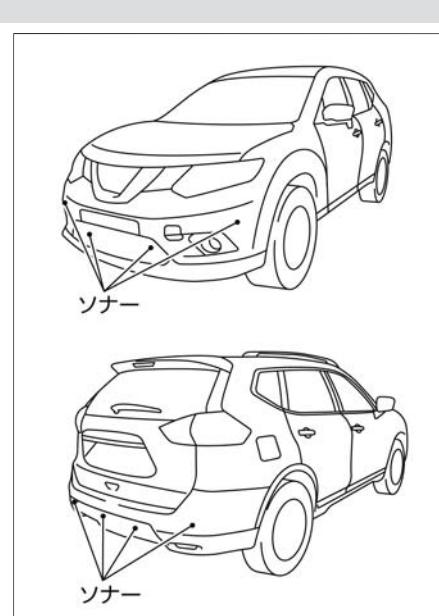
☞ 警告灯 (P.163)

走行する 踏み間違い衝突防止アシスト★

ソナーの取り扱い

システムを正しく動作させるために、以下のことをお守りください。

- ソナーはいつもきれいにしておいてください。
汚れているときは、柔らかい布で傷つけないように注意してふき取ってください。
- ソナーまたはその周辺に強い衝撃を与えないでください。またソナーの取り外し、分解などをしないでください。故障、誤作動の原因になります。事故などでソナーの取り付け部が変形した場合は、日産販売会社にご相談ください。
- ソナーまたはその周辺にステッカー（透明なものを含む）を貼ったり、アクセサリーなどを取り付けないでください。故障、誤作動の原因になります。

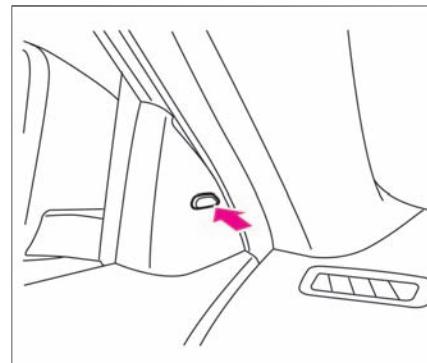
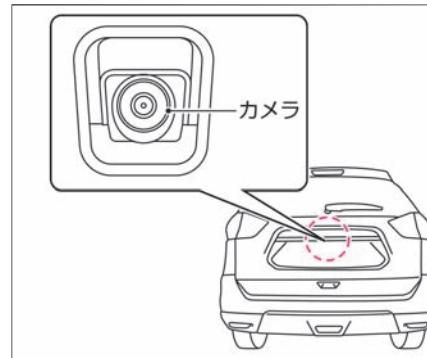


BSW（後側方車両検知警報）★

車線変更をするとき、隣車線に車両がいる場合には警報によって運転者に注意を促します。

システムの作動

- BSW（後側方車両検知警報）は車速約30km/h以上で作動します。
- 車両後部に設置されたリヤビューカメラにより隣車線の車両を検知すると、検出した側のドアミラー付近にある表示灯が点灯します。
- 隣車線の車両を検知しているときに、検知している側に方向指示器を作動させると、警報音が鳴るとともにドアミラー付近にある表示灯が点滅します。



警告

- BSW（後側方車両検知警報）は、ドアミラーによる周囲の検知を代わりに行ったり、車両や障害物との接触を防ぐ機能ではありません。車線変更を行うときは、機能に頼った確認をせず、必ずドアミラーおよびルームミラーで側方および後方の安全を確認してください。

知識

- ドアミラー付近の表示灯はキースイッチ（電源ポジション）をONにすると点灯し、数秒後に消灯します。
- ドアミラー付近の表示灯の明るさは車両周囲の明るさによって自動的に切り替わります。
- 方向指示器が作動しているときに、リヤビューカメラにより隣車線の車両を検知した場合には、表示灯は点滅しますが音は鳴りません。
- メーター内のディスプレイを「走行支援」に切り替えると、BSW（後側方車両検知警報）の作動状態をドライブコンピューター内で確認することができます。
詳しくは、ドライブコンピューター

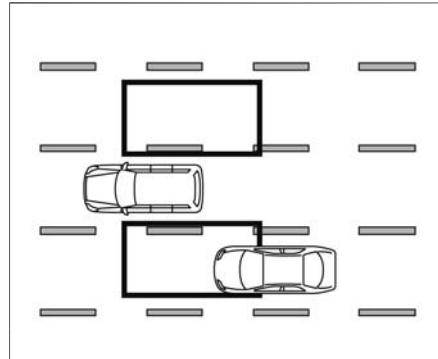
走行する BSW（後側方車両検知警報）★



(☞P.180) をお読みください。

■ 検知範囲について

- 自車両の左右にある範囲内に車両の前端部があるとき、車両を検知します。
- 検知範囲は、自車両のドアミラーからリヤバンパー後方に約3m、車両の側面から横方向に約3mです。



■ BSW（後側方車両検知警報）について



注意

- リヤビューカメラは次のような障害物は検知しません。
 - － 歩行者、自転車、動物など
 - － 対向車
- 次のような車両は、正確に検知できず、システムが正しく作動しないおそれがあります。
 - － 背の低い車両や、オートバイなどの幅の狭い車両
 - － 後方から速い速度で接近してくる車両
 - － 自車両により速い速度で追い越される車両
 - － 合流や車線変更で自車両の横にほぼ同じ速度で移動してきた車両
- 隣の車線の車両がトレーラーなど車高が高くロングホイールベースの車両は、システムが正しく検知できないことがあります。
- 次のような状況では、隣車線の車両を検知できないことがあります。
 - － 強い光（太陽光など）を受けているとき
 - － 急な明るさの変化が起こったとき（トンネルの出入り口など）
 - － 車線の幅が極端に広い道路を運転しているとき
- 車線の幅が極端に狭い道路を運転する場合、2つ隣の車線にいる車両を検知してしまうことがあります。
- リヤビューカメラは静止している障害物を検知しないよう設計されていますが状況によっては、ガードレール、壁、植物、駐車された車両などを検知してしまうことがあります。
- 道路が濡れている場合など、道路に反射した周囲の車両の像など検知範囲にいない車両を検知してしまうことがあります。

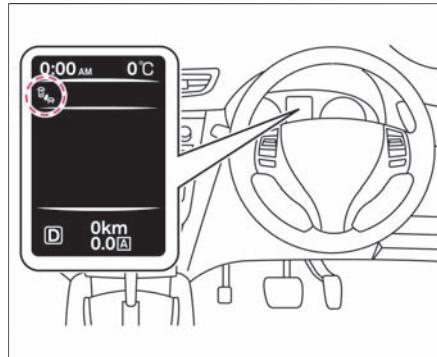
走行する BSW（後側方車両検知警報）★

⚠ 注意

- BSW（後側方車両検知警報）付車のリヤビューカメラには、レンズを自動的に洗浄する機能がありますが、カメラのレンズが著しく汚れている場合などは、完全に汚れをとることができず、隣車線の車両を検知しないことがあります。
- レンズを自動的に洗浄する機能は、ウォッシャー液を使用しています。ウォッシャースイッチを使わなくても、自動的に洗浄を行うため、運転する前にウォッシャー液の残量を確認し、ウォッシャー液が不足しているときは、ウォッシャー液を補給してください。
 ウォッシャー液の補給 (P.352)
- 状況によっては外部の騒音などにより、警報音が聞こえない場合があります。

ON・OFFのしかた

- メーター内のディスプレイで「設定」⇒「運転支援システム」⇒「走行支援」⇒「後側方車両検知警報」を選択すると、BSW（後側方車両検知警報）機能のON・OFFを切り替えることができます。 ドライブコンピューター (P.180)
設定の詳細については、運転支援システム ( P.188) をお読みください。
- 設定をONにすると、メーター内のディスプレイにあるBSW（後側方車両検知警報）表示が点灯します。
※BSW（後側方車両検知警報）表示の位置は車種により異なります。



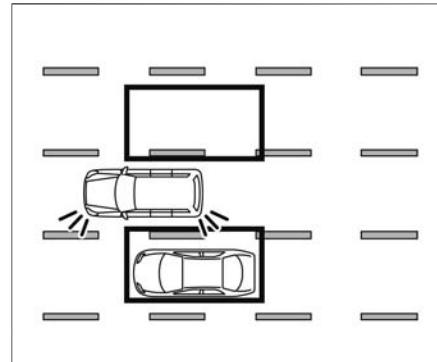
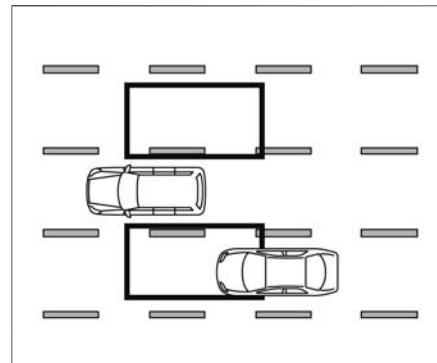
知識

- 設定は、エンジンを再始動しても維持されます。

■ 作動するとき・しないとき

■ 後方から車両が接近してくるとき

- 後方から車両が接近してくる場合、その車両が検知範囲内に入るとドアミラー付近にある表示灯が点滅します。
- 車両を検知しているときに、検知している側の方向指示器を作動させると警報音が鳴るとともに、ドアミラー付近にある表示灯が点滅します。



注意

- 自車より極端に速い速度で接近してくる車両は検知できないことがあります。車線変更を行うときは、必ずドアミラーおよびルームミラーを使用して周囲の安全を確認してください。

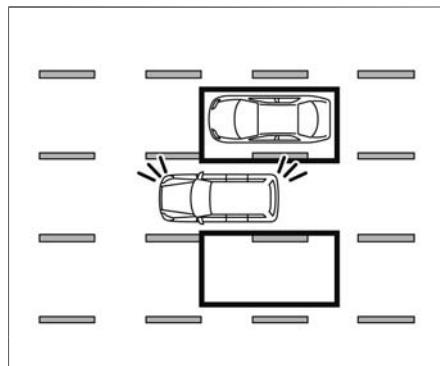
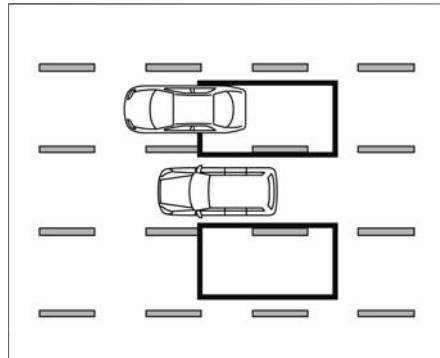
知識

- 方向指示器を作動した後に、検知範囲に車両が入ってきたときは、表示灯は点滅しますが警報音は鳴りません。

走行する BSW（後側方車両検知警報）★

■他の車両を追い越すとき

- 他の車両を追い越すとき、追い越される車両が検知範囲内に3秒以上とどまるとドアミラー付近の表示灯が点灯します。
- 車両を検知し、表示灯が点灯しているときに、検知している側の方向指示器を作動させると警報音が鳴るとともに、ドアミラー付近にある表示灯が点滅します。



知識

- 速度の遅い車両を素早く追い越したときはシステムが検知しません。

■ 警告表示

- 次の場合、メーター内のBSW（後側方車両検知警報）表示が点滅し、一時的にシステムが停止します。
 - バックドアが開いた状態で走行したとき
 - カメラに付着した汚れ、雨、雪、氷などをレンズを洗浄する機能により取り除くことができないとき（メーター内のディスプレイに警告が表示されます）
 - ➡ **ドライブインジケーター** (P.195)
- システムに異常があると、メーター内のBSW（後側方車両検知警報）表示がオレンジ色に点灯するとともに、メーター内のディスプレイに警告が表示され、システムが自動的に停止します。
 - ➡ **ドライブインジケーター** (P.195)

アドバイス

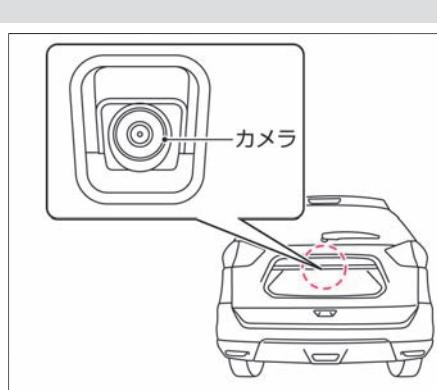
- カメラが汚れているときは、柔らかい布で拭いてください。
- ➡ **カメラレンズのお手入れ** (P.389)
- BSW（後側方車両検知警報）表示がオレンジ色に点灯したときは、安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。エンジン再始動後もオレンジ色に点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

走行する BSW（後側方車両検知警報）★

リヤビューカメラの取扱い

システムを正しく作動させるために、次のことをお守りください。

- カメラ周辺部はいつもきれいにしておいてください。レンズを洗浄するためのノズルが破損したり、ノズル内に汚れが溜まらないよう気を付けてください。
 **カメラレンズのお手入れ (P.389)**
- 光が反射するため、ナンバープレートのアクセサリーを取り付けないでください。
- カメラ周辺に強い衝撃を与えないでください。衝突などでカメラ周辺を破損したときは、日産販売会社で点検を受けてください。



走行する

LDW（車線逸脱警報）★

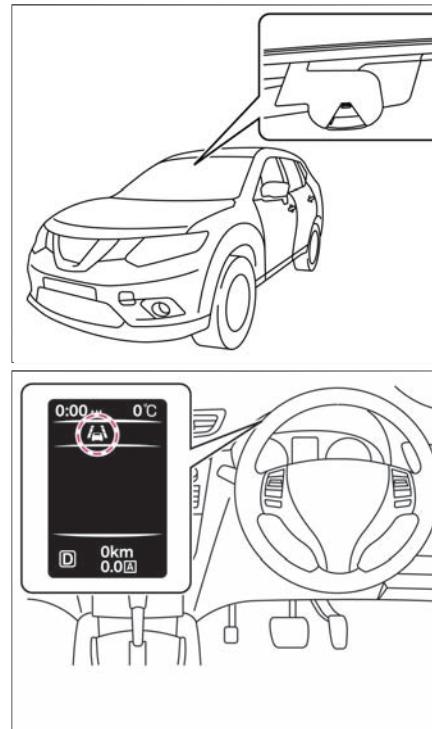
運転者が意図せず走行車線から逸脱しそうなとき、警報によって注意を促します。

■ システムの作動

- LDW（車線逸脱警報）は車速約60km/h以上で作動します。
- フロントガラス上部のマルチセンシングフロントカメラにより、走行車線のレンンマークを検知し、右側もしくは、左側のレンンマークに近づいたと判断すると運転者に警報します。

（警報音が鳴り、メーター内ディスプレイのLDW（車線逸脱警報）表示がオレンジ色に点滅します。）

レンンマークとは、車線の右側もしくは左側に引かれた線のことを示します。



⚠ 警告

LDW（車線逸脱警報）は、脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意および雨、霧などの視界不良を補助するものではありません。周囲の状況に応じてハンドル操作を行い、常に安全運転に心がけてください。

📖 知識

- 次の場合は警報を行いません。
 - 方向指示器を使用しているとき
(方向指示器を解除した後、約2秒間は作動しません)
 - 車速が約60km/hを下回っているとき
- メーター内のディスプレイを「走行支援」に切り替えると、LDW（車線逸脱警報）の作動状態をドライブコンピューター内で確認することができます。
詳しくは、ドライブコンピューター(☞P.180)をお読みください。

走行する

LDW（車線逸脱警報）★

LDW（車線逸脱警報）について

⚠ 注意

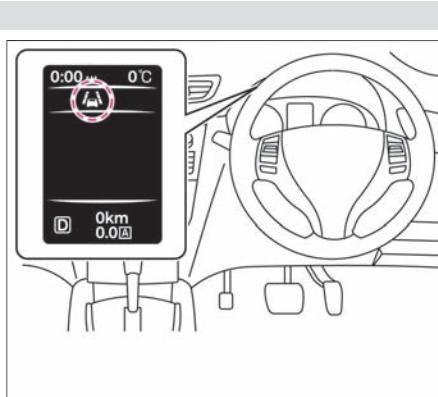
- 次のような状況では、レーンマーカーを正確に検出できず、適切な作動ができない場合があります。
 - 検出しにくいレーンマーカー（不明瞭なレーンマーカー、黄色のレーンマーカー、一般的でないレーンマーカー、水たまり・汚れ・雪などで隠れているレーンマーカー）がある道路を走行するとき
 - 急なカーブのある道路を走行するとき
 - 消されたレーンマーカーがまだ見えている道路を走行するとき
 - 道路上に影、雪、水たまり、わだち、道路のつなぎ目、線状の補修痕などがあるとき（これらのものをレーンマーカーとして検出して警報する場合があります）
 - 車線の分岐・合流のある道路を走行したとき
 - 自車がレーンマーカーに対してまっすぐに走行していないとき
 - 先行車との車間距離が短く、カメラの検出範囲が遮られるとき
 - 雨、雪、汚れなどがフロントガラスに付着しているとき
 - 汚れなどでヘッドライトの明るさが不十分なときやヘッドライトの光軸調整が適切に行われていないとき
 - 前方から強い光（太陽光など）を受けているとき
 - 急な明るさの変化が起こったとき（トンネルの出入り口など）
- 状況によっては外部の騒音などにより、警報音が聞こえない場合があります。

走行する

LDW（車線逸脱警報）★

■ ON・OFFのしかた

- メーター内のディスプレイで「設定」⇒「運転支援システム」⇒「走行支援」⇒「車線逸脱警報」を選択すると、LDW（車線逸脱警報）機能のON・OFFを切り替えることができます。➡ ドライブコンピューター(P.180)
設定の詳細については、運転支援システム（➡ P.188）をお読みください。
- 設定をONにすると、メーター内のディスプレイにあるLDW（車線逸脱警報）表示が点灯します。



知識

- 設定は、エンジンを再始動しても維持されます。

警告表示

- 炎天下に駐車したときなど、カメラが高温になったときは、メーター内のLDW（車線逸脱警報）表示が点滅し、一時的に作動が停止します。（室内の温度が下がると、自動的に作動を復帰します。）
- システムに異常があると、メーター内のLDW（車線逸脱警報）表示がオレンジ色に点灯するとともに、メーター内のディスプレイに警告が表示され、システムが自動的に停止します。
➡ ドライブインジケーター(P.195)

アドバイス

- 表示がオレンジ色に点灯したときは、安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。エンジン再始動後もオレンジ色に点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。
➡ LDW（車線逸脱警報）表示★(P.178)

走行する

LDW（車線逸脱警報）★

■ マルチセンシングフロントカメラの取り扱い

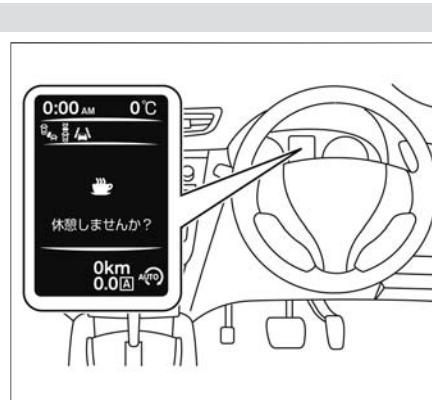
詳しくは、マルチセンシングフロントカメラの取り扱い☞P.121をお読みください

走行する ふらつき警報★

ハンドル操作から運転者の注意力が低下していると判断したときに、メーター内のディスプレイ表示と音により運転者に休憩を促します。

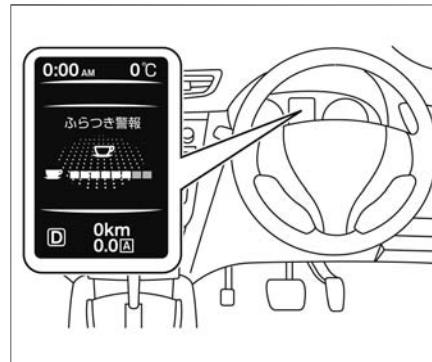
■ システムの作動

- 車速約60km/h以上で走行中、運転者のハンドル操作から注意力が低下していると判断したときに、警報音とともにメーター内ディスプレイに“休憩しませんか？”とメッセージを表示します。



注意力レベル表示

- メーター内のディスプレイを「ふらつき警報」に切り替えると、システムが判断した注意力レベルを表示することができます。
詳しくは、ドライブコンピューター(☞P.180)をお読みください。



⚠ 警告

- このシステムは疲労時の運転を補助するものではありません。疲労時の運転は重大な事故に至る危険がありますので、運転前に十分に休憩をとり、安全運転に努めてください。

📖 知識

- 注意力レベルは8段階で表示されます。
- エンジンを停止したときは、システムがリセットされます。

走行する ふらつき警報★

■ ON・OFFのしかた

- メーター内のディスプレイで「設定」⇒「運転支援システム」⇒「ふらつき警報」を選択すると、ふらつき警報機能のON・OFFを切り替えることができます。 [ドライブコンピューター \(P.180\)](#)
設定の詳細については、運転支援システム ( P.188) をお読みください。

■ 警告表示

- システムに異常があると、メーター内のディスプレイに警告が表示され、自動的に作動が停止します。 [ドライブインジケーター \(P.195\)](#)



知識

- 設定は、エンジンを再始動しても維持されます。



アドバイス

- 安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。
- 再始動後もメッセージを表示するときは、システムの異常が考えられます。
通常走行に支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

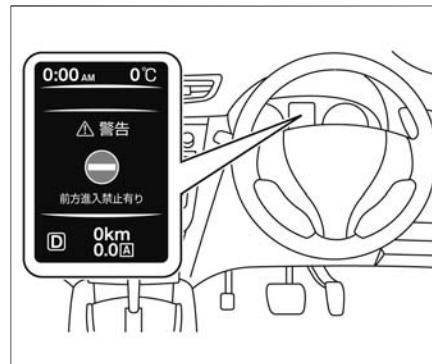
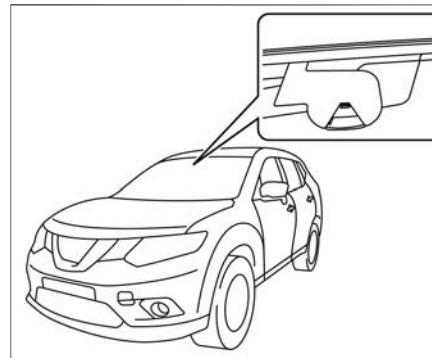
走行する

進入禁止標識検知★

運転者に車両進入禁止標識があることを知らせます。

■ 進入禁止標識検知について

- フロントガラス上部のマルチセンシングフロントカメラにより、前方の車両進入禁止標識を検知し、一方通行路へ進入する可能性がある場合にはメーター内のディスプレイに警告表示します。
- 万一、車両進入禁止標識を通過した場合には警報音が鳴ります。



⚠ 警告

- 進入禁止標識検知には限界があります。交通標識等に十分注意し、安全運転に心がけてください。

⚠ 注意

- 車両の状態、走行状況、交通環境、天候、標識の状態などによっては、標識を検知できない場合があります。
- 次のような場合は、車両進入禁止標識の検知が遅れたり、検知できないことがあります。
 - 標識の一部が樹木や汚れなどによって隠れて不明瞭のとき
 - 標識が折り曲がっているなど形状が変わってしまっているとき
 - 車両進入禁止標識が曲がり角やカーブの先にあるとき
 - 速い速度で走行しているとき
- 状況によっては外部の騒音などにより、警報音が聞こえない場合があります。

走行する 進入禁止標識検知★

■ ON・OFFのしかた

- メーター内のディスプレイで「設定」⇒「運転支援システム」⇒「進入禁止警報」を選択すると、進入禁止警報検知機能のON・OFFを切り替えることができます。 [ドライブコンピューター \(P.180\)](#)
設定の詳細については、運転支援システム ( P.188) をお読みください。



知識

- 設定は、エンジンを再始動しても維持されます。

■ マルチセンシングフロントカメラの取り扱い

フロントカメラの取り扱いは、マルチセンシングフロントカメラの取り扱い ( P.121) をお読みください

メーター

メーターの見かた

各部名称と機能	P.158
---------	-------

警告灯・表示灯

警告灯の表示位置	P.162
警告灯	P.163
表示灯の表示位置	P.168
表示灯	P.169

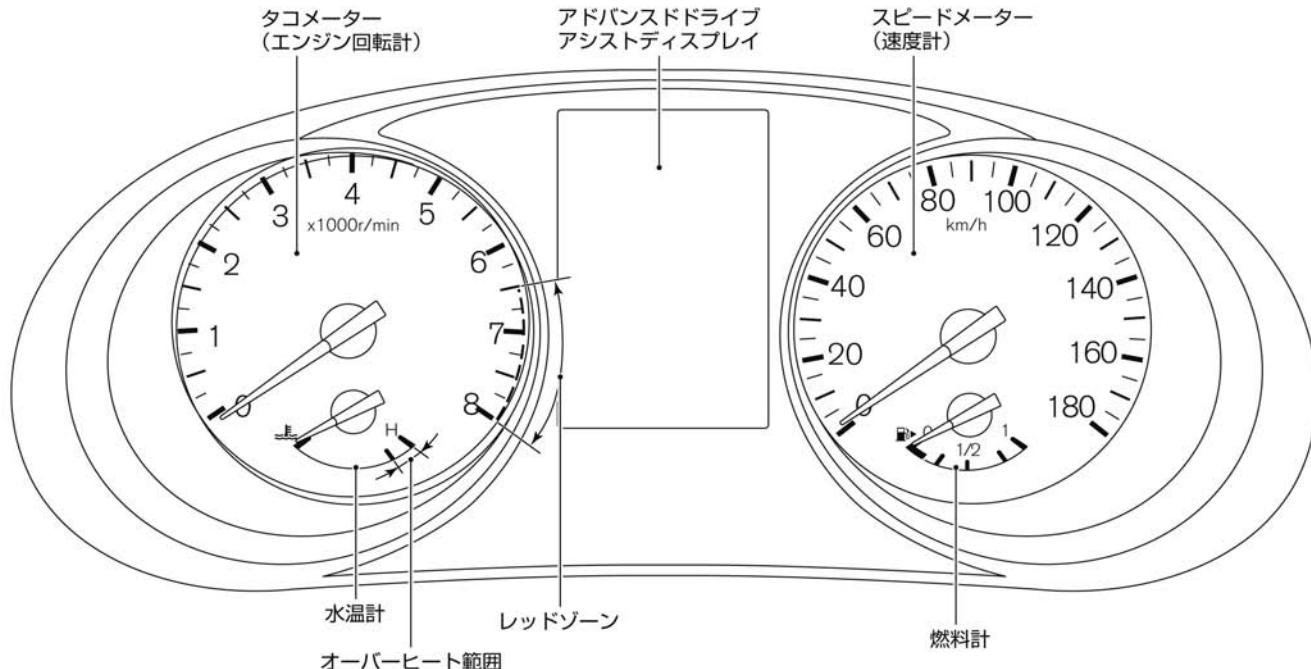
アドバンスドドライブアシストディスプレイの見かた

各部機能と名称	P.172
ドライブコンピューター	P.180
ドライブインジケーター	P.195
その他の機能★	P.205

メーター

メーターの見かた 各部名称と機能

メーター内の装備は、車種、グレードなどの違いにより異なります。



■ スピードメーター（速度計）

走行速度を表示します。

■ タコメーター（エンジン回転計）

1分間あたりのエンジン回転数を表示します。

■ 水温計

キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、エンジン冷却水の温度を表示します。

⚠ 注意

- レッドゾーン（赤色表示部）に入らないように運転してください。レッドゾーンではエンジンが過回転となり故障の原因になります。

⚠ 注意

- オーバーヒートを示したときは、ただちに安全な場所に車を止めて処置してください。そのまま走行を続けると、エンジン故障の原因となり、火災につながるおそれがあります。
詳しくは、オーバーヒートしたとき（☞P.337）をお読みください。

燃料計

キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、燃料の残量を表示します。

- 燃料タンクの容量は約60 ℥です。



知識

- 坂道やカーブなどでは、タンク内の燃料が移動するため、表示が振れることがあります。

アドバンスドドライブアシストディスプレイ

キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、次の項目を表示します。

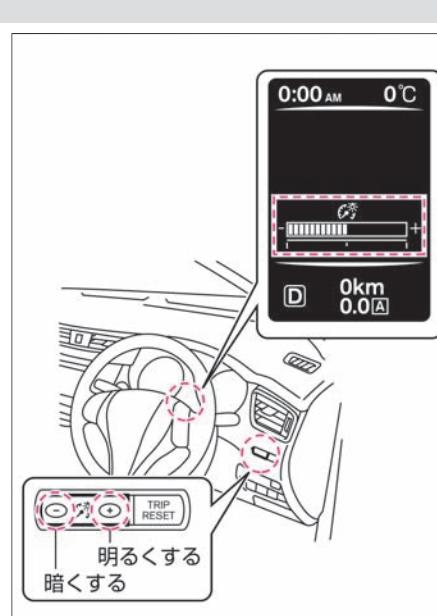
- オドメーター（積算距離計）／トリップメーター（区間距離計）
- ポジションインジケーター
- 時計表示
- 外気温表示
- アイドリングストップ表示
- エマージェンシーブレーキ表示★
- LDW（車線逸脱警報）表示★
- BSW（後側方車両検知警報）表示★
- クルーズコントロール表示★
- ドライブコンピューター
 - － 車両情報(走行支援、シャシー制御など)、設定、警告表示を表示します。
- ドライブインジケーター
 - － 各種警告を表示します。

詳しくは、アドバンスドドライブアシストディスプレイの見かた（☞P.172）をお読みください。

■ イルミネーションコントロール

キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、車外の明るさに応じてメーター照明の明るさを調節できます。

- スイッチを押して調節します。
- 明るさのレベル表示は、メーター内のディスプレイに表示されます。

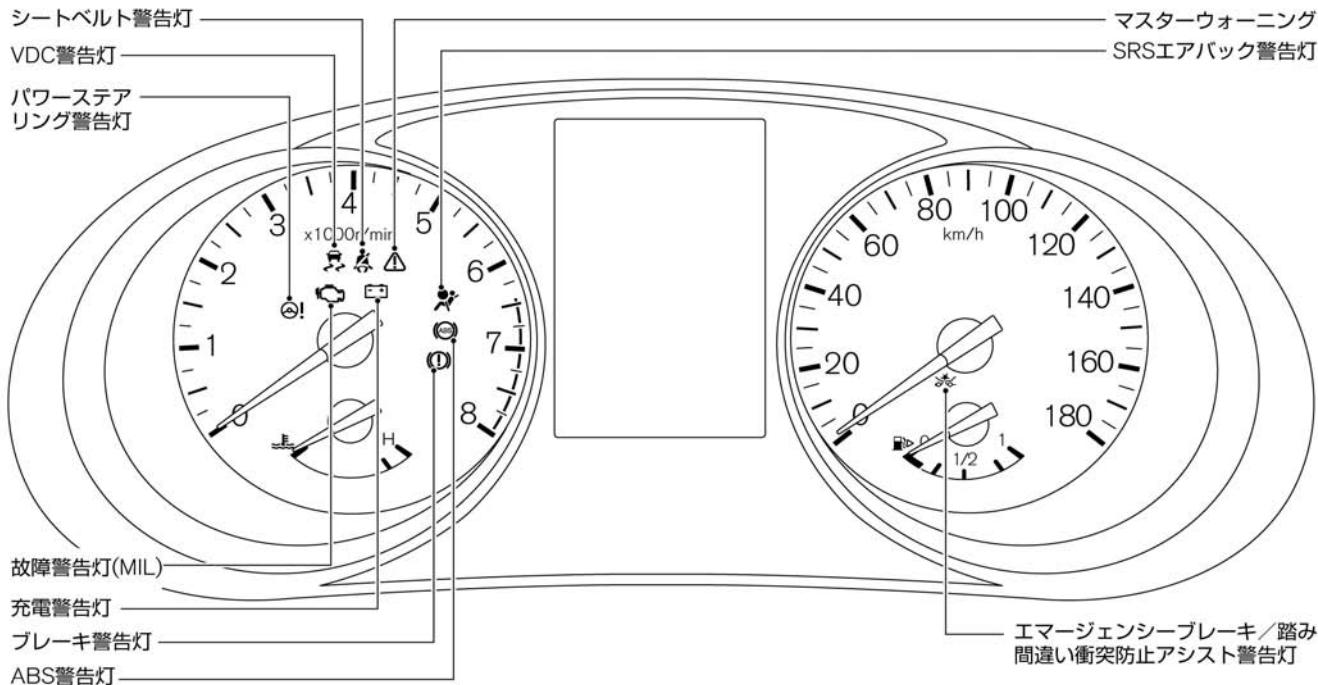


知識

- バッテリーを外すと調節した記憶は消去されます。

警告灯・表示灯

警告灯の表示位置

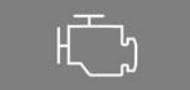


警告灯・表示灯 警告灯

警告灯が点灯または点滅したときは、すみやかに適切な処置をしてください。

放置すると故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。

メーター内の装備は、車種、グレードなどの違いにより異なります。

名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
故障警告灯 (MIL) 	<ul style="list-style-type: none">正常なときは、キースイッチ（電源ポジション）をONIにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。エンジン回転中、エンジン電子制御システムに異常があると点灯または点滅します。	<ul style="list-style-type: none">点灯または点滅したときは、ただちに日産販売会社にご連絡ください。
充電警告灯 	<ul style="list-style-type: none">正常なときは、キースイッチ（電源ポジション）をONIにすると点灯し、数秒後に消灯します。エンジン回転中、バッテリーの充電系統に異常があると点灯します。	<ul style="list-style-type: none">点灯したときは、すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社にご連絡ください。 <p>△ 注意</p> <ul style="list-style-type: none">点灯したまま走行しないでください。バッテリーが破損したり、エンジンが突然停止し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
ブレーキ警告灯 	<ul style="list-style-type: none"> 正常なときは、キースイッチ（電源ポジション）をONにすると点灯し、数秒後に消灯します。（パーキングブレーキをかけているときは消灯しません） キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、次の場合は点灯し続けます。 <ul style="list-style-type: none"> パーキングブレーキをかけているとき ブレーキ液が不足しているとき ブレーキシステムに異常があるとき 	<ul style="list-style-type: none"> パーキングブレーキがかかっているときは、パーキングブレーキを解除します。 パーキングブレーキを解除しても点灯するときは、ただちに安全な場所に停車して、日産販売会社にご連絡ください。ブレーキの効きが悪いときは、ブレーキペダルを強く踏んで停車してください。 ブレーキ液が正常でABS警告灯と同時に点灯したときは、高速走行や急ブレーキを避け、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 <p> 警告</p> <ul style="list-style-type: none"> パーキングブレーキを解除しても点灯し続けるときは、点灯したまま走行しないでください。また、ブレーキ液が規定量以下になっていたら走行しないでください。ブレーキの効きが極度に悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
ABS警告灯 	<ul style="list-style-type: none"> 正常なときは、キースイッチ（電源ポジション）をONにすると点灯し、数秒後に消灯します。 ABSのシステムに異常があると点灯します。 	<ul style="list-style-type: none"> キースイッチ（電源ポジション）をONにしても点灯しないとき、または点灯し続けるときは、高速走行や急ブレーキを避け、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 <p> アドバイス</p> <ul style="list-style-type: none"> ABS警告灯が点灯したときは、ABSは作動しませんが、通常のブレーキ性能は確保されています。この場合、滑りやすい路面でのブレーキ時や急ブレーキ時にタイヤがロックすることがあります。

警告灯・表示灯

警告灯

名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
シートベルト 警告灯 	<ul style="list-style-type: none"> キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、運転者がシートベルトを着用していないと点灯します。 	<ul style="list-style-type: none"> シートベルトを着用してください。 <p>⚠ 警告</p> <ul style="list-style-type: none"> 走行中は全員がシートベルトを着用してください。着用しないと、万一の事故時や急ブレーキ時に、死亡や重大な傷害につながるおそれがあります。 <p>シートベルト非着用警報 (シートベルトリマインダー)</p> <p>📖 知識</p> <ul style="list-style-type: none"> 運転者がシートベルトを着用していない状態で走行すると（約15km/h以上）、約90秒間ブザーが鳴ります。
SRSエアバッグ 警告灯 	<ul style="list-style-type: none"> 正常なときは、キースイッチ（電源ポジション）をONにすると点灯し、約7秒後に消灯します。 キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、SRSエアバッグのシステム、プリテンショナー機能に異常があると、点灯または点滅を続けます。 	<ul style="list-style-type: none"> キースイッチ（電源ポジション）をONにして約7秒たっても点灯、点滅し続けるときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 <p>⚠ 警告</p> <ul style="list-style-type: none"> キースイッチ（電源ポジション）をONにしても点灯しないときや、点灯または点滅を続けるときは、放置したまま走行しないでください。万一のときSRSエアバッグ、プリテンショナーシートベルトが作動せず、重大な傷害につながるおそれがあります。

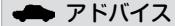
★：車両型式、オプションなどで異なる装備

名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
VDC警告灯 	<ul style="list-style-type: none"> 正常なときは、キースイッチ（電源ポジション）をONにすると点灯し、数秒後に消灯します。 VDC作動中に点滅します。 エンジン回転中、VDC、ヒルディセントコントロール★、ヒルスタートアシストの電子制御システムに異常があると点灯します。 	<ul style="list-style-type: none"> 点灯したときはVDC、ヒルディセントコントロール★、ヒルスタートアシストの作動は停止しますが、それらのシステムのない普通の車として走行できます。滑りやすい路面では注意して走行し、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。
エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト警告灯★ 	<ul style="list-style-type: none"> 正常なときは、電源ポジションをONにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。 次の場合は点灯します。 <ul style="list-style-type: none"> メーター内のディスプレイで、エマージェンシーブレーキをOFFにしているとき VDCをOFFにしているとき エマージェンシーブレーキまたは踏み間違い衝突防止アシストのシステムに異常が発生しているとき 次の場合は点滅します。 <ul style="list-style-type: none"> 踏み間違い衝突防止アシストが作動したとき 次の場合はゆっくり点滅します。 <ul style="list-style-type: none"> フロントガラスの汚れなどにより、カメラが前方を認識できなくなったとき 前方からの強い光により、カメラが前方を認識できなくなったとき 炎天下に駐車したときなど、カメラが高温になったとき 	<ul style="list-style-type: none"> メーター内のディスプレイでエマージェンシーブレーキをOFFにしているときは、ONにすると消灯します。 VDCをOFFにしているときは、ONにすると消灯します。 ☞ VDC OFFスイッチの使いかた (P.106) エンジン再始動後も警告灯が点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。 フロントガラスが汚れているときは、フロントガラスを清掃し、警告灯が消灯したことを確認してください。 室内の温度が高いときなどは、温度が下がると自動的に作動を復帰します。 <p>各システムについては、エマージェンシーブレーキ (☞ P.116) や踏み間違い衝突防止アシスト (☞ P.122) をお読みください。</p>

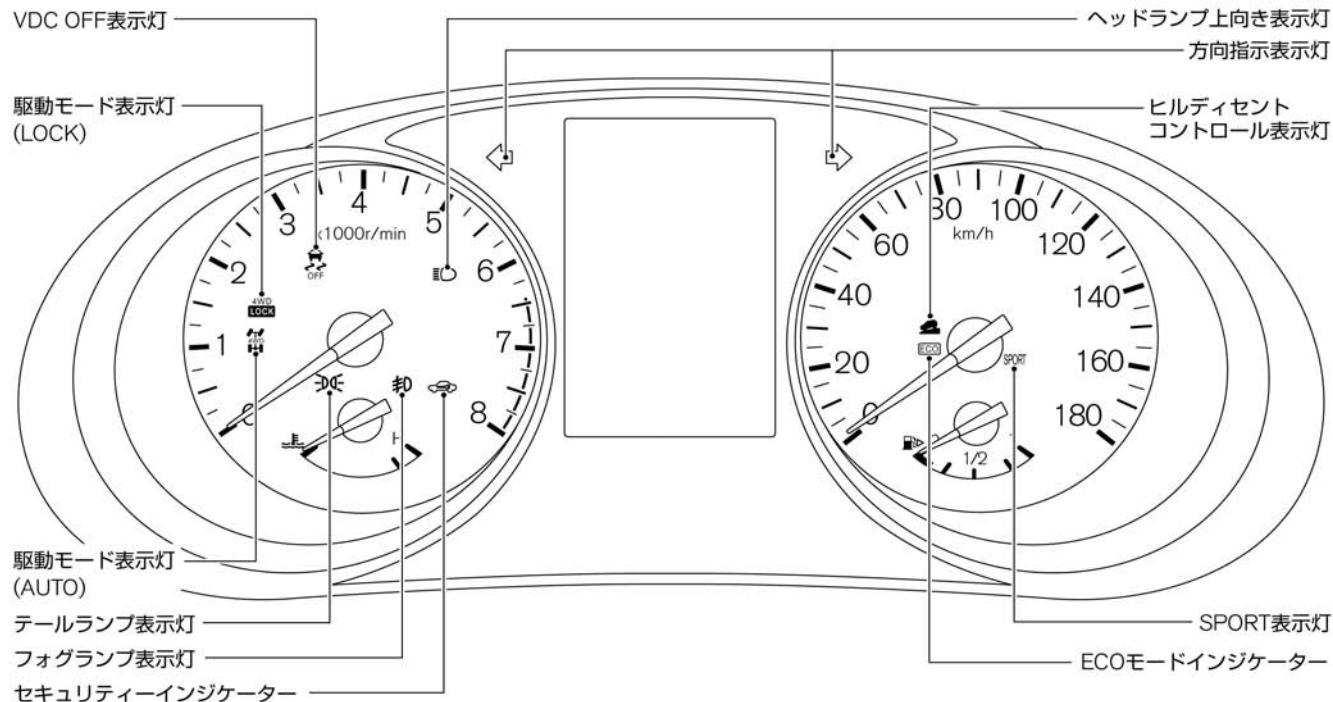
警告灯・表示灯

警告灯

メーター

名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
パワーステアリング 警告灯 	<ul style="list-style-type: none"> 正常なときは、キースイッチ（電源ポジション）をONにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。 パワーステアリングのシステムに異常があると点灯します。 	<ul style="list-style-type: none"> 点灯したときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 点灯しているときは、パワーステアリングは作動しませんが、マニュアルステアリングの性能は確保されています。この場合は、ハンドルの操作力が重くなります。 <p> アドバイス</p> <ul style="list-style-type: none"> ハンドルに長時間力をかけた状態が続いたり停車中に操作を繰り返すと、システムの過熱を防ぐためハンドル操作力が重くなりますが、異常ではありません。しばらくハンドル操作を控え、システムの温度が下がると、通常のハンドル操作に戻ります。 システムが過熱するような操作を繰り返すと故障の原因になります。 <p> 知識</p> <ul style="list-style-type: none"> すばやいハンドル操作を行うと、ハンドル付近から擦れるような音が聞こえてくることがあります。異常ではありません。
マスター ウォーニング 	<ul style="list-style-type: none"> メーター内のディスプレイに警告メッセージが表示されると同時に点灯します。 	<ul style="list-style-type: none"> 同時に点灯した警告メッセージを確認し、それぞれの対処方法に従ってください。  ドライブインジケーター (P.195)

警告灯・表示灯 表示灯の表示位置



警告灯・表示灯 表示灯

メーター内の装備は、車種、グレードなどの違いにより異なります。

名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
方向指示表示灯 	● 方向指示器または非常点滅表示灯を作動させると点滅します。	● 方向指示器の電球（バルブ）が切れたときは点滅が速くなります。電球を交換してください。 ➡ 電球（バルブ）交換 (P.371)
ヘッドライト上向き表示灯 	● ヘッドライトの上向きを点灯させると点灯します。	● 詳しくは、ヘッドライトの上向き、下向き切り替え（➡ P.271）をお読みください。
テールランプ表示灯 	● 車幅灯、尾灯、番号灯を点灯させると点灯します。	● 詳しくは、（➡ P.267）をお読みください。
フォグランプ表示灯★ 	● フォグランプを点灯させると点灯します。	● 詳しくは、（➡ P.271）をお読みください。
VDC OFF表示灯 	● 正常なときは、キースイッチ（電源ポジション）をONにすると点灯し、数秒後に消灯します。 ● VDC OFFスイッチを押すと点灯します。	● 詳しくは、（➡ P.104）をお読みください。

警告灯・表示灯

表示灯

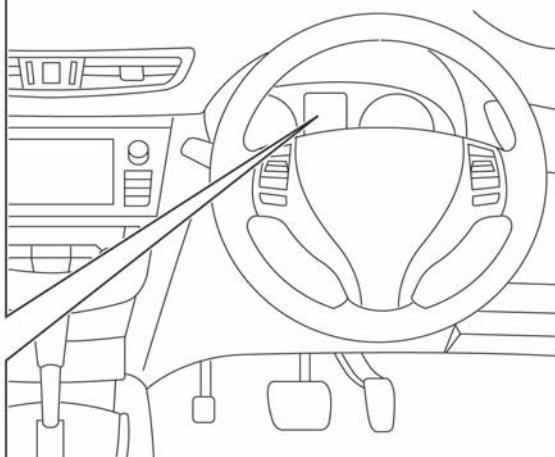
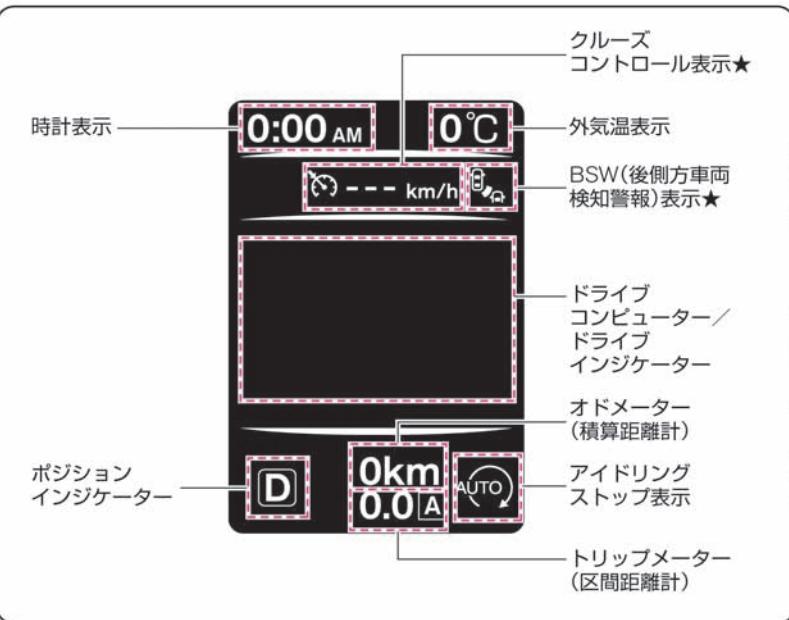
メーター

名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
セキュリティーインジケーター 	● キースイッチ（電源ポジション）がON以外のときに点滅します。	● キースイッチ（電源ポジション）をONにしたあとも点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。 詳しくは、(☞P.62)をお読みください。
ECOモードインジケーター 	● ECOモードスイッチをONにすると点灯します。	● 詳しくは、(☞P.80)をお読みください。
駆動モード表示灯 (LOCK) 	● 正常なときは、キースイッチ（電源ポジション）をONにすると点灯し、数秒後に消灯します。 ● エンジン回転中は4WD MODEスイッチをLOCKに切り替えると駆動モード表示灯（AUTO）と合わせて点灯します。	● 詳しくは、(☞P.100)をお読みください。
駆動モード表示灯 (AUTO) 	● 正常なときは、キースイッチ（電源ポジション）をONにすると点灯し、数秒後に消灯します。 ● エンジン回転中は4WD MODEスイッチをAUTOに切り替えると点灯します。	● 詳しくは、(☞P.100)をお読みください。
ヒルディセントコントロール表示灯★ 	● 正常なときは、キースイッチ（電源ポジション）をONにすると点灯し、数秒後に消灯します。 ● ヒルディセントコントロールスイッチを押し、作動が可能なとき点灯します。	● ヒルディセントコントロールスイッチを押したとき、表示灯が点滅している場合は作動しません。作動条件が満たされているか確認してください。 詳しくは、(☞P.112)をお読みください。

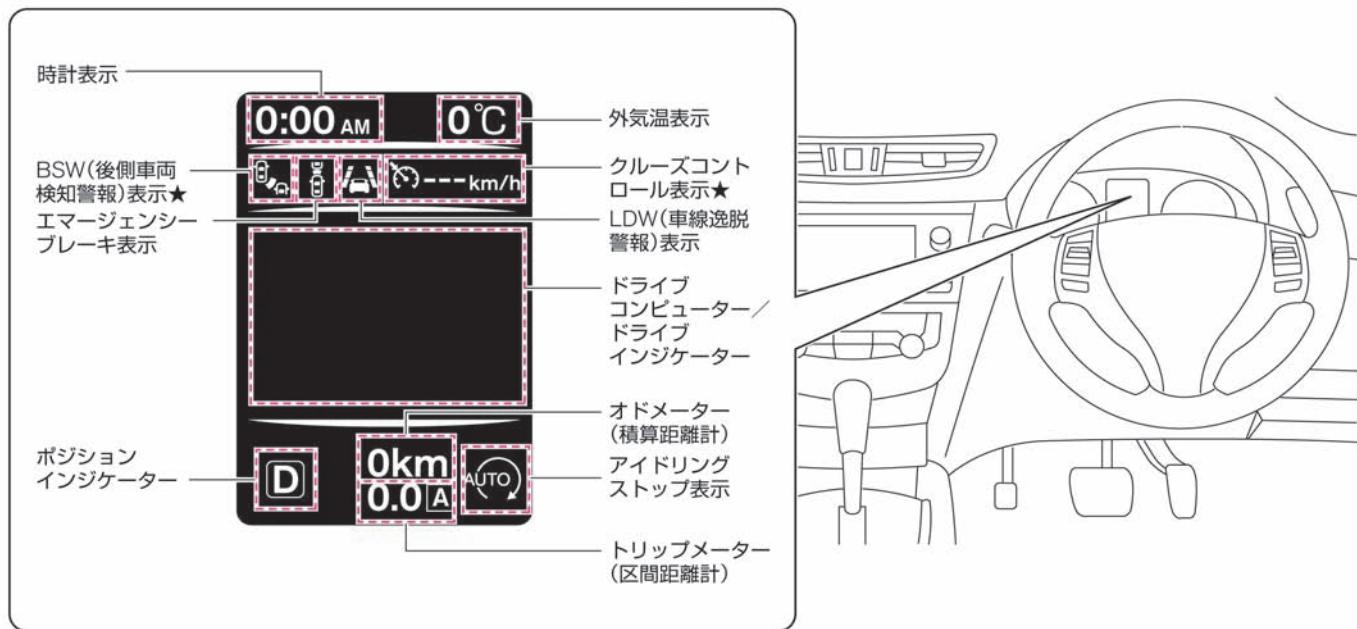
警告灯・表示灯 表示灯

名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
SPORT表示灯 	<ul style="list-style-type: none">正常なときは、キースイッチ（電源ポジション）をONにすると点灯し、数秒後に消灯します。キースイッチ（電源ポジション）がONでセレクトレバーが  のとき、スポーツモードスイッチをONにすると点灯します。	<ul style="list-style-type: none">詳しくは、(⇒P.68)をお読みください。

メータ



■ ディスプレイ表示について（エマージェンシーブレーキ付車）



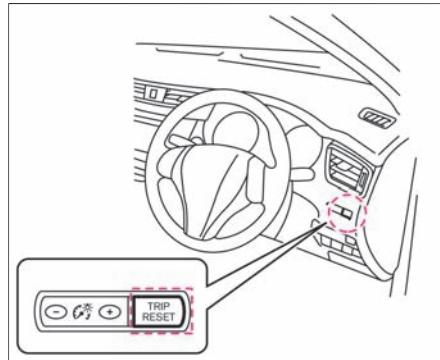
■ オドメーター（積算距離計）／トリップメーター（区間距離計）

オドメーター（積算距離計）

- 総走行距離をkmで表示します。

トリップメーター（区間距離計）

- **A**と**B**の2種類の区間走行距離をkmで表示します。
- TRIP RESETスイッチを押すごとに**A**と**B**が切り替わります。
- リセットするときは0にしたいほうを表示させ、TRIP RESETスイッチを1秒以上押します。



知識

- バッテリーを外したときは、トリップメーターの**A**と**B**の記憶が消去され0に戻ります。

■ ポジションインジケーター

- セレクトレバーの位置を表示します。

■ 時計表示

- 時刻を表示します。
- ナビゲーションシステム付車は、ナビゲーションシステムの時計と連動しており、時刻は自動的に調整されます。
- ナビゲーションシステム無車は、メータ内のディスプレイで、「設定」⇒「時計」⇒「時計調整」を選択すると、時刻の調整ができます。
 ドライブコンピューター (P.180)
設定の詳細については、時計調整 ( P.190) をお読みください。

知識

- ナビゲーションシステム無車の時計は、バッテリーを外すと記憶が消去されます。バッテリーを接続後、正しい時刻に調整してください。

■ 外気温表示

外気温を表示します。

知識

- 外気温センサー取付部の温度を表示するため、実際の外気温とは異なることがあります。

■ アイドリングストップ表示

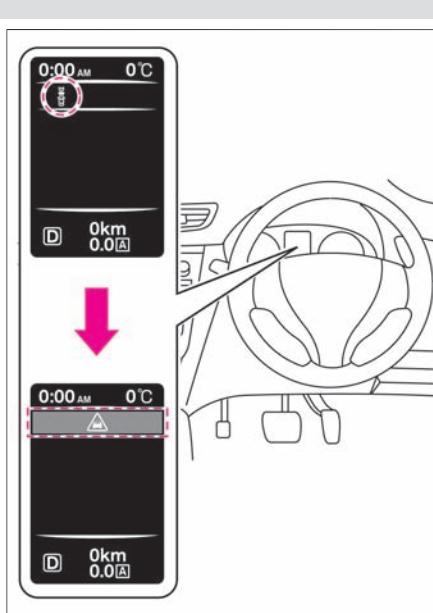
- アイドリングストップ表示は、次のように点灯します。

表示	詳細
	<ul style="list-style-type: none">● アイドリングストップ中にエンジンフードを開けると点灯します。
	<ul style="list-style-type: none">● アイドリングストップシステムに異常があると点滅します。● アイドリングストップが可能な状態と、アイドリングストップ中に緑色に点灯します。
	<ul style="list-style-type: none">● アイドリングストップOFFスイッチをONにすると点灯します。

アイドリングストップについては、(☞P.84)をお読みください。

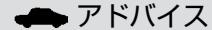
■ エマージェンシーブレーキ表示★

- エマージェンシーブレーキをONにする
と点灯します。
- エマージェンシーブレーキが作動する
とオレンジ色に点滅します。
- 追突の危険性が高まったときには赤い
バー表示に変わります。
エマージェンシーブレーキブレーキについ
ては、(☞P.116) をお読みください。



■ LDW（車線逸脱警報）表示★

- LDW（車線逸脱警報）をONにすると表示します。
- 右側もしくは、左側のレーンマーカーに近づいたと判断すると、オレンジ色に点滅します。
- 炎天下に駐車したときなど、フロントカメラが高温になったときは点滅します。
- LDW（車線逸脱警報）に異常があると、オレンジ色に点灯します。
LDW（車線逸脱警報）については、(☞P.149)をお読みください。



アドバイス

- 点滅したときは、室内の温度が下がると自動的に点灯状態に戻ります。
- オレンジ色に点灯したときは、安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。エンジン再始動後も点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

■ BSW（後側方車両検知警報）表示★

- BSW（後側方車両検知警報）をONにすると表示します。
- 次の場合、表示が点滅します。
 - バックドアが開いた状態で走行したとき
 - カメラに付着した汚れ、雨、雪、氷などをレンズを洗浄する機能により取り除くことができないとき
- BSW（後側方車両検知警報）に異常があると、オレンジ色に点灯します。
BSW（後側方車両検知警報）については、(☞P.141)をお読みください。



アドバイス

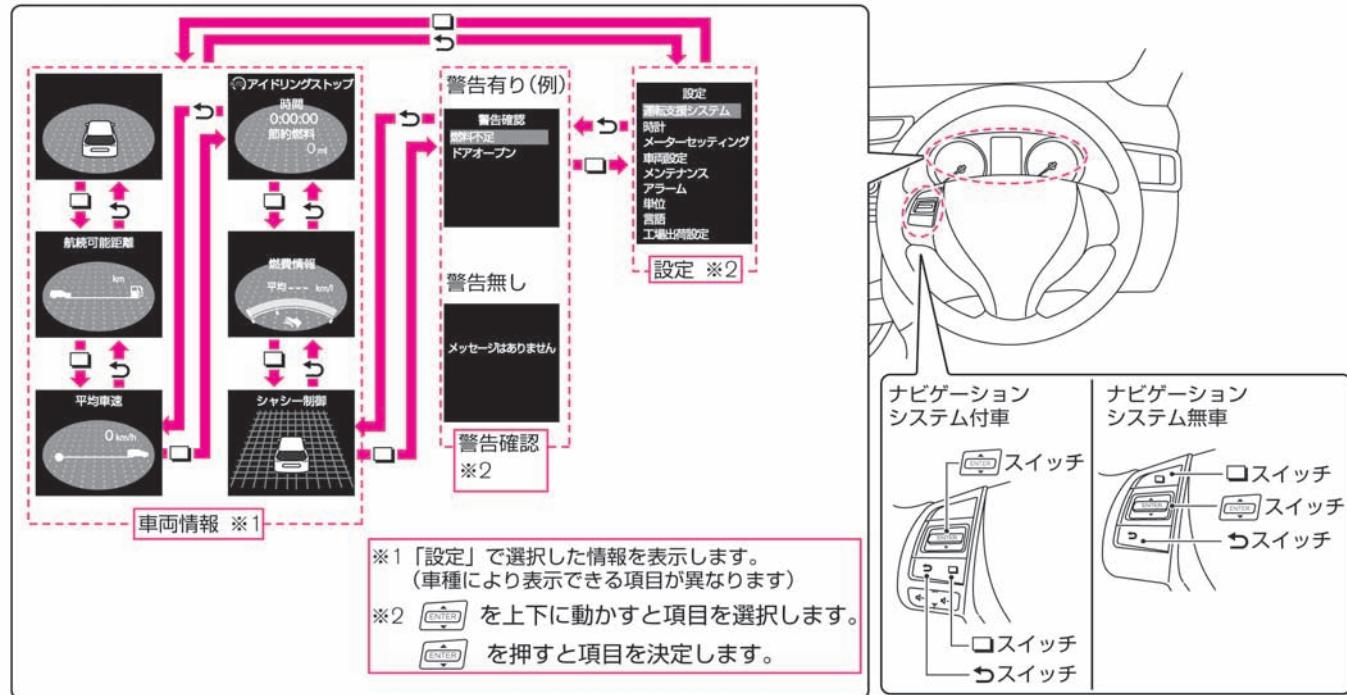
- カメラが汚れているときは、柔らかい布で拭いてください。
- 表示がオレンジ色に点灯したときは、安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。
エンジン再始動後もオレンジ色に点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

■ クルーズコントロール表示★

- クルーズコントロールをONにすると表示します。
- クルーズコントロールシステムに異常があると、表示が点滅します。
クルーズコントロールについては、
(☞P.91)をお読みください。

アドバンスドドライブアシストディスプレイの見かた ドライブコンピューター

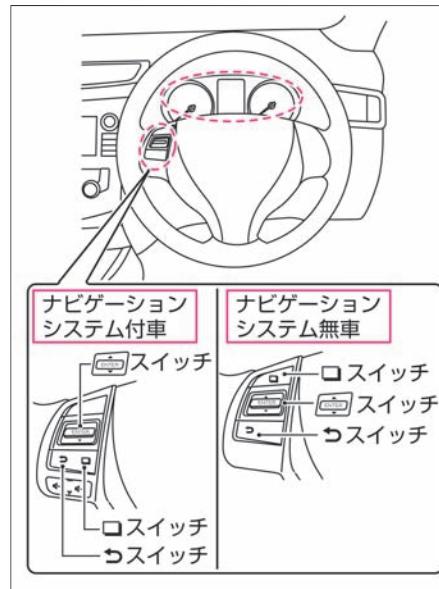
キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、□スイッチまたは ↪スイッチを押すと次の順で画面が切り替わります。
機能の詳細および表示項目については、車両情報（☞P.181）、ドライブインジケーター（警告確認）（☞P.195）
設定（☞P.187）をお読みください。



■ 車両情報

メーター内のディスプレイで、様々な機能の作動状態などを確認できます。

- キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、ステアリングスイッチの □ スイッチおよび ↪ スイッチで表示する項目を選択します。

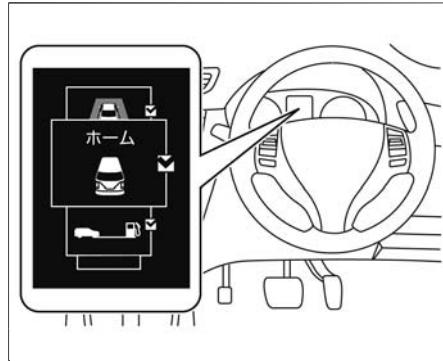


知識

- 車両情報では次の項目を表示することができます。
 - － ホーム
 - － 航続可能距離
 - － 平均車速
 - － アイドリングストップ（時間・節約燃料）
 - － アイドリングストップ（積算時間・積算節約燃料）
 - － 燃費情報
 - － ナビゲーション★
 - － オーディオ★
 - － 走行支援★
 - － ふらつき警報★
 - － 4x4-i★
 - － シャシー制御

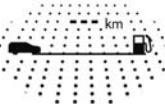
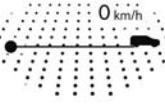
■表示項目設定

- 車両情報に表示する内容は、ディスプレイ内の、「設定」→「メーターセッティング」→「メインメニュー選択」で設定できます。
- 表示させたい項目は、の上下で選択し、を押して□にすると選択できるようになります。
詳しくは、メーターセッティング（P.190）をお読みください。



アドバンスドドライブアシストディスプレイの見かた ドライブコンピューター

■ 表示項目

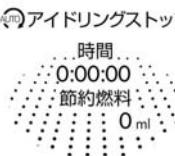
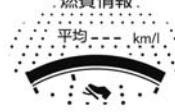
項目	概要	詳細説明
ホーム	<ul style="list-style-type: none">車のアイコンを表示します。	<p> 知識</p> <ul style="list-style-type: none">メータ内のディスプレイで、「設定」→「メーターセッティング」⇒「ボディーカラー」を選択すると、表示する車のアイコン色を変更できます。 <p> 設定 (P.187)</p>
航続可能距離	<p>航続可能距離</p>  <ul style="list-style-type: none">現在の燃料残量と平均燃費から航続可能な距離を表示します。燃料残量警告（ P.195）が表示されると、航続可能距離の距離表示が点滅します。燃料残量警告表示後も燃料を補給しないと「----」と表示します。	<p> 知識</p> <ul style="list-style-type: none">数値は約30秒ごとに算出しています。
平均車速	<p>平均車速</p>  <ul style="list-style-type: none">リセットしてから次にリセットするまでの平均車速を表示します。 リセットするときは、スイッチを1秒以上押します。	<p> 知識</p> <ul style="list-style-type: none">バッテリー接続後やリセット後は「---」と表示します。数値は約30秒ごとに更新しています。

★：車両型式、オプションなどで異なる装備

ドライブコンピューター 183

アドバンスドドライブアシストディスプレイの見かた

ドライブコンピューター

項目	概要	詳細説明
<p>アイドリングストップ (時間・節約燃料)</p>  <p>時間 0:00:00 節約燃料 0 ml</p>	<ul style="list-style-type: none"> エンジン始動時からの、アイドリングストップが作動した時間と、節約された燃料を表示します。リセットするときは、□スイッチを1秒以上押します。 	<p> 知識</p> <ul style="list-style-type: none"> アイドリングストップについては、(☞P.84)をお読みください。
<p>アイドリングストップ (積算時間・積算節約燃料)</p>  <p>積算時間 0:00:00 積算節約燃料 0 ml</p>	<ul style="list-style-type: none"> 前回リセット時からの、アイドリングストップが作動した合計時間と、節約された合計燃料を表示します。リセットするときは、□スイッチを1秒以上押します。 	<p> 知識</p> <ul style="list-style-type: none"> アイドリングストップについては、(☞P.84)をお読みください。
<p>燃費情報</p>  <p>燃費情報 平均 --- km/l</p>	<ul style="list-style-type: none"> リセットしてから次にリセットするまでの平均燃費や、車速に応じたアクセルペダルの踏み加減などを表示します。平均燃費をリセットするときは、□スイッチを1秒以上押します。 	<ul style="list-style-type: none"> 平均燃費は、バッテリー接続後やリセット後は「---」と表示します。 平均燃費は約30秒ごとに更新します。 ECOモードがOFFのときは、平均燃費と瞬間燃費を表示します。 <p>詳しくは、ECOモード (☞P.80) をお読みください。</p>

アドバンスドドライブアシストディスプレイの見かた

ドライブコンピューター

メタリック

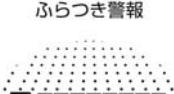
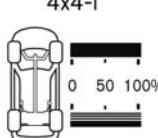
項目	概要	詳細説明
ナビゲーション★ 	<ul style="list-style-type: none"> ナビゲーションシステムと連動し、次の右左折点までの距離などを表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> ナビゲーションシステムの取り扱いについては、別冊のナビゲーションシステム取扱説明書をお読みください。 次の場合はコンパス（車両の進行方位）を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> 交差点付近以外のとき 目的地を設定していないとき 「設定」内の「アラーム」で、ナビゲーションをOFFにしているとき <p>☞ アラーム (P.193)</p>
オーディオ★ 	<ul style="list-style-type: none"> 現在使用中のオーディオ情報を表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> オーディオの取り扱いについては、別冊のナビゲーションシステム取扱説明書をお読みください。
走行支援★ 	<ul style="list-style-type: none"> 次のシステムに連動して作動状態を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> LDW（車線逸脱警報） BSW（後側方車両検知警報） エマージェンシーブレーキ 	<ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、各システムの説明をお読みください。 <ul style="list-style-type: none"> LDW（車線逸脱警報） (☞ P.149) BSW（後側方車両検知警報） (☞ P.179) エマージェンシーブレーキ (☞ P.116)

★：車両型式、オプションなどで異なる装備

ドライブコンピューター 185

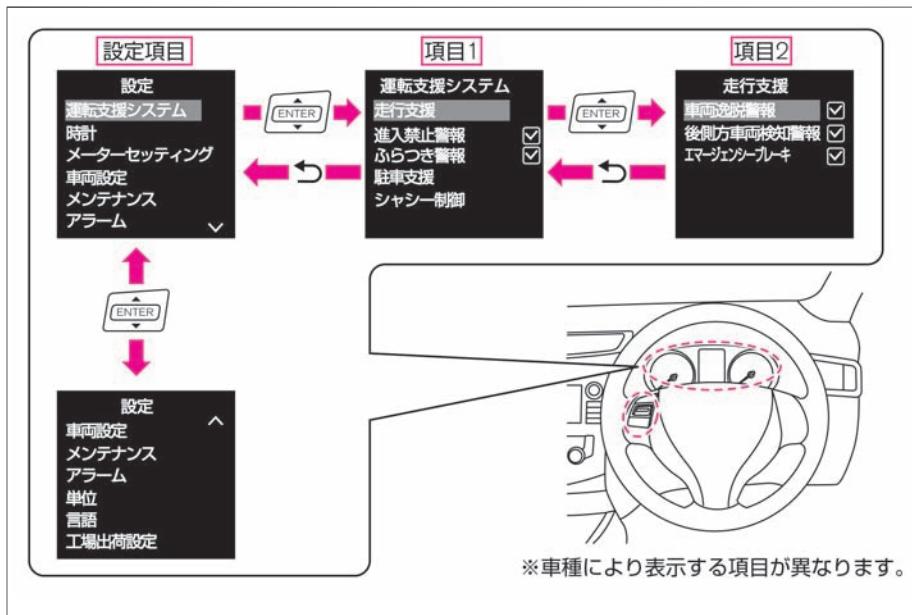
アドバンスドドライブアシストディスプレイの見かた

ドライブコンピューター

項目	概要	詳細説明
ふらつき警報★  システムスタンバイ	<ul style="list-style-type: none"> 走行中、ハンドルの動きを検出して表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> 車速約60km/h以上で走行中に作動します。 ☞ <u>ふらつき警報★ (P.153)</u>
4x4-i★  0 50 100%	<ul style="list-style-type: none"> 走行中の前後輪への伝達トルク配分比を表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、4WDトルク配分表示 (☞ P.102) をお読みください。
シャシー制御 	<ul style="list-style-type: none"> 走行中、次のシステムの作動状態を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> コーナリングスタビリティーアシスト アクティブブレーキコントロール アクティブエンジンブレーキ ヒルディセントコントロール★ ヒルスタートアシスト 	<ul style="list-style-type: none"> 詳しくは、各システムの説明をお読みください。 <ul style="list-style-type: none"> コーナリングスタビリティーアシスト (☞ P.107) アクティブブレーキコントロール (☞ P.109) アクティブエンジンブレーキ (☞ P.110) ヒルディセントコントロール★ (☞ P.112) ヒルスタートアシスト (☞ P.114)

設定

- ディスプレイに表示する項目や様々な機能のON・OFFを設定することができます。
- ステアリングスイッチの の上下で選択し、 を押して決定します。



★：車両型式、オプションなどで異なる装備

知識

- 次の項目を設定できます。
 - 運転支援システム (☞P.188)
 - 時計 (☞P.190)
 - メーターセッティング (☞P.190)
 - 車両設定 (☞P.191)
 - メンテナンス (☞P.192)
 - アラーム (☞P.193)
 - 単位 (☞P.193)
 - 言語 (☞P.194)
 - 工場出荷設定 (☞P.194)
- 各項目のON・OFFは、 を押して団にするとONになります。

アドバンスドドライブアシストディスプレイの見かた ドライブコンピューター

メータ

■ 運転支援システム

項目1	項目2	機能
走行支援★	車線逸脱警報	<ul style="list-style-type: none">● LDW（車線逸脱警報）のON・OFFを設定します。 ⇒ <u>LDW（車線逸脱警報）★ (P.149)</u>
	後側方車両検知警報	<ul style="list-style-type: none">● BSW（後側方車両検知警報）のON・OFFを設定します。 ⇒ <u>BSW（後側方車両検知警報）★ (P.141)</u>
	エマージェンシーブレーキ	<ul style="list-style-type: none">● エマージェンシーブレーキのON・OFFを設定します。 ⇒ <u>エマージェンシーブレーキ★ (P.116)</u>
進入禁止警報★		<ul style="list-style-type: none">● 進入禁止標識検知のON・OFFを設定します。 ⇒ <u>進入禁止標識検知★ (P.155)</u>
ふらつき警報★		<ul style="list-style-type: none">● ふらつき警報のON・OFFを設定します。 ⇒ <u>ふらつき警報★ (P.153)</u>
駐車支援★	移動物検知	<ul style="list-style-type: none">● MOD（移動物検知）のON・OFFを設定します。 MOD(移動物検知)については別冊のナビゲーションシステム取扱説明書をお読みください。
	フロント ソナー	<ul style="list-style-type: none">● フロント ソナーのON・OFFを設定します。 ソナーについては、踏み間違い衝突防止アシスト★ (⇒ P.122) または別冊のナビゲーションシステム取扱説明書をお読みください。
	リヤ ソナー	<ul style="list-style-type: none">● リヤ ソナーのON・OFFを設定します。 ソナーについては、踏み間違い衝突防止アシスト★ (⇒ P.122) または別冊のナビゲーションシステム取扱説明書をお読みください。
	表示割込み	<ul style="list-style-type: none">● 障害物に近づいたときに、ナビゲーションシステムおよびメーター内のディスプレイに表示する、ソナー割り込み表示のON・OFFを設定します。 ソナーについては、踏み間違い衝突防止アシスト★ (⇒ P.122) または別冊のナビゲーションシステム取扱説明書をお読みください。

アドバンスドドライブアシストディスプレイの見かた

ドライブコンピューター

メータ

項目1	項目2	機能
ソナー音量	ソナー音量	<ul style="list-style-type: none">● ソナーの音量を、高、中、低から設定します。 ソナーについては、踏み間違い衝突防止アシスト★（☞P.122）または別冊のナビゲーションシステム取扱説明書をお読みください。
	ソナー感度	<ul style="list-style-type: none">● ソナーのセンサー感度を、遠、中、近から設定します。 ソナーについては、踏み間違い衝突防止アシスト★（☞P.122）または別冊のナビゲーションシステム取扱説明書をお読みください。
シャシー制御	コーナーリングスタビリティアシスト	<ul style="list-style-type: none">● コーナーリングスタビリティアシストのON、OFFを設定します。 ☞<u>コーナリングスタビリティアシスト (P.107)</u>
	アクティブエンジンブレーキ	<ul style="list-style-type: none">● アクティブエンジンブレーキのON、OFFを設定します。 ☞<u>アクティブエンジンブレーキ (P.110)</u>

アドバンスドドライブアシストディスプレイの見かた ドライブコンピューター

■ 時計 ナビゲーションシステム無車

項目	機能
時計調整	<p>時計調整画面を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none">● の上下で時間が切り替わります。（長押しすると速く進みます。）● を押すと分設定に切り替わります。● 再度 を押すと設定できます。 (を押すと設定前の画面に戻ります。)
12H/24H	<ul style="list-style-type: none">● 12H、24H表示を切り替えます。

ナビゲーションシステム付車

機能
<ul style="list-style-type: none">● 『ナビゲーション画面にて設定してください』と表示します。 詳しくは、別冊のナビゲーションシステム取扱説明書をお読みください。

■ メーターセッティング

項目1	項目2	機能
メインメニュー選択		<ul style="list-style-type: none">● 車両情報としてメインメニューに表示する項目を設定します。 表示項目 (P.183)
ボディーカラー		<ul style="list-style-type: none">● メーター内に表示する車両を、お好みのボディーカラーに変更します。
エコモード設定	エコインジケーター	<ul style="list-style-type: none">● アンビエントランプのON、OFFを設定します。 OFFにすると、アンビエントランプが表示されなくなります。 ECOモード (P.80)
	エコメーター表示	<ul style="list-style-type: none">● ペダル（ペダルガイド）と瞬間燃費を切り替えます。 ECOモード (P.80)

アドバンスドドライブアシストディスプレイの見かた

ドライブコンピューター

メータ

項目1	項目2	機能
エコドライブポート	表示	<ul style="list-style-type: none"> ● エコマネージメントのON、OFFを設定します。 ☞ エコマネージメント (P.83)
	燃費履歴	<ul style="list-style-type: none"> ● 履歴画面を表示します。（リセットを選択すると履歴を消去します。）
メーター演出	スイープ演出	<ul style="list-style-type: none"> ● スイープ演出のON、OFFを設定します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> □ 知識 スイープ演出 </div> <ul style="list-style-type: none"> ● キースイッチ（電源ポジション）をONにすると、スピードメーターおよびタコメーターの指針が一度最大値付近を指し、戻ります。
	ディスプレイ演出	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスプレイ演出のON・OFFを設定します。 OFFにすると、エンジン始動時のアニメーションが表示されなくなります。

■ 車両設定

項目1	項目2	機能
ライト/照明	ウェルカムライト	<ul style="list-style-type: none"> ● ウェルカムライト機能（フェアウェル機能付）のON、OFFを設定します。 リモートコントロールエントリー付車（☞ P.209） インテリジェントキー付車（☞ P.212）
	自動室内灯	<ul style="list-style-type: none"> ● キー連動室内照明のON、OFFを設定します。 ☞ 室内照明 (P.282)
	オートライト感度調整	<ul style="list-style-type: none"> ● オートライトの点灯タイミングを、より早い、早い、標準、遅いから選択します。 ☞ オートライトシステムについて (P.269)

アドバンスドドライブアシストディスプレイの見かた ドライブコンピューター

メ
タ
ー

項目1	項目2	機能
方向指示器	コンフォートフラッシャー	<ul style="list-style-type: none"> ● コンフォートフラッシャーのON、OFFを設定します。 ➡ 方向指示器スイッチ (P.272)
ロック	I-keyエントリー	<ul style="list-style-type: none"> ● リクエストスイッチのON、OFFを設定します。 ➡ インテリジェントキー機能による施錠・解錠 (P.220)
ワイパー	車速連動	<ul style="list-style-type: none"> ● 車速連動のON、OFFを設定します。 ➡ フロントワイパーの使いかた (P.275)
	リバース連動	<ul style="list-style-type: none"> ● リバース連動のON、OFFを設定します。 ➡ リヤワイパーの使いかた (P.277)
	ドリップ拭き取り	<ul style="list-style-type: none"> ● ドリップ拭き取りのON、OFFを設定します。 ➡ フロントワイパーの使いかた (P.275)

■メンテナンス

項目	機能
オイル／オイル フィルター	<ul style="list-style-type: none"> ● 設定した距離を超えると表示で知らせます。 の上下で時間が切り替わり、 を押すと決定します。 <ul style="list-style-type: none"> – 最大30,000kmまで設定できます。 – 設定距離は500km単位で切り替わります。（長押すると1000km単位で切り替わります。） – リセットを選択すると走行した距離をリセットできます。 – (を押すと設定前の画面に戻ります。)
タイヤ	
ユーザー	

アドバンスドドライブアシストディスプレイの見かた ドライブコンピューター

メタリ

■ アラーム

項目	機能
凍結注意	● 外気温が3°C以下になったときに表示する凍結注意表示のON、OFFを設定します。
走行時間	● 設定した時間まで連続走行したことを知らせます。  の上下で時間が切り替わり、  を押すと決定します。 – 最大6Hまで設定できます。 – 設定時間は0.5H単位で切り替わります。（長押しすると1.0H単位で切り替わります。） ( を押すと設定前の画面に戻ります。)
ナビゲーション	● 走行中、次の右左折点に近接したとき、メーター内にポップアップでお知らせする機能のON・OFFを設定します。
電話	● 携帯電話をハンズフリー接続しているとき、メーター内に着信などの表示をする機能のON、OFFを設定します。  着信表示★(P.206)

■ 単位

項目	機能
燃費	● 燃費の表示単位を km, km/l または km, l/100km に切り替えます。
温度	● 温度の単位を °C または °F に切り替えます。

■ 言語

機能

- 表示言語を、日本語またはUS Englishに切り替えます。

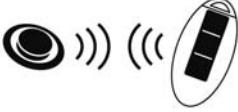
■ 工場出荷設定

機能

- はいを選択すると、ドライブコンピューターの設定が初期化されます。

アドバンスドドライブアシストディスプレイの見かた ドライブインジケーター

メーター内の装備は、車種、グレードなどの違いにより異なります。

画面に表示されたアイコン	表示される条件	説明・対処方法
 	<ul style="list-style-type: none"> ブレーキペダルを踏みながらエンジンスイッチを押し、エンジンを始動することを表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> ブレーキペダルを踏みながらエンジンスイッチを押してください。エンジンが始動します。 <p> 知識</p> <ul style="list-style-type: none"> 次の場合、表示が消えます。 <ul style="list-style-type: none"> エンジンを始動したとき 電源ポジションをOFFにしてから約15秒経過したとき リモートコントロールエントリー機能、またはリクエストスイッチでドアを施錠したとき セレクトレバーがP以外になったとき
	<ul style="list-style-type: none"> インテリジェントキーの電池が切れたときや、使用環境により、インテリジェントキーと車両の通信が正常に行われないときに表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> ブレーキペダルを踏みながら、インテリジェントキーの裏面をエンジンスイッチに接触させてください。  インテリジェントキー★で始動できない (P.325)
 キー電池残量が低下しています	<ul style="list-style-type: none"> インテリジェントキーの電池切れが近くなると電池の交換を知らせます。 	<ul style="list-style-type: none"> 新しい電池に交換してください。  インテリジェントキーの電池交換 (P.219) <p> 知識</p> <ul style="list-style-type: none"> 次の場合、インテリジェントキー電池切れ表示が消えます。 <ul style="list-style-type: none"> 表示から約30秒経過したとき 電源ポジションをON以外にしたとき

アドバンスドドライブアシストディスプレイの見かた ドライブインジケーター

メー
タ

画面に表示されたアイコン	表示される条件	説明・対処方法
 警告  キーが 見つかりません	<ul style="list-style-type: none"> 電源ポジションがONのとき、インテリジェントキーが車外に持ち出されると表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> インテリジェントキーが車外に持ち出されていないか確認してください。
 警告 	<ul style="list-style-type: none"> ドアが確実に閉まっていないとき、開いている位置を表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> ドアを確実に閉めてください。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">  知識 </div> <ul style="list-style-type: none"> 走行前に表示が消えていることを確認してください。ドアが完全に閉まっていない（半ドア）と走行中に突然開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。
 警告  キーシステム故障 取扱説明書を見てください	<ul style="list-style-type: none"> ステアリングロックやキーシステムに異常があると表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> 日産販売会社にご連絡ください。エンジンが始動できることやキースイッチ（電源ポジション）が切り替わらないことがあります。
 警告  Pレンジに 入れてください	<ul style="list-style-type: none"> セレクトレバーがP以外のとき、キースイッチ（電源ポジション）をONからOFFにすると表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> セレクトレバーをPにしてください。 キースイッチ（電源ポジション）をONにしたときも表示が消えます。

アドバンスドドライブアシストディスプレイの見かた

ドライブインジケーター

メタリック

画面に表示されたアイコン	表示される条件	説明・対処方法
 警告  キーIDが 正しくありません	<ul style="list-style-type: none"> 次のときに電源ポジションを切り替えようとするとき表示します。 <ul style="list-style-type: none"> インテリジェントキーを携帯していないとき 携帯しているインテリジェントキーの電池が切れているとき 登録されていないインテリジェントキーを携帯しているとき 	<ul style="list-style-type: none"> インテリジェントキーを携帯してください。 新しい電池に交換してください。  インテリジェントキーの電池交換 (P.219) 自車のインテリジェントキーであることを確認してください。
 警告 パーキングブレーキを 解除してください	<ul style="list-style-type: none"> パーキングブレーキを解除し忘れたまま走行すると（約7km/h以上）表示し、ブザーが鳴ります。 	<ul style="list-style-type: none"> すみやかにパーキングブレーキを解除してください。  パーキングブレーキ (P.69) 走行するときは、必ずパーキングブレーキを解除してください。
	<ul style="list-style-type: none"> ステアリングロックを解除できないときに表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> ハンドルを軽く左右に回しながらエンジンスイッチを押してください。ステアリングロックを解除すると表示が消えます。
 警告  航続可能距離 --- km	<ul style="list-style-type: none"> 燃料が少なくなると表示します。 残っている燃料で航続可能な距離を表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> すみやかに指定の燃料を補給してください。 <p> 知識</p> <ul style="list-style-type: none"> 燃料の残量が約11ℓ以下で表示します。 車両姿勢、走行状況によっては、燃料がタンク内で移動するため、警告が表示されるタイミングが変わることがあります。

アドバンスドドライブアシストディスプレイの見かた ドライブインジケーター

メー
タ

画面に表示されたアイコン	表示される条件	説明・対処方法
 警告  油圧低下 車両を安全なところに止めてください	<ul style="list-style-type: none"> エンジン回転中、エンジン内部を潤滑しているオイルの圧力が低下すると表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> ただちに安全な場所に停車し、エンジンを停止して日産販売会社にご連絡ください。 <p></p> <ul style="list-style-type: none"> 点灯したまま走行しないでください。エンジンが破損し発火するおそれがあります。
 警告 シャシー制御システム故障 <small>取扱説明書を見てください</small>	<ul style="list-style-type: none"> シャシー制御のシステムに異常があると表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。
 警告 4WD 4WDシステム異常 <small>取扱説明書を見てください</small>	<ul style="list-style-type: none"> エンジン回転中、4WDシステムに異常があると表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> 4WDシステムに異常が発生しているため2WD状態になっています。高速走行をせず、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 表示したときは、駆動モード表示灯は消灯します。 <p> <u>ALL MODE4 x 4★ (P.100)</u></p>

アドバンスドドライブアシストディスプレイの見かた

ドライブインジケーター

メータ

画面に表示されたアイコン	表示される条件	説明・対処方法
 警告 4WD 4WDシステム高油温 車両を安全なところに 止めてください	<ul style="list-style-type: none"> 走行中、前後輪の回転数の差が大きい状態が続き、駆動系部品の油温が異常に高くなると表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> すみやかに安全な場所に停車し、アイドリング状態にしてください。メッセージが表示されている間は駆動系部品の保護のため、2WD状態になっています。しばらくして表示が消えると、4WDに復帰し、通常どおり走行できます。 表示したときは、駆動モード表示灯は消灯します。  ALL MODE 4×4★ (P.100)
 警告 4WD タイヤサイズ異常 取扱説明書を見てください	<ul style="list-style-type: none"> 前後輪のタイヤ径差が大きすぎると表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> 装着タイヤの種類とサイズ、およびタイヤ空気圧などを点検してください。タイヤの種類やサイズが異なるときは同一銘柄、同一サイズのタイヤを装着してください。また、タイヤ空気圧が不足のときは空気を入れてください。 それでも表示が消えないときは、4WDモードスイッチを2WDに切り替え、高速走行をせず、最寄りの日産販売会社で点検を受けてください。  ALL MODE 4×4★ (P.100)
 警告  踏み間違い 衝突防止アシストが 作動しました。	<ul style="list-style-type: none"> 踏み間違い衝突防止アシストが作動すると表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> 車速約15km/h未満で進行方向に壁などの障害物を検知している場合に、アクセルペダルが素早く深く踏み込まれたとシステムが判断したときに作動します。  踏み間違い衝突防止アシスト★ (P.122)

アドバンスドドライブアシストディスプレイの見かた

ドライブインジケーター

画面に表示されたアイコン	表示される条件	説明・対処方法
 警告 ヘッドライト システム異常 <small>取扱説明書を見てください</small>	● LEDヘッドライトランプに異常があると表示します。	<ul style="list-style-type: none"> ● すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。
 警告 システム故障 <small>取扱説明書を見てください</small>	● LDW（車線逸脱警報）、BSW（後側方車両検知警報）、エマージェンシーブレーキ、踏み間違い衝突防止アシストが故障すると表示します。	<ul style="list-style-type: none"> ● 安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。 ● 再始動後もメッセージを表示するときは、システムの異常が考えられます。通常走行に支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。 <p>☞ <u>LDW（車線逸脱警報）★ (P.149)</u> <u>BSW（後側方車両検知警報）★ (P.141)</u> <u>エマージェンシーブレーキ★ (P.116)</u> <u>踏み間違い衝突防止アシスト★ (P.122)</u></p>
 警告 DAA システム故障	● ふらつき警報に異常があると表示します。	<ul style="list-style-type: none"> ● 安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。 ● 再始動後もメッセージを表示するときは、システムの異常が考えられます。通常走行に支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。 <p>☞ <u>ふらつき警報★ (P.153)</u></p>

アドバンスドドライブアシストディスプレイの見かた ドライブインジケーター

メタリック

画面に表示されたアイコン	表示される条件	説明・対処方法
 警告 ソナー故障 取扱説明書を見てください	<ul style="list-style-type: none"> ソナーが故障したときに表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> 安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。 再始動後もメッセージを表示するときは、システムの異常が考えられます。 通常走行に支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。
 警告  バックビューカメラを 拭いてください	<ul style="list-style-type: none"> リヤカメラが汚れているときに表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> リヤカメラを清掃してください。 ☞ カメラレンズのお手入れ (P.389)
アイドリングストップ  アイドリングストップ システム異常 取扱説明書を見てください	<ul style="list-style-type: none"> アイドリングストップシステムに異常があると表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> 安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。 再始動後もメッセージを表示するときは、システムの異常が考えられます。 通常走行に支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。 ☞ アイドリングストップ (P.84)
 警告 Shipping Mode On Push Storage Fuse	<ul style="list-style-type: none"> 輸送中モードになると表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> ヒューズボックス内の部品が外れているときは元に戻してください。 差し込まれているときは、日産販売会社で点検を受けてください。 ☞ ヒューズの交換のしかた (グローブボックス奥) (P.369)

アドバンスドドライブアシストディスプレイの見かた
ドライブインジケーター

画面に表示されたアイコン	表示される条件	説明・対処方法
 休憩しませんか？	<ul style="list-style-type: none"> 運転者のハンドル操作から注意力が低下していると判断したときに表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> 表示、非表示の設定ができます。  ふらつき警報★ (P.153)
  前方進入禁止有り	<ul style="list-style-type: none"> 一方通行路へ進入する可能性がある場合に表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> 表示、非表示の設定ができます。  進入禁止標識検知★ (P.155)
省電源のため自動的に電源OFFします	<ul style="list-style-type: none"> 電源ポジションがONのとき、セレクトレバーをPにしたまましばらくすると表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> そのまま電源ポジションを切り替えたり、セレクトレバーを動かしたりしないと、省エネのため自動的に電源ポジションがOFFになります。
省電源のため自動的に電源OFFしました	<ul style="list-style-type: none"> 電源ポジションがONのとき、セレクトレバーがPのまま時間が経過し、自動的に電源ポジションがOFFになると表示します。 	

アドバンスドドライブアシストディスプレイの見かた

ドライブインジケーター

メータ

画面に表示されたアイコン	表示される条件	説明・対処方法
 ライト消灯してください	<ul style="list-style-type: none"> キースイッチ（電源ポジション）がON以外の位置で運転席ドアを開けたとき、ライトスイッチがOFFまたはAUTO以外の位置にあると表示し、ブザーが鳴ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ライトスイッチをOFFにしてください。
 メンテナンス  オイル/オイルフィルター交換してください	<ul style="list-style-type: none"> 設定したオイル/オイルフィルター交換距離に達すると表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> オイル/オイルフィルター交換距離は、設定したりリセットしたりできます。 ⇒ メンテナンス (P.192)
 メンテナンス  タイヤ	<ul style="list-style-type: none"> 設定したタイヤ交換距離に達すると表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> タイヤ交換距離は、設定したりリセットしたりできます。 ⇒ メンテナンス (P.192)
 メンテナンス  ユーザー	<ul style="list-style-type: none"> オイル/オイルフィルター、タイヤ以外の整備項目の点検距離または交換距離に達すると表示します。 	<ul style="list-style-type: none"> その他の整備項目には、たとえばタイヤのローテーションを行う距離の設定ができます。項目の点検／交換距離は設定したり、リセットしたりできます。 ⇒ メンテナンス (P.192)

アドバンスドドライブアシストディスプレイの見かた ドライブインジケーター

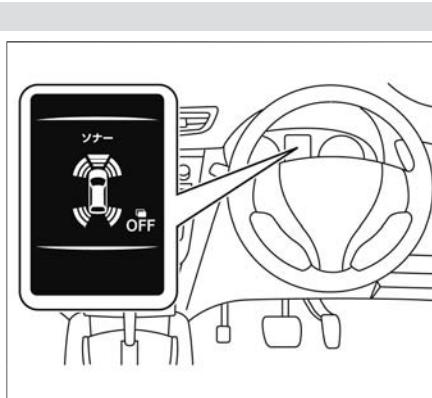
画面に表示されたアイコン	表示される条件	説明・対処方法
アラーム  凍結注意	● 外気温が3°C以下になったことを知らせます。	● 表示、非表示の設定ができます。 ☞ アラーム (P.193)
アラーム  休憩しませんか？	● 設定した時間まで連続走行したことを知らせます。	● 表示、非表示の設定ができます。 ☞ アラーム (P.193)

アドバンスドドライブアシストディスプレイの見かた その他の機能★

障害物に近づいたときや、ハンズフリーフォン★、音声操作★を使用したときは、メーター内のディスプレイに作動状態などを表示することができます。

ソナー表示★

- 踏み間違い衝突防止アシスト付車またはアラウンドビューモニター付車は障害物に近づくと表示します。
- 車両が障害物に近づくと、緑→黄→赤の順に表示色が切り替わり、ブザーが鳴ります。
ソナーについては、踏み間違い衝突防止アシスト★（☞P.122）または別冊のナビゲーションシステム取扱説明書をお読みください。



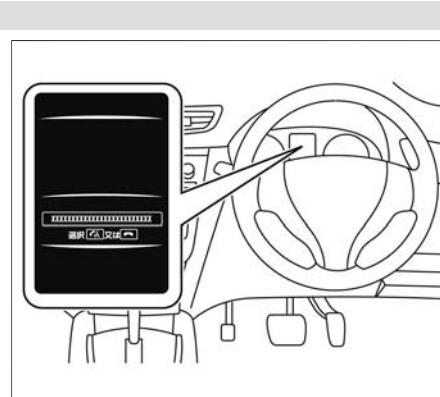
表示色	警報音
緑	ピッ、ピッ、ピッ…
黄	ピピピピピ…
赤	ピー

- メーター内のディスプレイで「設定」⇒「運転支援システム」⇒「駐車支援」を選択すると、ソナー機能の各種設定ができます。

☞ ドライブコンピューター (P.180)
設定の詳細については、運転支援システム（☞P.188）をお読みください。

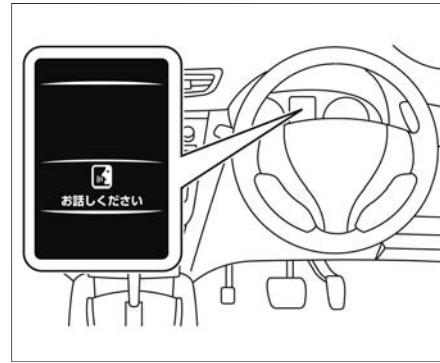
着信表示★

- 携帯電話をハンズフリー接続しているときに、着信すると表示します。
ハンズフリー電話については、別冊のナビゲーションシステム取扱説明書をお読みください。



音声操作表示★

- ナビゲーションシステムで音声操作を行うと、メーター内のディスプレイに音声操作表示をします。
音声操作については、別冊のナビゲーションシステム取扱説明書をお読みください。



各部の操作

ドアの施錠と解錠

リモートコントロールエントリーシステム	P.208
インテリジェントキー	P.211
リモートコントロールエントリーシステムの電池交換	P.218
インテリジェントキーの電池交換	P.219
ドア	P.220
バックドアの開閉	P.228
リモコンオートバックドア★	P.232

各部の開閉

燃料補給口	P.247
-------	-------

ウインドーの開閉

パワーウィンドー	P.249
パノラミックガラスルーフ★	P.251

エアコンの使いかた

オートエアコン★	P.255
マニュアルエアコン★	P.259
吹き出しが	P.263
エアコンについて	P.264

スイッチの操作

ライトスイッチ	P.267
ワイパー・ウォッシャースイッチ	P.275
ヒーターシートスイッチ★	P.280

室内装備

サンバイザー／バニティミラー	P.281
室内照明	P.282
オーバーヘッドコンソール	P.288
グローブボックス	P.289
センターコンソールボックス	P.290
カップホルダー／ボトルホルダー	P.291
電源ソケット	P.294
アシストグリップ／コートハンガー	P.297
フレキシブルラゲッジ★	P.298
ラゲッジアンダースペース	P.304
ラゲッジフック	P.305
フロアカーペット	P.306

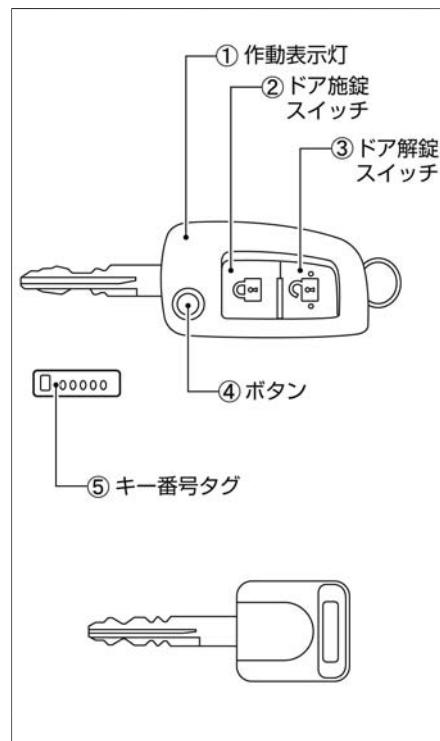
ドアの施錠と解錠

リモートコントロールエントリーシステム

離れたところ（約1m）から全ドアの施錠・解錠ができます。

各部名称と機能

- ① 作動表示灯
スイッチを押すと点灯します。
- ② ドア施錠スイッチ
スイッチを押すと、全ドアを施錠します。
- ③ ドア解錠スイッチ
スイッチを押すと、全ドアを解錠します。
- ④ ボタン
ボタンを押して、キーを出します。
元に戻すときは、ボタンを押しながらカチッと音がするまでキーを押し込みます。
- ⑤ キーフォードタグ
キーを紛失した場合、キーフォードタグから日産販売会社でスペアキーを作成できますので、大切に保管してください。



アドバイス

- キーを戻すときは、ボタンを押しながら戻してください。破損するおそれがあります。

知識

- 作動表示灯が点灯しない場合は、電池の消耗が考えられます。
電池が切れた場合は、新しい電池と交換してください。(☞P.218)

■ リモートコントロールエントリーシステムに関する注意事項



警告

- 航空機内ではリモコンのスイッチを押さないでください。また、バッグなどに収納するときは、荷物などでスイッチが押されないようにしてください。万ースイッチが押されると電波が発信され、航空機の運航に支障をきたすおそれがあります。



アドバイス

- 周囲の状況によっては、作動する距離が変わることがあります。確実に作動させるためには、車両から約1mまで近づいてください。
- 極端に気温が低いとき、電池の性能が低下するため、システムが作動しない場合があります。
- リモコンは精密電子機器です。故障を防止するため、次のことをお守りください。
 - 長時間高温になる場所に置かない
 - 無理に曲げたり、落としたり、強い衝撃を与えたりしない
 - 水にぬらさない



知識

- キーを紛失したときは、盗難などを防ぐため、ただちに日産販売会社にご相談ください。
- キーフラグを打刻したタグは、大切に保管してください。キーフラグを日産販売会社に連絡すると購入できます。
- リモコンは同じ車両で最大4個まで使うことができます。ご購入やご使用開始方法については、日産販売会社にご相談ください。
- スイッチを押すと作動表示灯が点灯します。点灯しない場合は、電池の消耗を考えられます。電池が切れた場合は、新しい電池と交換してください。(☞P.218)

知識

アンサーバック機能

- ドアの施錠・解錠時に、作動確認のための非常点滅表示灯が作動します。(施錠時1回、解錠時2回)

ウェルカムライト機能（フェアウェル機能付）

- ドアの施錠・解錠時に、車幅灯、尾灯、番号灯が作動します。(施錠時約10秒、解錠時約30秒)
- メーター内のディスプレイで「設定」⇒「車両設定」⇒「ライト/照明」⇒「ウェルカムライト」を選択すると、ウェルカムライト機能(フェアウェル機能付)のON・OFFを切り替えることができます。
 ドライブコンピューター (P.180)
設定の詳細については、車両設定 ( P.191) をお読みください。

キー連動室内照明システム

- ドアを解錠すると、室内照明（ラゲッジルームランプを除く）が約15秒間点灯します。
詳しくは、室内照明( P.282)をお読みください。

オートロック機能

- 解錠スイッチを押してから約30秒以内にいずれかのドアを開けなかったとき、またはキースイッチにキーを差し込まなかったときは、盗難防止のため自動的に全ドアが施錠されます。
(施錠されるまでの間に、再度解錠スイッチを押すと、その時点から約30秒後に施錠されます。)

ドアの施錠と解錠 インテリジェントキー

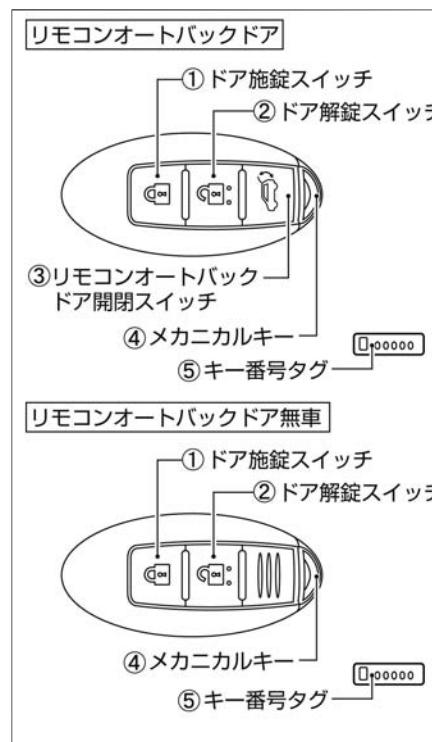
インテリジェントキーを携帯することにより、キーを取り出すことなくドアの施錠・解錠（ P.208）や、エンジンの始動（ P.73）ができます。

各部名称と機能

- ① ドア施錠スイッチ
スイッチを押すと、全ドアを施錠します。
- ② ドア解錠スイッチ
スイッチを押すと、全ドアを解錠します。
- ③ リモコンオートバックドア開閉スイッチ★
スイッチを約1秒以上押すと、バックドアが自動で開閉します。
- ④ メカニカルキー

インテリジェントキーの電池が切れたときや、バッテリーがあがったときなどにドアの施錠・解錠ができます。

- ⑤ キー番号タグ
キーを紛失した場合、キー番号から日産販売会社でスペアキーを作成できますので、大切に保管してください。

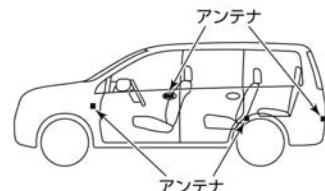
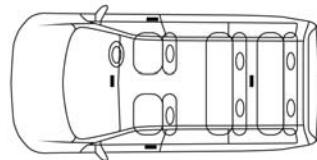


★：車両型式、オプションなどで異なる装備

■ インテリジェントキーに関する注意事項



- 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器（ICD）を使用している方は、アンテナから約22cm以内の範囲に装着部位が近づかないようにしてください。ドア開閉時、各タッチセンサーおよびリクエストスイッチ操作時、エンジン始動時などにインテリジェントキーの電波が植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器（ICD）の作動に影響を与えるおそれがあります。（イラストは3列車です）



ドアの施錠と解錠 インテリジェントキー

⚠ 警告

- 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器（ICD）以外の医療電気機器を使用している方は、インテリジェントキーの電波が医療電気機器の動作に影響を与える場合があるため、医療電気機器製造業者などへ影響を確認してからご使用ください。
- 航空機内ではインテリジェントキーのスイッチを押さないでください。また、バッグなどに収納するときは、荷物などでスイッチが押されないようにしてください。万一スイッチが押されると電波が発信され、航空機の運航に支障をきたすおそれがあります。

⚠ 注意

- インテリジェントキーは運転者が必ず携帯してください。
- インテリジェントキーは、エンジンの始動やドアの施錠・解錠など、車を操作するためにはなくてはならないものです。大切に保管してください。
- インテリジェントキーは、必ずメカニカルキーを内蔵した状態で携帯してください。

🚗 アドバイス

- インテリジェントキーは微弱な電波を使用しています。次のような使用環境では機能に障害が起こるため、インテリジェントキー機能やリモートコントロールエントリー機能が正常に作動しない場合があります。
 - 近くにテレビ塔や発電所、放送局など強い電波を発生する設備があるとき
 - 無線機や携帯電話などの無線通信機器と一緒に携帯しているとき
 - インテリジェントキーが金属製の物に接したり、覆われたりしているとき
 - 近くで電波式リモートコントロールエントリーを使用しているとき
 - インテリジェントキーをパソコンなどの電化製品の近くに置いたとき

アドバイス

- コインパーキングに駐車したとき（車両検出用の電波の影響があるため）
 - 近くで電波式侵入警報装置を使用しているとき
 - 極端に気温が低いとき（電池の性能が低下するため）
- インテリジェントキーは電波法の認証に適合しています。次のことを必ずお守りください。
- 電池を交換するとき以外は分解しない（分解、改造したものを使用することは法律で禁止されています）
 - 日本国内のみで使用する
- インテリジェントキーは車両との通信のために常時受信動作をしているため、常に電池を消耗しています。電池の寿命は使用状況によりますが約2年程度です。電池が切れた場合、新しい電池と交換してください。
- ☞ インテリジェントキーの電池交換 (P.219)
- インテリジェントキーの電池が切れたときは、応急処置としてエンジンの始動やドアの施錠・解錠を行うことができます。
- ☞ インテリジェントキー★で始動できない (P.325)
☞ リモコン（インテリジェントキー）でドアが開かない (P.323)
- インテリジェントキーをテレビやパソコンなどの電化製品の近くに置かないでください。電池を著しく消耗することがあります。
- インテリジェントキーの電池が消耗しているときや、強い電波、ノイズのある場所では、作動範囲が狭くなったり、作動しないことがあります。
- インテリジェントキーは送信機を内蔵している精密機械です。故障を防止するため、次のことをお守りください。
- 長時間高温になる場所に置かない
 - 分解しない

ドアの施錠と解錠 インテリジェントキー

アドバイス

- 無理に曲げたり、落としたり、強い衝撃を与えることない
- 水にぬらさない
- 超音波洗浄器などにかけない
- 磁気を帯びたキーホルダーなどをつけない
- テレビ、オーディオなど、磁気を帯びた機器の近くに置かない
- インテリジェントキーはドアポケットに入れないでください。ドアを閉めるとき衝撃により破損するおそれがあります。また、ドアポケット内に一緒に入れておいた物がドアを閉めた衝撃で当たるなどして勝手にスイッチが入り、キーを車室内に封じ込められるおそれがあります。

知識

- インテリジェントキーは同じ車両で最大4個まで使うことができます。ご購入やご使用開始方法については、日産販売会社にご相談ください。
- インテリジェントキーを紛失したときは、盗難などを防ぐため、ただちに日産販売会社にご相談ください。
- キー番号を打刻したタグは大切に保管してください。キー番号を日産販売会社に連絡すると購入できます。
- インテリジェントキーのスイッチを押しても作動しないときは、電池の消耗または故障が考えられます。日産販売会社にご相談ください。
- ⇒ インテリジェントキーの電池交換 (P.219)

アンサーバック機能

- ドアの施錠・解錠時に、作動確認のためのブザーと非常点滅表示灯が作動します。（施錠時1回、解錠時2回）
アンサーバック機能のブザーを停止することができます。日産販売会社にご相談ください。

★：車両型式、オプションなどで異なる装備

 知識

ウェルカムライト機能（フェアウェル機能付）

- ドアの施錠・解錠時に、車幅灯、尾灯、番号灯が作動します。（施錠時約10秒、解錠時約30秒）
- メーター内のディスプレイで「設定」⇒「車両設定」⇒「ライト/照明」⇒「ウェルカムライト」を選択すると、ウェルカムライト機能(フェアウェル機能付)のON・OFFを切り替えることができます。 ドライブコンピューター (P.180)
設定の詳細については、車両設定 ( P.191) をお読みください。

キー連動室内照明システム

- ドアを解錠すると、室内照明（ラゲッジルームランプを除く）が約15秒間点灯します。
詳しくは、室内照明( P.282)をお読みください。

オートロック機能

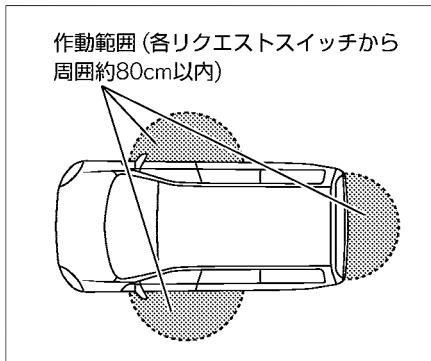
- リクエストスイッチ（またはインテリジェントキーのドア解錠スイッチ）を押して、解錠後約30秒以内に以下のいずれかの操作も行わなかった場合は、盗難防止のため自動的に全ドアが施錠されます。（施錠されるまでの間に、再度インテリジェントキーの解錠スイッチを押すと、その時点から約30秒後に施錠されます。）
 - ドアを開ける
 - エンジンスイッチを押す

■ ドアの施錠・解錠の作動範囲

作動範囲は各リクエストスイッチから周囲約80cm以内です。作動範囲は各リクエストスイッチを中心と球状になっているため、地面近くや高い場所では作動しないことがあります。

インテリジェントキーが作動範囲内にある場合は、インテリジェントキーを携帯している人以外でも施錠・解錠の操作ができます。

- ドアハンドルのリクエストスイッチを押してドアを施錠したあとは、ドアが確実に施錠されていることを確認してください。
- 解錠される前にドアハンドルを引かないでください。ドアは解錠されますが、開きません。一度ドアハンドルを離してから再び引いて開けてください。
- 車から離れるときは、盗難や事故防止のため、必ず電源ポジションをOFFにして施錠してください。



⚠️ 警告

- ドアの開閉はお子さまにはさせないでください。手、首、足などを挟んだりして、重大な傷害につながるおそれがあります。
- ドアを開けるときは、周囲の安全を十分に注意してください。後続車や通行人にぶつかるおそれがあります。風が強いときは特に注意して開けてください。
- 走行する前にドアを確実に閉めてください。走行中に突然ドアが開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ドアの施錠と解錠

リモートコントロールエントリーシステムの電池交換

リモコンのスイッチを押しても作動しないときは、電池の消耗または故障が考えられます。

1	スリットにマイナスドライバーを差し込み、ひねってカバーを取り外します。	
2	消耗した電池を取り外し、新しい電池をはめ込みます。（新しい電池は、+極を下にして取り付けてください。） 使用電池：CR2032	
3	カバーの先端を合わせて上下のカバーを組み付けます。確実に取り付けられたことを確認してください。	

⚠️ 警告

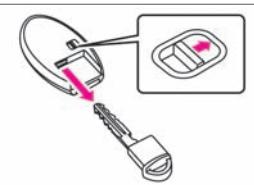
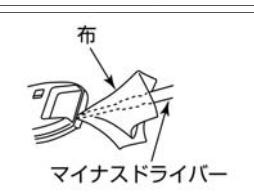
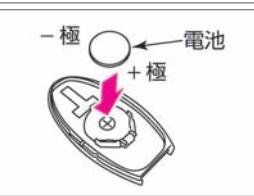
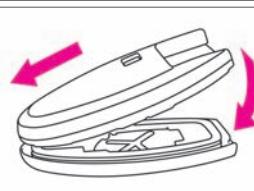
- 電池および取り外した部品は、お子さまが飲み込まないように注意してください。

☁️ アドバイス

- 電池交換の際、キーを破損するおそれがあります。日産販売会社での交換をおすすめします。
- 内部回路、電子端子などに触れないでください。故障の原因となります。
- 本体に傷をつけるおそれがあるため、ドライバーに布などを当てて外してください。ドライバーを奥に差し込みすぎると内部の基板を傷つけるおそれがあります。
- 電池交換後は、リモートコントロールエントリーシステムの各機能が正常に作動するか必ず確認してください。

インテリジェントキーの電池交換

インテリジェントキーのスイッチを押しても作動しないときは、電池の消耗または故障が考えられます。

1	<p>キー裏側のロックを外しながら、メカニカルキーを引き抜きます。</p>		<p>警告</p> <ul style="list-style-type: none"> 電池および取り外した部品は、お子さまが飲み込まないように注意してください。
2	<p>スリットにマイナスドライバーを差し込み、ひねってカバーを取り外します。</p>		<p>アドバイス</p> <ul style="list-style-type: none"> 電池交換の際、キーを破損するおそれがあります。日産販売会社での交換をおすすめします。
3	<p>消耗した電池を取り外し、新しい電池をはめ込みます。（新しい電池は、+極を下にして取り付けてください。） 使用電池：CR2032</p>		<ul style="list-style-type: none"> 本体に傷をつけるおそれがあるため、ドライバーに布などをあてて外してください。ドライバーを奥に差し込みすぎると内部の基板を傷つけるおそれがあります。 内部回路、電子端子などに触れないでください。故障の原因となります。 電池交換後は、インテリジェントキーシステムの各機能が正常に作動するか必ず確認してください。
4	<p>カバーの先端を合わせて上下のカバーを組み付けます。確実に取り付けられたことを確認してください。</p>		

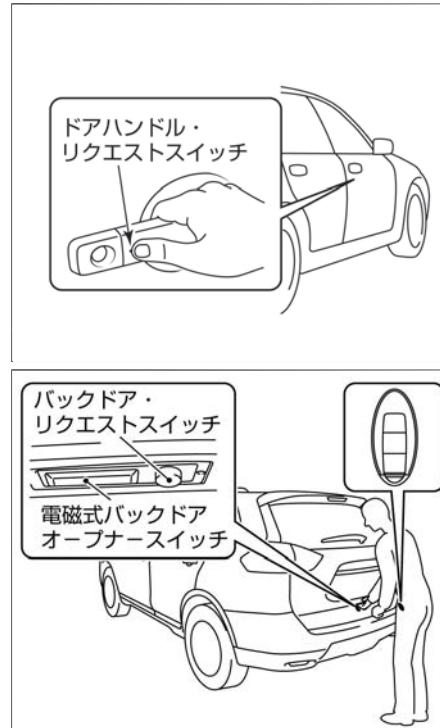
■ インテリジェントキー機能による施錠・解錠

前席ドア／後席ドア

- インテリジェントキーを携帯し、運転席ドアまたは助手席ドアの施錠・解錠範囲内でドアハンドルのリクエストスイッチを押すと、全ドアが施錠または解錠します。
- 施錠したあとは、必ず施錠されたことを確認してください。

バックドア

- インテリジェントキーを携帯し、バックドアの施錠・解錠範囲内でバックドアのリクエストスイッチを押すと、全ドアが施錠または解錠します。
- 施錠したあとは、必ず施錠されたことを確認してください。
- 解錠後、電磁式バックドアオープナースイッチを押すと、バックドアが開きます。➡バックドアの開閉(P.228)



アドバイス

- 車両に近づきすぎている場合などは作動しないことがあります。
- 作動範囲は各リクエストスイッチを中心にして約80cmの球状になっているため、地面近くや高い場所では作動しないことがあります。
- 急にドアハンドルを操作すると、ドアが解錠される前にドアハンドルが引かれるため、解錠できないことがあります。

知識

- インテリジェントキーを検知しているリクエストスイッチでのみ施錠・解錠を行うことができます。
- ドアの施錠・解錠時には、アンサーバック機能およびオートロック機能(➡P.212)が作動します。
- 次のような場合は、作動しません。
 - 電源ポジションがONのとき
 - ドアが完全に閉まっていない(半ドア)とき
 - インテリジェントキーが施錠・解錠の作動範囲内にないとき
 - 携帯しているインテリジェント

 知識

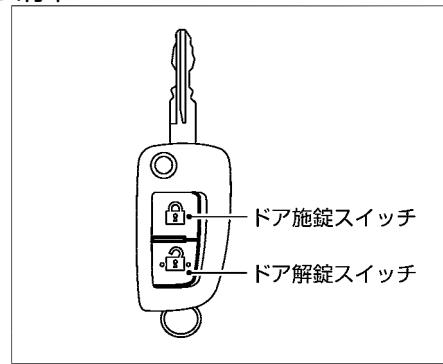
- キー以外に自車のインテリジェントキーが車内にあるとき
(解錠のみできます)
- インテリジェントキーの電池が切れているとき
 - メーター内のディスプレイで「設定」⇒「車両設定」⇒「ロック」⇒「i-keyエントリー」を選択すると、リクエストスイッチ機能のON・OFFを切り替えることができます。
 [ドライブコンピューター \(P.180\)](#)
設定の詳細については、車両設定 P.191 をお読みください。

■ リモコンによる施錠・解錠

■ リモートコントロールエントリーシステム付車

車に近づき、リモコンスイッチを押します。

- 作動範囲は、車両から約1mです。（作動範囲は周囲の状況によって変化します。）
- ドア施錠スイッチ  を押すと全ドアを施錠します。
- ドア解錠スイッチ  を押すと全ドアを解錠します。



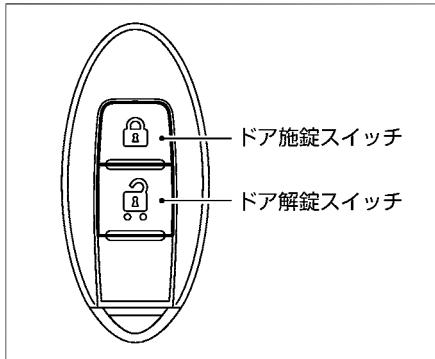
知識

- 次のような場合は、リモコンのスイッチを押しても作動しません。
 - キーをキースイッチに差し込んでいるとき
 - ドアが完全に閉まっていない（半ドア）とき
(解錠のみできます)
 - 車から離れすぎているとき
 - リモコンの電池が切れているとき

■ インテリジェントキー付車

車に近づき、リモコンスイッチを押します。

- 作動範囲は、車両から約1mです。（作動範囲は周囲の状況によって変化します。）
- ドア施錠スイッチ  を押すと全ドアを施錠します。
- ドア解錠スイッチ  を押すと全ドアを解錠します。



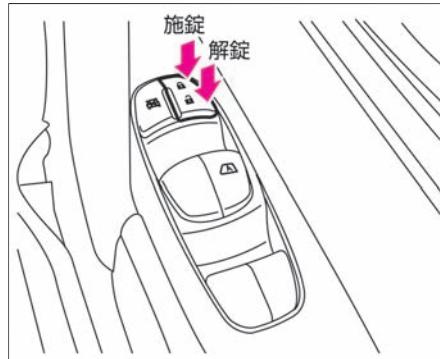
知識

- 次のような場合は、インテリジェントキーのスイッチを押しても作動しません。
 - 電源ポジションがONのとき
 - ドアが完全に閉まっていない（半ドア）とき
(解錠のみできます)
 - インテリジェントキーが車内にあるとき
(解錠のみできます)
 - 車から離れすぎているとき
 - インテリジェントキーの電池が切れているとき

■ ドアロックスイッチによる施錠・解錠

運転席のドアロックスイッチを押します。

- ドアロックスイッチの前側  を押すと全ドアが施錠します。
- ドアロックスイッチ後ろ側  を押すと全ドアが解錠します。



知識

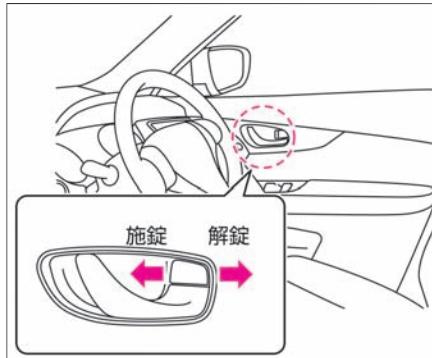
衝撃感知式ドアロック解除システム

- キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、車両が前後方向から強い衝撃を受けるとシステムが作動し、約3秒後に自動的に全ドアが解錠されます。SRSサイドエアバッグ付車は側面からの強い衝撃でも解錠します。システム作動後にシステムを解除させる（ドアをロックする）には、一旦キースイッチ（電源ポジション）をOFFにしてください。

■ ロックノブによる施錠・解錠

運転席のロックノブで全ドアが施錠または解錠します。

- ロックノブを前方に押し込むと施錠します。
- ロックノブを手前に引くと解錠します。



知識

- 運転席ドアは、施錠したままでもインサイドドアハンドルを引くとドアが開けられます。そのとき、全ドアが解錠します。

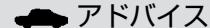
キーを使わない施錠

前席ドア

車室内のロックノブを押し込み、アウトサイドアハンドルを引きながらドアを閉めます。

後席ドア

車室内のロックノブを押し込み、そのままドアを閉めます。



アドバイス

キー封じ込み防止機能

- インテリジェントキーを車室内に置き忘れたまま施錠することを防ぐ機能です。キー封じ込み防止のため、キーを携帯していることを確認してから施錠してください。



知識

- 次の場合は、運転席ロックノブまたはドアロックスイッチで施錠できません。
 - 運転席ドアが開いていて、キースイッチにキーが差し込まれているとき（リモートコントロールエンタリーシステム付車）
 - インテリジェントキーが車内にあるとき（インテリジェントキー付車）

■ チャイルドセーフティドアロック

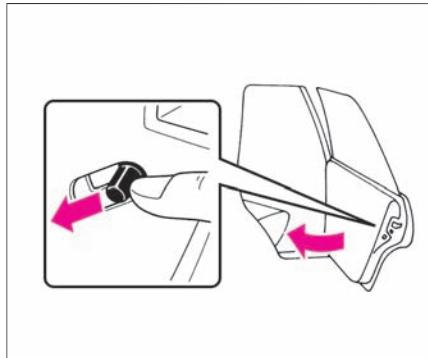
車室内のロックノブの位置に関係なく、後席ドアを車室内から開けられなくできます。

● ドアロックのしかた

後席ドアにあるロックレバーをLOCK位置にしてドアを閉めます。

● ドアを開けるとき

ロック作動中にドアを開けるときは、ドアが解錠していることを確認し、車外からドアハンドルを引きます。



知識

- 車室内から開けるときは、窓ガラスを下げ、手を外に出て車外のドアハンドルを引きます。

ドアの施錠と解錠 バックドアの開閉

リモコンオートバックドア★については、(☞P.232)をお読みください。

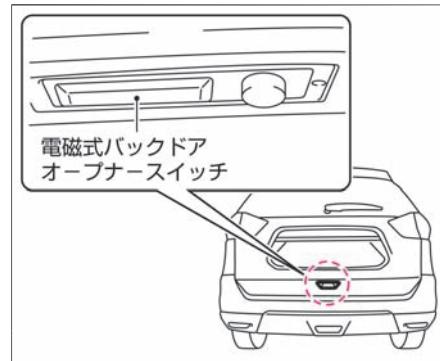
■ バックドアの開けかた

リモートコントロールエントリー付車

- 解錠後、電磁式バックドアオープナースイッチを押し、バックドアを持ち上げます。

インテリジェントキー付車

- 解錠されているときは、電磁式バックドアオープナースイッチを押し、バックドアを持ち上げます。
- 施錠されているときは、インテリジェントキーを携帯して電磁式バックドアオープナースイッチを押し、バックドアを持ち上げます。（ドアも同時に解錠します。）



⚠ 注意

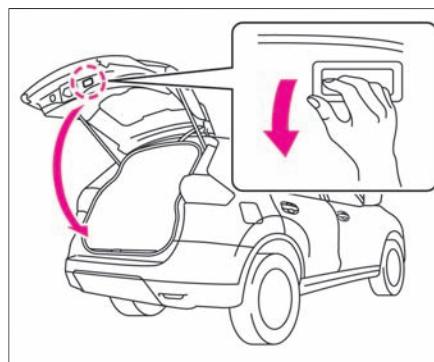
- 電磁式バックドアオープナースイッチを押したまま、リモコンでドアを施錠・解錠しないでください。故障の原因になります。

📖 知識

- リモコンオートバックドア付車は、オート作動中に電磁式バックドアオープナースイッチを押すと、バックドアが途中で止まります。

■ バックドアの閉めかた

ドアグリップに手を掛け、バックドアを降ろし確実にロックするまで押しつけます。
リモコンオートバックドアについては、
(❸P.232) をお読みください。



■ バックドア開閉時の注意事項

⚠ 警告

- ラゲッジルーム（荷室）に人を乗せて走行しないでください。急ブレーキをかけたときなど、重大な傷害につながるおそれがあります。
- 走行前にバックドアが確実に閉まっていることを必ず確認してください。バックドアを開けたまま走行すると、車内に排気ガスが侵入し、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。
- バックドアや車体側に手を触れたままバックドアを閉めると、手を挟まれてケガをするおそれがあります。
- バックドアを閉めるときは、バックドアのふちやその周辺に手を掛けないでください。必ず外から押して閉めてください。

⚠ 注意

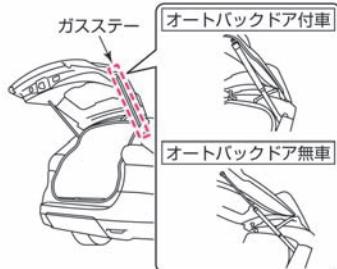
- バックドアは必ず全開してください。途中で止めると突然閉まるおそれがあります。
- 風が強いときに開けると、風にあおられ急に閉まることがあるため特に注意してください。
- バックドアを閉めるときは、手などを挟まないよう注意してください。

バックドアガスステーについて

- バックドアのガスステーはバックドアの重量を支えるために取り付けられています。ガスステーの損傷や作動不良を防ぐために、次のことをお守りください。
 - ガスステーに手やひもなどをかけたり、横方向に力をかけたりしない
 - ビニール片、ステッカー、接着剤などの異物をロッド部に付着させない
- ガスステーを持って、バックドアを閉めたり、ぶら下がったりしないでください。手や腕を挟んだりして思わぬケガをするおそれがあります。

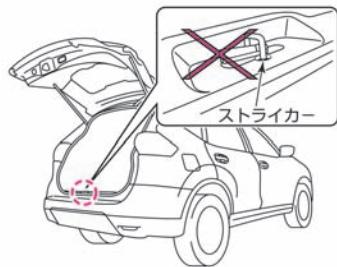
ドアの施錠と解錠 バックドアの開閉

⚠ 注意



🚗 アドバイス

- バックドアを閉めるときは、ストライカーやバックドアのロックが破損し、バックドアが閉まらなくなるおそれがあります。



リモコンオートバックドア★

バックドアを自動的に開閉させる機能です。各種スイッチでバックドアを自動的に操作することができます。

リモコンオートバックドアについて



注意

- 確実に停車している状態で開閉操作をしてください。
- 開閉操作をするときは、バックドア周囲の安全を十分確認してから行ってください。
バックドアに当たり、ケガをしたり物を損傷するおそれがあります。
- 車が大きく傾いている状態ではオート作動させないでください。
- オート作動中にバックドアを押したり引いたりしないでください。反転して挟まれたり、バックドアに当たりケガをするおそれがあります。

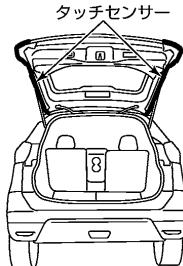


アドバイス

- エンジン停止時に何回も作動させないでください。バッテリーがあがりエンジンの始動ができなくなります。
- オート作動中はエンジンを始動させないでください。正常に作動しなくなることがあります。
- 車を発進させるときは、バックドアが全閉していることを確認してください。閉作動中に発進すると、反転して開き出すおそれがあります。
- 次の場合は、オートドアメインスイッチをOFFにしてください。
 - バックドアが故障したとき
 - バックドアを長時間開けたままにするとき
 - 洗車や整備を行うとき
 - 手動で使用するとき
- バックドア左右端部のタッチセンサーを傷つけないようにしてください。センサーが切斷されると、オート（自動開閉）機能は作動しなくなります。また、オート閉作動中に切斷されると、ドアが作動停止します。その後のオート閉作動もしません。



アドバイス



- バッテリー上がりなどでリモコンオートバックドアへの電源供給が断たれたときや、オート作動中に反転作動（挟み込み防止機構を含む）を連続して作動させたときは、オート（自動開閉）機能が正常に作動しないことがあります。その場合は、バックドアを一旦手動で全閉にしてください。



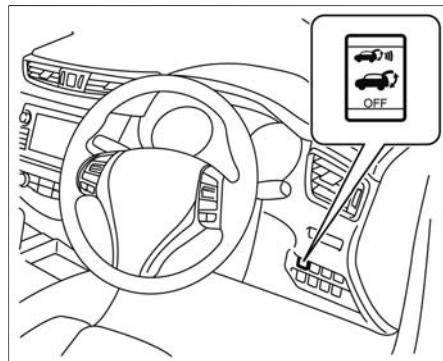
知識

- 閉作動時、半ドア位置までバックドアが閉まるとき、オートクロージャー機能で全閉します。
☞ オートクロージャー (P.241)
- オート作動の開始時にはブザーが鳴り非常点滅表示灯が4回点滅します。
- オートドアメインスイッチがONのとき、バックドアを開けたまま車を動かすとブザーが鳴ります。（停車またはバックドアを閉めると鳴り止みます。）

■ オートドアメインスイッチ

ハンズフリーオート（自動開）機能、オート（自動開閉）機能のON・OFFができます。

- ハンズフリーオート（自動開）機能を使うときは  に、オート（自動開閉）機能を使うときは  にします。
- 使わないときはOFFにします。



■ オートドアメインスイッチの作動

スイッチ表示	運転席スイッチによる開閉操作	リモコンによる開閉操作	バックドアインナースイッチによる閉操作	ハンズフリーセンサーによる開操作
	作動	作動*	作動	作動
	作動	作動*	作動	非作動
OFF	非作動	非作動	非作動	非作動

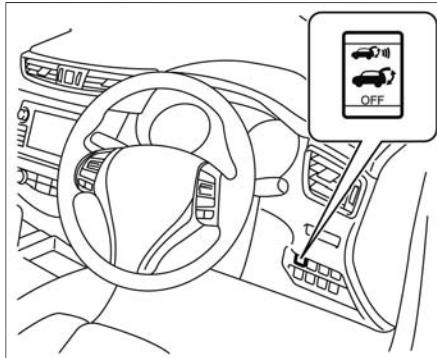
* : エンジン回転中は作動しません。

知識

- オートドアメインスイッチをOFFにしてもオートクロージャーは作動します。
- オート作動中にオートドアメインスイッチをOFFにすると、バックドアが途中で止まります。

■ 自動開閉の作動可能条件

- オート作動は、以下の条件が満たされたときのみ作動させることができます。
 - オートドアメインスイッチが  または  のとき
 - バックドアが解錠しているとき
 - 車両が停止しているとき



アドバイス

- オート作動中に作動可能条件が満たされなくなると、作動が停止しオート作動しなくなることがあります。その場合、作動可能条件を再度満たすとオート作動させることができます。
- 電源ポジションがONで、セレクトトレバーが  に入っていないと運転席スイッチによる開操作は行えません。

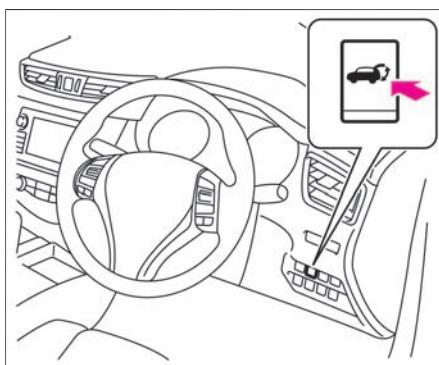
知識

- バッテリー電圧が極端に下がっている(11V以下)と作動しません。

■ 運転席スイッチによる開閉のしかた

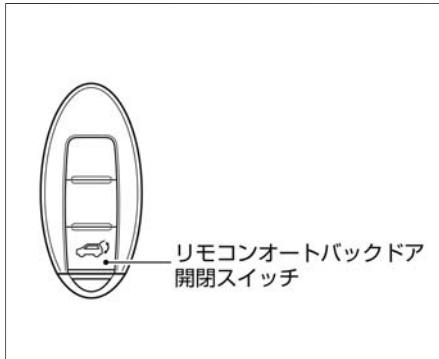
開閉操作をするときは、バックドア周囲の安全を確認してください。

- バックドア全閉時にスイッチを約1秒間押すと、バックドアが施錠されても自動的に開きます。
- バックドア全開時にスイッチを約1秒間押すと、自動的に閉まります。
- オート作動中にスイッチを押すと、作動している方向と反対の方向に動き、全閉または全開して停止します。



■ リモコンによる開閉のしかた

- 車に近づき、リモコンオートバックドア開閉スイッチを約1秒以上押します。



知識

- 運転席スイッチを押すと、全ドアが解錠します。

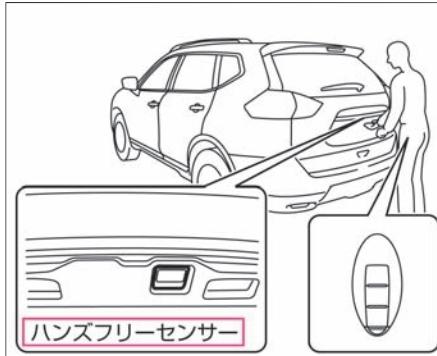
知識

- バックドアが施錠されても作動します。
- エンジン回転中はリモコンオートバックドア開閉スイッチでの開閉はできません。

ドアの施錠と解錠 リモコンオートバックドア★

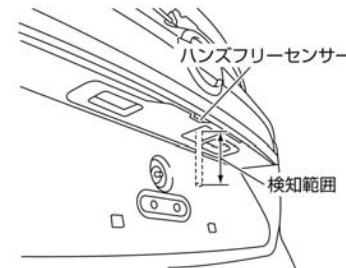
■ ハンズフリーセンサーによる開けかた

- バックドアが全閉しているとき、インテリジェントキーを携帯し、ハンズフリーセンサーに約1秒間、手、荷物などをかざすと自動的に開きます。
- インテリジェントキーを携帯していない時は、ハンズフリーセンサーによる開操作はできません。
- 施錠、解錠状態に関わらず開きます。
- 次の場合は、ハンズフリーセンサーが機能しません。
 - バックドアが開いているとき
 - バックドアがオート作動中のとき



知識

- ハンズフリーセンサーによるオート閉操作はできません。
- ハンズフリーセンサー使用時は、全ドアが解錠します。
- センサー表面が汚れている場合は作動しません。きれいな布で拭いてください。
- センサー周辺に水をかけると誤作動するおそれがあります。
- ハンズフリーセンサーの検知範囲は、センサー中心から約80mmです。



■ ハンズフリーセンサーの注意事項

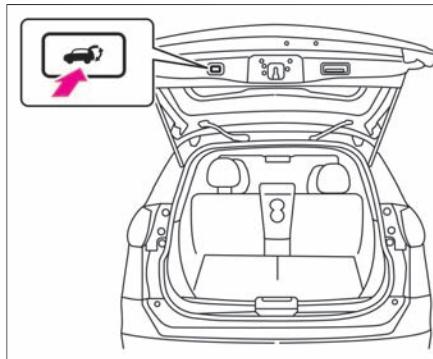
⚠ 注意

- 手や荷物以外の物でも、インテリジェントキーを携帯したままハンズフリーセンサーの検知範囲に入ると、バックドアが開くことがあります。
- インテリジェントキーを携帯していても、光を吸収する物（革の手袋など）をハンズフリーセンサーにかざした場合、バックドアは開きません。
- ヘッドライト、太陽光などがハンズフリーセンサーに当たっているときや、ライセンスプレートにフレームなどのアクセサリーを付けているときは、インテリジェントキーを携帯して、ハンズフリーセンサーの検知範囲に手、荷物などをかざしてもバックドアは開かないことがあります。
- 洗車、ワックス掛け、整備を行うとき、ボディーカバーを付け外しするとき、ハンズフリーセンサー周りに水を掛けるときなどは、オートドアメインスイッチを **OFF** 、または  にしてください。
- ハンズフリーセンサーは赤外線で物体を検知します。センサーの位置、向き、照射方向を変えると不作動、誤検知、誤作動するおそれがあるので絶対に動かさないでください。
- 連続で開閉動作を行うと、安全装置が働き一定時間自動開閉できなくなることがあります。その場合は、少し時間をおいてから再度開閉してください。

ドアの施錠と解錠 リモコンオートバックドア★

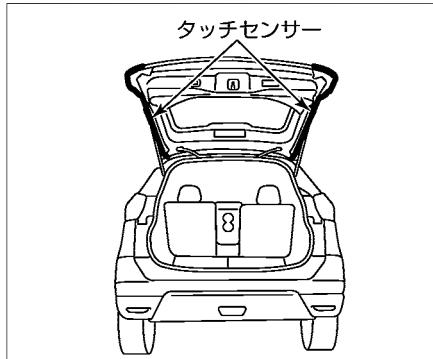
■ バックドアインナースイッチによる閉めかた

- バックドアが開いているとき、スイッチを押すと自動的に全閉します。
- オート閉作動中に再度スイッチを押すと、バックドアが反対方向に動き、全開して停止します。
- バックドアインナースイッチによるオート開操作はできません。



■ 挟み込み防止機構

- バックドアがオート作動中に、挟み込み、引っ掛かりなどを感知すると、バックドアが反対方向に動き、全閉または全開して停止します。
- バックドアがオート閉作動中にバックドア左右端部のタッチセンサーに触ると、バックドアが反対方向に動き、全開位置で停止します。



△ 注意

- 挟まれる物や挟まれかたによっては、挟み込み防止機構が作動しない場合があります。手などを挟まないように十分注意してください。

△ アドバイス

- バックドア左右端部のタッチセンサーを傷つけないでください。タッチセンサーが切斷されると、オート（自動開閉）機能は作動しなくなります。

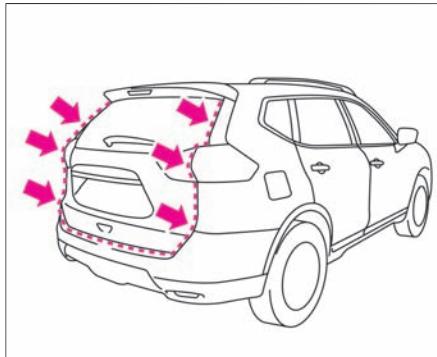
 アドバイス

- タッチセンサーが切断されたときは、安全のためにすみやかに日産販売会社に連絡をしてください。
- 全開位置付近で挟み込みを感知すると、バックドアは反転せずに停止することがあります。
- 挟み込み防止機能が2回連続で作動すると、バックドアが停止します。その場合は、バックドアを手動で閉めてください。
- バックドアオート作動時に乗り降りなどで車両が揺れると、バックドアが反転することがあります。

■ オートクロージャー

自動的にバックドアを全閉させる機能です。

閉めるとき、半ドア状態まで閉めると自動的に全閉します。



⚠ 警告

- バックドアや車体側に手を触れていたり、ドアグリップを握ったままバックドアを閉めると手を挟まれてケガをするおそれがあります。
- バックドアを閉めるときは、バックドアのふちやその周辺に手を掛けないでください。必ず外から押して閉めてください。

🚗 アドバイス

- 次のような場合はバックドアオートクロージャーが作動しません。メーター内のディスプレイに警告が表示されているときは、バックドアを一旦開け再度閉め直してください。
 - バックドアを開けて0.5秒以内に閉めたとき。
 - 電磁式バックドアオープナースイッチを押したあと、バックドアを開けなかったとき。
- バッテリーが弱っているとオートクロージャーが作動しないことがあります。その場合は、手で強く閉めるかエンジンをかけてから閉め直してください。
- オートクロージャーの故障により

ドアの施錠と解錠 リモコンオートバックドア★

アドバイス

バックドアが閉まりきらないときは、バックドアを一旦開け、再度手で閉めてください。

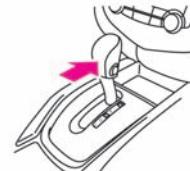
- 荷物の積みすぎなどによりオートクロージャーで閉めきれない状態を繰り返すと、オートクロージャーが作動しなくなります。そのときは日産販売会社で点検を受けてください。

ドアの施錠と解錠 リモコンオートバックドア★

ガレージモードの設定

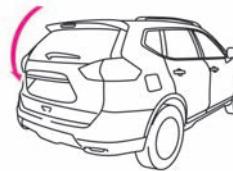
1

セレクトレバーを **P** にします。



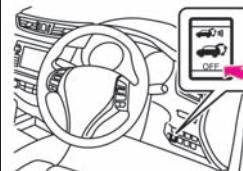
2

バックドアを全閉状態にします。



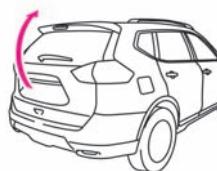
3

オートドアメインスイッチを **OFF** にします。



4

手動でバックドアを開けます。
☞ バックドアの開けかた (P.228)



注意

- ガレージモードは1/3以下の高さに設定しないでください。1/3以下に設定した場合は、自動的に1/3の高さに設定されます。設定した高さよりも開くため、思ぬケガや破損につながるおそれがあります。

知識

ガレージモード

- バックドアを自動で開くとき、好みの高さでバックドアを止める機能です。



次のページに続く

★ : 車両型式、オプションなどで異なる装備

ドアの施錠と解錠 リモコンオートバックドア★

◀ 前のページから

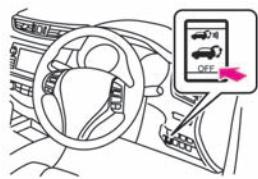
5

設定したい高さの位置でバックドアを保持し、バックドアインナースイッチを約3秒押し続けます。



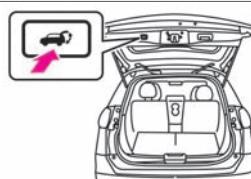
6

ブザーが2回鳴れば設定完了です。
オートドアメインスイッチを  または  にし、オートで開くと設定した高さで開動作が停止します。



ドアの施錠と解錠 リモコンオートバックドア★

■ ガレージモードの解除

- | | | |
|---|---|---|
| 1 | セレクトレバーを P にします。 |  |
| 2 | バックドアをガレージモードで設定した位置まで開けます。 |  |
| 3 | 全開位置までバックドアを手動で開けて、バックドアインナースイッチを約3秒押し続けます。 |  |
| 4 | ブザーが2回鳴れば解除完了です。 | |

■ 正常に作動しないときは

バックドアがオートで動かないときは、次の内容を確認してください。

- 連続作動後に動かないときは、バックドアを約5分間以上作動させずに放置した後、作動させます。
- バックドアが開いた状態のときは、一度手動で閉めてから作動させます。
- バッテリーが弱っていると、バックドアがオート開閉できないことがあります。その場合は、エンジンをかけてから作動させます。
- ハンズフリーセンサーが作動しないときは、次の操作を確認します。
 - 電磁式バックドアオーブナースイッチが作動することを確認します。
 - 再度ハンズフリーセンサーの作動を確認します。
 - 作動しないときは、一度バッテリーのマイナス端子を外してリセットし、再度確認します。
- 上記操作を行っても作動しないときは、日産販売会社にご相談ください。
- 運転席側面にあるヒューズボックスを確認します。
 **ヒューズの交換のしかた（運転席側面）(P.368)**
ヒューズを交換後も、リモコンオートバックドアのヒューズが切れるときは、日産販売会社にご相談ください。

各部の開閉 燃料補給口

燃料補給口は運転席側の車両後方にあります。

燃料の補給

燃料タンクの容量は、約60 ℥です。

エンジン型式	指定燃料
MR20DD	無鉛レギュラーガソリン



アドバイス

- 指定以外の燃料は補給しないでください。

燃料の補給時の注意事項



警告

- 燃料補給時は、以下のことを必ずお守りください。
 - エンジンを止める
 - 車のドアや窓を閉める
 - タバコなどの火気を近づけない
 - 気化した燃料を吸わない
- 補給作業を行う前に、金属部分に触れて身体の静電気を除去してください。放電による火花で燃料に引火したり、やけどをするおそれがあります。
- 補給作業はひとりで行ってください。作業中に車内に戻ったり、帯電している人や物に触れると再帯電するおそれがあります。
- キャップを開けるときはゆっくり回し、燃料タンク内の圧力を下げてから外してください。急に開けると、燃料が補給口から吹き返すおそれがあります。
- 給油ノズルは確実に給油口へ挿入してください。給油ノズルの挿入が浅いと、給油の自動停止が遅れるため、燃料が吹きこぼれ火災につながるおそれがあります。
- 給油ノズルの自動停止後は、給油の継ぎ足しをしないでください。継ぎ足しをすると、燃料があふれて火災につながるおそれがあります。
- ガソリンスタンド内に掲示されている注意事項を守ってください。

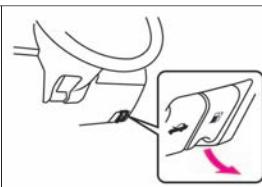
各部の開閉 燃料補給口

■ 開閉のしかた

■ 開けかた

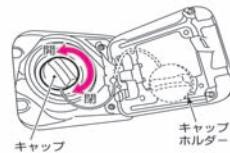
1

運転席右下にあるオープナーを引きリッドを開けます。



2

キャップを左にゆっくり回して開けます。
補給時、キャップはリッドの裏側にあるキャップホルダーに置きます。



■ 閉めかた

- ① キャップを“カチッ、カチッ”と、2回以上音がするまで右に回して閉めます。
- ② リッドを閉めます。

警告

- キャップは確実に閉めてください。閉まっていないと走行中に燃料が漏れ、火災につながるおそれがあります。
- 日産純正品以外のキャップは使用しないでください。

ウインドーの開閉 パワーウィンドー

キースイッチ（電源ポジション）がONのとき操作できます。

開閉のしかた

運転席スイッチでは、各席窓ガラスの開閉ができます。助手席および後席スイッチでは、自席の窓ガラスの開閉ができます。

- スイッチを押している間、開きます。
- スイッチを引き上げている間、閉まります。

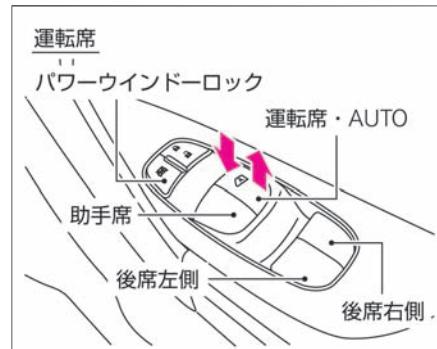
ワンタッチ開閉のしかた（AUTO）

運転席の窓ガラスは、ワンタッチで開閉できます。

- スイッチを強く押すと全開します。
- スイッチを強く引き上げると全閉します。
- 途中で止めたいときは、スイッチを操作した反対側に軽く押すか引きます。

ロックのしかた

- 運転席のパワーウィンドーロックスイッチを押し込むと、助手席と後席の窓ガラスの開閉ができなくなります。
- スイッチを押し戻すと開閉できます。



警告

- 走行中は顔や手、物などを車外に出さないでください。車外のものに当たったり、急ブレーキ時に重大な傷害につながるおそれがあります。
- 窓ガラスを閉めるときは、手や首などを挟まないよう注意してください。
- お子さまを乗せているときは、パワーウィンドーロックスイッチを押し込み、操作させないようにしてください。重大な傷害につながるおそれがあります。

知識

キーOFF後作動機構

- 運転席の窓ガラスは、キースイッチ（電源ポジション）をOFFにしたあとでも、約15分間は開閉することができます。ただし、その約15分間に運転席ドアを開けて閉める（ドアが開いているときは閉める）と、窓ガラスの開閉はできなくなります。

■ 挟み込み防止機構

- 運転席の窓ガラスをワンタッチ開閉で閉めているときやキーOFF後作動機構で閉めているとき、車体と窓ガラスの間に異物の挟み込みを感じると、窓ガラスの上昇が停止し、自動で少し下降し止まります。
- 環境や走行条件により、異物を挟んだときと同じような衝撃や荷重が窓ガラスに加わると作動することがあります。
- 故障などで挟み込み防止機構が作動してしまい、窓ガラスを自動で閉めることができないときは、スイッチを上側へ引き続けて閉めてください。

⚠ 注意

- 窓ガラスを確実に閉めるため、閉め切る直前の部分では挟み込みを感じできない領域があります。指などを挟まれないように注意してください。

■ 正常に作動しないとき

バッテリーを外したり、開閉操作を連続して行うと、運転席窓ガラスのワンタッチ開閉、挟み込み防止機構、キーOFF後作動機構が正常に作動しないことがあります。以下の操作を行い、初期設定してください。

- キースイッチ（電源ポジション）をONにします。
- スイッチを押して、窓ガラスを全開にします。
- スイッチを引き上げ続け、窓ガラスが全閉して3秒以上たってから手を離します。
- 正常に作動することを確認します。正常に作動しないときは、再度上記の操作を行ってください。

上記の操作で作動できない場合は、早めに日産販売会社で点検を受けてください。

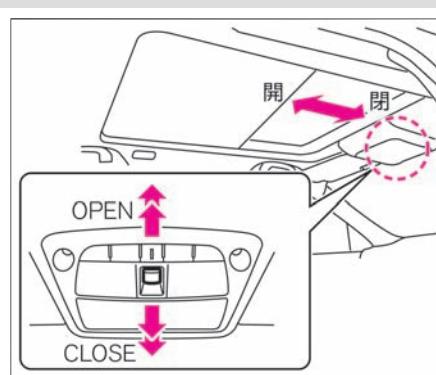
ウインドーの開閉 パノラミックガラスルーフ★

キースイッチ（電源ポジション）がONのときに操作できます。

パノラミックガラスルーフは、サンシェードの開閉（☞P.251）、ガラスルーフのチルトアップ（☞P.252）、ガラスルーフの前後開閉（☞P.252）ができます。

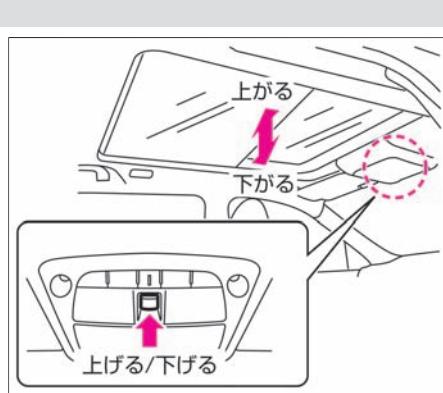
サンシェードの開閉

- スイッチをOPEN側に軽く押すと、サンシェードが自動で全開します。
- スイッチをCLOSE側に軽く押すと、サンシェードが全閉します。
- ガラスルーフが開いているときは、スイッチをCLOSE側に強く押します。（連動して閉まります。）
- 途中で止めたいときは、スイッチを軽く押します。



ガラスルーフのチルトアップ

- スイッチを上に押すと、ガラスルーフの後部が上がります。
(サンシェードが閉じているときは運動して開きます。)
- もう一度スイッチを上に押すか、CLOSE側に軽く押すとガラスルーフの後部が下がります。
- スイッチをCLOSE側に強く押すとサンシェードも運動して閉まります。

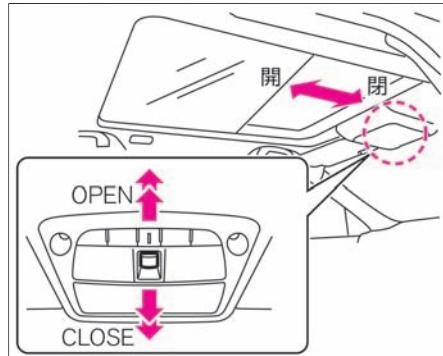


知識

- チルトアップしているときは、前後の開閉はできません。

ガラスルーフの前後開閉

- スイッチをOPEN側に強く押すと、自動でコンフォートモード位置まで開きます。(サンシェードが開いているときは軽く押しても開きます。)
- コンフォートモード位置から、さらにスイッチをOPEN側に押すと全開します。
- スイッチをCLOSE側に強く押すと、自動で全閉します。(サンシェードも運動して閉まります。)
- 途中で止めたいときは、スイッチを軽く押します。



知識

コンフォートモード

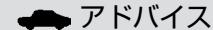
- パノラミックガラスルーフを開けたまま走行するときの位置です。パノラミックガラスルーフを全開にして走行すると、風切音が大きくなる場合があります。走行するときは、コンフォートモードの位置で使ってください。

■ 挟み込み防止機構

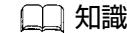
自動でガラスルーフを閉めるときに、車体とガラスルーフの間に異物の挟み込みを感じると、ガラスルーフが停止し、自動で開き始めます。



- ガラスルーフを確実に閉めるため、閉め切る直前の部分では挟み込みを感知できない領域があります。指などを挟まれないように注意してください。



- 故障などで挟み込み防止機構が作動してしまい、ガラスルーフを自動で閉めることができないときは、ガラスルーフスイッチを閉方向に繰り返し押して閉めてください。



- 環境や走行条件により、異物を挟んだときと同じような衝撃や荷重がガラスルーフに加わると、挟み込み防止機構が作動することがあります。

■ パノラミックガラスルーフの注意事項

⚠ 警告

- 走行中は手や顔、物などを車外に出さないでください。車外のものに当たったり、急ブレーキ時に重大な傷害につながるおそれがあります。
- ガラスルーフを開閉するときは、手や首などを挟まないよう注意してください。また、お子さまには操作させないでください。重大な傷害につながるおそれがあります。

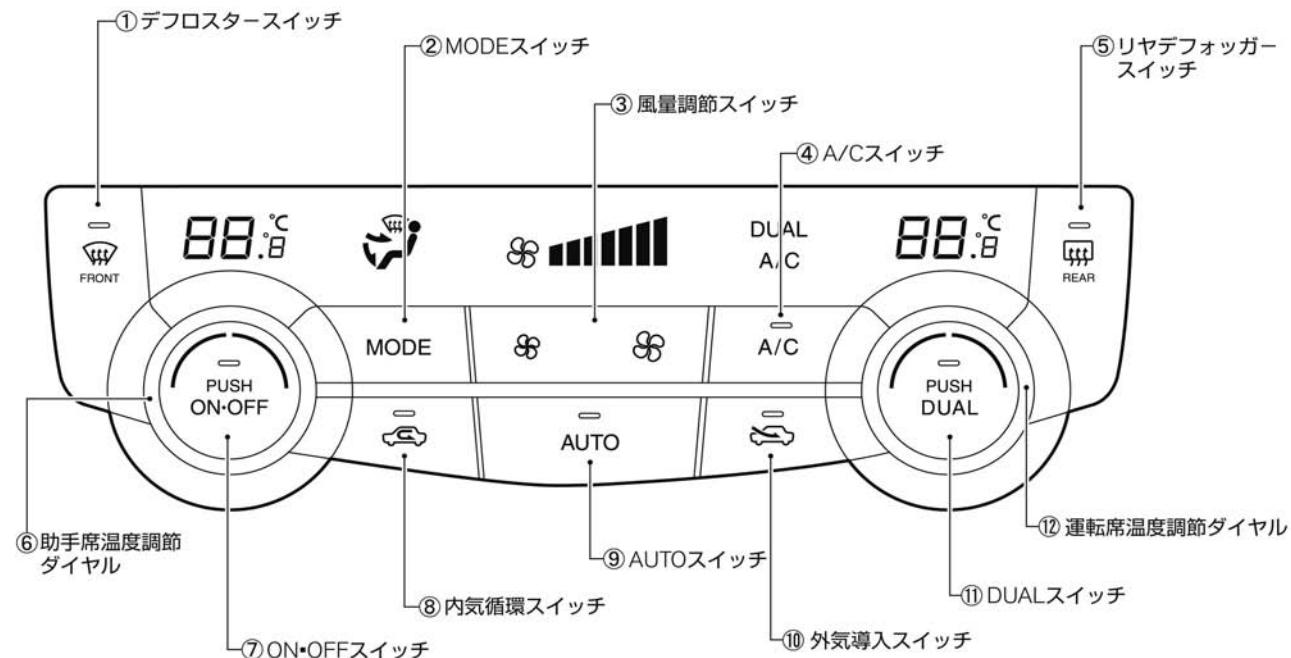
⚠ 注意

- 運転中はパノラミックガラスルーフの開閉操作を行わないでください。前方不注意となり、思わぬ事故につながるおそれがあります。操作は信号待ちなどの停車中に行ってください。
- ルーフに水や雪などがあるときは開けないでください。突然の水や雪に驚き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 開口部に腰を掛けたり、荷物を載せるなど、大きな力をかけないでください。ルーフが変形するおそれがあります。
- 車から離れるときや洗車するときは、盗難や故障などを防ぐためパノラミックガラスルーフを必ず閉めてください。
- 正常に作動しないときは、日産販売会社で点検を受けてください。

各スイッチの名称と機能



★：車両型式、オプションなどで異なる装備

オートエアコン★ 255

① **デフロスタースイッチ**

フロントガラスのくもりを取るときには使います。

② **MODEスイッチ**

スイッチを押すごとに吹き出し口が切り替わります。

— **♪**：上半身に送風したいときには使います。

— **♪**：足元に送風したいときには使います。

— **♪**：上半身、足元に送風したいときには使います。

— **♪**：足元への送風と窓ガラスのくもりを取りたいときには使います。

③ **風量調節スイッチ**

スイッチを押すごとに、風量が切り替わります。

④ **A/Cスイッチ**

スイッチを押すごとに冷房・除湿機能のON・OFFが切り替わります。

⑤ **リヤデフォッガースイッチ**

リヤの窓ガラスのくもりを取るときには使います。

⑥ **助手席温度調節ダイヤル**

ダイヤルを左右に回すと助手席の設定温度が切り替わります。

⑦ **ON・OFFスイッチ**

スイッチを押すごとに、エアコンのON・OFFが切り替わります。

⑧ **内気循環スイッチ**

トンネル内や渋滞などで外気が汚れているときや、早く冷暖房したいときには使います。

⑨ **AUTOスイッチ**

スイッチを押すと、冷房・暖房の切り替え、吹き出し口、風量、内気循環／外気導入の切り替えを自動調節して設定した温度に保ちます。

⑩ **外気導入スイッチ**

外気を取り入れたいときや、タバコの煙などを外に出したいときには使います。

⑪ **DUALスイッチ**

スイッチを押すごとに左右独立モードのON・OFFが切り替わります。

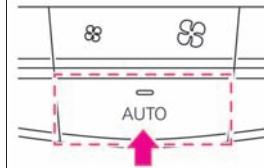
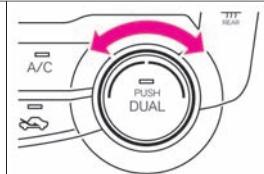
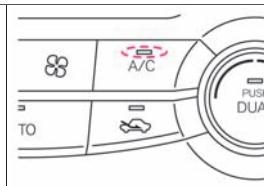
⑫ **運転席温度調節ダイヤル**

左右独立モードがONのとき、ダイヤルを左右に回すと運転席の設定温度が切り替わります。

左右独立モードがOFFのとき、ダイヤルを左右に回すと運転席・助手席の設定温度が切り替わります。

■ オートエアコンを使う

オートで使用すると、冷房・暖房の切り替え、吹き出し口、風量、内気循環／外気導入の切り替えを自動で制御して室内温度を一定に保ちます。

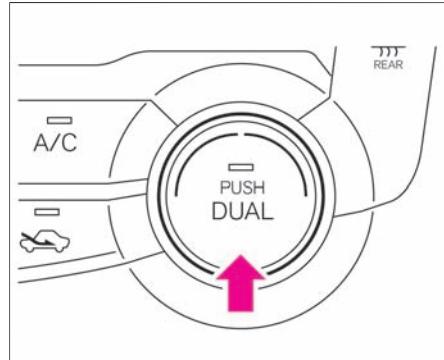
1	AUTOスイッチを押します。 (スイッチの表示灯が点灯)	
2	温度調節ダイヤルを回して、設定温度を調節します。 右側：設定温度を上げる 左側：設定温度を下げる	
3	A/Cスイッチの表示灯が消灯しているときは、A/Cスイッチを押します。(スイッチの表示灯が点灯) A/Cスイッチ点灯時：冷房・除湿機能ON	

知識

- オートで使用中に、冷房、暖房の切り替え、風量、吹き出し口、内気／外気の切り替えをマニュアル操作したときは、操作したスイッチ以外は自動調節されます。
- マニュアル操作で内気循環にしても、外気温、冷却水温が共に低いときは、自動で外気導入に切り替わる場合があります。

運転席と助手席を別々に温度調節する

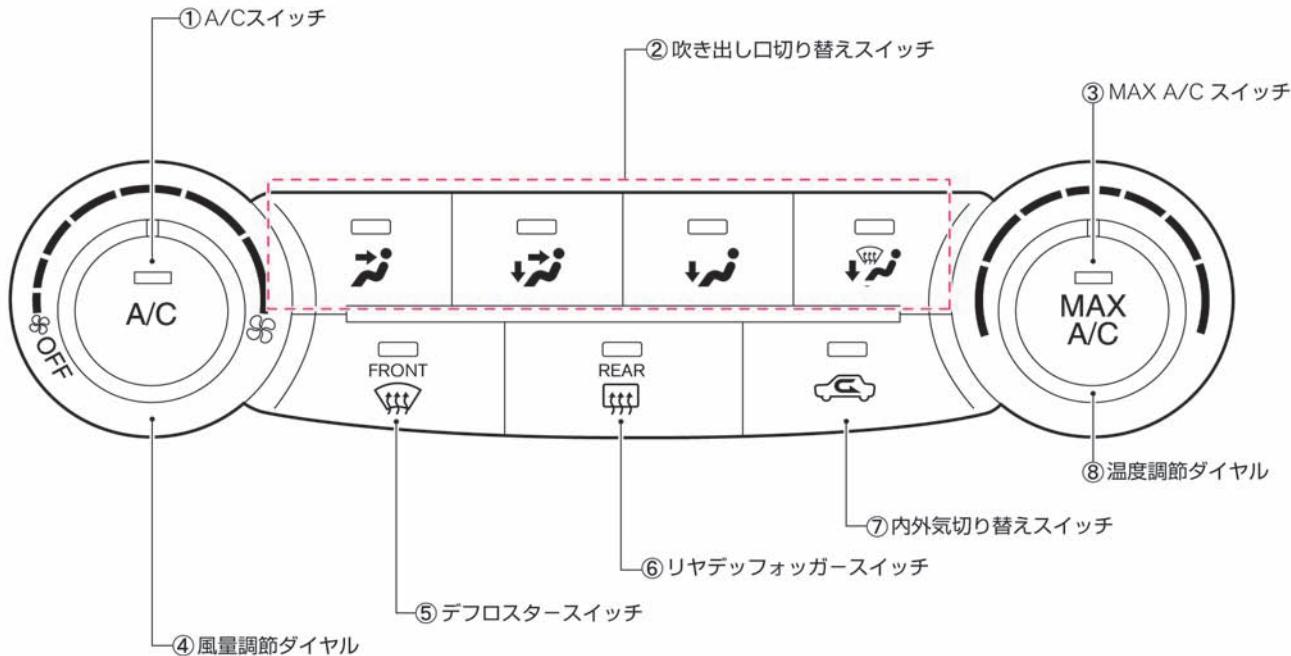
- DUALスイッチを押す、または助手席の温度調節ダイヤルで希望の設定温度に調節すると左右独立モードになります。
- 解除するときは、DUALスイッチを押します。



知識

- デフロスター スイッチの表示灯が点灯しているときは、左右独立モードに切り替えることができません。

■ 各スイッチの名称と機能



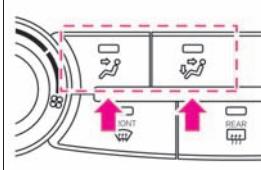
エアコンの使いかた マニュアルエアコン★

- ① **A/Cスイッチ**
スイッチを押すごとに冷房・除湿機能のON/OFFが切り替わります。
- ② **吹き出し口切り替えスイッチ**
 - : 上半身に送風したいときを使います。
 - : 足元に送風したいときを使います。
 - : 上半身、足元に送風したいときを使います。
 - : 足元への送風と窓ガラスのくもりを取りたいときに使います。
- ③ **MAX A/Cスイッチ**
スイッチを押すと、A/CがON、内外気切り替えスイッチが内気循環、吹き出し口が に切り替わります。（ の表示灯は点灯しません。）
- ④ **風量調節ダイヤル**
ダイヤルを回すと、風量が切り替わります。
- ⑤ **デフロスター スイッチ**
フロントガラスのくもりを取るときに使います。
- ⑥ **リヤデフォッガースイッチ**
リヤの窓ガラスのくもりを取るときに使います。
- ⑦ **内外気切り替えスイッチ**
スイッチを押すごとに内気循環／外気導入が切り替わります。
(内気循環のときにスイッチの表示灯が点灯)
- ⑧ **温度調節ダイヤル**
ダイヤルを回すと、温度が切り替わります。

マニュアルエアコンを使う

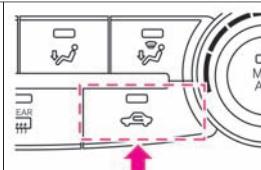
1

吹き出し口を切り替えます。
(冷房：、暖房：



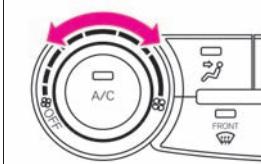
2

内外気切り替えスイッチで、内気循環・外気導入を切り替えます。



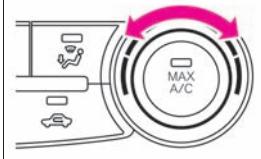
3

風量調節ダイヤルを回します。
(左側：風量少ない～右側：風量多い)



4

温度調節ダイヤルを回します。
左側：低温、右側：高温



知識

- 外気温が0°C近くまで下がると、A/Cスイッチが点灯していてもエアコン（冷房・除湿機能）が作動しないことがあります。

内外気切り替えスイッチについて

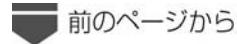
- 外気導入（消灯）：外気を取り入れたいときや、タバコの煙などを外に出したいときに使います。（通常はこの位置で使います）
- 内気循環（点灯）：トンネル内や渋滞などで外気が汚いときや、早く冷房を効かせたいときに使います。



次のページに続く

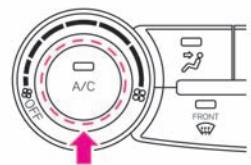
★：車両型式、オプションなどで異なる装備

エアコンの使いかた マニュアルエアコン★



5

A/Cスイッチを押します。
冷房・除湿機能ON：表示灯が点灯
冷房・除湿機能OFF：表示灯が消灯



エアコンの使いかた 吹き出しき

各部の操作

吹き出しきの切り替わりかた



上半身に送風



上半身と足元に送風



主に足元に送風



窓のくもり取りと足元に送風



窓のくもり取り

吹き出しきの位置

窓のくもり取り

上半身

足元

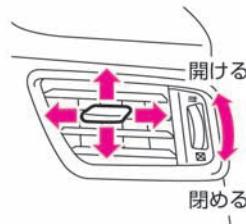
足元

足元

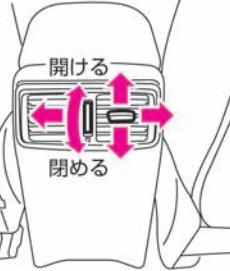
足元

足元

★ : 車両型式、オプションなどで異なる装備



後席吹き出しきの位置



⚠ 警告

- 内気循環で長時間使用すると、窓ガラスがくもりやすくなり視界が損なわれ危険ですので、一時的に使ってください。
- お子さま、介護を必要とされる方、ペットを車室内に残さないでください。炎天下では車室内が高温になり、生命にかかわるおそれがあり危険です。

⚠ 注意

- 特に皮膚の弱い方、乳幼児、病人、お年寄り、身体の不自由な方などには、吹き出し風が長時間連続してあたらないように運転者が注意してください。低温やけどや思わず傷害を受けるおそれがあります。
- デフロスタースイッチをONにしているときに、エアコンの設定温度を低くすると、フロントガラスの外側に露が付き、視界を妨げるおそれがあります。

 アドバイス

- ほこり、花粉、粉じんなどを集じんするためのクリーンフィルターを装着しています。集じん性能を維持するため、クリーンフィルターは定期的に交換してください。
交換時期：1年ごとまたは12,000km走行ごと
- オートエアコン付車の自動温度調節は、日射センサーⒶと温度センサーⒷで行っています。センサーをふさいだり、クリーナーなどを吹きかけないでください。センサーの感度が低下し、正常に作動しなくなります。

🚗 アドバイス



- クリーンフィルターが交換時期に満たない場合でも、吹き出し風量が極端に減少したり、窓ガラスがくもりやすくなった場合は交換してください。なお、取り付け、交換などについては、日産販売会社にご相談ください。
- 外気導入に固定していると、夏場など外気温が高いときは、冷房の効きが悪くなる場合があります。その場合は、一時的に内気循環にしてください。
- エアコン装置のオイル循環を切らさないために、ときどきA/CスイッチをONにしてください。なお、外気温が0°C近くまで下がるとエアコン装置が作動しないことがあるため、暖かい日に行ってください。
- エアコンガスは必ずHFC134a (R134a) を入れてください。
- 地球温暖化防止のためエアコンガスを大気放出しないでください。

 知識

- 冷房時、吹き出し口から霧が吹き出したように見えることがあります、これは湿った空気が急に冷やされたときに発生するもので、異常ではありません。
- 外気温が0°C近くまで下がると、A/Cスイッチが点灯していてもエアコンが作動しないことがあります。
- 始動直後で吹き出し風の温度が低いときは、足元への吹き出し風量が少なくなります。

エアコンのにおいについて

エアコン装置は、空気中のいろいろなにおいが混ざり合うため、吹き出し風からにおいを感じことがあります。

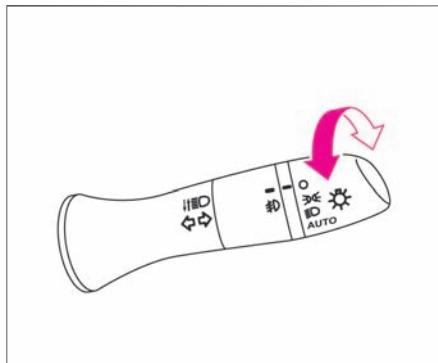
 知識

- エアコン作動時のにおいを抑えるため、駐車時などは外気導入にしておくことをおすすめします。

■ ライトの点灯・消灯

スイッチを回し、の位置にマークを合わせます。

スイッチ位置	点灯する灯火
○	全ライトが消灯
	車幅灯、尾灯、番号灯が点灯
	ヘッドライト（前照灯）、車幅灯、尾灯、番号灯が点灯
AUTO	自動点灯・消灯



アドバイス

- エンジン停止時に長時間点灯させないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。

知識

- ヘッドライト、制動灯などは、雨天走行や洗車などにより、レンズ内面が一時的にくもることがあります。異常ではありません。

バッテリーセーバー

- ライトを点灯したままキースイッチ（電源ポジション）をOFFにし、リモコンまたはリクエストスイッチで施錠するとバッテリーあがりを防止するためライトが消灯します。
- 次回、次の操作を行うとライトが再点灯します。
 - インテリジェントキー付車は、電源ポジションをONにする
 - リモートコントロールエントリー システム付車は、キーシリンダーにキーを差し込む

オートレベルライザー

- ヘッドライトが下向き点灯時に乗車人員や荷物量の違いにより車両姿勢



知識

が変化すると自動的に照射方向を調整するシステムです。

■ フレンドリーライティング作動

- 夜間など周囲が暗い場所で車から降りるときに、以下の操作を行うとヘッドライトが周囲を照らします。
 - キースイッチ（電源ポジション）がON以外のとき、ライトスイッチを手前に1回引くと、ライトが約30秒間点灯したあと、自動的に消灯します。
 - 点灯中、ライトスイッチを手前に引いたびに点灯時間が約30秒間延長され、最大約2分間まで延長することができます。

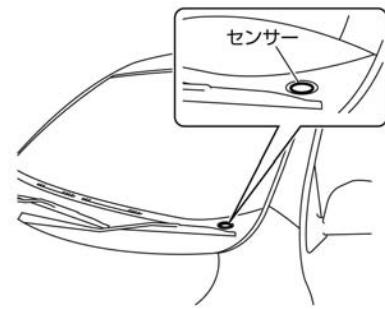
■ オートライトシステムについて

- 電源ポジションがONのときに使えます。
- 電源ポジションをOFFにすると消灯します。
- スイッチを回し、の位置にマーク(AUTO)を合わせると、次のように点灯・消灯します。

ワイパーの作動	作動中	停止
明るいとき	点灯	消灯
薄暗いとき	点灯	点灯
暗いとき	点灯	点灯

アドバイス

- センサーの上に物を置いたり、ガラスクリーナーなどを吹きかけないでください。センサーの感度が低下し、正常に作動しなくなります。



知識

フロントワイパー運動、薄暮れ感知機能

- 夜間やトンネルなどの走行時に加え、歩行者事故などが多く発生している夕暮れ時や雨天でのフロントワイパー作動時もライトを点灯させることにより、自車両を目立たせ、周囲の歩行者や運転者への注意を喚起します。

 知識

- メーター内のディスプレイで「設定」⇒「車両設定」⇒「ライト/照明」⇒「オートライト感度調整」を選択すると、オートライトの感度調整ができます。
 ドライブコンピューター (P.180)
設定の詳細については、車両設定
( P.191) をお読みください。

スイッチの操作 ライトスイッチ

ヘッドライトの上向き、下向き切り替え

下向き：

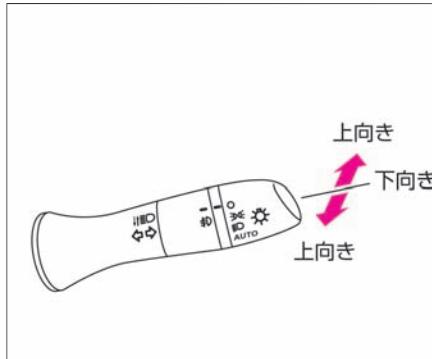
レバーを中立位置にします。

上向き：

ヘッドライト点灯時にレバーを前方に押します。

パッシング：

スイッチ位置に関係なく、レバーを手前に引きます。



アドバイス

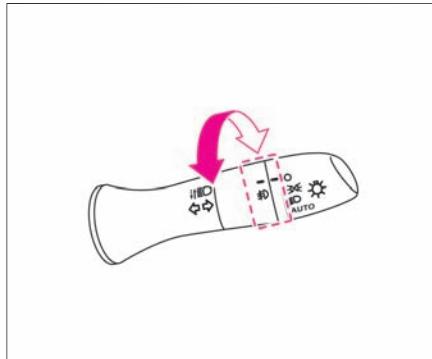
- 対向車があるときや市街地走行などでは下向きにしてください。

フォグランプ★の点灯・消灯

ライトが点灯しているときに使えます。

霧などで視界が悪いときに使います。

- スイッチを回して を の位置に合わせると点灯します。
(メーター内の表示灯が点灯)
- 消灯するときは、 と を合わせます。
(メーター内の表示灯が消灯)

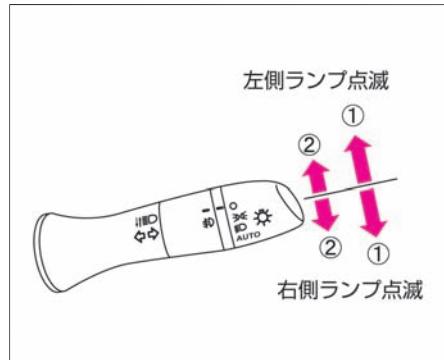


スイッチの操作 ライトスイッチ

キースイッチ（電源ポジション）がONのとき使えます。

方向指示器スイッチ

- スイッチを①の位置まで上または下に動かすと、方向指示器のランプが点滅します。
(メーター内の表示灯が点滅)
- 車線変更などのときには、スイッチを②の位置まで上または下に軽く押さえます。
スイッチを押さえている間は点滅し、手を離すと消灯します。
また、スイッチを②の位置まで上または下に押さえたあと、すぐに手を離したときは3回点滅し消灯します。(コンフォートフラッシャー機能)



アドバイス

- 方向指示器のランプとメーター内の方向指示表示灯の点滅が速くなったときは、方向指示器のランプの電球切れなどのおそれがあります。電球を交換してください。

③ 電球（バルブ）交換 (P.371)

知識

- メーター内のディスプレイで「設定」⇒「車両設定」⇒「ライト/照明」⇒「コンフォートフラッシャー」を選択すると、コンフォートフラッシャー機能のON・OFFを切り替えることができます。

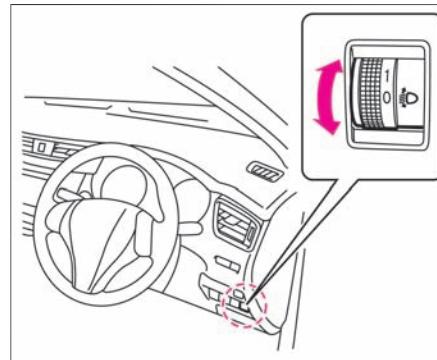
④ ドライブコンピューター (P.180)

設定の詳細については、車両設定
(④ P.191) をお読みください。

■ ヘッドランプレベライザースイッチ★

ハロゲンヘッドライト付車はヘッドライトが下向き点灯時に、照らす向きを調整します。

- 通常は、スイッチが0の位置で使います。
- スイッチを回し、数字が大きくなるほど、照らす向きが下側になります。



アドバイス

- 乗車人員や荷物量の違いにより、ヘッドライトが上側を照らすときや、アップダウンの多い山道などで、前を走行する車のミラーや対向車のフロントガラスを照らすようなときは、照らす向きを下側に調整してください。

知識

- LEDヘッドライト付車は、ヘッドライトが下向き点灯時の乗車人員や荷物量の違いによる車両姿勢の変化を自動的に調整するオートレバライザー機能が付いています。

スイッチの操作

ライトスイッチ

■ 各スイッチ位置の目安(2列車)

乗員	ラゲッジルームの積載状況	スイッチ位置
運転席のみ	積載なし	0
フロントシート2名		0
5名		1
運転席のみ	満載	2
		3

■ 各スイッチ位置の目安(3列車)

乗員	ラゲッジルームの積載状況	スイッチ位置
運転席のみ	積載なし	0
フロントシート2名		0
フロントシート2名+サードシート2名		1
7名	満載	2
		3

スイッチの操作

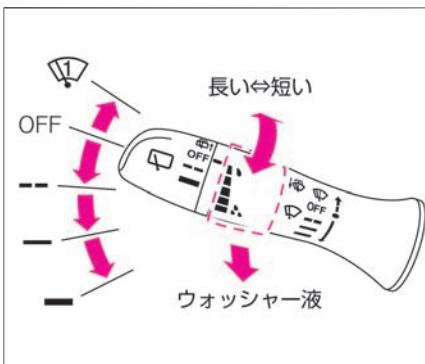
ワイパー・ウォッシャースイッチ

キースイッチ（電源ポジション）がONのときに作動します。

■ フロントワイパーの使いかた

スイッチを上下に動かします。

スイッチ位置	作動
	1回作動
OFF	停止
--	間けつ作動
-	低速連続作動
—	高速連続作動



ウォッシャーの使いかた

- スイッチを手前に引くと、ウォッシャー液が噴射しワイパーが数回作動します。

知識

- のときは、スイッチを回して作動間隔の長い、短いを調節できます。
- のときは車速に応じて、ワイパー作動の調節を自動で行います。
- の位置では、スイッチを押し上げている間ワイパーは作動し、手を離すと自動的にOFF位置に戻り停止します。
- ウォッシャースイッチを操作したあと、ガラスに残ったウォッシャー液をふき取るため、約3秒後に一度ワイパーが作動します。（ドリップ拭き取り機能）
- メーター内のディスプレイで「設定」⇒「車両設定」⇒「ワイパー」⇒「ドリップ拭き取り」を選択すると、ドリップ拭き取り機能のON・OFFを切り替えることができます。
➡ [ドライブコンピューター \(P.180\)](#)
設定の詳細については、車両設定
(➡ P.191) をお読みください。
- 間けつ作動の間隔は、車速が速くなると短くなる車速感知式です。（車速連動機能）
- メーター内のディスプレイで「設

 知識

定」⇒「車両設定」⇒「ワイパー」
⇒「車速連動」を選択すると、車速連動機能のON・OFFを切り替えることができます。

④ ドライブコンピューター (P.180)
設定の詳細については、車両設定 (④ P.191) をお読みください。

- ライトスイッチがAUTO位置のときにワイパーが数回作動すると、車外の明るさに関係なくライトが点灯します。

④ オートライトシステムについて (P.269)

スイッチの操作 ワイパー・ウォッシャースイッチ

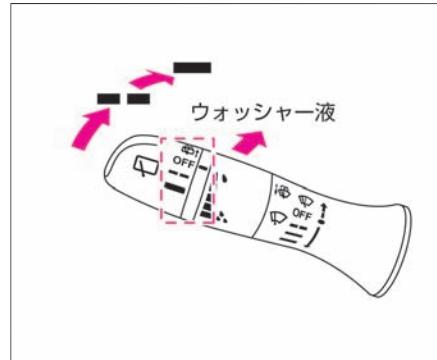
リヤワイパーの使いかた

スイッチを回してマークを - の位置にあわせると作動します。

スイッチ位置	作動
OFF	停止
--	間けつ作動（調整機能なし）
-	低速連続作動

ウォッシャーの使いかた

- スイッチを車両前方に軽く押すと、リヤのウォッシャー液が噴射しリヤワイパーが数回作動します。



知識

リバース運動機能

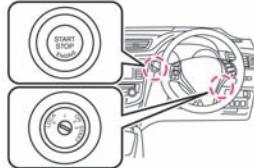
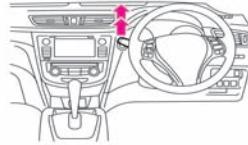
- フロントワイパー作動中にセレクトレバーをRにすると、リヤワイパーが自動的に1回作動します。
- メーター内のディスプレイで「設定」⇒「車両設定」⇒「ワイパー」⇒「リバース運動」を選択すると、リバース運動機能のON・OFFを切り替えることができます。

● ドライブコンピューター (P.180)
設定の詳細については、車両設定 (P.191) をお読みください。

スイッチの操作 ワイパー・ウォッシャースイッチ

各部の操作

■ ワイパーームを起こすとき（ライズアップ機能の使いかた）

- 1 キースイッチ（電源ポジション）をONからOFFにします。
- 2 OFFにしてから1分以内にスイッチを2回連続で素早く(0.5秒以内)上（⌚位置）に上げます。
- 3 ワイパーームの作動が途中で止まった後、ワイパーームを起こします。
- 4 元に戻すときは、ワイパーームを倒してから、キースイッチ（電源ポジション）をONにし、ワイパーを1回作動します。

！ 注意

- キースイッチ（電源ポジション）がONでもライズアップ機能を作動させることができます。しかし、安全のため、以下のことを守ってください。
 - セレクトレバーがPにあることを確認する。
 - 同乗者が誤ってスイッチ操作しないように注意する。

アドバイス

- ワイパーームを起こした状態でワイパーを作動させると、破損するおそれがあります。

知識

- **ライズアップ機能**
ワイパーームを起こすために、ワイパーの作動を途中で止める機能です。寒冷時の駐車やワイパー交換などのときに起こします。

スイッチの操作

ワイパー・ウォッシャースイッチ

■ ワイパー・ウォッシャーを使うときの注意事項



警告

- 寒冷時は、ガラスに吹きつけられたウォッシャー液が凍結し、視界を妨げ、思わぬ事故につながるおそれがあります。ウォッシャー液を噴射する前に、ヒーターを使ってガラスを温めてください。また、ウォッシャー液は外気温に合わせた希釈割合にしてください。



アドバイス

- 雪が降りそうなときや降雪時にはワイパー アームを起こしておいてください。ワイパーに雪が積もり、破損するおそれがあります。
- ワイパー作動中、雪などの障害物によりワイパーが作動できなくなると、モーター保護のためにワイパーの作動が停止することがあります。その場合は、スイッチをOFFにし障害物を取り除いたあと、モーターが冷えるまで（約1分程度）待ってから、再度スイッチをONにしてください。ワイパーが作動を開始します。
- 凍結などでブレードがガラスに張り付いているときは、作動させないでください。ワイパーが損傷したり、モーターが故障するおそれがあります。
- 窓ガラスが乾いているときは、ウォッシャー液を噴射してからワイパーを使ってください。ガラスが乾いた状態でワイパーを使用すると、ガラスやブレード（ゴム部）を傷つけるおそれがあります。
- ウォッシャー液が出ないときは、そのままで30秒以上作動させないでください。モーターが故障する原因となります。
- ウォッシャー液を補給しても液が出ないときは、日産販売会社にご相談ください。

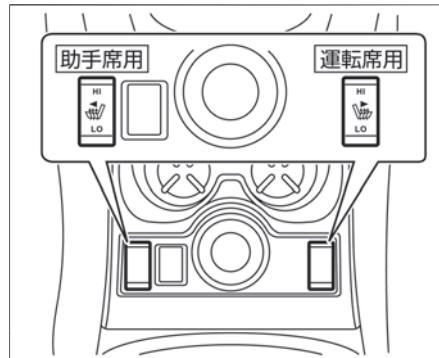
スイッチの操作 ヒーターシートスイッチ★

フロントシートを温めます。
キースイッチ（電源ポジション）がONのときに使えます。

ON・OFFのしかた

スイッチ位置	働き
HI	早く温めたいとき
LO	保温したいとき
中立	止めるとき

- スイッチのHI側またはLO側を押すと作動します。（スイッチの表示灯が点灯）
- 止めるときは、スイッチを中立位置にします。（スイッチの表示灯が消灯）



⚠ 注意

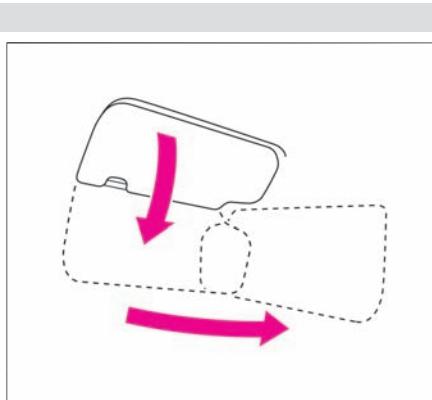
- 長時間の連続使用は低温やけどの原因となります。特に皮膚の弱い方、乳幼児、病人、お年寄り、身体の不自由な方、眠気をもよおす薬を服用された方、深酒や疲労の激しい方は注意して使ってください。
- シートに毛皮や座布団を載せたりしないでください。過熱するおそれがあります。
- 固くて重い物や突起がある物をシートに載せたり、ピンや針などの鋭い物でシートをつきさしたりしないでください。
- シートを清掃するときは、シンナー、ベンジン、アルコールなどの有機溶剤を使用しないでください。
- 水などをこぼしたときは、乾いた布ですぐにふき取ってください。

車アドバイス

- バッテリーあがりを防止するため、エンジンをかけた状態で使ってください。また、アイドリング状態での連続使用は避けてください。

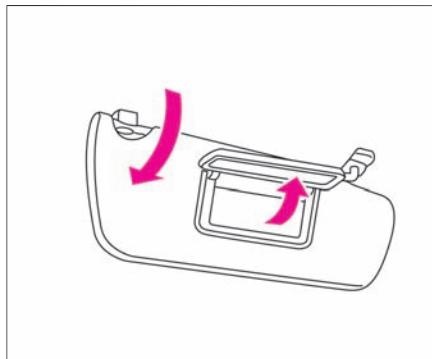
サンバイザー

- 前方からの日差しを防ぐときは、下に下げて使います。
- 横からの日差しを防ぐときは、下に下げてフックから外し、横にして使います。



照明付きバニティミラー

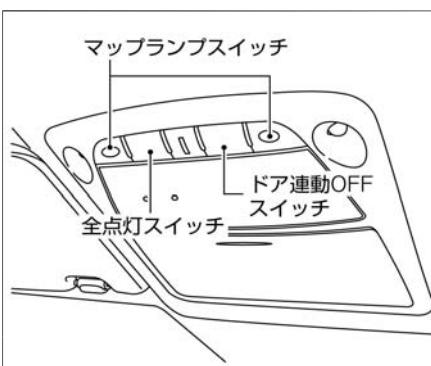
- サンバイザー裏側に照明付きのバニティミラー（鏡）が付いています。
- サンバイザーを下に下げ、ふたを開けて使います。



マップランプ

- 次のようにマップランプの点灯・消灯のしかたを変えられます。

スイッチ	点灯・消灯のしかた
全点灯スイッチ	スイッチを押すと、マップランプ、後席読書灯★またはルームランプ★が常時点灯します。もう一度押すと消灯します。
ドア連動OFFスイッチ	スイッチを押すと、常時消灯します。
マップランプスイッチ	スイッチを押した方のマップランプが点灯します。もう一度押すと消灯します。



アドバイス

- キースイッチ（電源ポジション）がOFFのときは、マップランプを長時間点灯させないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。

知識

- ドア連動OFFスイッチが押し込まれていないときは、ドアが開いているときに点灯します。

キー連動室内照明システム

- ドア連動OFFスイッチが押し込まれていないときは、次の条件で点灯します。
 - キースイッチ（電源ポジション）をOFFにしてから約15秒間
 - キースイッチ（電源ポジション）がOFFのとき、ドアを解錠してから約15秒間
 - キースイッチ（電源ポジション）がOFFのとき、ドアを閉めてから約15秒間
- メーター内のディスプレイで「設定」⇒「車両設定」⇒「ライト/照明」⇒「自動室内灯」を選択すると、キー連動室内照明システム機能のON・OFFを切り替えることができます

 知識

す。

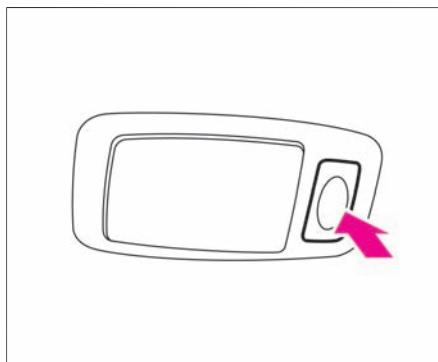
② ドライブコンピューター (P.180)
設定の詳細については、車両設定
(② P.191) をお読みください。

バッテリーセーバー

- バッテリーあがりを防止するため、
室内照明は15分以上点灯し続ける
と、自動的に消灯します。

■ 後席読書灯★

- スイッチを押すと点灯し、もう一度押すと消灯します。



アドバイス

- キースイッチ（電源ポジション）がOFFのときは、後席読書灯を長時間点灯させないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。

知識

- マップランプのドア連動OFFスイッチが押し込まれていないときは、ドアが開いているときに点灯します。

キー連動室内照明システム

- マップランプのドア連動OFFスイッチが押し込まれていないときは、次の条件で点灯します。
 - キースイッチ（電源ポジション）をOFFにしてから約15秒間
 - キースイッチ（電源ポジション）がOFFのとき、ドアを解錠してから約15秒間
 - キースイッチ（電源ポジション）がOFFのとき、ドアを閉めてから約15秒間
- メーター内のディスプレイで「設定」⇒「車両設定」⇒「ライト/照明」⇒「自動室内灯」を選択すると、キー連動室内照明システム機能

 知識

のON・OFFを切り替えることができます。

➡ ドライブコンピューター (P.180)
設定の詳細については、車両設定
(➡ P.191) をお読みください。

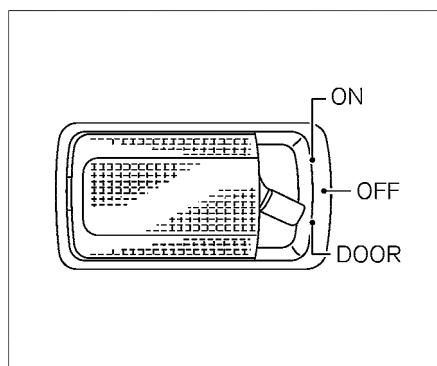
バッテリーセーバー

- バッテリーあがりを防止するため、
室内照明は15分以上点灯し続ける
と、自動的に消灯します。

ルームランプ★

- スイッチの位置により、次のようにルームランプの点灯・消灯のしかたを変えられます。

スイッチ	点灯・消灯のしかた
ON	常時点灯します。
OFF	常時消灯します。
DOOR	ドアを開けると点灯し、閉めると消灯します。



アドバイス

- キースイッチ（電源ポジション）がOFFのときは、ルームランプを長時間点灯させないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。

知識

キー運動室内照明システム

- スイッチがDOOR位置にあるときは、次の条件で点灯します。
 - キースイッチ（電源ポジション）をOFFにしてから約15秒間
 - キースイッチ（電源ポジション）がOFFのとき、ドアを解錠してから約15秒間
 - キースイッチ（電源ポジション）がOFFのとき、ドアを閉めてから約15秒間
- メーター内のディスプレイで「設定」⇒「車両設定」⇒「ライト/照明」⇒「自動室内灯」を選択すると、キー運動室内照明システム機能のON・OFFを切り替えることができます。

② ドライブコンピューター (P.180)
設定の詳細については、車両設定 (② P.191) をお読みください。

 知識

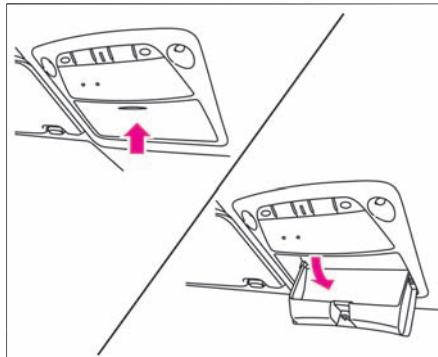
バッテリーセーバー

- バッテリーあがりを防止するため、室内照明は15分以上点灯し続けると、自動的に消灯します。

■ オーバーヘッドコンソールについて

サングラスなどを収納することができます。

- 開けるときは、ふたを押します。
- 閉めるときは、ロックするまで押し戻します。

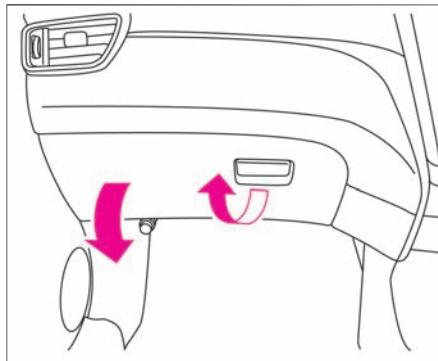


⚠ 注意

- 開閉は停車中に行い、開けたまま走行しないでください。また、重量のある物を入れないでください。落下して思わぬケガにつながるおそれがあります。
- 炎天下での駐車は大変高温になりますので、サングラス、メガネ、ライターなどを入れたままにしないでください。変形するおそれがあります。

■ 開閉のしかた

- 開けるときは、ノブを手前に引きます。
- 閉めるときは、ロックするまでふたを押します。

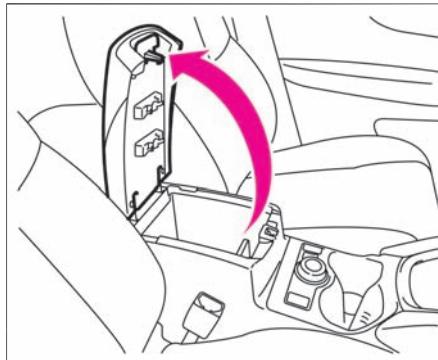


注意

- グローブボックスを開けたまま走行しないでください。ブレーキをかけたとき収納した物が飛び出したり、ふたに当たるなどして、思わぬケガをするおそれがあります。
- ふたを開けるときは、ゆっくり開けてください。ふたを全開にしたとき、身体に当たるおそれがあります。

■ センターコンソールボックスについて

- 開けるときは、ロックノブを引き上げながら、ふたを開けます。
- 閉めるときは、ロックするまでふたを押します。



⚠ 注意

- コンソールボックスを開けたままにしないでください。開けたふたで思わぬケガをするおそれがあります。

📖 知識

- コンソールボックス内には、電源ソケットがあります。

■ フロントシート用カップホルダー（保温保冷機能付）

- センターコンソールにあります。
- エアコンの温風、冷風により飲物の保温・保冷ができます。
- 飲物を保温または保冷するときは、エアコンの吹き出し口を または に設定し、ノブを押し上げます。
- 保温保冷機能を使わないときは、ノブを押し下げます。



⚠ 警告

- 運転中は、信号待ちなどの停車中に使ってください。走行中に飲み物を出し入れすると前方不注意となり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- 飲み物の容器によっては確実に固定されないことがあるため、こぼさないよう注意してください。
- 車室内のスイッチや画面などに飲み物をこぼさないようにしてください。故障や火災のおそれがあります。

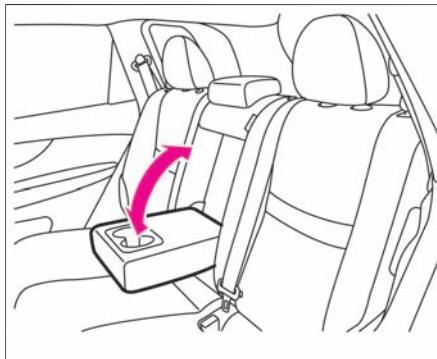
🚗 アドバイス

- カップホルダー内の温度はエアコン吹き出し風温度と同じになります。極端に冷やしたり温めたりすることはできません。

セカンドシート用カップホルダー（2列車）

セカンドシートのアームレストにあります。

- ① アームレストを前に倒します。
- ② 元に戻すときは、アームレストを起こします。



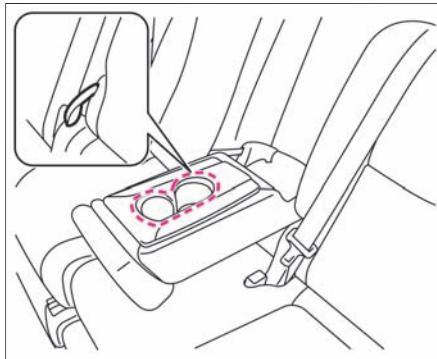
注意

- 飲物の容器のよっては確実に固定されないことがあるため、こぼさないよう注意してください。
- 車室内のスイッチや画面などに飲み物をこぼさないようにしてください。故障や火災のおそれがあります。

セカンドシート用カップホルダー（3列車）

セカンドシートのアームレストにあります。

- ① ストラップを引いてアームレストを前に倒します。
- ② 元に戻すときは、アームレストを起こします。

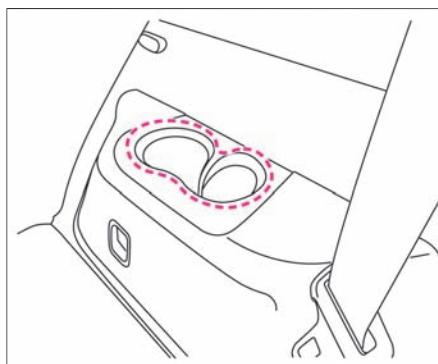


注意

- 飲物の容器のよっては確実に固定されないことがあるため、こぼさないよう注意してください。
- 車室内のスイッチや画面などに飲み物をこぼさないようにしてください。故障や火災のおそれがあります。

■ サードシート用カップホルダー★

サードシート右側にあります。

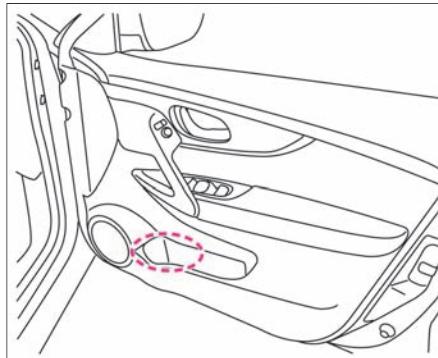


⚠ 注意

- 飲み物の容器のよっては確実に固定されないことがあるため、こぼさないよう注意してください。
- 車室内のスイッチや画面などに飲物をこぼさないようにしてください。故障や火災のおそれがあります。

■ ボトルホルダー

- ボトルホルダーは、フロントシートおよびセカンドシートのドアポケットにあります。



⚠ 注意

- 飲み物の容器のよっては確実に固定されないことがあるため、こぼさないよう注意してください。
- 車室内のスイッチや画面などに飲物をこぼさないようにしてください。故障や火災のおそれがあります。

室内装備 電源ソケット

カーアクセサリーの電源をとるときに使います。

キースイッチ（電源ポジション）がONまたはOFFでACC状態のとき使えます。

ACC状態については、オートACC機能（☞P.63）をお読みください。

電源ソケットについて

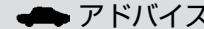
容量は、12V（ボルト）、10A（アンペア）、120W（ワット）です。

相手プラグを挿入したり抜いたりするときは、使用機器側の電源スイッチをOFFにするか、キースイッチ（電源ポジション）をOFFにしてください。



注意

- 2マタソケットなどでタコ足配線をしないでください。
- 安全のため、消費電力120W以下のものを使ってください。
- 相手プラグをソケットの奥まできちんと挿入して使ってください。挿入が不完全だと、発熱し車両のヒューズが切れる場合があります。
- 使用中や使用直後はソケットや相手プラグが熱くなっていることがあるため、注意してください。
- シガーライターをソケットに差し込まないでください。
- ソケットに水をかけたり、指や金属などを入れたりしないでください。

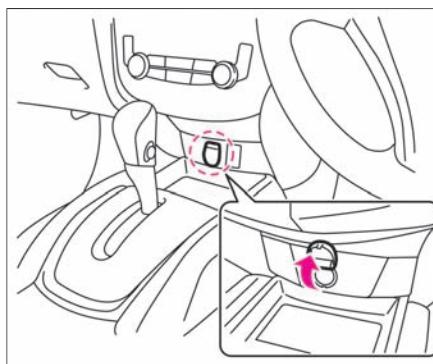


アドバイス

- バッテリーあがりを防止するため、エンジンをかけた状態で使用してください。また、長時間使ったり、エアコン、ヘッドランプ、リヤデフォッガーなどを同時に使わないでください。

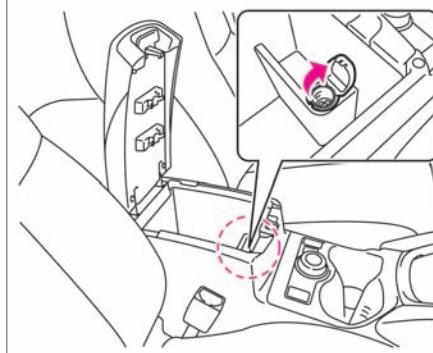
■ センタークラスター下

- ふたを開けて使います。
- 使わないときは、ふたを閉めます



■ センターコンソールボックス内

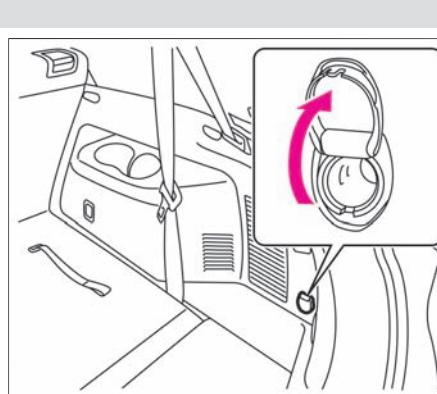
- ふたを開けて使います。
- 使わないときは、ふたを閉めます。



■ ラゲッジルーム内

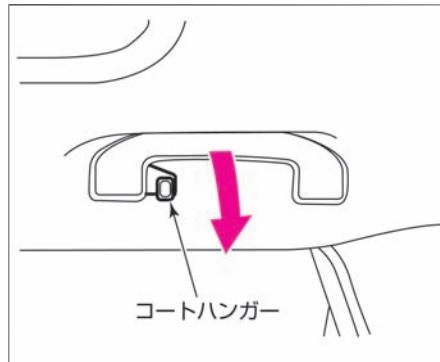
ラゲッジルームの右側にあります。

- ふたを開けて使います。
- 使わないときは、ふたを閉めます。



■ アシストグリップ／コートハンガーについて

- アシストグリップは助手席およびセカンドシート左右にあります。
- セカンドシート右側にはコートハンガーが付いています。



注意

- コートハンガーにハンガーなど先のとがった物をかけないでください。SRSエアバッグが作動したときに飛ばされて、思わぬ傷害につながるおそれがあります。

アドバイス

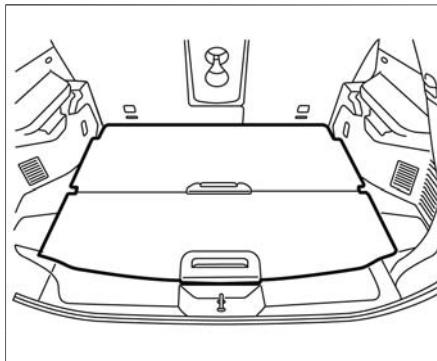
- コートハンガーには1kg以上の物をかけないでください。

フレキシブルラゲッジ★

2枚のラゲッジボードを開閉、脱着することにより、4種類のモードで使えます。

■ フレキシブルラゲッジボードについて

- ボードの位置を変えるときは、グリップに手をかけて持ち上げます。



⚠ 注意

- ラゲッジボードの前端部に強い力をかけないでください。ボードが開き、手を挟むなど思わぬケガをするおそれがあります。
- 背もたれを前方に倒して走行するときは、ラゲッジボードを通常位置に置いた状態で使用してください。急ブレーキや衝突の時などにボードの上に置いたものが飛び出し、ケガをするおそれがあります。

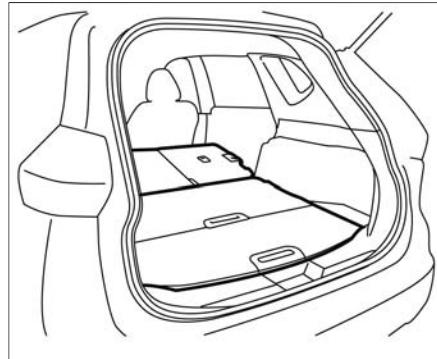
🚗 アドバイス

- 部品が破損・変形するおそれがあります。操作中に挟まっても無理に押し込まないでください。

■ フルフラットモード

セカンドシートの背もたれを前方に倒し、長さのある荷物を収納できます。

- セカンドシートの背もたれを倒して使います。
☞ 調節のしかた (P.39)



⚠ 警告

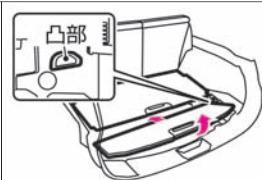
- 長尺物を積んだときは、走行中に動かないように確実に固定してください。急ブレーキをかけたときなど、重大な傷害につながるおそれがあります。

3段収納モード

ラゲッジボードの上下に荷物を分けて収納できます。

1

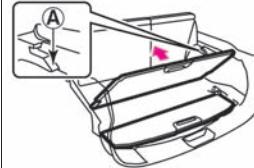
手前のボードを30°引き上げ、手前にボードを引いてからラゲッジルーム底面に差し込みます。

**2**

ボードを奥まで差し込んで、底面に置きます。

**3**

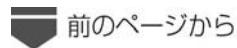
奥のボードを前側のⒶに当たるまで持ち上げます。

**アドバイス**

- ラゲッジ底部に入れるときは、ボードがサイドの凸部に当たらないよう入れてください。
- ボードを引き上げるときは、B部を支点に引き上げると軽く上げられます。
- ボードを引き上げるときは、A部に当たらないようにしてください。
- 部品が破損するおそれがあるため、重いもの（約10kg以上）を置かないでください。



次のページに続く



4

ボードの裏面をⒶに当てたまま引き上げます。



5

ボードの先端をⒷ部に差し込んでからボードを置きます。

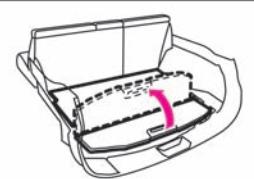


バーチカルモード

ラゲッジを前後に仕切り、後方に高さのあるものを収納できます。

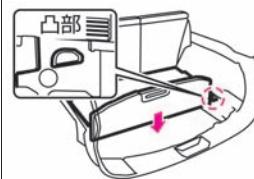
1

手前のボードを90°開きます。



2

そのまま下におろします。



アドバイス

- ボードを立てるときは、サイドの凸部に当たらないように入れてください。

■ フルセパレートモード

汚れたものなどを隠すことができます。

1

奥のボードを上の段に置きます。
⇒ 3段収納モード (P.300)



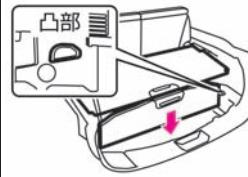
2

奥のボードを約10cm持ち上げて、手前のボードを手前のボードを90°開きます。



3

そのまま下におろします。



アドバイス

- ボードを立てるときは、サイドの凸部に当たらないように入れてください。

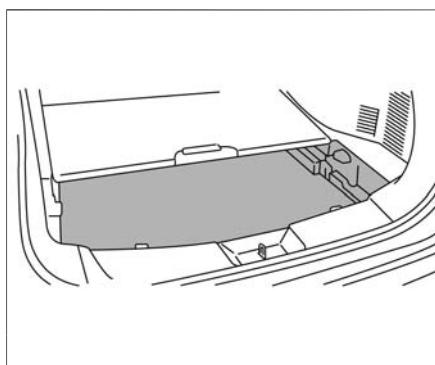
室内装備

ラゲッジアンダースペース

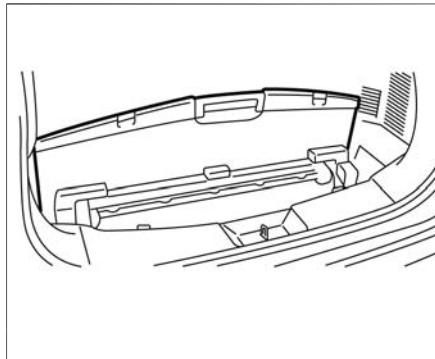
収納スペースとしてお使いください。

■ ラゲッジアンダースペースについて

- 2列車は、手前のボードを外して使います。



- 3列車は、ボードを外して使えます。

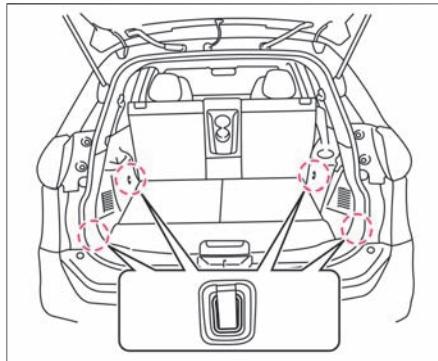


知識

- 3列車のボードは、サードシート後部に立てかけて使えます。

■ ラゲッジフックについて

荷物の固定用としてロープなどをかけるときに使います。



アドバイス

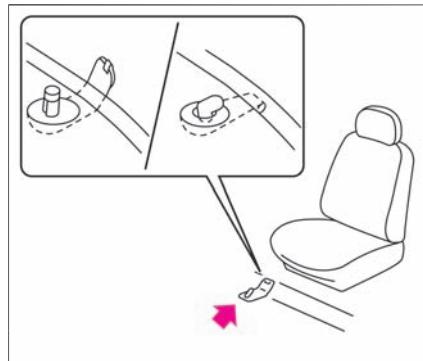
- フックには大きな力がかかるないようにしてください。破損するおそれがあります。
- 3kg以上の物をかけないでください。フックが破損するおそれがあります。

室内装備 フロアカーペット

この車（年式）専用のフロアカーペットが設定されています。
床の上にしっかりと固定して正しく使用してください。

■ 固定のしかた

- 床面には日産純正フロアカーペット用の固定クリップが付いています。
- フロアカーペットを床の形状に合わせて敷き、取り付け穴に固定クリップのピンを通して確実に固定します。
- 車種により、固定クリップ・ピンの形状や、各シートごとに設定されている数量は異なります。詳しい固定方法は、日産販売会社にお問い合わせください。



⚠️ 警告

- この車（年式）専用のフロアカーペットを、床の上にしっかりと固定して正しく使用してください。フロアカーペットがずれて各ペダルと干渉し、思わぬスピードが出たりブレーキが効きづらくなるなど、重大な傷害につながるおそれがあります。
- 運転席にフロアカーペットを敷くときは、次のことをお守りください。
 - 日産純正品であっても、他車種および異なる年式のフロアカーペットは使用しない
 - フロアカーペットでペダルを覆わない
 - フロアカーペットを重ねて敷かない
 - フロアカーペットがずれないよう固定クリップで確実に固定する
 - 運転席専用のフロアカーペットを使用する
 - フロアカーペットを前後さかさまにしたり、裏返して使用しない
- 運転する前にフロアカーペットが正しく固定されていることを定期的に確認し、洗車後は必ず確認してください

 警告

さい。

- 運転する前、キースイッチ（電源ポジション）がOFFの状態で各ペダルをいっぱいに踏み込み、フロアカーペットと干渉しないで運転に支障がないことを確認してください。
- タバコの火種をフロアカーペットなどに落とさないでください。火災につながるおそれがあります。

MEMO

トラブルがおきたときは

タイヤのパンク

パンクしたときは	P.310
工具・ジャッキ・スペアタイヤについて	P.311
タイヤ交換のしかた	P.317

ドアが開かない

リモコン（インテリジェントキー）でドアが開かない	P.323
バックドアが開かない	P.324

始動しないとき

インテリジェントキー★で始動できない	P.325
--------------------	-------

バッテリーがあがったとき

ジャンプスタートのしかた	P.326
--------------	-------

各種警告機能について

警告灯がついたときは	P.329
ブザー（警報音）が鳴ったときは	P.333

くもりが取れない

窓ガラスのくもりの取りかた	P.335
---------------	-------

オーバーヒートしたとき

オーバーヒートしたときの対処方法	P.337
------------------	-------

動かないとき

セレクトレバーが動かない	P.339
雪道やぬかるみからの脱出のしかた	P.340
けん引について	P.341

故障したとき

発炎筒の使いかた	P.345
故障したときの対処方法	P.346

タイヤのパンク パンクしたときは

交通の妨げにならず、安全に作業ができる地面（平坦な硬い場所）に停車します。

❷ 故障したときの対処方法 (P.346)

- 人や荷物を降ろします。
- 必要に応じて、非常点滅表示灯を点滅させ、停止表示板（または停止表示灯）を置きます。
- 工具、ジャッキ、スペアタイヤを取り出します。
❸ 工具・ジャッキ・スペアタイヤについて (P.311)

⚠ 注意

- タイヤ交換をするときは、軍手などを着用して作業してください。
- 走行直後はホイールナットが熱いため、やけどやケガをするおそれがあります。

■ 格納場所

工具、ジャッキ、スペアタイヤは、ラゲッジルームに格納されています。



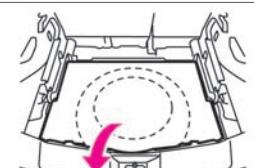
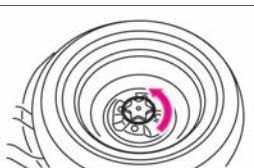
⚠ 注意

- 工具、ジャッキ、スペアタイヤを使ったあとは、元の場所に格納してください。車内に放置すると思わぬ事故につながるおそれがあります。

📖 知識

- 停止表示板（停止表示灯）、輪止めは標準で搭載されておりませんので必要に応じて準備してください。
- 工具の種類やジャッキ、発炎筒（P.345）などは、万一のときに困らないようにあらかじめ位置を確認しておいてください。

■ スペアタイヤの取り出しかた（2列車）

1	手前のボードを取り外します。	
2	奥のボードを取り外します。	
3	カバーを取り外します。	
4	タイヤを固定しているクランプをゆるめてタイヤを取り出します。 ※スペアタイヤを格納するときは、取り外したときと逆の手順で行ってください。	

！ 注意

- スペアタイヤを取り付けたときは、タイヤ接地部のたわみを確認してください。たわみが大きいときは空気圧が不足しています。すみやかに空気圧を調整してください。
空気圧が不足したまま走行すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
スペアタイヤの空気圧は420kPa (4.2kgf/cm²) です。
- 間違った使いかたをすると、思わぬ事故につながるおそれがあるため、次のことをお守りください。
 - スペアタイヤおよびホイールはこの車専用です。他車のスペアタイヤを使ったり、他車に使わないでください。
 - スペアタイヤに交換したときは、100km/h以下で走行してください。
 - スペアタイヤには、タイヤチェーンは取り付けられません。雪道、凍結路で前輪がパンクしたときは、スペアタイヤを前輪に使わず、後輪に付け、外した後輪を前輪に取り付けてください。

 注意

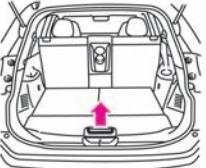
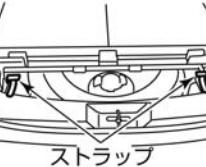
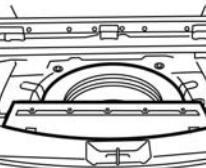
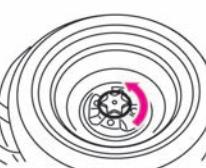
- スペアタイヤに交換したときは、できるだけ早く標準タイヤに戻してください。



アドバイス

- スペアタイヤはクランプでしっかりと固定してください。ゆるんでいると、走行の妨げになります。

■ スペアタイヤの取り出しかた（3列車）

- | | | |
|---|--|--|
| 1 | サードシートを折りたたんだ状態で、ボードを取り外します。
 <u>サードシートの折りたたみかた (P.48)</u> |  |
| 2 | サードシート後ろ側のストラップを引いて、サードシートを持ち上げます。 | 
ストラップ |
| 3 | カバーを取り外します。 |  |
| 4 | タイヤを固定しているクランプをゆるめてタイヤを取り出します。
※スペアタイヤを格納するときは、取り外したときと逆の手順で行ってください。 |  |

- | | |
|---|--|
| ⚠ 警告 | |
| <ul style="list-style-type: none"> サードシートを持ち上げた状態で重いものを乗せないでください。 | |
| ⚠ 注意 | |
| <ul style="list-style-type: none"> スペアタイヤを取り付けたときは、タイヤ接地部のたわみを確認してください。たわみが大きいときは空気圧が不足しています。すみやかに空気圧を調整してください。
空気圧が不足したまま走行すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
スペアタイヤの空気圧は420kPa (4.2kgf/cm²) です。 間違った使いかたをすると、思わぬ事故につながるおそれがあるため、次のことをお守りください。 <ul style="list-style-type: none"> スペアタイヤおよびホイールはこの車専用です。他車のスペアタイヤを使ったり、他車に使わないでください。 スペアタイヤに交換したときは、100km/h以下で走行してください。 スペアタイヤには、タイヤチェーンは取り付けられません。雪道、凍結路で前輪がパンクしたとき | |

 注意

は、スペアタイヤを前輪に使わず、後輪に付け、外した後輪を前輪に取り付けてください。

- スペアタイヤに交換したときは、できるだけ早く標準タイヤに戻してください。

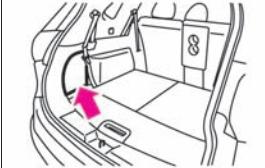
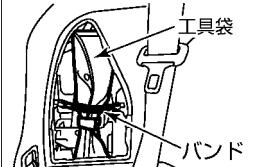
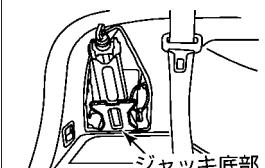
 アドバイス

- スペアタイヤはクランプでしっかりと固定してください。ゆるんでいると、走行の妨げになります。

タイヤのパンク 工具・ジャッキ・スペアタイヤについて

トラブルがおきたときは

■ ジャッキの取り出しかた

1	ラゲッジルーム左側のふたを取り外します。	
2	工具袋を固定しているバンドを外し工具袋を取り出します。	
3	ジャッキを緩めます。	
4	ジャッキの底部を取り出し口側に90度回し、上部からゆっくりと抜き取ります。 ※格納するときは、取り出したときと逆の手順で行い、ガタツキがなくなるまでしっかりと締め付けます。	

! 注意

- ジャッキを取り出すときは、手をぶつけないようにしてください。ケガをするおそれがあります。

車 アドバイス

- ジャッキを格納するときは、ドライバーなどで無理に締め付けないでください。ジャッキ取り付け部が変形するおそれがあります。
- ジャッキが内装部品にぶつからないようにしてください。傷がつくおそれがあります。

書 知識

- 車載工具を格納するときは、バッグに付いているバンドできつく締めてから格納してください。工具がぶつかり合って音がでることがあります。

タイヤのパンク タイヤ交換のしかた

■ タイヤを交換する前に

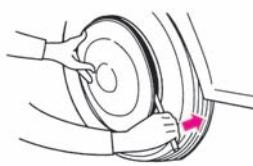
1

ジャッキをかける位置と対角線の位置にあるタイヤに輪止めをします。
輪止めは、前輪をジャッキアップするときは後輪の後ろ側、後輪をジャッキアップするときは前輪の前側に置きます。



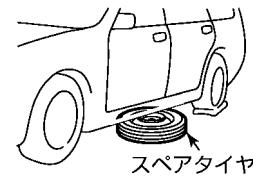
2

フルホイールカバー付車は、工具に布などを当てて、ホイールカバーを傷つけないように外します。



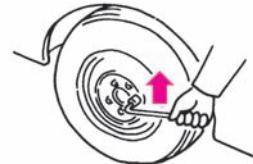
3

スペアタイヤをジャッキ近くの車体の下に置きます。



4

ホイールナットレンチで、全てのナットを反時計回りに約1回転ゆるめます。



注意

- やむをえず傾斜地で作業する場合は、ジャッキをかける位置と対角線の位置にあるタイヤの下り側に輪止めをし、車が動き出さないようにしてください。

アドバイス

- タイヤを接地状態にして行います。

知識

- 輪止めは標準で搭載されていませんので必要に応じて準備してください。なお、輪止めはタイヤを固定できる大きさの石、木片などで代用できます。
- スペアタイヤを置くときは、ラベル貼付側を上にしてください。

■ ジャッキアップをする前に

⚠ 警告

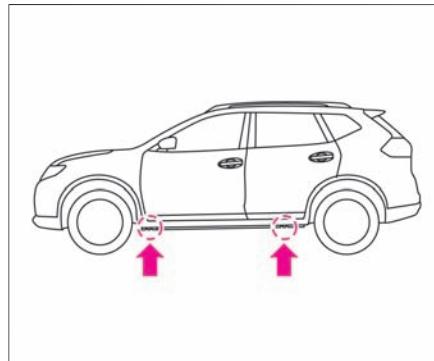
- ジャッキアップしたときは絶対に車両の下に入らないでください。
ジャッキが外れると、重大な傷害につながるおそれがあり非常に危険です。
- ジャッキアップ中は、エンジンを始動しないでください。車が発進し、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- ジャッキは必ず車載されたものを使い、他車のジャッキは使わないでください。また、車載されたジャッキは他車に使わないでください。
- ジャッキはタイヤ交換またはタイヤチェーンの脱着以外には使わないでください。
- 平坦で硬いところに駐車して作業してください。柔らかい地面の上では、ジャッキが倒れ、事故につながるおそれがあります。
- 使用前にパーキングブレーキをかけ、セレクトレバーを P にしてください。
- 輪止めなどで車を固定してください。
- ジャッキの上下に台やブロックなどを入れないでください。
- 人や荷物は必ず車から降ろしてください。

■ ジャッキアップポイント

- ジャッキアップポイント以外のところにはジャッキをかけないでください。車体が変形するおそれがあります。



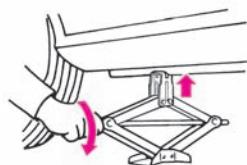
タイヤのパンク タイヤ交換のしかた

トラブルがおきたときは

ジャッキアップのしかた

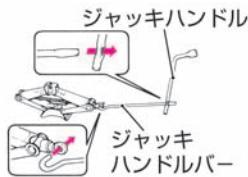
1

ジャッキを手で回し、ジャッキの溝がジャッキアップポイントの中央に入るまで上げます。



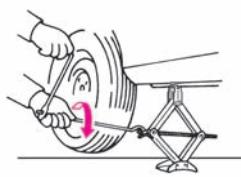
2

ジャッキにジャッキハンドルバーとジャッキハンドルをセットします。



3

ジャッキハンドルを回して、タイヤと地面が少し離れるまでジャッキアップします。



注意

- ジャッキハンドルを回すときは、ジャッキハンドルバーを手でしっかり握って回してください。回転中に外れると、思わぬケガをするおそれがあります。

アドバイス

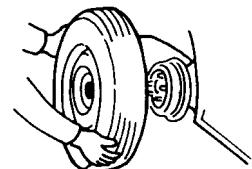
- ジャッキアップポイント以外の所にはジャッキをかけないでください。車体が変形するおそれがあります。
- ジャッキハンドルバーは、確実にジャッキハンドルの穴に差し込んでください。

タイヤのパンク タイヤ交換のしかた

■ タイヤの交換

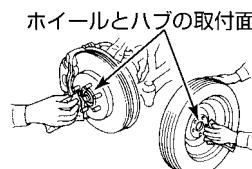
1

ナットを外し、パンクしたタイヤを外して車体の下に置きます。



2

ハブの取付面とホイール裏側の取付面を布でよくふき、スペアタイヤを取り付けます。



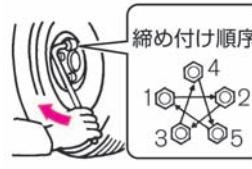
3

ナットのテーパー部が、ホイール穴のシート部に軽く当たるくらいまで、時計回りに回して締め付けます。



4

ナットを、図の順序で2~3回に分けて締め付けます。



注意

- 取付面が汚れていると、走行中にナットがゆるみタイヤが外れるおそれがあります。
- 応急用タイヤは、ラベル貼付側が外側になるように取り付けてください。逆に付けると他の部品と当たり、思わぬ故障につながるおそれがあります。
- ナットを取り付けるときは、ナットやボルトにオイルやグリースなどを塗らないでください。走行中にナットがゆるみ、タイヤが外れるおそれがあります。
- ジャッキを下げるときは、ジャッキハンドルとジャッキハンドルバーを両手でしっかりと握って回してください。回転中に外れると、思わぬケガをするおそれがあります。
- タイヤを取り付けてしばらく走行したあと、ナットのゆるみや車体の振動などの異常がないか確認してください。

次のページに続く

★：車両型式、オプションなどで異なる装備

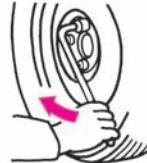
タイヤのパンク タイヤ交換のしかた

前のページから

5

ジャッキを下げます。
さらにナットを④の締め付け順序で十分に締め付け
ます。

ホイールナット締め付けトルク
108N・m (11kg・m)



6

パンクしたタイヤや使用した工具、ジャッキなどをラゲッジルームに格納しま
す。
※応急用タイヤは、すぐに標準タイヤに戻してください。

アドバイス

- タイヤを地面に置くときは、ホイール表面を上にして置いてください。
- ホイールナットレンチを足で踏んで回したり、パイプなどを使って必要以上に締め付けないでください。ボルトが折れるおそれがあります。
- 応急用タイヤには、ホイールカバーは取り付けられません。
- パンクしたタイヤをスペアタイヤ格納部に入れると、クランプは取り付けられません。また、ラゲッジルームのボードが持ち上がった状態となります。
- 標準タイヤにホイールカバーを取り付けるときは、エアバルブの位置を合わせてください。



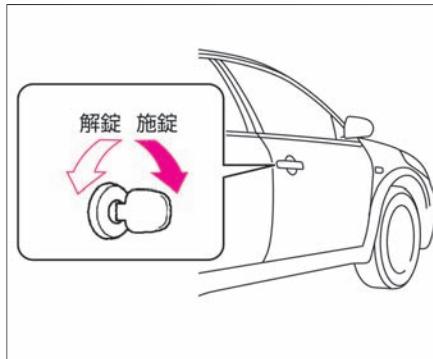
ドアが開かない

リモコン（インテリジェントキー）でドアが開かない

■ キー（メカニカルキー）による施錠 解錠

運転席ドアにある鍵穴にキー（メカニカルキー）を差し込んで回します。

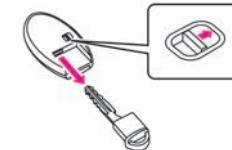
- 車両後方にキーを回すと施錠します。
- 車両前方にキーを回すと解錠します。



知識

インテリジェントキー付車

- メカニカルキーはインテリジェントキーに内蔵されています。



ドアが開かない バックドアが開かない

バッテリー上がりなどにより、電磁式バックドアオープナースイッチでバックドアを開けられなくなつたときは、次の操作をしてください。

バックドアの開けかた

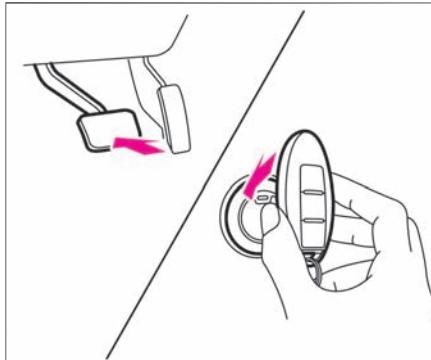
1	バックドア車内側にあるカバーの穴に、お手持ちのマイナスドライバーなどを差し込みます。			アドバイス
2	レバーを矢印の方向に動かして解錠します。 Ⓐ：リモコンオートバックドア付車 Ⓑ：リモコンオートバックドア無車			● 操作後はなるべく早く日産販売会社で点検を受けてください。
3	バックドアを持ち上げます。			

始動しないとき

インテリジェントキー★で始動できない

インテリジェントキーの電池が切れたときや、使用環境によりインテリジェントキーと車両の通信が正常に行われていないときは、次の手順で始動してください。

- (1) ブレーキペダルを踏み、インテリジェントキーのロゴマークの裏面をエンジンスイッチに接触させます。
(ブザーが“ピピッ”と鳴ります。)
- (2) ブザーが鳴ってから10秒以内に、ブレーキペダルを踏んだままエンジンスイッチを押すと、エンジンが始動します。



アドバイス

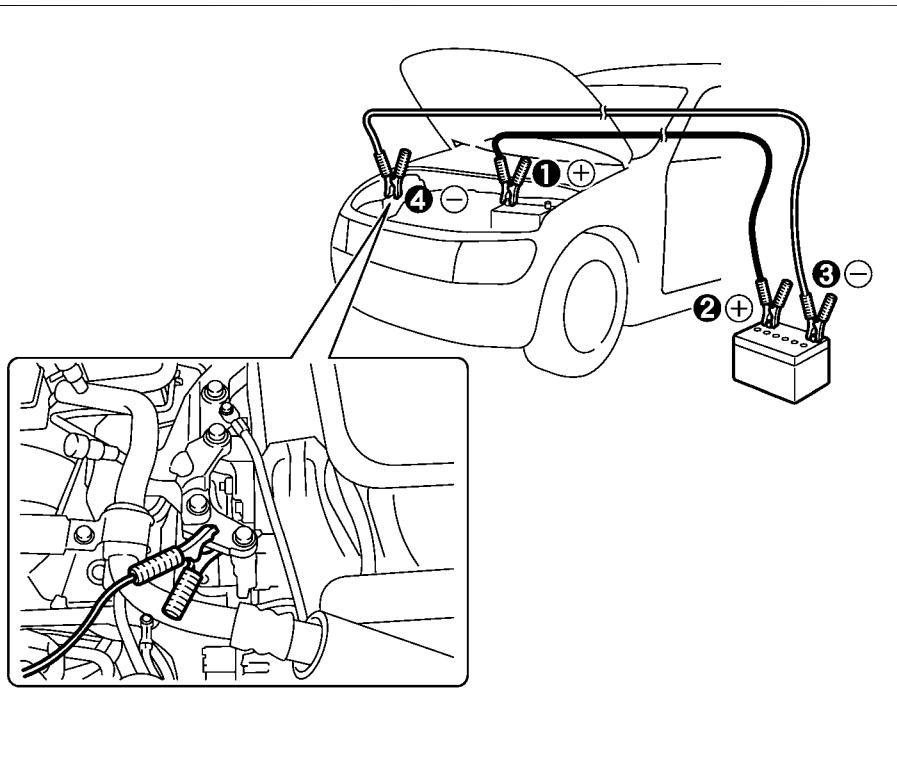
- 左記の手順で始動できない場合は、早めに日産販売会社にご連絡ください。

知識

- 停止操作は通常と同じ手順です。
- ドアの施錠・解錠は、キー（メカニカルキー）による施錠・解錠([P.323](#))を使って行ってください。
- インテリジェントキーの電池が切れたときは、早めに電池を交換してください。
➡ インテリジェントキーの電池交換
([P.219](#))

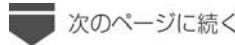
バッテリーがあがったとき ジャンプスタートのしかた

バッテリーがあがり、エンジンの始動ができなくなったときは、12V（ボルト）バッテリー仕様の救援車を依頼し、ブースターケーブル（別売り）をつないで始動してください。



バッテリーがあがったとき ジャンプスタートのしかた

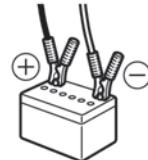
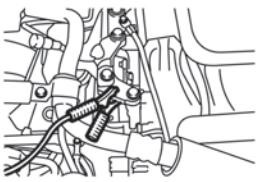
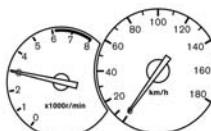
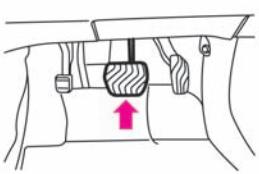
1	自車と救援車のキースイッチ（電源ポジション）をOFFにします。		⚠️ 警告 <ul style="list-style-type: none">ブースターケーブルをつなぐときは、以下のことを必ずお守りください。火花が発生し、バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発し、やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。<ul style="list-style-type: none">ブースターケーブルを正しい順番と位置でつなぐブースターケーブルを自車バッテリーの(-)端子に直接つながないブースターケーブルの(+)端子と(-)端子を接触させない
2	エンジンフードを開けます。		
3	ブースターケーブル①を自車のバッテリーの(+)端子に接続します。		⚠️ 注意 <ul style="list-style-type: none">ブースターケーブルのワニグチクリップは、車体に触れたり、他のワニグチクリップと接触しないように注意してください。ブースターケーブルは、エンジン始動時の振動で外れたりしないように、確実につないでください。ブースターケーブルをつなぐときは、冷却ファンやベルトに巻き込まないように注意してください。
4	手順3で接続したブースターケーブルの反対側②を救援車のバッテリーの(+)端子に接続します。		



★：車両型式、オプションなどで異なる装備

バッテリーがあがったとき ジャンプスタートのしかた

前のページから

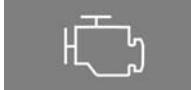
5	もう1本のブースターケーブル③を救援車のバッテリーの(-)端子に接続します。	
6	手順5で接続したブースターケーブルの反対側④を、自車のエンジン本体（バッテリーから離れたステーなど）に接続します。	
7	救援車のエンジンを始動し、回転数を少し高めにします。	
8	自車のブレーキペダルを踏みながらキースイッチ（電源ポジション）を押し、エンジンを始動します。 ※エンジンが始動したら、ブースターケーブルをつないだときと逆の手順で外します。	

アドバイス

- 押しがけでの始動はできません。
- 救援車には12Vバッテリー仕様の車両を使用してください。
- インテリジェントキー付車は、エンジンが始動できない場合には、一旦電源ポジションをOFFにして、10秒以上待ってから再始動してください。
- インテリジェントキー付車は、バッテリーがあがるとステアリングロックの解除が行えず、電源ポジションが切り替わらなくなります。すみやかにバッテリーを充電してください。
- エンジンをかけるときは、ヘッドランプやエアコンなどはOFFにしてください。
- エンジンが始動しても、しばらくエアコンやオーディオを使わないでください。

各種警告機能について 警告灯がついたときは

運転中に警告灯・表示灯が点灯または点滅したときは、次の対処方法に従ってください。
車両故障のおそれがない表示灯の説明は、表示灯（☞P.169）をお読みください。

名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
故障警告灯 (MIL) 	<ul style="list-style-type: none"> 正常なときは、キースイッチ（電源ポジション）をONにすると点灯し、エンジンをかかると消灯します。 エンジン回転中、エンジン電子制御システムに異常があると点灯または点滅します。 	<ul style="list-style-type: none"> 点灯または点滅したときは、ただちに日産販売会社にご連絡ください。
充電警告灯 	<ul style="list-style-type: none"> 正常なときは、キースイッチ（電源ポジション）をONにすると点灯し、数秒後に消灯します。 エンジン回転中、バッテリーの充電系統に異常があると点灯します。 	<ul style="list-style-type: none"> 点灯したときは、すみやかに安全な場所に停車し、日産販売会社にご連絡ください。
ブレーキ警告灯 	<ul style="list-style-type: none"> 正常なときは、キースイッチ（電源ポジション）をONにすると点灯し、数秒後に消灯します。 (パーキングブレーキをかけているときは消灯しません) キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、次の場合は点灯し続けます。 <ul style="list-style-type: none"> パーキングブレーキをかけているとき ブレーキ液が不足しているとき ブレーキシステムに異常があるとき 	<ul style="list-style-type: none"> 走行中に点灯したときは、パーキングブレーキが解除されていることを確認してください。 パーキングブレーキを解除しても点灯し続けるときは、ただちに安全な場所に停車して、日産販売会社にご連絡ください。ブレーキの効きが悪いときは、ブレーキペダルを強く踏んで停車してください。 ブレーキ液が正常で、エンジン始動後や走行中にABS警告灯と同時に点灯したときは、高速走行や急ブレーキを避け、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。
ABS警告灯 	<ul style="list-style-type: none"> 正常なときは、キースイッチ（電源ポジション）をONにすると点灯し、数秒後に消灯します。 ABSのシステムに異常があると点灯します。 	<ul style="list-style-type: none"> キースイッチ（電源ポジション）をONにしても点灯しないとき、または点灯し続けるときは、高速走行や急ブレーキを避け、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

各種警告機能について 警告灯がついたときは

トラブルがおきたときは

名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
シートベルト 警告灯 	<ul style="list-style-type: none">● キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、運転者がシートベルトを着用していないと点灯します。	<ul style="list-style-type: none">● シートベルトを着用してください。
SRSエアバッグ 警告灯 	<ul style="list-style-type: none">● 正常なときは、キースイッチ（電源ポジション）をONにすると点灯し、数秒後に消灯します。● キースイッチ（電源ポジション）がONのとき、SRSエアバッグのシステム、ブリテンショナー機能に異常があると、点灯または点滅を続けます。	<ul style="list-style-type: none">● キースイッチ（電源ポジション）をONにして約7秒たっても点灯、点滅し続けるときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。
VDC警告灯 	<ul style="list-style-type: none">● 正常なときは、キースイッチ（電源ポジション）をONにすると点灯し、数秒後に消灯します。● VDC作動中に点滅します。● エンジン回転中、VDC、ヒルディセントコントロール、ヒルスタートアシストの電子制御システムに異常があると点灯します。	<ul style="list-style-type: none">● 点灯したときはVDC、ヒルディセントコントロール★、ヒルスタートアシストの作動は停止しますが、それらのシステムのない普通の車として走行できます。滑りやすい路面では注意して走行し、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

各種警告機能について

警告灯がついたときは

名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
エマージェンシーブレーキ／踏み間違い衝突防止アシスト警告灯★ 	<ul style="list-style-type: none"> 正常なときは、電源ポジションをONにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。 次の場合は点灯します。 <ul style="list-style-type: none"> メーター内のディスプレイで、エマージェンシーブレーキをOFFにしているとき VDCをOFFにしているとき エマージェンシーブレーキまたは踏み間違い衝突防止アシストのシステムに異常が発生しているとき 次の場合は点滅します。 <ul style="list-style-type: none"> 踏み間違い衝突防止アシストが作動したとき 次の場合はゆっくり点滅します。 <ul style="list-style-type: none"> フロントガラスの汚れなどにより、カメラが前方を認識できなくなったとき 前方からの強い光により、カメラが前方を認識できなくなったとき 炎天下に駐車したときなど、カメラが高温になったとき 	<ul style="list-style-type: none"> メーター内のディスプレイでエマージェンシーブレーキをOFFにしているときは、ONにすると消灯します。 VDCをOFFにしているときは、ONにすると消灯します。 エンジン再始動後も警告灯が点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。 フロントガラスが汚れているときは、フロントガラスを清掃し、警告灯が消灯したことを確認してください。 室内的温度が高いときなどは、温度が下がると自動的に作動を復帰します。
パワーステアリング警告灯 	<ul style="list-style-type: none"> 正常なときは、キースイッチ（電源ポジション）をONにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。 エンジン回転中、電動パワーステアリングのシステムに異常があると点灯します。 	<ul style="list-style-type: none"> 点灯したときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 点灯しているときは、パワーステアリングは作動しませんが、マニュアルステアリングの性能は確保されています。この場合は、ハンドルの操作力が重くなります。

各種警告機能について 警告灯がついたときは

名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
マスター ウォーニング 	<ul style="list-style-type: none">メーターの警告灯や一部の表示灯が点灯したとき、またはアドバンスドドライブアシストディスプレイに一部の警告メッセージが表示されたときに同時に点灯します。	<ul style="list-style-type: none">同時に点灯した警告灯または表示灯、警告メッセージを確認し、それぞれの対処方法に従ってください。

各種警告機能について

ブザー（警報音）が鳴ったときは

車両盗難などを防ぐため、車内外でブザー（警報音）が鳴ることがあります。

どこで音が鳴りましたか？	どんな音が鳴りましたか？	何をしたときに鳴りましたか？	確認すること
車外	ピピピピ…	ドアハンドルのリクエストスイッチを押したとき	<ul style="list-style-type: none">● 電源ポジションはOFFになっているか● インテリジェントキーを車室内またはラゲッジルーム内に置き忘れていないか● いずれかのドアが半ドアになっていないか● ドアを閉める前にリクエストスイッチを押していないか
		インテリジェントキーのドア施錠スイッチを押したとき	<ul style="list-style-type: none">● いずれかのドアが半ドアになっていないか● ドアを閉める前に施錠スイッチを押していないか
		ドアを閉めたとき	<ul style="list-style-type: none">● 無意識にリクエストスイッチを押していないか
	ピッピッピッ	ドアを閉めたとき	<ul style="list-style-type: none">● 電源ポジションがONのまま、インテリジェントキーが車外に持ち出されていないか
	キー(金属音)	走行中にブレーキペダルを踏んだとき	<ul style="list-style-type: none">● ディスクブレーキのパッド(摩擦材)が摩耗していないか● 金属音が発生したときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。そのまま走行を続けると、ブレーキが効かなくなり、事故につながるおそれがあります。

各種警告機能について
ブザー（警報音）が鳴ったときは

どこで音が鳴りましたか？	どんな音が鳴りましたか？	何をしたときに鳴りましたか？	確認すること
車室内	ピピピピッ、 ピピピピッ…	運転席ドアを開けたとき	● 電源ポジションがONのままになっていないか
		ドアを閉めたとき	● 電源ポジションがONのまま、インテリジェントキーが車外に持ち出されていないか
	ピピッピピッピッ	エンジンスイッチを押したとき	● インテリジェントキーを携帯しているか ● インテリジェントキーを携帯してもブザーが鳴るときは、インテリジェントキーの電池を交換してください
	ピピッピピッ…	運転席ドアを開けたとき	● 電源ポジションがONのままになっていないか ● セレクトレバーをPにしているか

トラブルがおきたときは

くもりが取れない 窓ガラスのくもりの取りかた

デフロスタースイッチおよびリヤデフォッガースイッチは、キースイッチ（電源ポジション）がONのとき使えます。

■ デフロスタースイッチ

フロントの窓ガラスがくもるときは、デフロスタースイッチを押します。

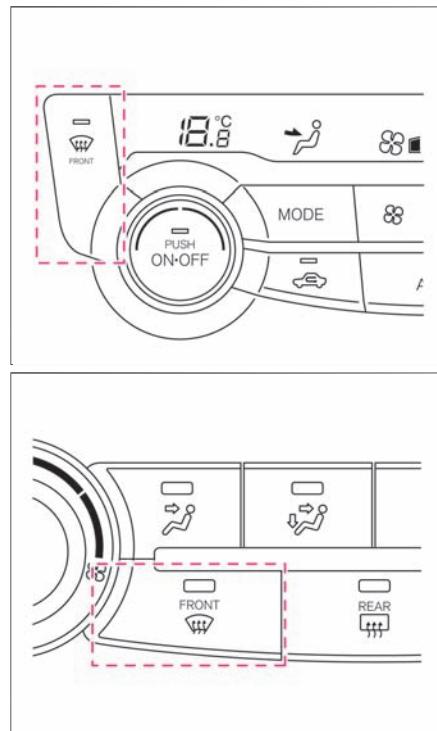
- スイッチを押すとデフロスターから風が吹き出し、吸い込み口が外気導入になります。

（オートエアコン付車：外気導入の表示灯が点灯）

（マニュアルエアコン付車：内外気切り替え表示灯が消灯）

- オートエアコン付車は、もう一度スイッチを押すと止まります。（表示灯が消灯）

マニュアルエアコン付車は、吹き出し口を切り替えるか、エアコンを止めると止まります。（表示灯が消灯）



注意

- デフロスタースイッチをONにしているときにエアコンの設定温度を低くすると、フロントガラスの外側に露が付き、視界を妨げるおそれがあります。

アドバイス

- デフロスタースイッチをONにしているときは、内気循環にしないでください。くもりが取れにくくなります。

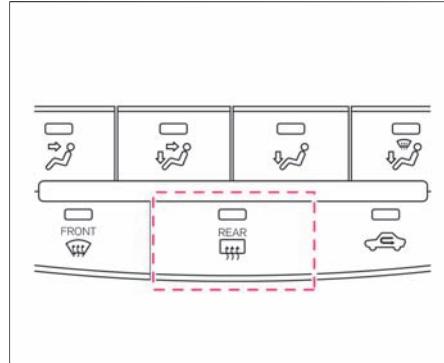
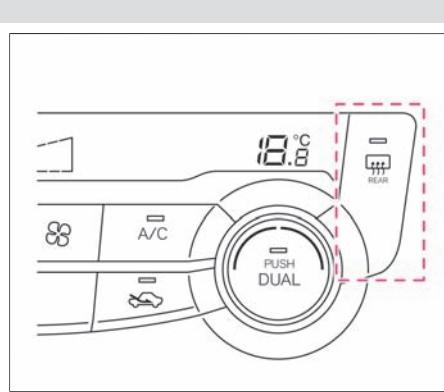
知識

- エアコンがOFFのとき、デフロスタースイッチを押すとエアコンも自動的に作動します。

リヤデフォッガースイッチ

リヤの窓ガラスがくもるときは、リヤデフォッガースイッチを押します。

- スイッチを押すと約15分間作動します。
(表示灯が点灯)
- 止めるときは、もう一度スイッチを押します。
(表示灯が消灯)



アドバイス

- 連続して長時間使用しないでください。消費電力が大きいためバッテリーあがりの原因になります。

知識

- ヒーターミラー付車は、リヤデフォッガースイッチを押すと、ドアミラーヒーターも同時に作動します。

オーバーヒートしたとき

オーバーヒートしたときの対処方法

次のようなときは、オーバーヒートです。

- ・水温計がオーバーヒートの範囲（☞P.158）を示したとき
- ・エンジルームのすき間から蒸気が出ているとき

処置のしかた

1	ただちに安全な場所に停車します。 ☞ 故障したときの対処方法 (P.346)	
2	エンジンをかけたままエンジンフードを開け、風通しをよくしてエンジンを冷やします。 万一、冷却ファンが回っていないときは、ただちにエンジンを止め、自然冷却してください。	
3	水温計がオーバーヒートの範囲より下がったら、エンジンを止めしばらく待ちます。 エンジンが十分冷えてから冷却水の量、ホースなどからの水漏れを点検してください。	
4	冷却水が不足しているときは、ラジエーターとリザーバータンク（☞P.351）に冷却水を補充してください。 補充後は、しっかりキャップを閉めてください。	

警告

- エンジルーム内は高温になっているため、エンジンフードを開けるときは十分に注意してください。やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。
- 蒸気が出ているときは、エンジンフードを開けないでください。やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。
エンジンを止め、蒸気が出なくなるまで待ち、エンジンフードを開けてください。
- エンジンが十分に冷えていないときは、ラジエーターやリザーバータンクのキャップを外さないでください。蒸気や熱湯が噴き出し、やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。

注意

- ただちに安全な場所に車を止めて処置してください。そのまま走行を続けると、エンジン故障の原因となり、火災につながるおそれがあります。

次のページに続く

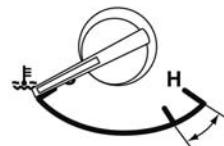
★：車両型式、オプションなどで異なる装備

オーバーヒートしたとき オーバーヒートしたときの対処方法

前のページから

5

走行中、再度水温計がオーバーヒートの範囲を示したときは、手順1～手順4の作業を繰り返し行ってください。



6

早めに日産販売会社で点検を受けてください。

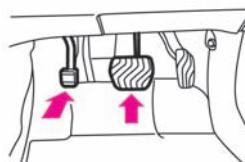
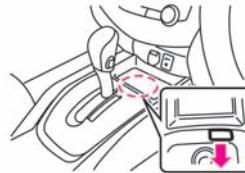
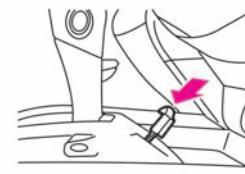
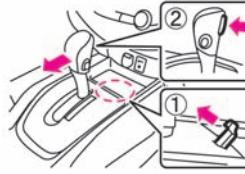
アドバイス

- 応急的に水だけを補充したときは、できるだけ早くエンジンクーラントを交換してください。

動かないとき

セレクトレバーが動かない

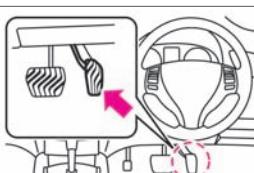
万バッテリーあがりなどでセレクトレバーを **P** から動かせないときに使います。

1	安全のためパーキングブレーキをかけ、ブレーキペダルを踏み続けます。		 アドバイス <ul style="list-style-type: none">セレクトレバーを P から動かせないときは、シフトロックシステムなどの故障が考えられます。すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。
2	セレクトレバー前側のふたを外します。		
3	キー（メカニカルキー）を、挿入口に対して垂直方向に差し込みます。		
4	キー（メカニカルキー）を差し込んだまま矢印の方向に上げ①、ロックを解除してからセレクトレバーのボタン②を押して動かします。		

動かないとき

雪道やぬかるみからの脱出のしかた

砂地、雪道、ぬかるみなどから抜け出せなくなったときは、次の方法で脱出してください。

1	VDC OFFスイッチを押して、VDCをOFFにします。 ☞ <u>VDC OFFスイッチの使いかた (P.106)</u>	
2	4WD車は、4WD MODEスイッチをAUTOモードまたはLOCKモードに切り替えます。 ☞ <u>4WD MODEスイッチ (P.100)</u>	
3	車両の前後に障害物が無いことを確認し、ハンドルを左右に回して前輪の周囲をならします。必要に応じ、タイヤの下に木材などをそえてください。	
4	ゆっくりとアクセルペダルを踏み、前進または後退します。周囲の安全を確認したうえで、前進と後退を繰り返してください。	

トラブルがおきたときは

警告

- 周囲の人や物との衝突を避けるため、前進と後退を繰り返すときは、周囲に何もないことを確認してください。特に脱出の瞬間は、車両が前方または後方に飛び出すおそれがあります。
- 必要以上にアクセルペダルを踏み込まないでください。急発進して思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意

- ぬかるみ、砂地、積雪路、側溝などから脱出するとき、過度にタイヤを空転させると、タイヤがバースト（破裂）したり駆動部品の異常過熱により思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 数回試しても脱出できないときは、日産販売会社またはJAFなどのロードサービスにご連絡ください。

動かないとき けん引について

けん引が必要なときは、日産販売会社またはJAFなどのロードサービスに依頼してください。

他車にけん引してもらうとき

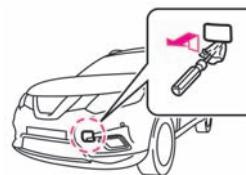
1

4WD車は2WDに切り替えます。
☞ 4WD MODEスイッチ (P.100)



2

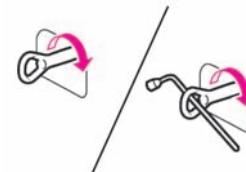
先の細いお手持ちの工具を布などで覆い、フロントバンパーのカバーの溝に差し込んでカバーを外します。



3

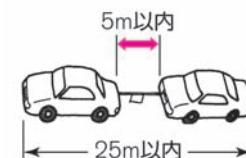
ホイールナットレンチを使ってけん引フックを取り付け、自車および他車のけん引フックにロープを掛けます。

☞ 工具類の格納場所 (P.348)



4

ロープ中央に30cm x 30cm以上の白い布を取り付けます。
ロープをかけるときは、できるだけ同じ側で水平になるように掛けてください。



⚠ 警告

インテリジェントキー付車

- 電源ポジションがOFFでバッテリーがあがると、ステアリングロックの解除ができなくなるため、このままの状態でけん引しないでください。けん引するときは救援車のバッテリーとつなぎ、電源ポジションをONにしてハンドル操作ができる状態で行ってください。また、けん引中は電源ポジションをOFFにしないでください。ハンドル操作ができなくなり危険です。

リモートコントロールキー付車

- けん引してもらうときは、キースイッチをLOCKにしないでください。ハンドルがロックされ操作ができない危険です。

⚠ 注意

- エンジンが停止していると、ブレーキやパワーステアリングの倍力装置が働かなくなるため、極度にブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作力が重くなりますので注意してください。



次のページに続く

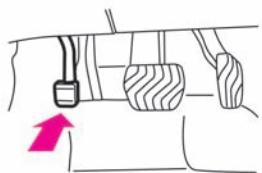
★ : 車両型式、オプションなどで異なる装備

動かないとき けん引について

前のページから

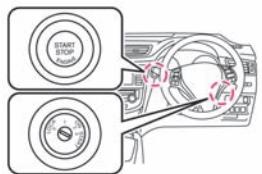
5

エンジンを始動し、セレクトレバーをNにし、パークィングブレーキを解除します。



6

エンジンがかけられないときは、キースイッチ（電源ポジション）をONにしてください。



注意

- 4WD車で2WDに切り替わらないときは、4輪車載をしてください。
- けん引フックに指定以外のフックは絶対に使わないでください。フック部が破損するおそれがあります。
- 長い下り坂では、ブレーキが過熱して効かなくなり、事故につながるおそれがあります。このような場所でけん引するときは、レッカーカーで引いてもらってください。
- 4WD車は、けん引してもらう場合、必ず4WD MODEスイッチを2WDまたはAUTOに切り替えてください。LOCKモードのままけん引すると、思わぬ事故や故障につながるおそれがあります。
- 4WD車はトレーラーに車載するか、4輪接地の状態でけん引してもらってください。2輪を上げた状態でけん引すると、上げた車輪が回転して、思わぬ事故や故障につながるおそれがあります。
- 前輪を上げてけん引するときは、キースイッチ（電源ポジション）をONにしないでください。VDCが作動しブレーキがかかることがあります。

アドバイス

- けん引してもらうときは、速度30km/h以下、距離30km以内にしてください。高速走行や長距離走行をすると、トランスマッisionが破損するおそれがあります。できるだけレッカー車、またはトレーラーを依頼してください。
- けん引中はロープをたるませないように、前の車の制動灯に注意してください。
- けん引フックは他車をけん引するため使用しないでください。

知識

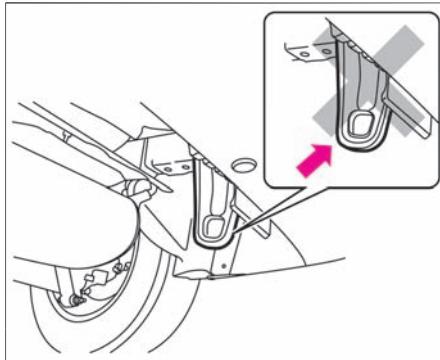
- けん引が終わったら、けん引フックを取り付けたときと逆の手順で取り外します。

■ けん引するときは

- けん引が必要なときは、日産販売会社またはJAFなどのロードサービスに依頼してください。やむをえずけん引するときは、できる限り短距離の移動のみとしてください。
- 車両が動かなかったり、異常な音がするときは、けん引せずに日産販売会社へご連絡ください。
- 車両を運搬するときは、2WD車は、前輪または4輪を、4WD車は4輪を持ち上げてください。

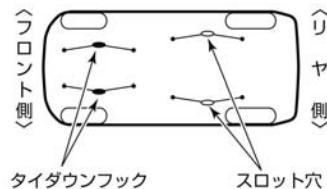
■ 後ろ側のフックについて

- 後ろ側のフックは船舶輸送時の固定専用です。けん引やトレーラー輸送時などの固定には絶対に使わないでください。この車で他車をけん引することはできません。



アドバイス

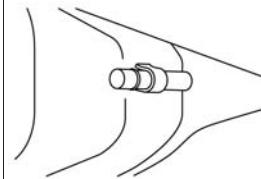
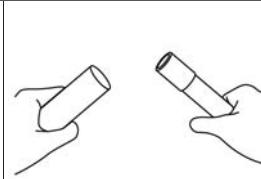
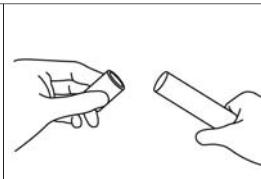
- けん引用として使うと、車両を損傷するおそれがあります。
- トレーラーなどで輸送するときは、車両下側のタイダウントラクタ用フックを使い固定してください。



- 船舶輸送時は、フロントのけん引フックとリヤのタイダウントラクタ用フックを使い固定してください。

故障したとき 発炎筒の使いかた

故障や事故などで緊急停車したとき、周囲に危険を知らせるために使います。

- 1** 助手席足元部のホルダーから発炎筒を外します。

- 2** 本体を回しながらケースから引き抜きます。

- 3** ケースのすり薬で先端をこすって点火します。


⚠ 警告

- お子さまには触らせないでください。いたずらなどで発火するおそれがあり危険です。
- 可燃物の近くで使わないでください。引火する危険があります。
- 点火は必ず車外で行い、点火後は顔や身体に近づけないでください。やけどをする危険があります。
- トンネル内では使わないでください。煙で視界が悪くなり、他車の走行の妨げとなり事故をまねくおそれがあります。このときは非常点滅表示灯を使ってください。

🚗 アドバイス

- 点火後は約5分間燃え続けます。
- 発炎筒に記載してある使用方法、注意をあらかじめ確認しておいてください。
- 発炎筒には有効期限があります。期限が切れる前に日産販売会社でお買い求めください。

故障したとき

故障したときの対処方法

車両が故障したときは、次の手順を実施してください。

1	<p>非常点滅表示灯で後続車に危険を知らせながら、できるだけ路肩に寄せて停車します。 路肩が無い場所では、可能な限り広いところまで自走します。</p>		<h3>⚠ 注意</h3> <ul style="list-style-type: none">エンジンが停止していると、ブレーキやパワーステアリングの倍力装置が働かなくなるため、極度にブレーキの効きが悪くなったり、ハンドルの操作力が重くなりますので注意してください。ガードレールの外側などに退避するときは、走行中の車両や自車への追突事故などに巻き込まれないよう、注意して避難してください。
2	<p>同乗者をガードレールの外側などに避難させ、発煙筒（❶P345）や停止表示板（停止表示灯）を車両の後方に置きます。 高速道路や自動車専用道路では、50m以上後方に置いてください。</p>		
3	<p>運転者もガードレールの外側などに避難します。 ガードレールの外側に避難ができない場所では、車両から離れてガードレールに身を寄せます。</p>		<h3>🚘 アドバイス</h3> <ul style="list-style-type: none">高速道路や自動車専用道路では、停止表示板（停止表示灯）の表示が法律で義務づけられています。非常電話は、高速道路上に1kmごとに設置されています。
4	<p>非常電話や携帯電話などで救援依頼をします。</p>		

メンテナンス

点検・整備

点検・整備について	P.348
エンジンルーム	P.349
寒冷時のメンテナンス	P.354
タイヤ	P.357
タイヤチェーンについて	P.362
ワイパー	P.364
ヒューズ	P.366
電球（バルブ）交換	P.371
その他の点検整備について	P.384

清掃・お手入れ

洗車のしかた	P.387
内装のお手入れ	P.392

サービスデータ

点検値／交換油脂類	P.395
車両仕様	P.398
イベントデータレコーダ（EDR）	P.400

点検・整備

点検・整備について

点検・整備の実施、記録、保存は法律で義務づけられています。
点検・整備については、別冊のメンテナンスノートをお読みください。

■ 点検・整備の種類

● 日常点検

走行距離や使用時の状態から判断し、適切な時期にお客さまご自身で行う点検です。
いつもと違うことに気がついたら日産販売会社で点検を受けてください。（音、振動、
におい、水もれ、油もれなど）

● 定期点検

1年ごとに実施する点検です。12か月点検および24か月点検があります。

● その他の点検

日産自動車が指定している、新車時の点検や厳しい使われかたをした場合に必要な点検
があります。

■ 知識

- 点検・整備および保証の内容は、別冊のメンテナンスノートに詳しく記載されていますので、必ずお読みください。

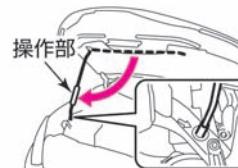
■ 工具類の格納場所

工具、ジャッキ、スペアタイヤは、ラゲッジルームに格納されています。

⌚ 格納場所 (P.311)

エンジンルームを点検するときは安全な場所に駐車し、パーキングブレーキをかけた状態でフードを開けます。

フードの開閉

1	運転席右下にあるフードオープナーを引きます。フードの先端が少し浮き上がります。	
2	フード先端のすき間に手を入れ、レバーを横に押しながらフードを持ち上げます。	
3	ステーの操作部を持ってフックから外し、エンジンルーム内にある穴に確実に差し込みます。	
4	閉めるときは、フードを支えながらステーの操作部を持って穴から外し、フックに固定します。その後、フードをゆっくり降ろして20~30cmの高さからエンジンフードを落とし、確実にロックします。	

警告

- 走行前に、フードが確実に閉まっていることを、必ず確認してください。ロックされていないと、走行中フードが開いて、思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意

- 風が強いときに開けると、風にあおられますので、しっかり持ってゆっくり開けてください。
- ステーを持つときは、必ず操作部を持ってください。エンジン停止直後はステーが高温になるため、やけどをするおそれがあります。
- フードを開けたときは、フードに頭などをぶつけないように注意してください。
- エンジンがかかっているとき、エンジンルーム内に手、衣服、工具などを入れないでください。思わぬケガをするおそれがあります。
- エンジン停止直後は、排気系部品、ラジエーターなどの高温部に触れないでください。やけどをするおそれがあります。
- フードを閉めるときは、手などを挟

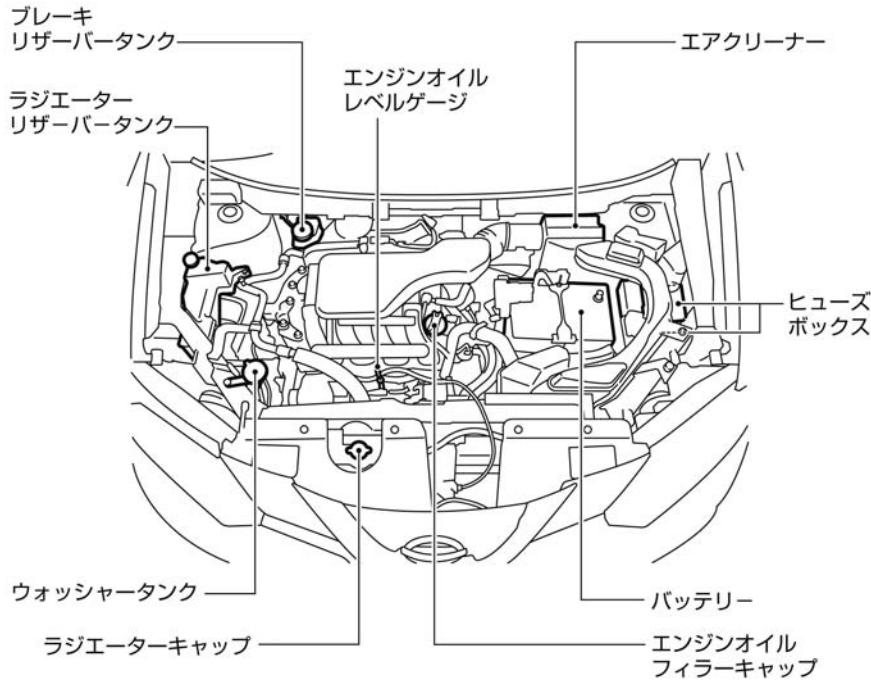
⚠ 注意

まないよう注意して降ろしてください。

 アドバイス

- ワイパークリーナーを起動したままフードを開けないでください。フードやワイパーを損傷します。

■ エンジンルーム内の配置図



★ : 車両型式、オプションなどで異なる装備

⚠ 警告

- エンジンルーム内の作業をするときは、キースイッチ（電源ポジション）をOFFにしてください。エンジン回転中に手、衣服、工具などを入れると思わぬケガをするおそれがあります。

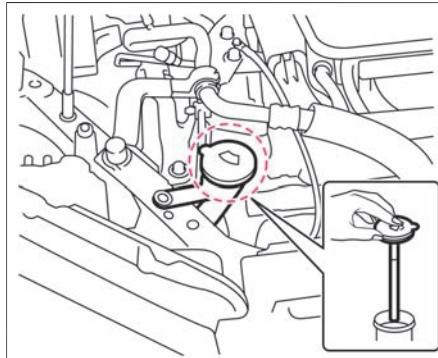
⚠ 注意

- 点検や清掃に使用した工具、布、紙類などを、エンジンルーム内に置き忘れないようにしてください。故障や車両火災につながるおそれがあります。

ウォッシャー液の補給

ウォッシャー液が不足しているときは、ウォッシャー液を補給してください。

- ウォッシャータンクのキャップを外し、ウォッシャー液を補給してください。ウォッシャー液容器に記載してある凍結温度を参考に、外気温に応じた希釈割合（濃度）にして補給します。
- ふたの穴を押さえ、引き抜くと、スポット式にウォッシャー液の残量が点検できます。
- 引き抜いたときにウォッシャー液がチューブ下端にしか入らないと、ウォッシャータンクはほぼ空の状態です。
- 日産純正ウインドーウォッシャー液をおすすめします。
 [交換油脂類 \(P.396\)](#)



注意

- ウォッシャー液を補給するときは、液を高温部にかけないようにしてください。出火するおそれがあります。
- BSW（後側方車両検知警報）付車は、レンズを自動的に洗浄する機能にウォッシャースイッチを使用しています。ウォッシャースイッチを使わなくとも、自動的に洗浄を行うため、運転する前にウォッシャー液の残量を確認し、ウォッシャー液が不足しているときは、ウォッシャー液を補給してください。

アドバイス

- ウォッシャー液の代わりに石けん水などを入れないでください。塗装面がしみになるおそれがあります。

知識

- フロントワイパーとリヤワイパーのウォッシャータンクは兼用です。

■ エアダクト（外気導入側）の外しかた

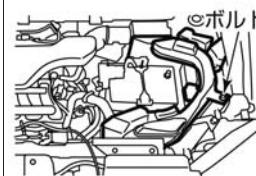
1

クリップの切り欠きにお手持ちの工具（マイナスドライバーなど）を差し込み、ロックを解除してからクリップを引き抜きます。



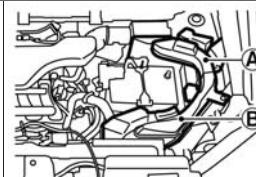
2

ボルトを緩めます。



3

エアダクトのⒶ部を外してから、Ⓑ部を取り外します。



4

外したときと逆の手順で取り付けます。

アドバイス

- エアダクトを取り外すときは、接続部のツメなどを破損しないように注意してください。

冷却水の濃度点検

- 冷却水の凍結を防ぐため、クーラントの濃度を点検してください。

クーラントの濃度	凍結温度
50%	約-35°C

- 冷却水を補充・交換するときは、日産純正スーパー長ライフクーラント(50%希釈品)をお使いください。

➡ 交換油脂類 (P.396)

アドバイス

- 工場出荷時は、50%にしてあります。
- 冷却水の点検・補充・交換は日産販売会社にご相談ください。

車が凍結したら

- 凍った部分にお湯をかけて氷を溶かしてください。溶けたらすぐにふき取ってください。

アドバイス

- ドアなどの開閉部分を無理に開けないでください。ゴムがはがれたり損傷するおそれがあります。
- ワイパー、ドアミラー、パワーウィンドーなどを無理に動かさないでください。装置が損傷するおそれがあります。
- ドアのキー穴部には、お湯をかけないでください。凍結するおそれがあります。

靴の雪を落とす

- 乗車時、靴に付いた雪はよく落としてください。ペダル類の操作時に滑ったり、窓ガラスのくもりの原因となります。

窓ガラスの雪や霜を落とす

- プラスチックの板などを使って、ガラスを傷つけないように落としてください。

⚠ 警告

- ルーフに積もった雪は落としてください。窓ガラスに雪が滑り落ちると視界の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

足回りの着氷を落とす

- 足回り（ブレーキホース、フェンダー裏側など）に付着した氷塊を、部品を破損しないように注意して取り除いてください。

滑りやすい路面の走りかた

- 滑りやすい路面での急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドルなど無理な運転は危険ですのでしないでください。雪道や凍結路では速度を落とし、車間距離を取り、ゆとりある運転をしてください。
- 雪道、凍結路では早めに冬用タイヤ、タイヤチェーンなどを装着して走行してください。
☞ タイヤチェーンについて (P.362)
- 雪道を走行するときは、4WD車は4WD MODEスイッチをAUTOモードまたはLOCKモードに切り替えます。
☞ 4WD MODEスイッチ (P.100)

■ 走行中の雪の付着に注意

- ブレーキに付着した雪が凍結し、ブレーキの効きが悪くなることがあります。ときどきブレーキの効き具合を確認してください。効きが悪いときは、前後の車との距離を十分とり、低速走行で効きが回復するまでブレーキペダルを軽く踏んでください。
- フェンダーの裏側に付いた雪が積もり、ハンドルの切れが悪くなることがあります。ときどき確認して雪を取り除いてください。

■ 長時間駐車するとき

- セレクトレバーを に入れ、パーキングブレーキをかけずに輪止めをしてください。パーキングブレーキをかけると、ブレーキが凍結して解除できなくなるおそれがあります。
- 軒下や樹木の下には駐車しないでください。落雪で車が損傷するおそれがあります。
- 雪が降りそうなときや降雪時にはワイパーームを起こしておいてください。ブレードと窓ガラスが凍結し、破損するおそれがあります。
⇒ ワイパーームを起こすとき（ライズアップ機能の使いかた）(P.278)
- 雪が積もりそうなときはアンテナを取り外してください。アンテナが破損するおそれがあります。
⇒ アンテナの外しかた (P.389)

タイヤが摩耗・損傷していたり、適正な空気圧でないと、安全な走行ができず乗り心地も損なわれます。
日常的に点検を行ってください。

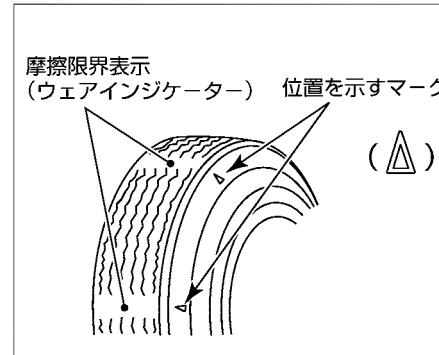
■ タイヤの点検項目

■ タイヤ空気圧の点検

- タイヤの空気圧は、走行前のタイヤが冷えているときに点検・調整してください。タイヤ接地部のたわみが大きいときは、空気圧が不足しています。すみやかに調整するか、日産販売会社にご相談ください。偏平タイヤの空気圧はたわみ状態ではわかりにくいため、タイヤエアゲージを使用し点検してください。
- タイヤ空気圧は自然に少しずつ低下します。月に一度はタイヤエアゲージを使用してタイヤ空気圧が適正であるか点検してください。
- タイヤ空気圧は走行に伴い約1割程度上がることがあります。
- タイヤ空気圧は運転席ドア開口部に表示してあります。

■ タイヤ摩耗の点検

- 摩耗限界表示（ウェアインジケーター）が表れたら、タイヤを交換してください。



⚠ 注意

- タイヤの空気圧が不足したまま走行すると、バースト（破裂）するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- タイヤはゴム製品のため、徐々に劣化します。5～7年を目安に必ず点検してください。

■ タイヤ・ロードホイールを交換するとき

- タイヤサイズは運転席ドア開口部のタイヤ空気圧表示を参照してください。
- ロードホイールを交換するときは、必ず指定サイズで同一種類のロードホイールを取り付けてください。ロードホイールのサイズは巻末のサービスデータに記載してあります。
 [タイヤ・ロードホイールサイズ \(P.399\)](#)
- タイヤ交換のしかたについては、 P.317をお読みください。

! 注意

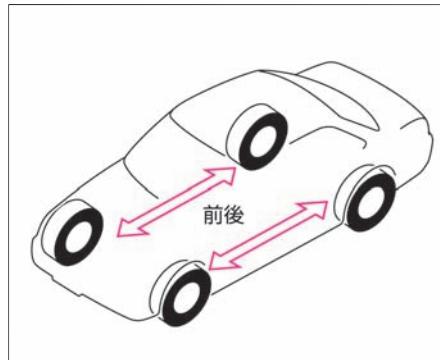
- 指定サイズ以外のタイヤ・ロードホイールは絶対に取り付けないでください。不適合なタイヤ・ロードホイールを取り付けると、安全性が損なわれ、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- タイヤを交換するときは、4輪とも同時期に行い、必ず指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のタイヤを取り付けてください。
特に4WD車は径が異なるタイヤを装着すると、車の機構に無理がかかり、重大な故障につながります。また、VDCシステムが正常に作動しないことがあります。次のようなタイヤの装着はしないでください。回転差を吸収する機構に無理がかかり、過熱し火災につながるおそれがあります。
 - 摩耗差の大きいタイヤの装着
 - 前輪または後輪だけに冬用タイヤを装着
 - サイズや種類の異なるタイヤを個々に装着
- タイヤの交換をするときは、日産販売会社にご相談ください。

 アドバイス

- ロードホイールは、リムサイズやインセットが同じでも、他の車の物は使えない場合があります。お手持ちの物をご使用になるときは、日産販売会社にご相談ください。
- アルミホイールには荷重制限があるため、交換するときは日産販売会社にご相談ください。
- タイヤやロードホイールを交換したときは、ホイールバランスを確実に取ってください。

■ タイヤの位置交換（ローテーション）

左右それぞれで、前後タイヤの交換を行ってください。タイヤの偏摩耗を防ぎ、寿命を延ばすために、約5,000kmごとにタイヤのローテーション（位置交換）を行うことをおすすめします。



⚠ 注意

- タイヤ間に著しい摩耗差があり、空気圧が規定値より著しく異なると、車の性能が十分に発揮できなくなり、安全性を損なったり故障の原因になります。

🚗 アドバイス

- タイヤの位置交換と同時に空気圧も点検してください。
- タイヤの位置交換については、日産販売会社にご相談ください。

📖 知識

- 車載のジャッキを使って、タイヤの交換を行うときは、スペアタイヤを使って1輪ずつ交換してください。

■ スペアタイヤについて

スペアタイヤは応急用タイヤを搭載してあります。
タイヤがパンクしたときに、応急用として一時的に使うタイヤです。

☞ 格納場所 (P.311)

⚠ 注意

- スペアタイヤの空気圧はときどき点検してください。また、年に一度はタイヤエアゲージを使用してタイヤ空気圧が適正であるか点検してください。長期間放置すると空気圧が減り、万一のとき使用できないことがあります。
スペアタイヤの空気圧は420kPa (4.2kgf/cm²) です。
- タイヤはゴム製品のため、徐々に劣化します。安全を確保するため、5～7年を目安に必ず点検を受けてください。点検については日産販売会社にご相談ください。

■ ジャッキアップ

ジャッキは、ラゲッジルームに格納されています。

☞ 格納場所 (P.311)

☞ ジャッキの取り出しかた (P.316)

☞ ジャッキアップをする前に (P.318)

タイヤチェーンについて

タイヤチェーンは必ず前2輪に装着してください。4WD車も前2輪に装着してください。

装着の前に

安全に作業できる平坦な場所に停車してください。

パーキングブレーキをかけエンジンを止めます。さらに、非常点滅表示灯を点滅させ、必要に応じて停止表示板（または停止表示灯）を置きます。

- お客様のタイヤサイズに合ったタイヤチェーンでも使用できない場合があります。
タイヤチェーンはお客様の車に適合した日産純正品をおすすめします。適合するタイヤチェーンについては日産販売会社にご相談ください。

装着のしかた

タイヤチェーンは付属の取扱説明書に従って正しく装着してください。



注意

- 不適正に装着したり、タイヤサイズに合わないものなどを使用すると、ブレーキ配管やフェンダーなどを破損するおそれがあります。



アドバイス

- タイヤチェーンを装着すると、ホイールカバーやアルミホイールに傷をつけるおそれがあります。ホイールカバーは外してください。
- タイヤチェーンを装着したときはタイヤチェーンに付属の取扱説明書で指示された速度で走行してください。安全が損なわれたりタイヤチェーンが切れやすくなります。
- 雪のない舗装路ではチェーンを装着したまま走行しないでください。路面を損傷したり、チェーンの摩耗を



アドバイス

早め、寿命が短くなります。また、4WD車は機構に無理がかかり故障の原因となります。

- タイヤチェーンを装着しているときは、突起しているところや穴の上を走行したり、急ハンドルやタイヤがロックするようなブレーキ操作をしないでください。

点検・整備 ワイパー

ワイパークリーナーを交換するときは、次の手順に従ってください。

ワイパークリーナーの交換のしかた

1

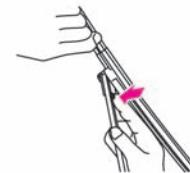
ワイパークリーナーを起こし、クリーナーを少し傾けます。

☞ ワイパークリーナーを起こすとき（ライズアップ機能の使いかた）(P.278)



2

ワイパークリーナーのツメを押したままにします。



3

ワイパークリーナーを矢印の方向に動かして取り外します。



4

新しいワイパークリーナーを取り付けます。取り付けは取り外したときと逆の手順で行い、ワイパークリーナーが確実に固定されていることを確認します。



注意

- 交換するときは、ワイパークリーナーを起こすとき（ライズアップ機能の使いかた）(P.278) ガラスに当たらないよう気をつけてください。ガラスに当たるとガラスが破損するおそれがあります。

アドバイス

- ワイパークリーナーに大きな力を加えて変形させないでください。ふき取りにくくなったり、破損するおそれがあります。

■ ワイパーゴムの交換のしかた

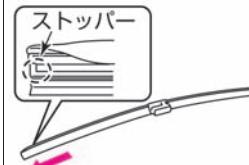
1

ワイパー アームからワイパープレードを取り外します。



2

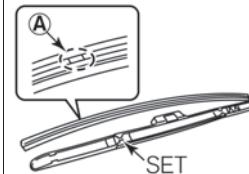
ワイパーゴムを矢印方向にスライドし、取り外します。



3

取り付けるときは、取り外したときと逆の手順で行います。

- ワイパーゴムのストッパーがない方からブレードに沿って差し込みます。
- ワイパーゴムのⒶ部をワイパープレードの「SET」の位置で確実に押し込み、固定します。



知識

- ワイパーゴムに石けん水を塗ると脱着しやすくなります。

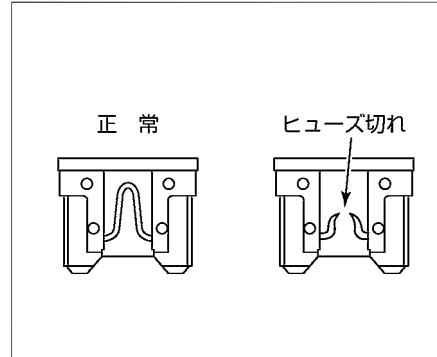
ランプがつかないときや電気系統の装置が作動しないときは、ヒューズ切れが考えられます。
故障の状況から、関係するヒューズを確認してください。

■ ヒューズを確認する前に

ヒューズが切れているときは、同じ容量のヒューズと交換します。

■ ヒューズボックスの位置

- ヒューズボックスはエンジンルーム、運転席側面、グローブボックス奥にあります。
- 各ヒューズの位置は、ヒューズボックスのふたの裏側またはヒューズボックス付近に表示してあります。

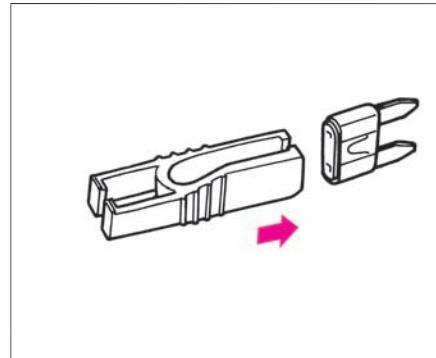


! 注意

- 規定容量以外のヒューズや、ヒューズの代わりに針金、銀紙などは絶対に使わないでください。電装システムの故障や、配線などが過熱して火災につながるおそれがあります。

■ ヒューズ抜きについて

- グローブボックス奥のヒューズボックス内にヒューズ抜きがあります。
 [ヒューズの交換のしかた（グローブボックス奥）\(P.369\)](#)
- キースイッチ（電源ポジション）をOFFにしてから、ヒューズ抜きをヒューズに差し込んで引き抜き、ヒューズが切れていないか確認します。

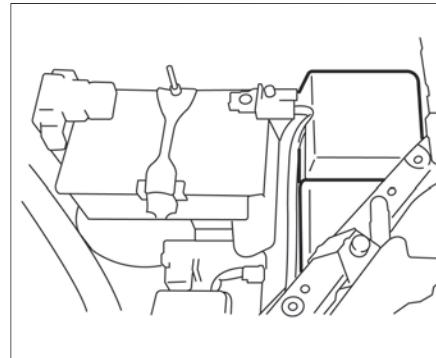


アドバイス

- 交換してもヒューズが切れるときは、日産販売会社で点検を受けてください。
- ヒューズを交換したときは、確実に差し込まれていることを確認してください。

■ ヒューズの交換のしかた（エンジルーム）

- エアダクト（外気導入）の下に2箇所あります。
 [エアダクト（外気導入側）の外しかた\(P.353\)](#)

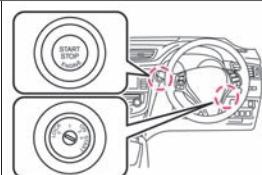


アドバイス

- ヒューズを交換するときは、日産販売会社にご相談ください。

ヒューズの交換のしかた（運転席側面）

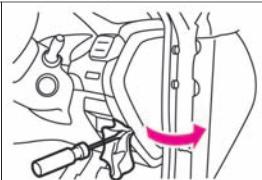
1 キースイッチ（電源ポジション）をOFFにします。



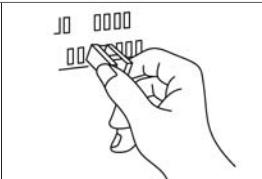
アドバイス

- ヒューズを交換するときは、日産販売会社にご相談ください。

2 お手持ちの工具（マイナスドライバーなど）をスリットに差し込み、ヒューズボックスカバーを外します。



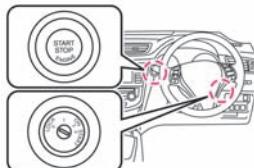
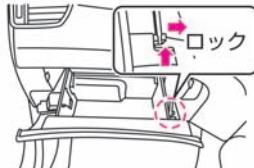
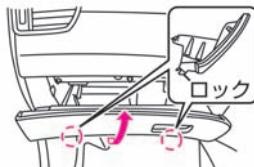
3 ヒューズ抜きでヒューズを取り外します。



4 新しいヒューズと交換します。交換したあとは、確実に差し込まれていることを確認してください。

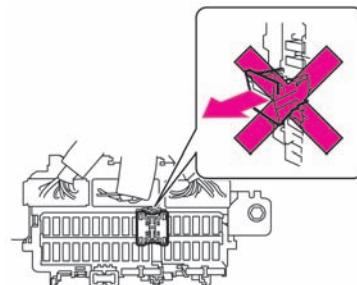


ヒューズの交換のしかた（グローブボックス奥）

1	キースイッチ（電源ポジション）をOFFにします。	
2	グローブボックスを開け、ダンパーのロックを外します。	
3	グローブボックスを5cm程度開けた状態にし、下側のロックを外します。	
4	左右のストッパーを片方ずつ外し、グローブボックスを取り外します。	

アドバイス

- ヒューズを交換するときは、次のイラストの部品を取り外さないでください。



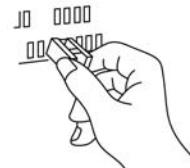
- ヒューズを交換するときは、日産販売会社にご相談ください。



次のページに続く

★：車両型式、オプションなどで異なる装備

前 ページから

5	ヒューズ抜きでヒューズを取り外します。	
6	新しいヒューズと交換します。交換したあとは、確実に差し込まれていることを確認してください。	
7	外したときと逆の手順で取り付けます。	

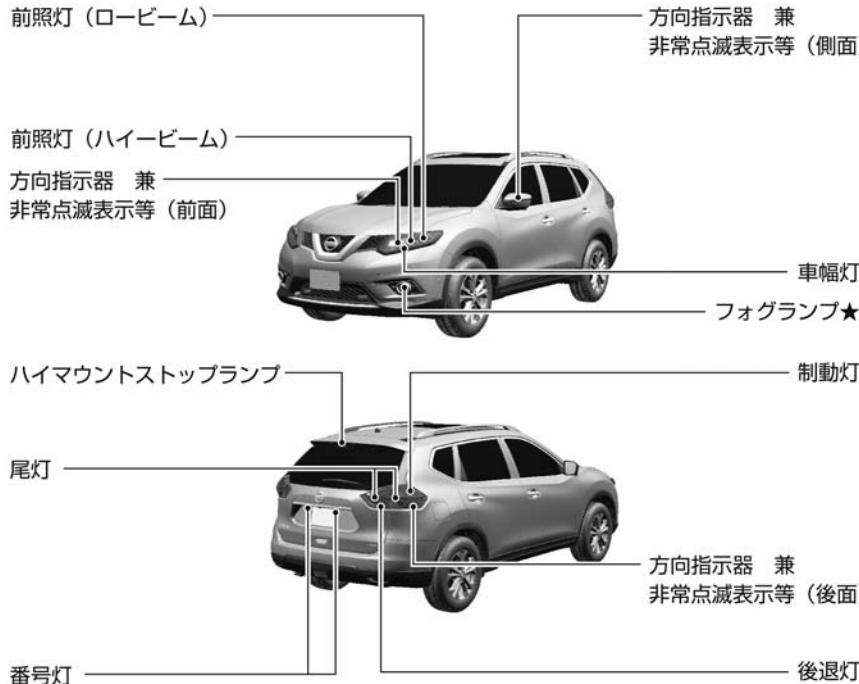
点検・整備

電球（バルブ）交換

外装ランプが点灯しないときは、バルブ切れが考えられます。

バルブの交換作業が不慣れな方や部品の破損などが心配な方は、日産販売会社にご相談ください。

各電球（バルブ）の位置



注意

- バルブ交換は、エンジンルームやバルブが冷えた状態で行ってください。やけどをするおそれがあります。
- バルブ交換をするときは、軍手などを着用して作業してください。
- ステーなどの端で指や腕をケガしないように十分注意してください。
- バルブは点灯中、表面が高温になります。バルブが正しく取り付けられていないと、走行中にバルブが外れ、周辺の部品に接触するなどし、発熱、発火につながるおそれがあります。

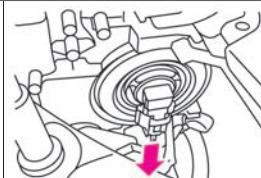
アドバイス

- 外した部品は確実に取り付けてください。水が入り故障の原因になるおそれがあります。
- バルブに油が付着したときは柔らかい布などでふき取ってください。また、素手でガラス部分に触れないでください。バルブの寿命が短くなったりバルブが破損するおそれがあります。

ロービーム（ハロゲンバルブ付車）

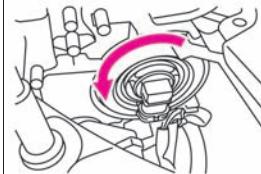
1

コネクターを取り外します。
(ツメを押しながら外します。)



2

ソケットを矢印の方向に回して引き抜き、バルブを交換します。



3

取り付けるときは、外したときと逆の手順で取り付けます。

! 注意

- ハロゲンバルブは、バルブ内の圧力が高いため、破損するとガラスが飛び散ることがあります。取り扱いには十分注意してください。

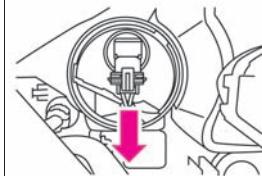
アドバイス

- 取り外すときは、無理に力を加えないでください。破損するおそれがあります。

■ ハイビーム（ハロゲンバルブ付車）

1

カバーを取り外します。

**2**コネクターを取り外します。
(ツメを押しながら外します。)**3**

ソケットを矢印の方向に回して引き抜き、バルブを交換します。

**4**

取り付けるときは、外したときと逆の手順で取り付けます。

! 注意

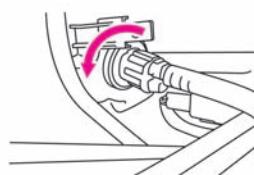
- ハロゲンバルブは、バルブ内の圧力が高いため、破損するとガラスが飛び散ることがあります。取り扱いには十分注意してください。

■ アドバイス

- 取り外すときは、無理に力を加えないでください。破損するおそれがあります。

方向指示器 兼 非常点滅表示灯（前面）**1**

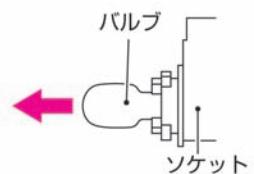
ソケットを矢印の方向に回して引き抜きます。

**アドバイス**

- 取り外すときは、無理に力を加えないでください。破損するおそれがあります。

2

古いバルブを引き抜き、新しいバルブをソケットに取り付けます。

**3**

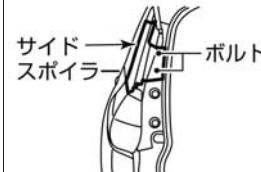
取り付けるときは、外したときと逆の手順で取り付けます。

方向指示器兼非常点滅表示灯（後面）／制動灯／尾灯

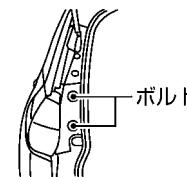
1 バックドアを開けます。



2 リヤコンビランプ上部にあるサイドspoイラーのボルトを外し、サイドspoイラー本体を取り外します。



3 リヤコンビランプ部のボルトを外し、ランプを引いて取り外します。



4 バルブのソケットを矢印の方向に回して引き抜きます。

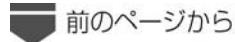


アドバイス

- 取り外すときは、無理に力を加えないでください。破損するおそれがあります。

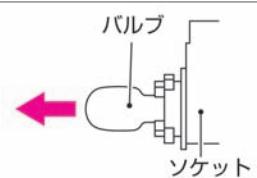
次のページに続く

★：車両型式、オプションなどで異なる装備



5

古いバルブを引き抜き、新しいバルブをソケットに取り付けます。



6

取り外したときと逆の手順で取り付けます。

■ 後退灯／尾灯

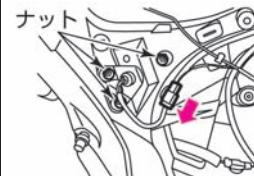
- 1** バックドアを開けます。



- 2** バックドアフィニッシャーインナーを取り外します。



- 3** ナット3箇所とコネクターを取り外し、リヤコンビネーションランプを引いて取り外します。



- 4** ソケットを矢印の方向に回して引き抜きます。



アドバイス

- 取り外すときは、無理に力を加えないでください。破損するおそれがあります。

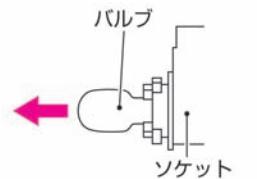
次のページに続く

★：車両型式、オプションなどで異なる装備

◀ 前のページから

5

古いバルブを引き抜き、新しいバルブをソケットに取り付けます。



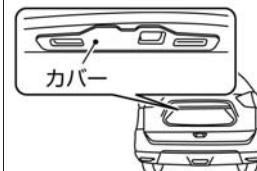
6

取り外したときと逆の手順で取り付けます。

番号灯

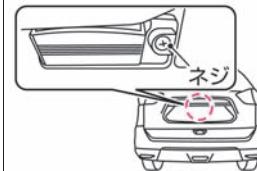
1

カバーを取り外します。



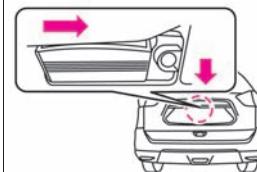
2

番号灯のネジを外します。



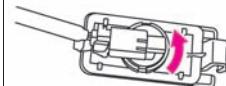
3

番号灯を右側に押しながら下に抜き取って外します。



4

ソケットを矢印の方向に回して引き抜きます。



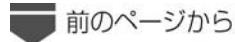
アドバイス

- 取り外すときは、無理に力を加えないでください。破損するおそれがあります。



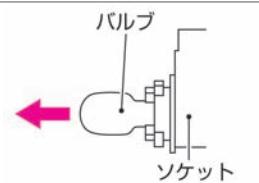
次のページに続く

★：車両型式、オプションなどで異なる装備



5

古いバルブを引き抜き、新しいバルブをソケットに取り付けます。



6

取り外したときと逆の手順で取り付けます。

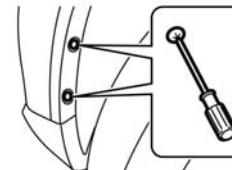
■ フォグランプ★

1

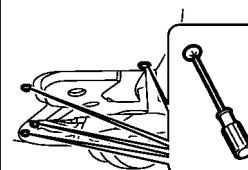
ハンドルを切って、タイヤを傾けます。

**2**

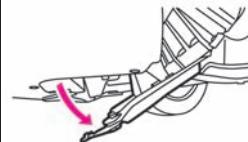
お手持ちの工具（トルクス）でネジを外します。

**3**

下側のネジを外します。

**4**

カバーをめくり、作業スペースを確保します。



アドバイス

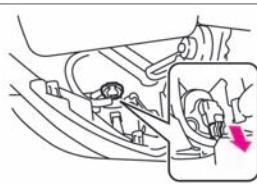
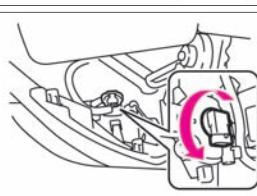
- 取り外すときは、無理に力を加えないでください。破損するおそれがあります。



次のページに続く

★：車両型式、オプションなどで異なる装備

 前のページから

5	コネクターを取り外します。 (ツメを押しながら外します。)	
6	ソケットを矢印の方向に回して引き抜き、バルブを交換します。	
7	取り付けるときは、外したときと逆の手順で取り付けます。	

■ その他の電球（バルブ）

以下のバルブが点灯しないときは日産販売会社で点検を受けてください。

● LEDバルブ

- 前照灯（ハイビーム/ロービーム）（LEDヘッドライト付車）
- 車幅灯
- ハイマウントストップランプ
- 方向指示器兼非常点滅表示灯（側面）

エンジンオイルについて

- 交換時期についてはメンテナスノートをお読みください。また、指定のエンジンオイルについては、巻末のサービスデータをお読みください。

☞ **交換油脂類 (P.396)**

詳しくは日産販売会社にご相談ください。

⚠ 注意

- 適切なオイル交換が行われないと、エンジンの破損や火災など、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- オイルの点検をしたあとは、オイルレベルゲージを確実に差し込んでください。オイルレベルゲージが根元まで差し込まれていないと、オイルが噴き出し火災の原因になるおそれがあります。
- エンジンオイルフィラーキャップは確実に閉めてください。走行時にキャップが外れエンジンオイルが噴き出すと、火災の原因になるおそれがあります。

■ バッテリーについて

- バッテリーのメンテナンスについては、メンテナンスノートをお読みください。
詳しくは日産販売会社にご相談ください。

⚠ 警告

- バッテリーを充電するときは換気を十分に行い、火気は近づけないでください。バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあります。
- バッテリー液は希硫酸です。目や皮膚に付着すると、失明や炎症など重大な傷害につながるおそれがあります。万一、付着したときは、すぐに 多量の水で洗浄し、飲み込んだときは多量の水を飲んで応急処置をしたあと、医師の診療を受けてください。

⚠ 注意

- バッテリーの(+)側ターミナルが周辺の金属と接触しないようにしてください。接触するとショートして火災の原因となるおそれがあります。また、バッテリーの端子の締め付けが緩いと、配線などが過熱、焼損し、火災につながるおそれがあります。
- バッテリーを交換するときは、必ず同じサイズ（型式）に交換し、動かないようになじかないと固定してください。なじかないと固定できていないと、ショートなどの原因となり火災につながるおそれがあります。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。



アドバイス

- 充放電能力と寿命性能を強化したアイドリングストップ付車専用バッテリーをご使用ください。専用バッテリー以外を使用すると、バッテリーの早期劣化やアイドリングストップが正常に作動しなくなる原因となります。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

 知識

- バッテリー交換したあとや長期間バッテリー端子を外したあとは、アイドリングストップのシステムが作動するまでに時間がかかる場合があります。

清掃・お手入れ 洗車のしかた

塗装面の変色やサビなどを防止するために、適切なお手入れが大切です。

洗車のしかた

- 洗車機で洗車するときは、アンテナを外してください。
 [アンテナの外しかた \(P.389\)](#)
- 洗車や拭き取りなどでワイパー アームを持ち上げるときは、エンジンフードに当たらないようにしてください。
 [ワイパー アームを起こすとき（ライズアップ機能の使いかた）\(P.278\)](#)
- 塗装面に付着した汚れをそのままにすると、変色やサビの原因となります。次のような場合は、すぐに洗車してください。
 - － ばい煙、虫の死がいや鳥のふん、樹液、鉄粉、コールタールなどが付着したとき
 - － 海岸地区、凍結防止剤を散布した道路を走行したあと
 - － ほこり、汚れがひどいとき

⚠ 注意

- 下回りを洗うときはケガをしないように注意してください。
- エンジンルーム内に水をかけないでください。エンジンの始動不良や不調などの原因になるおそれがあります。また、電装品などに水がかかると、故障したり電気部品のショートにより車両火災につながるおそれがあり危険です。

アドバイス

- ケミカル用品などは用途により使い分けが必要です。用途にあった物をお使いください。
- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤や酸、アルカリ性の溶液を使わないでください。変色やしみの原因となります。
- 硬いブラシや、たわしなどは使わないでください。塗装面を傷つけるおそれがあります。
- 寒冷時に洗車をするときは、ブレーキに直接水がかからないように注意してください。ブレーキ装置に水が入ると凍結し、走行できなくなるおそれがあります。

■ 水洗いするとき

- (1) 水をかけながら下回りの汚れを洗い流します。
- (2) 水をかけながら塗装面の高い位置から低い位置の順にセーム皮や柔らかいスポンジなどで汚れを落とします。汚れがひどいときは、ボディーシャンプーなどを使い、その後十分に水で洗い流します。
- (3) はん点が残らないように水をふき取ります。

■ 洗車機を使うとき

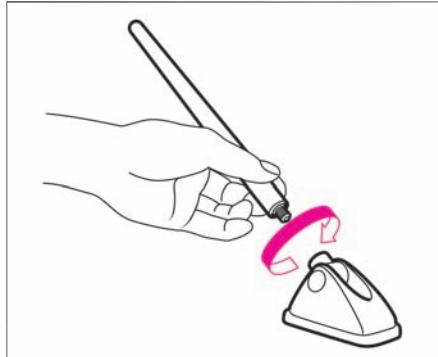
- 自動洗車機を使用するときは、ドアミラー (☞P.55) を格納してください。
- 高圧(コイン)洗車機を使用するときは、洗車ノズルと車体の距離を十分離して洗車してください。

アドバイス

- 自動洗車機で洗車すると、ブラシの傷がつき、塗装の光沢が失われたり劣化を早めることができます。
- ドアガラスのまわりに高圧ノズルを近づけないでください。車内に水が漏れるおそれがあります。

■ アンテナの外しかた

- アンテナを取り外すときは、周囲の安全を十分に確認し、アンテナの根元を持ち、矢印の方向に回して取り外します。
- 取り付けるときは、アンテナの根元を持ち、矢印と逆方向に回し、確実に締め付けます。



■ カメラレンズのお手入れ

- 中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませてふき取ります。さらに乾いた柔らかい布でふき取ります。

アドバイス

- カメラレンズをアルコール、ベンジン、シンナーなどでふかないでください。変色などの原因になります。

■ ワックスをかけるとき

塗装面の変色やサビなどを防止するために、適切なお手入れが大切です。

- ワックス掛けは1か月に1回程度、または水はじきが悪くなったときに行ってください。かけかたは普通塗装車、メタリックおよびパール塗装車とも同じです。

■ ワックスのかけかた

- (1) 塗装面の汚れを洗車などで取り除きます。
- (2) 塗装面が冷えているとき（体温以下が目安）にワックスをかけます。かけかたはワックス容器に記載してある説明に従ってください。

■ ワックスの選びかた

- コンパウンド（研磨剤）の入っていない、塗装に適したワックスを使ってください。日産純正カーワックスをおすすめします。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

■ アドバイス

- 塗装されていないバンパー、spoilerなどの樹脂部品には、ワックスを使用しないでください。ムラになることがあります。
- コンパウンド（研磨剤）の入ったワックスを使うと、塗装面の光沢や水をはじく特性が失われることがあります。
- カメラのレンズ部にワックスを付けてください。ワックスが付いた場合は、中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませ、ふき取ってください。

■ アルミロードホイールのお手入れ

- 中性洗剤を含ませたスポンジなどを使い、汚れを落としてください。日産純正クリーナーをおすすめします。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。



アドバイス

- 変色やしみの原因になったり、傷をつけるおそれがあるため、次のことをお守りください。
 - 強酸性、強アルカリ性の洗剤は使わない
 - 洗剤はホイールの表面が冷えているときに使用する（体温以下が目安）
 - 洗剤を使用したあとは、早めに十分洗い流す
 - 硬いブラシやコンパウンド（研磨剤）の入った洗剤などは使わない

■ 軽い補修のしかた

- 塗装面の小さい傷はタッチアップペイントを使い、早めに傷部を補修してください。サビの発生を防ぎ、塗装面を長持ちさせます。

カーペットの汚れ取り

- 電気掃除機でほこりを取り除き、日産純正ルームクリーナーなどで汚れを落としてください。フロアカーペットを取り外したときは、敷き直すときにフロアカーペットがずれないように固定クリップで正しく確実に固定してください。
- フロアカーペット (P.306)

布、ビニールレザーの汚れ取り

- 中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませ、軽くふき取ります。さらに水に浸した布を固くしぼってふき取ります。汚れがひどいときは、日産純正ルームクリーナーなどで汚れを落としてください。

⚠ 注意

- 車室内に水をかけないでください。オーディオやスイッチ類、フロア下の配線や電気部品などに水がかかると故障するおそれがあります。

⚠ アドバイス

- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤や酸、アルカリ性の溶液を使わないでください。変色やしみの原因となります。また、各種クリーナー類には、これらの成分が含まれているおそれがあるため確認してから使ってください。

⚠ 注意

- 車室内に水をかけないでください。オーディオやスイッチ類、フロア下の配線や電気部品などに水がかかると故障するおそれがあります。

⚠ アドバイス

- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤や酸、アルカリ性の溶液を使わないでください。変色やしみの原因となります。

 アドバイス

す。また、各種クリーナー類には、これらの成分が含まれているおそれがあるため確認してから使ってください。

■ バックドアガラスの清掃

- ガラスの内側を清掃するときは、熱線を切らないように水を含ませた柔らかい布で熱線にそって軽くふいてください。
- ガラスクリーナー、洗剤などは使わないでください。

■ メーター表面の汚れ取り

- 柔らかい布を真水に浸し、固くしぼってからふき取ります。

アドバイス

- 乾いた布やウエットティッシュなどを使用しないでください。傷がついたり、変色の原因になります。
- ワックスやコーティング剤、油などが付着した布ではつかないでください。変色の原因になります。

点検値

項目	点検値
補機ベルト	調整不要 ^{※1}
遊び	3~11mm
ブレーキペダル ^{※2}	床板とのすき間 エンジン回転中、踏力約490N（50kg）で踏んだとき 85mm以上
パーキングブレーキ	踏みしろ 約196N（20kg）で踏んだとき 6~7ノッチ

※1：補機ベルトは、ベルトオートテンショナー（自動張力調整機構）を採用しており、ベルト張力調整は不要です。また、パワーステアリングおよび冷却ファンは、ベルト駆動ではないためベルトの張力調整は不要です。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

※2：ブレーキが正常に作動しないときは、必ず日産販売会社で点検を受けてください。また、ブレーキペダルの床板とのすき間の調節が必要なときも、日産販売会社にご相談ください。

■ 交換油脂類

項目	適用	規定量 (℥) ^{※1}		指定油脂 (規格)
		オイルのみ交換	オイルとオイル フィルター交換	
エンジンオイル	MR20DD	3.6	3.8	日産純正SNストロングセーブ・X ^{※2} (API: SN、SAE: 0W-20) 日産純正SNエクストラセーブ・X (API: SN、SAE: 0W-20)

項目	適用	規定量 (℥) ^{※1}	指定油脂 (規格)
CVTフルード	全車	7.9	日産純正CVTフルードNS-3 ^{※3}
リヤディファレンシャルオイル	4WD	0.55	日産純正デフオイルハイポイドスーパー (API: GL-5、SAE: 80W-90)
トランスファーオイル	4WD	0.31	日産純正デフオイルハイポイドスーパー (API: GL-5、SAE: 80W-90)
ブレーキフルード	全車	—	日産純正ブレーキフルードNo.2500 (DOT3)
冷却水	全車	8.6 ^{※4}	日産純正スーパーロングライフクーラント ^{※5} (エンジンクーラント)
ウォッシャー液	全車	5.0	日産純正ウインドウォッシャー液 ● 外気温に応じて濃度を調節してください。

※1： 規定量は目安です。

※2： 工場出荷時に充てんされているオイルです。

※3： 必ず日産純正CVTフルードNS-3を使用してください。日産純正CVTフルードNS-3以外のフルードを使用するとオートマチックトランスマッisionが破損するおそれがあります。

※4： リザーバータンクのMAXレベル容量 (0.85 ℥) を含みます。

※5： 市販されている水漏れ防止剤などの添加剤は冷却水に添加しないでください。冷却水は、日産純正スーパーロングライフクーラントを必ずご使用ください。

■ 指定のエンジンオイルについて

API 規格またはILSAC 規格に適合した指定油脂をお使いください。なお、規格適合油にはイラストのマークが表示されています。

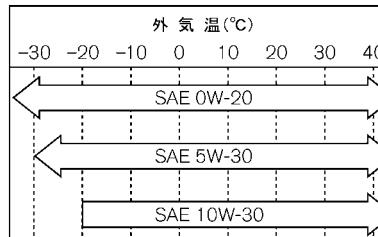
日産純正銘柄のご使用をおすすめします。
指定油脂の範囲で、外気温に適した粘度
(SAE 規格) のものをご使用ください。
(表を参照)

交換時期についてはメンテナンスノートを
お読みください。詳しくは日産販売会社に
ご相談ください。



APIマーク

ILSACマーク



電球（バルブ）の容量

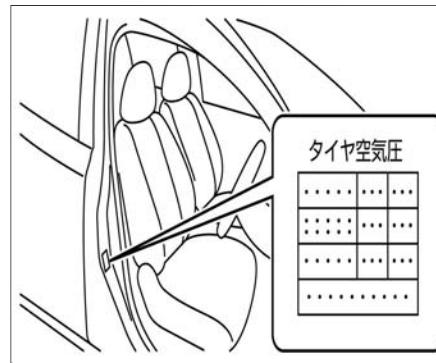
電球（バルブ）		容量（V-W）	バルブタイプ
前照灯（ヘッドライト）（ハロゲンバルブ付車）	ロービーム	12-55	H11
	ハイビーム	12-65	H9
前照灯（ヘッドライト）（LEDランプ付車）	ロービーム	—	LED
	ハイビーム	—	LED
前部霧灯（フォグランプ）★		12-55	H11
車幅灯		—	LED
番号灯		12-5	W5W
制動灯		12-21	W21W
尾灯		12-5	W5W
ハイマウントストップランプ		—	LED
後退灯		12-16	W16W
方向指示器 兼 非常点滅表示灯	前面、後面	12-21（アンバー）	WY21W
	側面	—	LED

■ タイヤ・ロードホイールサイズ

タイヤサイズ	ロードホイールサイズ		
	リムサイズ	P.C.D.	インセット
225/65R17	17×7J	114.3mm (5穴)	45mm
T155/90D17 ^{※1}	17×4T		30mm

※1 応急用タイヤです。

タイヤの空気圧は運転席ドアの開口部に表示してあるため、確認してください。



■ 車両データの記録・蓄積について

この車両に装備されている以下システムの各コンピューターはEDR（イベントデータレコーダ）機能を備えています。

以下システムの各コンピューターは正常に作動しているかどうかを常に診断し、EDRで車両が衝突したときの車両データを記録・蓄積しています。

■ SRSエアバッグシステム

SRSエアバッグシステムが作動したときに下記車両データを記録・蓄積します。

- エアバッグシステムの作動に関する情報
- エアバッグシステムの故障診断情報



知識

- EDR（イベントデータレコーダ）は一般的なデータレコーダとは異なり、会話などの音声や映像は記録しません。

■ データの扱いについて

日産自動車および日産自動車が委託した第三者は、EDRに記録されたデータを日産自動車の車両衝突安全性能の向上を目的として、取得・利用することができます。

なお、日産自動車および日産自動車が委託した第三者は、取得したデータを以下の場合を除き、第三者へ開示・提供することはありません。

- 車両の使用者の同意がある場合
- 裁判所命令など、法的強制力のある要請に基づく場合
- 統計的な処理を行うなど、使用者や車両が特定できないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

索引

4

4WD

- 4WD（4輪駆動）車の扱いかた P.97
- 4WDシステム高油温（警告） P.195
- 4x4-i（車両情報） P.181
- ALL MODE 4×4 P.100
- タイヤサイズ異常（警告） P.195

A

A/C（エアコン）

- オートエアコン P.255
 - マニュアルエアコン P.259
- ABS P.103
- ABS警告灯 P.163

B

- BSW（後側方車両検知警報） P.141
- BSW（後側方車両検知警報）表示 P.179

D

- DAA（警告） P.195

E

- ECOモード P.80
- ECOモードインジケーター P.169
- エコドライブナビゲーター P.81
- エコマネージメント P.83
- 瞬間燃費計 P.82
- EDR（イベントデータレコーダ） P.400
- ELR（緊急固定）付3点式シートベルト P.49

I

- ISO FIX対応チャイルドシート用アンカー P.28

L

- LDW（車線逸脱警報） P.149
- LDW（車線逸脱警報）表示 P.178

M

- MOD（移動物検知） P.187

O

- ODOメーター P.174

P

- Pレンジに入れてください
(ドライブインジケーター) P.195

S

- Shipping Mode On Push Strage Fuse
(警告) P.195
- SPORT表示灯 P.169
- SRSエアバッグ P.9
- SRSエアバッグ警告灯 P.163

T

- TRIP（トリップメーター） P.174

V

- VDC P.104
- VDC OFFスイッチ P.106
- VDC OFF表示灯 P.169
- VDC警告灯 P.163

ア

- アームレスト
セカンドシート（2列車） P.40
セカンドシート（3列車） P.43
アイドリングストップ P.84
アイドリングストップOFFスイッチ P.85
アイドリングストップシステム異常
(ドライブインジケーター) P.195
アイドリングストップ表示 P.176
アイドリングストップ（車両情報） P.181
アウターミラー（ドアミラー） P.55
アクティブエンジンブレーキ P.110
アクティブプライドコントロール P.109
アシストグリップ P.297
アダプティブシフトコントロール P.67
アドバンスドドライブアシスト
ディスプレイ P.172
アラーム P.333
メーター（ドライブインジケーター） P.195
アルミロードホイールのお手入れ P.391
アンサーバック機能 P.209, P.212
アンテナ P.387

イ

- イベントデータレコーダ（EDR） P.400
イモビライザー（盗難防止装置） P.62
イルミネーションコントロール P.161
インテリジェントキー P.211
始動しないとき P.325
電池交換のしかた P.219
ドアが開かない P.323
ドアの施錠・解錠 P.220
リモコンによる施錠・解錠 P.222
インナーミラー（ルームミラー） P.54
- ウ**
- ウインカー（方向指示器） P.272
ウインドー（パワーウィンドー） P.249
ウェルカムライト機能
(フェアウェル機能付) P.209, P.212
ウォーニング（警告灯） P.163
ウォッシャー
ウォッシャー液（規定量） P.396
ウォッシャー液の補給 P.352
ウォッシャースイッチ P.275
動かないとき P.339
動けなくなったときは P.346
運転
運転するときに注意すること P.34

正しい運転姿勢について P.36
運転席スイッチ P.236

エ

- エアコン
オートエアコン P.255
吹き出し口 P.263
マニュアルエアコン P.259
エアダクト P.353
エアバッグ
SRSエアバッグ P.9
SRSエアバッグ警告灯 P.163
SRSカーテンエアバッグシステム P.20
運転席・助手席SRSエアバッグシステム P.13
運転席・助手席SRSサイドエアバッグ
システム P.18
エコドライブナビゲーター P.81
エコマネージメント P.83
ECOモード P.80
エマージェンシープレーキ P.116
エマージェンシープレーキ／
踏み間違い衝突防止アシスト警告灯 P.163
エマージェンシープレーキ表示 P.177
エンジン
エンジンオイル P.396
エンジンが始動しないときは P.325

エンジンスイッチ	P.60	カギ	
エンジンフード	P.349	インテリジェントキー	P.211
エンジンルーム	P.349	リモートコントロールエントリー	
エンジンルームから蒸気が出ている とき	P.337	システム	P.208
エンジンルーム内配置図	P.351	各種警告	P.329
エンストして始動できなくなったとき	P.346	カップホルダー	P.291
才		カメラ	
オイル	P.396	マルチセンシングフロントカメラ	P.121
オーディオ（車両情報）	P.181	リヤビューカメラ	P.148
オートACC機能	P.63	ガラスルーフ	P.251
オートエアコン	P.255	ガレージモード	
オートクロージャー	P.241	解除	P.245
オートドアmensイッチ	P.234	設定	P.243
オートライト	P.269	寒冷時のメンテナンス	P.354
オートロック機能	P.209, P.212	キ	
オーバーヒート	P.337	インテリジェントキー	P.211
オーバーヘッドコンソール	P.288	メカニカルキー	P.323
お子さまを乗せるときは	P.22	リモートコントロールエントリー	
オドメーター（積算距離計）	P.174	システム	P.208
音声操作表示	P.206	キーが見つかりません（ドライブインジケーター）	P.195
力		キー電池残量が低下しています (ドライブインジケーター)	P.195
外気温表示	P.175	キーシステム故障 (ドライブインジケーター)	P.195
外装のお手入れ	P.387		
		ケ	
		警告確認	P.180
		警告灯	P.163
		警告表示	P.195
		けん引について	P.341

□

工具.....	P.311
後席読書灯.....	P.284
航続可能距離（警告）.....	P.195
航続可能距離（車両情報）.....	P.181
後側方車両検知警報(BSW).....	P.141
後退灯 電球（バルブ）交換.....	P.371
電球（バルブ）容量.....	P.398
コートハンガー.....	P.297
コーナリングスタビリティーアシスト.....	P.107
故障警告灯（MIL）.....	P.163
故障したとき.....	P.345
コンソールボックス.....	P.290

▼

サードシート.....	P.46
サービスデータ（車両仕様）.....	P.398
サイドアンダーミラー.....	P.57
サイドミラー（ドアミラー）.....	P.55
サンシェード.....	P.251
サンバイザー.....	P.281
サンルーフ (パノラミックガラスルーフ).....	P.251

シ

シート お手入れ.....	P.392
サードシート.....	P.46
セカンドシート（2列車）.....	P.39
チャイルドシート.....	P.25
ヒーターシートスイッチ.....	P.280
フロントシート.....	P.37
シートベルト.....	P.49
シートベルト警告灯.....	P.163
システム故障（警告）.....	P.195
室内照明.....	P.282
始動しないとき.....	P.325
始動のしかた インテリジェントキー付車.....	P.73
リモートコントロールエントリー システム付車.....	P.70
シフトロック シフトロック解除ボタン.....	P.339
シフトロックシステム.....	P.339
シャシー制御.....	P.107
シャシー制御（警告）.....	P.195
シャシー制御（車両情報）.....	P.181
車線逸脱警報(LDW).....	P.149
ジャッキ.....	P.311

車幅灯

電球（バルブ）交換.....	P.371
電球（バルブ）容量.....	P.398
車両情報.....	P.180
ジャンプスタートのしかた.....	P.326
充電警告灯.....	P.163
瞬間燃費計.....	P.82
進入禁止標識検知.....	P.155

ス

水温計.....	P.159
スイッチ 4WD MODEスイッチ.....	P.100
VDC OFFスイッチ.....	P.106
アイドリングストップOFFスイッチ.....	P.85
ウォッシャースイッチ.....	P.275
運転席スイッチ.....	P.236
オートエアコン.....	P.255
オートドアインスイッチ.....	P.234
ステアリングスイッチ (クルーズコントロール).....	P.92
ステアリングスイッチ（メーター）.....	P.180
デフロスター スイッチ.....	P.335
ドアミラースイッチ.....	P.55
ドアロックスイッチ.....	P.224
バックドアインナースイッチ.....	P.239
ヒーターシートスイッチ.....	P.280

フォグランプ	P.271
ヘッドランプスイッチ	P.267
ヘッドランプレベライザースイッチ	P.273
方向指示器スイッチ	P.272
マニュアルエアコン	P.259
ライトスイッチ	P.267
リヤデフォッガースイッチ	P.336
ワイパー・スイッチ	P.275
ステアリング（ハンドル）	P.53
スピードメーター（速度計）	P.159
スペアタイヤ	P.311
スペアタイヤについて	P.361
スポーツモードスイッチ	P.68

セ

制動灯	
電球（バルブ）交換	P.371
電球（バルブ）容量	P.398
セカンドシート	
2列車	P.39
3列車	P.42
セキュリティーインジケーター	P.169
設定（メーター）	P.180
セレクトレバー	P.64
アダプティブシフトコントロール	P.67
セレクトレバーが動かない	P.339
センサー（ハンズフリーセンサー）	P.237

洗車のしかた	P.387
センターコンソールボックス	P.290
前部霧灯（フォグランプ）	P.398
前方進入禁止有り（警告）	P.195

ソ

走行支援（車両情報）	P.181
走行のしかた	P.76
速度計（スピードメーター）	P.159
ソナー	P.140
ソナー故障（警告）	P.195
ソナー表示	P.205

タ

タイヤ	P.357
アルミロードホイールのお手入れ	P.391
空気圧	P.357, P.399
交換のしかた	P.317
スペアタイヤ	P.311
タイヤ・ホイールサイズ	P.399
タイヤ・ホイールを交換するとき	P.358
タイヤチェーンについて	P.362
タイヤの位置交換 （ローテーション）	P.360
タイヤの点検項目	P.357
パンク	P.310

タコメーター（エンジン回転計）	P.159
-----------------	-------

チ

チャイルドシート	P.25
ISO FIX対応チャイルドセーフシート用	
アンカーについて	P.28
チャイルドシート適合表	P.30
チャイルドセーフティドアロック	P.227
着信表示	P.206
駐車のしかた	P.78
チルトアップ	P.252
チルトステアリング	P.53

テ

停車のしかた	P.78
低速加速抑制機能	P.125
低速衝突軽減ブレーキ機能	P.128
テールランプ	
電球（バルブ）交換	P.371
電球（バルブ）容量	P.398
テールランプ表示灯	P.169
デフロスタースイッチ	P.335
電球（バルブ）交換	P.371
電球（バルブ）容量	P.398
点検・整備	P.348
電源ソケット	P.294

点検値／交換油脂類.....	P.395
電池交換	
インテリジェントキー.....	P.219
リモートコントロールエントリー	
システム.....	P.218
電動格納式ドアミラー.....	P.55

ト

ドア.....	P.220
ドアが開かない.....	P.323
ドアポケット.....	P.293
ドアミラー.....	P.55
ドアロックスイッチ.....	P.224
盗難防止装置（イモビライザー）.....	P.62
時計.....	P.175
ドライブインジケーター.....	P.195
ドライブコンピューター.....	P.180
トリップメーター（区間距離計）.....	P.174

ナ

内装のお手入れ.....	P.392
ナビゲーション（車両情報）.....	P.181
ナンバー灯	
電球（バルブ）交換.....	P.371
電球（バルブ）容量.....	P.398

ネ

燃費情報（車両情報）.....	P.181
燃料	
燃料計.....	P.160
燃料タンク容量.....	P.247
燃料補給口.....	P.247

八

パーキングブレーキ.....	P.69
パーキングブレーキを解除してください （ドライブインジケーター）.....	P.195
ハイマウントストップランプ	
電球（バルブ）交換.....	P.371
電球（バルブ）容量.....	P.398
発煙筒の使いかた.....	P.345
バックドア	
開かない.....	P.324
オートクロージャー.....	P.241
ガレージモードの解除.....	P.245
ガレージモードの設定.....	P.243
正常に作動しないとき.....	P.246
バックドアインナースイッチ.....	P.239
バックドアの開閉.....	P.228
ハンズフリーセンサー.....	P.237
リモコンオートバックドア.....	P.232
バックミラー（ルームミラー）.....	P.54

発進

インテリジェントキー付車.....	P.73
リモートコントロールエントリー	
システム付車.....	P.70
バッテリー上がり.....	P.326
バッテリーセーバー	
室内照明.....	P.282
ヘッドライト.....	P.267
バニティミラー.....	P.281
パノラミックガラスルーフ.....	P.251
ガラスルーフの前後開閉.....	P.252
サンシェード.....	P.251
チルトアップ.....	P.252
バルブ（電球）交換.....	P.371
バルブ（電球）容量.....	P.398
パワーウィンドー	
正常に作動しないとき.....	P.250
パワーステアリング警告灯.....	P.163
パンク.....	P.310
番号灯	
電球（バルブ）交換.....	P.371
電球（バルブ）容量.....	P.398
ハンズフリーセンサー.....	P.237
ハンドル.....	P.53

ヒ

- ヒーターシートスイッチ P.280
 ヒーター付ドアミラー P.55
 非常点滅表示灯
 電球（バルブ）交換 P.371
 電球（バルブ）容量 P.398
 尾灯
 電球（バルブ）交換 P.371
 電球（バルブ）容量 P.398
 ヒューズ P.366
 表示灯 P.169
 ヒルスタートアシスト P.114
 ヒルディセントコントロール表示灯 P.169

フ

- ブースターケーブルのつなぎかた P.326
 フードの開閉 P.349
 フォグランプ
 電球（バルブ）交換 P.371
 電球（バルブ）容量 P.398
 フォグランプ表示灯 P.169
 吹き出し口 P.263
 ブザー P.333
 踏み間違い衝突防止アシスト P.122
 低速加速抑制機能 P.125
 低速衝突軽減ブレーキ機能 P.128

フューエルフィラーリッド

（燃料補給口） P.247

フューエルメーター（燃料計）

..... P.160

ふらつき警報

（警告） P.195

（車両情報） P.181

ブレーキ

..... P.333

ブレーキ警告灯

..... P.163

フレキシブルラゲッジ

..... P.298

フロアカーペット

..... P.306

フロントシート

..... P.37

↑**平均車速（車両情報）**

..... P.181

ヘッドライト

電球（バルブ）交換 P.371

電球（バルブ）容量 P.398

ヘッドライト上向き表示灯

..... P.169

ヘッドライトシステム異常

（ドライブインジケーター） P.195

ヘッドライトスイッチ

..... P.267

ヘッドライトブレーカイザースイッチ

..... P.273

ヘッドライト

..... P.47

セカンドシート（2列車）

..... P.40

セカンドシート（3列車）

..... P.43

フロントシート

..... P.38

ホ**ホイールサイズ**

..... P.399

防眩式ルームミラー

..... P.54

方向指示器

電球（バルブ）交換 P.371

電球（バルブ）容量 P.398

方向指示器スイッチ

..... P.272

方向指示表示灯

..... P.169

ホーム（車両情報）

..... P.181

ホーン

..... P.53

ポジションインジケーター

..... P.174

ポジションランプ

電球（バルブ）交換 P.371

電球（バルブ）容量 P.398

ボトルホルダー

..... P.293

ボンネット（フード）

..... P.349

↖**マスターウォーニング**

..... P.163

マップランプ

..... P.282

窓ガラスのくもりの取りかた

..... P.335

マニュアルエアコン

..... P.259

マルチセンシングフロントカメラ

..... P.121

ミ

- ミラー P.57
 ドアミラースイッチ P.55
 バニティミラー P.281
 ルームミラー P.54

メ

- メーター
 アドバンスドドライブアシスト
 ディスプレイ P.172
 警告灯 P.163
 警告表示 P.195
 ドライブインジケーター P.195
 ドライブコンピューター P.180
 表示灯 P.169
 メーターの見かた P.158
 メンテナンスデータ（サービスデータ） P.395

ヒ

- 油圧低下（警告） P.195
 雪道やぬかるみからの脱出のしかた P.340
 雪道を走行するとき P.354

ラ

- ライトスイッチ P.267
 ラゲッジアンダースペース P.304
 ラゲッジフック P.305
 ランプ（室内照明）
 後席読書灯 P.284
 マップランプ P.282
 ルームランプ P.286
 ランプが点灯しないとき
 （バルブの交換） P.371

リ

- リクエストスイッチ P.220
 リモートコントロールエントリー
 システム P.208
 リモコンオートバックドア P.232
 リモコンによる施錠・解錠 P.222
 リヤデフォッガースイッチ P.336
 リヤビューカメラ P.148
 リヤワイパースイッチ P.277

ル

- ルームミラー P.54
 ルームランプ P.286

レ

- 冷却水
 寒冷時の取り扱い P.354
 冷却水（規定量） P.396
 レバー（セレクトレバー） P.64

ロ

- ロードホイール
 お手入れ P.391
 交換 P.358
 サイズ P.399
 路上で故障したときは P.346

ワ

- ワイパー P.364
 ワイパー・アームを起こす P.278
 ワイパー・ゴムの交換 P.365
 ワイパー・スイッチ P.275
 ワイパー・ブレードの交換 P.364
 ワックスをかけるとき P.390

日産車の環境保全への取組みを詳細に紹介した「車種別環境情報」
をインターネットでご覧いただけます。

(http://www.nissan.co.jp/INFO/E_NOTE/)

日産自動車へのご相談は下記にお願いいたします。

お客さま相談室

0120-315-232

受付時間：9:00～17:00

お問い合わせ・ご相談内容につきましては、お客さま対応や品質向上
のために記録し活用させていただいております。

なお、内容によっては、当社の販売会社等から回答させていただくこ
とが適切と判断した場合には、必要な範囲で情報を開示し、当該販売
会社等からお客さまにご連絡をとらせていただく場合もございますので、
あらかじめご了承ください。

当社における個人情報の取り扱いの詳細については、日産自動車ホー
ムページ (<http://www.nissan.co.jp>) にて掲載しています。

日産自動車株式会社

〒220-8686 神奈川県横浜市西区高島一丁目1番1号